２０２１年度

授業科目履修心得

（２０１９・２０２０、２０１８年度入学生用）

関西学院大学理工学部

目　次

Ａ．関西学院大学

Ⅰ　関西学院大学の理念・目的…… 5

Ⅱ　授業スケジュール・行事予定カレンダー（2021年度）…… 6

Ⅲ　授業科目の履修にあたって…… 8

Ⅳ　一般注意事項……29

Ⅴ　卒業延期制度について……32

B．理工学部　カリキュラム（2019・2020年度入学生）

Ⅰ　理工学部の理念・目的・教育目標…… 34

Ⅱ　授業科目と単位
授業科目の種類…… 56
授業科目名の表記…… 57
開講期間と授業時間…… 57
卒業に必要な単位数…… 57
資格取得科目…… 75
外国大学科目、単位互換科目、国内協定大学科目…… 76
全学開講「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」の履修について…… 76

Ⅲ　履修とその順序
履修基準年度…… 77
履修の計画…… 77
先修条件…… 77
先修条件に関する注意事項…… 78

Ⅳ　履修登録
履修登録の方法…… 79
履修登録の科目数・単位数…… 80
授業時間割…… 82
2021年度　神戸三田キャンパス開講科目の履修制限（排他）について… 83
他学科履修の制限…… 83
クラス指定…… 85
英語の履修について〈再履修等、事前申込をするケース〉…… 85
「海外理工学プログラム」・「理工学特別プログラム」の履修について … 85
2021年度　全学科目　開講一覧・履修登録（事前申込含む）について … 86
2021年度　全学科目申込・履修についての諸注意…… 95
2021年度　免許状取得のための他学部履修について……105
2021年度　「博物館実習」履修について ……106
教職課程における「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、
「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」の履修について……107
履修の中止について……107
2021年度　全学科目予備登録スケジュール（神戸三田キャンパス）…108

Ⅴ　試験と成績の評価
試験……110
リポート……110
成績評価……110
「剽窃」について ……111

Ⅵ　履修登録参考資料
理工学部学則別表……113
卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉 ……122

Ⅶ　付録……123

Ⅷ　2020年度　理工学部内規……126

Ⅸ　2019年度　理工学部内規……132

C．理工学部　カリキュラム（2018年度入学生）

Ⅰ　理工学部の理念・目的・教育目標……140

Ⅱ　授業科目と単位
授業科目の種類……146
授業科目名の表記……147
開講期間と授業時間……147
卒業に必要な単位数……147
資格取得科目……164
外国大学科目、単位互換科目、国内協定大学科目……166
全学開講「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」の履修について……166

Ⅲ　履修とその順序
履修基準年度……167
履修の計画……167
先修条件……167
先修条件に関する注意事項……168

Ⅳ　履修登録
履修登録の方法……169
履修登録の科目数・単位数……170
授業時間割……172
2021年度　神戸三田キャンパス開講科目の履修制限（排他）について…173
他学科履修の制限……173
クラス指定……175
英語の履修について〈再履修等、事前申込をするケース〉……175
「海外理工学プログラム」・「理工学特別プログラム」の履修について…175
2021年度　全学科目　開講一覧・履修登録（事前申込含む）について…176
2021年度　全学科目申込・履修についての諸注意……185
2021年度　免許状取得のための他学部履修について……195
2021年度　「博物館実習」履修について……196
教職課程における「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、
「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」の履修について……197
履修の中止について……197
2021年度　全学科目予備登録スケジュール（神戸三田キャンパス）…198

Ⅴ　試験と成績の評価
試験……200
リポート……200
成績評価……200
「剽窃」について……201

Ⅵ　履修登録参考資料
理工学部学則別表……203
卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉……212

Ⅶ　付録……213

Ⅷ　2018年度　理工学部内規……216

Ⅰ　関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第４代院長）C. J. L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

Kwansei コンピテンシー

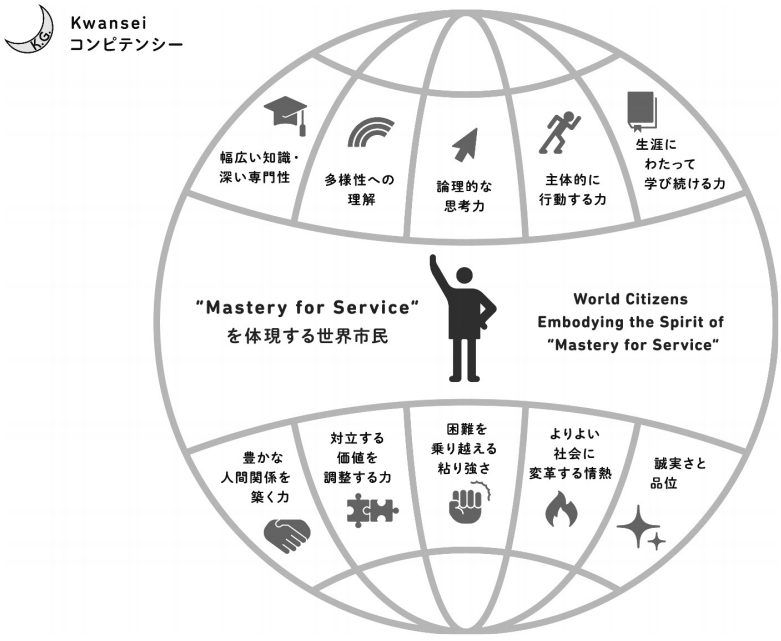
関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としています。その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身に付けるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学の教育に通底するものとして位置づけます。

「Kwansei コンピテンシー」は、各学部の教育課程やそれを補完する全学科目等の「正課教育」だけでなく、クラブでのスポーツ・文化・芸術活動、ボランティア活動、寮生活等の「正課外教育」、さらには友人関係、教員・職員との交流、キャンパスの豊かな自然も含めた大学の多様な「環境」によっても育まれます。

（知識）
●幅広い知識・深い専門性
●多様性への理解
（資質）
●困難を乗り越える粘り強さ
●よりよい社会に変革する情熱
●誠実さと品位
（能力）
●論理的な思考力
●主体的に行動する力
●生涯にわたって学び続ける力
●豊かな人間関係を築く力
●対立する価値を調整する力

関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育を通じて、この学院に学ぶすべての者がこれらのコンピテンシーを段階的に身に付け、高めていくことをめざします。

「Kwansei コンピテンシー」



Ⅱ　授業スケジュール・行事予定カレンダー（2021年度）

年・月	日・曜日	行　　事
2021年 4月	1日(木)、2日(金)	春学期入学式
	1日(木)～5日(月)	定期健康診断（聖和）　全学年対象　土日除く ※詳細は、保健館HPを確認すること
	3日(土)、5日(月)～7日(水)	履修指導
	8日(木)	春学期・第1クォーター授業開始
	12日(月)～14日(水)	定期健康診断（神戸三田）土日除く　新入生対象 ※詳細は、保健館HPを確認すること
	14日(水)～21日(水)	定期健康診断（上ケ原）土日除く　新入生対象 ※詳細は、保健館HPを確認すること
5月	25日(火)、26日(水)	春季・大学合同チャペル【授業短縮】 上ケ原・聖和：第1時限終了　午前10時15分　第2時限開始　午前11時15分 三田：第1時限終了　午前10時25分　第2時限開始　午前11時25分
	28日(金)	第2クォーター授業開始 ※月曜日授業は6月7日、火曜日授業は6月8日、水曜日授業は6月9日に開始
	29日(土)	*TOEIC*® L&R IP実施日 【対象者】以下の学部の1年次生 （神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際・理・工・生命環境・建築）および国際学部の3年次生
6月	2日(水)	第1クォーター授業終了 ※金曜日授業は5月21日に終了
7月	16日(金)	春学期補講・試験日（金曜日分）
	17日(土)	春学期補講・試験日（木曜日分）
	19日(月)	授業実施日
	21日(水)	春学期・第2クォーター授業終了 ※金曜日授業は7月9日に終了
	22日(木・祝)	春学期補講・試験日（月曜日分）
	23日(金・祝)	春学期補講・試験日（火曜日分）
	24日(土)	春学期補講・試験日（水曜日分）
	26日(月)～8月3日(火)	春学期定期試験・中間試験（予備日含む）
8月	6日(金)、9日(月・休)	春学期追試験
	10日(火)～9月19日(日)	夏季休業
9月	16日(木)	春学期卒業式
	17日(金)	秋学期入学式
	21日(火)	秋学期・第3クォーター授業開始
	28日(火・創立記念日)	授業実施日
10月	11日(月)	授業実施日
	21日(木)、22日(金)	秋季・大学合同チャペル【授業短縮】 上ケ原・聖和：第1時限終了　午前10時15分　第2時限開始　午前11時15分 三田：第1時限終了　午前10時25分　第2時限開始　午前11時25分
11月	11日(木)	第3クォーター授業終了 ※火曜日授業は11月2日に終了
	12日(金)	第4クォーター授業開始 ※火曜日授業は11月9日に開始
12月	4日(土)	*TOEIC*® L&R IP実施日 【対象者】以下の学部の2年次生 （神・文・社会・法・経済・商・理工・人間福祉・教育）
	6日(月)	大学合同アドベントチャペル【授業短縮】 上ケ原・聖和：第1時限終了　午前10時15分　第2時限開始　午前11時15分 三田：第1時限終了　午前10時25分　第2時限開始　午前11時25分
	23日(木)	冬季休業前授業終了
	24日(金)～1月5日(水)	冬季休業

年・月	日・曜日	行　　事
2022年1月	6日(木)	冬季休業明け授業開始
	11日(火)	授業実施なし ※1月10日に遠方で行われる成人の日式典出席者に配慮し授業実施なし
	13日(木)	秋学期補講・試験日（木曜日分）
	14日(金)	秋学期補講・試験日（金曜日分）
	15日(土)	秋学期補講・試験日（水曜日分）
	18日(火)	秋学期・第4クォーター授業終了 ※木曜日授業は1月6日、金曜日授業は1月7日に終了
	19日(水)	秋学期補講・試験日（月曜日分）
	20日(木)	秋学期補講・試験日（火曜日分）
	21日(金)～28日(金)	秋学期定期試験
2月	8日(火)	秋学期定期試験予備日
	12日(土)、14日(月)、15日(火)	秋学期追試験（予備日含む）
	16日(水)～3月31日(木)	春季休業
3月	18日(金)	秋学期卒業式

※TOEIC はエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。このウェブサイトは ETS の検討を受けまたその承認を得たものではありません。

※西宮上ケ原キャンパス・神戸三田キャンパスの2年次生以上健康診断は2022年2、3月に実施されます。詳細は決まり次第お知らせします。

2021年度　授業日程

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
春学期	2021年4月	12，19，26	13，20，27	14，21，28	8，15，22	9，16，23，30
	5月	10，17，24，31	11，18，25	12，19，26	6，13，20，27	7，14，21，28
	6月	7，14，21，28	1，8，15，22，29	2，9，16，23，30	3，10，17，24	4，11，18，25
	7月	5，12，19	6，13，20	7，14，21	1，8，15	2，9

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
秋学期	9月	27	21，28（創立記念日）	22，29	30	24
	10月	4，11，18，25	5，12，19，26	6，13，20，27	7，14，21，28	1，8，15，22，29
	11月	1，8，15，22，29	2，9，16，30	10，17，24	4，11，18，25	5，12，19，26
	12月	6，13，20	7，14，21	1，8，15，22	2，9，16，23	3，10，17
	2022年※1月	17	18	12	6	7

※成人式（2022年1月10日）の翌日は授業を実施しません。

Ⅲ　授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」および「学部内規」に基づいて体系的につくられています。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければなりません。履修にあたっての詳細な説明および手続については、本冊子を熟読してください。

1．授業時間帯

2021年度より、本学における授業は１時限（１コマ）100分とし、授業・試験等の時間帯は次のとおりとします。

（１）　通常授業、定期試験・中間試験、補講、授業期間中の集中講義

	西宮上ケ原キャンパス 西宮聖和キャンパス	神戸三田キャンパス
第１時限	8：50 ～ 10：30	9：00 ～ 10：40
チャペルアワー	10：30 ～ 11：00	10：40 ～ 11：10
第２時限	11：00 ～ 12：40	11：10 ～ 12：50
昼休み	12：40 ～ 13：20	12：50 ～ 13：30
第３時限	13：20 ～ 15：00	13：30 ～ 15：10
第４時限	15：10 ～ 16：50	15：20 ～ 17：00※
第５時限	17：00 ～ 18：40	17：05※～ 18：45

※神戸三田キャンパスにおける第４時限目と第５時限目の間の休み時間は５分となります。

（２）　夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義

	西宮上ケ原キャンパス 西宮聖和キャンパス 神戸三田キャンパス
第１時限	9：00 ～ 10：40
チャペルアワー	―
第２時限	10：50 ～ 12：30
昼休み	12：30 ～ 13：10
第３時限	13：10 ～ 14：50
第４時限	15：00 ～ 16：40
第５時限	16：50 ～ 18：30

（３）　追試験

	西宮上ケ原キャンパス 西宮聖和キャンパス 神戸三田キャンパス
第１時限	9：00 ～ 10：00
チャペルアワー	―
第２時限	10：20 ～ 11：20
昼休み	11：20 ～ 12：00
第３時限	12：00 ～ 13：00
第４時限	13：20 ～ 14：20
第５時限	14：40 ～ 15：40

2．授業時間と単位の関係

（１）　授業時間について

本学では2021年度より１時限（１コマ）の授業時間を100分（実時間）と定めます。また、各学期につき14週に渡り授業を実施します。そのため、例えば週１時限（コマ）開講の授業科目の場合、各学期における合計授業時間数は、100分×14週＝1,400分（実時間）となります。

（２） 授業の単位数について

本学では、単位制がとられています。なお、単位数については、文部科学省令「大学設置基準」第21条および大学学則第18条において次のとおり定められています。

「各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間※1の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、原則として次の基準によって計算する。

・講義科目及び演習科目については15時間※1,※2の授業をもって１単位とする。
・言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間※1,※2の授業をもって１単位とする。」

※１　日本の大学では、慣習的に「実時間45分」を「１時間の学修時間」とみなしています。この慣行に従い、上述の大学設置基準・学則上の時間数を実際の時間数（実時間）に置き換えると、次のようになります。

大学設置基準・学則上の時間数		実際の時間数（実時間）
45時間	→	2,025分：45（時間）×45（分）
15時間	→	675分：15（時間）×45（分）
30時間	→	1,350分：30（時間）×45（分）

※大学設置基準・学則上の１時間を45分とみなして、実際の時間数（実時間）を算出

※２　週１時限（コマ）開講の授業科目の各学期における合計授業時間数は1,400分（実時間）です。上表から、この1,400分（実時間）という授業時間が、概ね30時間という大学設置基準・学則上での時間数に相当することが分かります。これにより、「15時間の授業をもって１単位とする」講義科目及び演習科目は、週１時限（コマ）開講の場合２単位となり、「30時間の授業をもって１単位とする」言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目は、週１時限（コマ）開講の場合１単位となることが分かります。

３．授業外学習時間

（１） 必要な学修時間について

前項の「１単位の授業科目を45時間（実時間での2,025分）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし」との記載から、１単位の授業科目に必要な学修時間は、2,025分（実時間）であり、２単位の授業科目に必要な学修時間は、4,050分（実時間：2,025分×２単位）であることが分かります。

また、いずれの授業科目も、必要な学修時間を1,400分（実時間）の授業時間だけで満たすことはできませんので、本学の学生は、授業への出席（授業時間）のみならず、授業時間外に予習・復習等を行うこと（授業外学習）によって、各授業科目の「必要な学修時間」を確保しなければなりません。

（２） 授業外学習時間について

前項・本項の説明および下表のとおり、授業科目ごとに「必要な学修時間」が定められ、結果として授業科目ごとに必要な「授業外学習時間」が決まります。なお、各授業科目において求められる授業外学習の内容は、シラバスの「授業外学習」欄に記載されていますので、必ずシラバスを参照の上、各自で学修を進めてください。

〈授業科目ごとの授業外学習時間例〉

授業科目の種類	必要な学修時間	授業時間	授業外学習時間
週１回開講１単位の言語教育科目	１単位×45時間＝45時間（実時間での2,025分）	100分×14週＝1,400分（実時間）	2,025分－1,400分＝625分（実時間）→ 約45分/週の授業外学習が必要（625分÷14週＝44.64…分）
週１回開講２単位の講義科目	２単位×45時間＝90時間（実時間での4,050分）		4,050分－1,400分＝2,650分（実時間）→ 約190分/週の授業外学習が必要（2,650分÷14週＝189.28…分）

※本学には、４単位の授業科目や週２回開講の授業科目等、この章で挙げた例以外にも、多様な授業科目が開講されています。

４．卒業

卒業に必要な単位数や要件は、学部により異なるので、本冊子を参照してください。

５．成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験および追試験）や平常評価（リポート、授業参加度等）など、授業担当者の教育方針および評価方針に基づいて成績評価が行われ、最終評価において合格することにより、単位が修得できます（各授業科目の成績評価方法は、シラバスの「成績評価」欄に明記）。

なお、本学における授業科目及び卒業論文の成績評価に関しては、大学学則第８条に以下のとおり定められています。

〈2018年度以前入学生〉
本大学における授業科目及び卒業論文の成績評価は、秀又はＳ（90点以上）・優又はＡ（80点以上）・良又はＢ（70点以上）・可又はＣ（60点以上）、及び、不可又はＦ（60点未満）とし、秀又はＳ・優又はＡ・良又はＢ、及び、可又はＣを合格とする。

〈2019年度以降入学生〉
本大学における授業科目及び卒業論文の成績評価は、Ｓ（90点以上）・Ａ＋（85点以上）・Ａ（80点以上）・Ｂ＋（75点以上）・Ｂ（70点以上）・Ｃ＋（65点以上）・Ｃ（60点以上）・Ｆ（60点未満）とし、Ｓ・Ａ＋・Ａ・Ｂ＋・Ｂ・Ｃ＋、及びＣを合格とする。

この定めに従い、各キャンパスに設置されている証明書発行機で出力できる成績証明書（有料）には、単位を修得した授業科目の成績評価（S～C）が記載されます（成績評価がＦ（60点未満）の科目は成績証明書には記載されません）。
また、これとは異なり、各学期の成績発表後に教学 Web サービスで閲覧できる成績通知書（無料）においては、履修済の各授業科目の評価を素点（0点～100点）※ で記載しています。
※評点での評価を行っていない一部の授業科目については、成績通知書においても評価（Ｓ・Ａ＋・Ａ・Ｂ＋・Ｂ・Ｃ＋・Ｃ・Ｆ）が記載されます。

成績評価・試験については、以下に記載の成績評価・試験規程（抜粋）を参照してください。なお、定期試験はすべて、授業を開講しているキャンパスにて受験してください。また、追試験における受験要件および成績評価については、同じく以下に記載の追試験受験要件および成績評価の取り扱いを参照してください。

成績評価・試験規程（抜粋）

第１条　この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。
第２条　授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。
第３条　試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。
第４条　定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。
第５条　中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。
第６条　追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。
第７条　定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。本学主催の留学プログラムに参加するために定期試験、中間試験及び追試験を受験できない者には、個別に成績評価を行う。
第８条　定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。
第９条　定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机上に置いて受験しなければならない。
第10条　追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。
　２　追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の者については受験料を免除する。
　　１　学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者
　　２　裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する者
　　３　公共交通機関の遅延又は運行停止等の事由により、定期試験を受験することができなかった者
第11条　定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害、公共交通機関の遅延若しくは運行停止等の事由により受験できない者が多数発生すると判断される場合には、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。
　２　代替試験は教務機構長の判断により行う。
　３　代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
　４　本規程第７条及び第９条はこれを代替試験に準用する。
　５　追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
第12条　代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。
　２　代替試験については受験料を徴収しない。
第13条　定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。
第14条　成績評価及び成績評価に対して与えるグレードポイントは次のとおりとする。
〈2018年度以前入学生〉
　１　成績評価は、秀又はＳ（90点以上）・優又はＡ（80点以上）・良又はＢ（70点以上）・可又はＣ（60点以上）、及び、不可又はＦ（60点未満）とし、秀又はＳ・優又はＡ・良又はＢ、及び、可又はＣを合格とする。
　２　グレードポイントは、秀又はＳ（90点以上）は４、優又はＡ（80点以上）は３、良又はＢ（70点以上）は２、可又はＣ（60点以上）は１、及び、不可又はＦ（60点未満）は０とする。
〈2019年度以降入学生〉
　１　成績評価は、Ｓ（90点以上）・Ａ＋（85点以上）・Ａ（80点以上）・Ｂ＋（75点以上）・Ｂ（70点以上）・Ｃ＋（65点以上）・Ｃ（60点以上）・Ｆ（60点未満）とし、Ｓ・Ａ＋・Ａ・Ｂ＋・Ｂ・

C＋、及びＣを合格とする。

2　グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A＋（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B＋（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C＋（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は０とする。

第15条　追試験の成績は原則として減点する。

第16条　代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。

第17条　成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。

第18条　次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。

1　履修の届出をしていない者

2　学費未納者

3　教授会において受験することを不適当と認めた者

第19条　この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。

備　考

1　第10条第２項の受験料は、１科目について1,000円とする。

2　第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Ｐと表記する。

追試験受験要件および成績評価の取り扱い（各学部の内規を併せて参照すること）

追試験受験要件	成績評価	受験料
（１）二親等以内の親族の死亡	100％	1,000円
（２）本人の病気	80％	1,000円
（３）試験当日の事故	80％	1,000円
（４）学校において予防すべき感染症による登校停止	100％	免除
（５）裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合	100％	免除
（６）公共交通機関の遅延又は運行停止等	100％	免除
（７）学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合	100％	1,000円
（８）その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの	80％	1,000円
上記（１）、（４）、（５）、（６）、（７）の場合を除き追試験の評点は20％を減じる。（１）～（６）及び（８）については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、（７）については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。		

6．本学主催の留学プログラムと試験が重複した際の取り扱い

本学主催の留学プログラム※1と試験※2が重なった※3際には、代替的な評価を行うことで全学的に対応します。留学プログラムに参加するために試験が受けられない場合は、教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）等で大学から案内される申請方法を確認の上、所定の手続きを行ってください。なお、申請のない場合は対象となりませんので注意してください。

※1　対象は本学主催の留学プログラムのみ（オンラインプログラム含む）です。学外のプログラムは対象となりません。

※2　ここでの試験とは、定期試験、中間試験、追試験、および補講・試験日に平常評価として実施する試験（授業中試験等）を指します。

※3　留学期間と試験実施日が重複し、対面での試験が受けられない場合に限り対象となります。留学のための準備等と試験実施日との重複は対象となりません。

7．GPA 制度

（1）　制度と設定基準

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施しています。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定の Grade Point（以下、GP という）を与え、その合計の加重平均を GPA として提示する成績評価方法です。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要です。GPA は、各自の成績表・成績証明書に掲載します。本学での GP の設定基準と、GPA 算出式は以下のとおりです。

なお、GPA の算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどに関わらず、本学で開設している全ての科目が含まれます。ただし、認定する科目については、GP を与えず、GPA の算定対象科目としない場合もあります。

【GP の設定基準】

〈2019年度以降入学生〉

100～90点又は S	評価の場合の GP は 4.0
89～85点又は A＋	評価の場合の GP は 3.5
84～80点又は A	評価の場合の GP は 3.0
79～75点又は B＋	評価の場合の GP は 2.5
74～70点又は B	評価の場合の GP は 2.0
69～65点又は C＋	評価の場合の GP は 1.5
64～60点又は C	評価の場合の GP は 1.0
59～ 0点又は F	評価の場合の GP は 0

〈2018年度以前入学生〉

100～90点又は S	評価の場合の GP は 4
89～80点又は A	評価の場合の GP は 3
79～70点又は B	評価の場合の GP は 2
69～60点又は C	評価の場合の GP は 1
59～ 0点又は F	評価の場合の GP は 0

【GPA 算出式】

$$\mathrm{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価の GP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

（2）　履修の中止

本制度の主旨に則り、授業開始約 2 カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）で申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けています。

（3） 成績優秀者の顕彰

成績優秀者を学期毎に掲示にて顕彰しています（顕彰する基準等については各学部にて異なる）。また、学期ごとの顕彰とあわせて、GPA 上位５％の者に対し、第２・３・４学年度末に顕彰しています。第２・３学年度末には１年間、第４学年度末には４年間の GPA について顕彰しています。特に、４年間の GPA 上位５％の卒業者には、卒業式に学長名の GPA 表彰状を授与します。その他、学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認してください。

8．授業形態

2021年度から、授業の形態が次の４つとなります。なお、2021年度の授業は基本的に対面授業で実施されますが、一部の授業科目においてはオンライン授業で実施されることがあります。また、各授業科目の授業形態は、シラバスの「授業方法」欄に明記しています。

（1） 対面授業

・指定された学期の指定された曜日・時限に、指定された教室、指定されたキャンパスにおいて、授業担当者と履修者が対面する形式で行われる授業。

（2） 同時双方向型オンライン授業　※以下、同時双方向型と表記

・オンライン授業の一形態。指定された学期の指定された曜日・時限に授業がオンライン上でライブ配信され、履修者は配信された授業に参加（出席）する。ライブ配信であるため、双方向（授業担当者⇔履修者）のコミュニケーションが可能。
・対面授業と同様に、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があるため、授業の一部を対面授業で実施することがある。
・配信後に設問解答、添削指導、質疑応答、学生同士の意見交換の場などによる十分な指導やサポートが行われる。

（3） オンデマンドＡ型オンライン授業（時間割設定あり） ※ 以下、オンデマンドＡ型と表記

・オンライン授業の一形態。指定された学期の指定された曜日・時限までに、予め収録された授業が配信され、履修者は配信後の任意の時間に授業を視聴する。
・対面授業と同様に、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があるため、授業の一部を対面授業で実施することがある。
・配信後、オンラインで授業担当者と質疑応答・意見交換等のやり取りができる機会が設定される。

（4） オンデマンドＢ型オンライン授業（時間割設定なし） ※ 以下、オンデマンドＢ型と表記

・オンライン授業の一形態。シラバスで明記された時期までに、予め収録された授業が配信され、履修者は任意の時間に授業を視聴する。
・配信後、オンラインで授業担当者と質疑応答・意見交換等のやり取りができる機会が設定される。

9．シラバス

シラバスとは「各授業科目の詳細な授業計画」を指します。本学のシラバスは教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）から検索・閲覧ができ、授業目的、到達目標、授業計画、授業外学習、教科書、成績評価方法等の基礎的な情報をはじめ、次の事項を含む様々な授業に関連する情報が集約されているため、履修計画を立てる際に参照してください。

・授業形態（詳細は上記「８．授業形態」参照）：「授業方法」欄で確認してください。
・オンデマンドＢ型の配信時期：各回の「授業外学習」欄で確認してください。
・新型コロナウイルスの感染状況等により定期試験や定期試験に代わるリポートが実施できなくなった場合の代替評価方法：「成績評価備考」欄で確認してください。

10. 科目ナンバリング（科目ナンバー）

科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。対象とするレベルが示されているので、適切な授業科目を選択する助けとなります。また、国内外の他大学で行われているナンバリングとの照合によって、単位互換の促進、提携校とのカリキュラムの対照作業にも役立てることができます。

本学のナンバリング体系は以下のとおりです。詳細については各学部・センターのカリキュラム説明を参照してください。

ナンバー	位置づけ	位置づけ詳細
100	学士課程において基礎的な内容を取り扱う科目	・初年次の入門的、基礎的な知識を修得する専門教育科目 ・初年次の必修科目、基礎的な総合教育科目・全学科目
200	学士課程において基盤となる科目	・各専門分野の基本的な内容を扱う専門教育科目 ・学際的、発展的内容を扱う総合教育科目・全学科目
300	学士課程において応用的要素の強い科目	・各専門分野の実践的・応用的要素が強い内容を扱う専門教育科目 ・特定のテーマ、分野に関する実践的・応用的要素が強い内容を扱う総合教育科目・全学科目
400	学士課程において最も専門性の高い科目	・各専門分野で学部学生が学修する最終段階の水準科目（卒業研究、卒業論文など） ・大学院開設科目と連携して開講している科目

11. 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められています。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年度を表すものです。

履修基準年度１年……第１・２・３・４学年度生が履修できます。
履修基準年度２年……第２・３・４学年度生が履修できます（１学年度生は履修不可）。
履修基準年度３年……第３・４学年度生が履修できます（１・２学年度生は履修不可）。
履修基準年度４年……第４学年度生が履修できます（１・２・３学年度生は履修不可）。

12. 各授業形態のシステム上の設定

システム上の授業形態ごとの設定は下表のとおりとなります。シラバス上や履修申請時において、画面上ではこの設定に従い、下表の括弧（　　）内の例のように表示がされます。

〈システム上の設定一覧（括弧内は画面上の表示例）〉

授業形態		学期	曜日・時限	教室	キャンパス
対面授業		指定あり（春学期）	指定あり（月曜１時限）	指定あり（B－101）	指定あり（西宮上ケ原キャンパス）
オンライン授業	同時双方向型	指定あり（春学期）	指定あり（月曜１時限）	指定あり（B－101）	指定あり（西宮上ケ原キャンパス）
	オンデマンドＡ型	指定あり（春学期）	指定あり（月曜１時限）	指定あり（B－101）	指定あり（西宮上ケ原キャンパス）
	オンデマンドＢ型	指定あり（春学期）	**指定なし（集中・その他）**	**指定なし（オンライン）**	**指定なし（オンライン）**

※同時双方向型およびオンデマンドＡ型は共にオンライン授業ですが、曜日・時限、教室、キャンパスの設定があり、一部の授業では指定された曜日・時限に、指定された教室、キャンパスで対面授業が実施されることもあります。

※オンデマンドＢ型は、曜日・時限の設定をせず、教室、キャンパスはいずれもオンライン教室、オンラインキャンパスとします。シラバス上や履修申請時における画面上では、一律、上表の括弧内のような表示となります。

13. キャンパス間の移動を伴う履修

西宮上ケ原・西宮聖和・神戸三田およびオンラインの各キャンパス間の移動を伴う履修に関し、以下のとおり取り扱います。

まず、同時双方向型およびオンデマンドＡ型で実施される授業科目については、曜日・時限、開講キャンパスおよび教室の設定があるため、下表の取り扱いの対象となります。

〈対面授業・同時双方向型・オンデマンドＡ型の取り扱い〉

キャンパス	履修の取り扱い
西宮上ケ原・西宮聖和 ⇔ 神戸三田	連続した授業の履修は不可。
西宮上ケ原 ⇔ 西宮聖和	連続した授業の履修は不可。ただし、チャペルアワーを挟んだ１時限目と２時限目、および昼休みを挟んだ２時限目と３時限目の連続履修は可能。

次に、オンデマンドＢ型で実施される授業科目は、曜日・時限の設定はなく、開講キャンパスおよび教室がいずれも「オンライン」となるため、下表のとおりすべての授業科目と連続しての履修が可能です。

〈オンデマンドＢ型の取り扱い〉

キャンパス	履修の取り扱い
オンライン ⇔ 西宮上ケ原・西宮聖和・神戸三田・オンライン	連続した授業であっても履修は可。

※オンラインキャンパスとなるのは、オンデマンドＢ型のみです。

《ご参考》
キャンパス間の移動を伴う履修の一例

時限	受講キャンパス	授業形態	
１時限目	神戸三田	対面授業	
チャペルアワー			×履修不可
２時限目	西宮上ケ原	同時双方向型	
昼休み			○履修可
３時限目	西宮聖和	オンデマンドＡ型	○履修可
４時限目	オンライン	オンデマンドＢ型	○履修可
５時限目	神戸三田	対面授業	

14. 暴風警報・暴風雪警報・特別警報発令、交通機関運行遅延など不測の場合の措置

取り扱いについては、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）を参照してください。

オンライン授業は警報等が発令された場合であっても休講とはなりませんが、以下のような場合は休講となります。

・履修者を対面で受講するグループとオンラインで受講するグループに分け、授業を実施している場合
・一部対面授業で実施するオンライン授業で、その回を対面授業で実施している場合

ただし、自宅等の地域に避難準備・避難勧告・避難指示が発令される等、身の危険を感じる場合は、避難するなど適切な行動をとってください。欠席の取扱いについては、大学として担当教員に配慮をお願いしています。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関の運行停止等の場合の、学部における授業・試験実施について定めるものである。

1　別表のいずれかの地域・市町村に暴風警報、暴風雪警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令されている間は授業・試験を行わない。なお、取り扱いの詳細は第２項以下に定める。また、中止となった定期試験・中間試験については原則として試験予備日に振り替えて実施する。

2　暴風警報、暴風雪警報、特別警報が発令された場合の授業・試験実施については次のとおりとする。

授業・試験実施キャンパス〈西宮上ケ原・西宮聖和〉

6：00までに別表の地域全ての暴風警報、暴風雪警報、特別警報が解除されたとき	平常通り授業・試験を行う。
8：00までに解除されたとき	第２時限から授業・試験を行う。
10：30までに解除されたとき	第３時限から授業・試験を行う。
12：00までに解除されたとき	第４時限から授業・試験を行う。
12：00を過ぎても解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

授業・試験実施キャンパス〈神戸三田〉

6：00の時点で解除されないとき	全日休講・全日試験中止とする。

3　翌日の6：00以降の暴風警報、暴風雪警報、特別警報の発令が見込まれる場合は、学長の判断により、第２項に準じて休講・試験中止とする時限を決定することがある。

4　特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。

5　交通機関の運行遅延・停止が発生した場合あるいは運行停止が予告された場合は、対象路線・運行開始予定時刻等を考慮のうえ、措置するキャンパスを含めた対応を学長の判断により決定する。

6　本取扱要領に定めのない事態については、学長の判断による。

7　この取扱要領の改廃は、大学評議会において決定する。

（略）

別　表

	地　域	市町村
兵庫県	阪　神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北播丹波	西脇市、丹波篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大阪市	大阪市
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉　州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

15. 授業の録音・撮影、授業の資料等の使用

授業担当者が作成した資料や教材、データ、授業内容は授業担当者の著作物です。受講生が授業の録音・撮影を希望する場合、あるいは授業の資料等の使用を希望する場合は、事前に授業担当者の許可を得てください。

16. 授業に関する調査

「学修行動と授業に関する調査」は、次の３点を目的として実施しています。①学生の学修行動・成果の振り返り、②授業の改善、③教育内容・環境の整備。学生は責任ある態度で回答することが求められます。調査の方法は授業により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合とLUNA（Web）を利用して行う場合があります。

17. 教職課程等

取得を希望する免許等により次のとおりとなります。

■ 中学校、高等学校の教育職員１種免許状
入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照してください。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照してください。

■ 幼稚園、小学校、特別支援学校の教育職員１種免許状及び保育士の各資格
教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られます。

■ 学校図書館司書教諭・博物館学芸員・国際バカロレア教員資格（IBEC）の各資格
入学時に開催される教職課程説明会および教職教育研究センター窓口等にて配付する『教職課程等履修要項』を参照してください。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照してください。なお、国際バカロレア教員資格（IBEC）は2019年度以降入学生のみ取得可能です。

18. 履修・学習要覧 Web サイト

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧 Web サイト」（https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html）を提供しており、次の内容等が掲載されています。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておいてください。

■ 大学、学部の理念・目的・教育目標

■ 『Kwansei コンピテンシー』および DP（学位授与の方針）・CP（教育課程編成・実施の方針）

■ 関西学院大学　学則
学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則です。本学の学生は必ず目を通しておいてください。また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載しています。なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照してください。

■ 全学科目の紹介（教職等資格関連科目の説明含む）
全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができます。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力があります。

■ 各学部内規

■ シラバス（授業実施要綱）
上記「９．シラバス」を参照してください。

■ 教員等紹介
教員等の教育研究内容等を閲覧することができます。

■ オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いです。ゼミナール（演習）や講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできますが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉学に関すること、そのほか学生生活に関することなど相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができます。

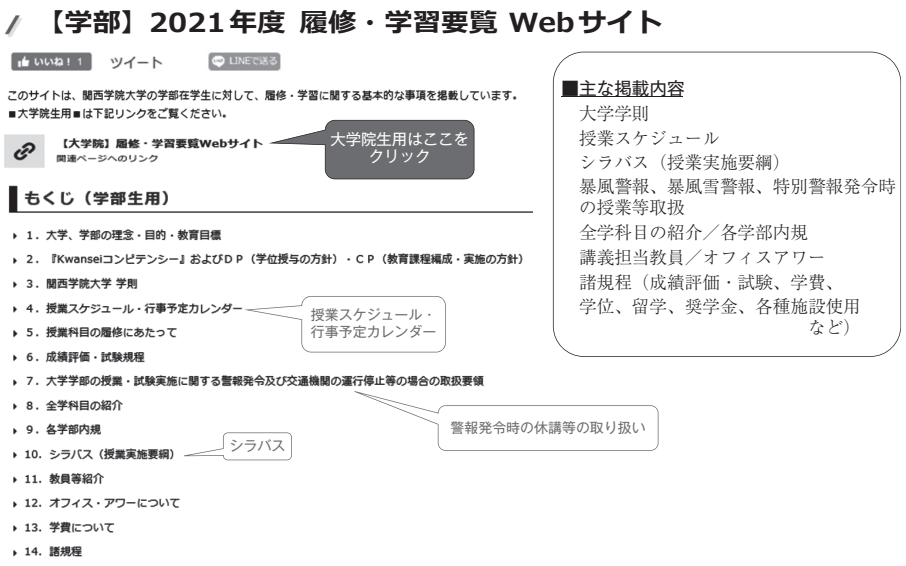
そして、専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーであり、各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載しています（教員所属の学部等掲示板にも掲出しています）。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいます。

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは予約制となるので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせてください。

履修・学習に関する Web サイト

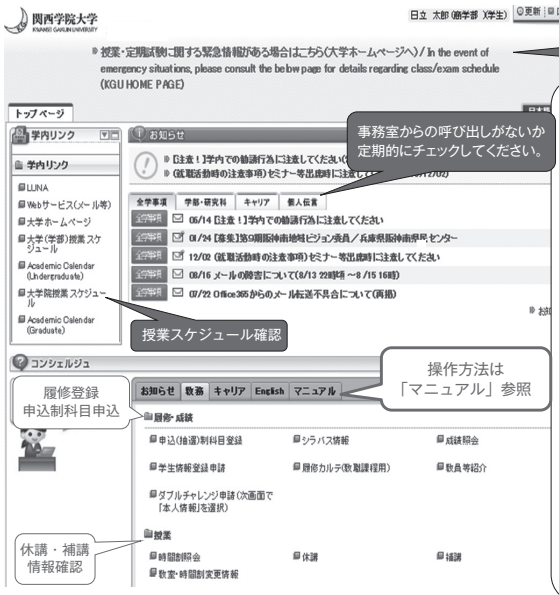
履修・学習に関する Web サイトには主に次の 4 つがあります。
※「教学 Web サービス」「情報システム Web サービス」は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

履修・学習要覧 Web サイト　https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000660.html



■主な掲載内容
大学学則
授業スケジュール
シラバス（授業実施要綱）
暴風警報、暴風雪警報、特別警報発令時の授業等取扱
全学科目の紹介／各学部内規
講義担当教員／オフィスアワー
諸規程（成績評価・試験、学費、学位、留学、奨学金、各種施設使用　など）

教学 Web サービス　https://webinfo.kwansei.ac.jp/　（2021年夏変更予定）



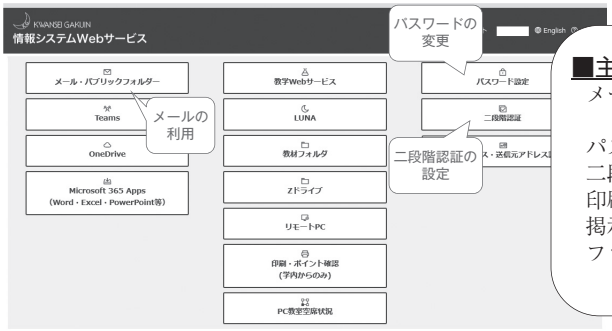
■主な機能
履修登録/申込制科目申込
成績照会/履修中止
時間割照会
休講・補講・教室変更 情報確認
お知らせ閲覧
個人呼び出し確認
ダブルチャレンジ申請
学生情報登録申請　など

■メールでの確認
休講、補講、教室・時間割変更等のお知らせは、関学メール（@kwansei.ac.jp）にも送信されます。各自のパソコンまたはモバイル端末のメールアプリにより関学メールを利用することができますので必要に応じて各自で設定を行ってください。ただし、メールで受信できるのは本文のみです。添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

＜教学 Web サービスの接続時間について＞
教学 Web サービスの各機能の接続時間は以下の通りです。 何も操作をしなければ、 最後の操作から以下の時間を過ぎると自動的にログアウトされます。
・「お知らせ」10分・「教務」60分(＊)・「キャリア」60分(＊)
＊学部の抽選科目申込期間から履修修正期間までと、成績発表日は、接続時間が「10分」になります。

■アクセスが非常に集中した場合には、一時的にサービスを停止することがあります。アクセス集中が緩和され次第、サービスを再開します。
■教学 Web サービスの操作を終える際には、ブラウザの「×」ボタンではなく、教学 Web サービスの「閉じる」ボタンを押して画面を閉じるようにしてください。
■本運用は学部生だけでなく、大学院生にも適用されます。

情報システム Web サービス　https://webservice.kwansei.ac.jp　（2021年夏変更予定）



■主な機能

メール利用
（@kwansei.ac.jpのアドレス）
パスワード設定
二段階認証設定
印刷・ポイント確認
掲示板（パブリックフォルダ）閲覧
ファイルサーバへのアクセス
など

＜メールアプリからのメール利用について＞
・各自のパソコンまたはモバイル端末から、メールアプリにより関学メールを利用することができます。
利用にあたっては、情報環境機構 Web サイトの「ユーザーズガイド」を参照してください。
https://ict.kwansei.ac.jp/guide/　（→ メールアプリの設定）

LUNA（教授者–学習者支援システム）　https://luna.kwansei.ac.jp/　（https → s が必要）

LUNA は、みなさんの日々の学習を支援するシステムです。履修科目や所属のコミュニティにおいて、教員からのお知らせを確認したり、教材を閲覧したり、レポートを提出したり、テストを受けたり、教員や他の履修者とコミュニケーションしたりするなど、様々な学習活動に利用できます。さらには全学共通コンテンツに掲載の教材で自習したり、K.G. ポートフォリオで学びの記録を蓄積することもできます。インターネットにつながった環境があれば、いつでもどこでも利用できます。

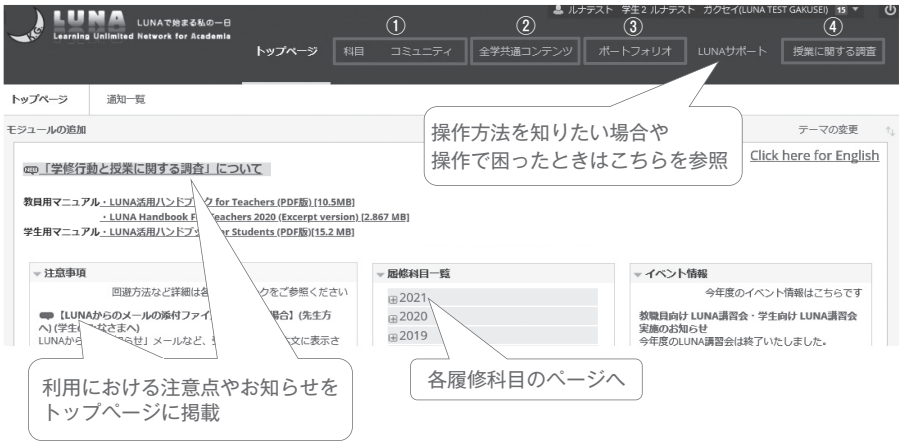
■アクセス方法
上記アドレスからログイン、もしくは情報システム Web サービスからアクセスしてください。
また、ポートフォリオ機能を利用する場合は、スマートフォン専用アプリをダウンロードすると、プッシュ通知等の機能を拡充できます。（アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる通信料は利用者負担になります）

PC からアクセスする場合

K.G.ポートフォリオアプリをダウンロードする場合

iOS　Android™

※「Android」「Google Play」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
※「Apple」は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
※「App Store」は Apple Inc. のサービスマークです。
※「IOS」は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
※QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。



●主な機能（以下の①から④は、前ページの①から④に対応）

①科目やコミュニティを利用する（PC のみ）
- ・教員からのお知らせを確認する
- ・教材を閲覧する
- ・課題レポートを提出する
- ・テストに解答する
- ・課題レポートおよびテストの点数や提出状況を確認する
- ・掲示板で教員や履修者とコミュニケーションをとる

②全学共通コンテンツを利用する（PC のみ）
- ・情報倫理 自習教材
- ・留学定例報告書・協定校 FactSheet 閲覧サイト
- ・社会学部キーワード集
- ・『いつでも中国語』付属 CD

③ポートフォリオを利用する（PC、モバイル）
- ・アンケートに回答する
- ・自分のことを知る
- ・目標を立てる
- ・学生生活を記録し振り返る
- ・蓄積された情報をダウンロードする

④「学修行動と授業に関する調査」に回答する（PC のみ）

本調査は学生のみなさんの学修行動・成果の振り返り、授業の改善、教育内容・環境の整備を目的として実施し、学期ごとに実施期間が設けられます。学生のみなさんの学修行動の振り返りのための記録になるものですので、責任ある真摯な態度で調査に協力してください。

※利用する機能によっては、モバイル端末（スマートフォン、タブレット等）では正しく動作しません。

■K.G. ポートフォリオについて

ポートフォリオでは、PC やスマートフォンを利用することで、GPA 等のスコア伸長、自身の強みチェック、目標設定とその振り返り、学修行動や成果の把握なども直感的に活用できるようになります。さらに各部署や授業担当者が上記活動記録の一部をみなさんのポートフォリオに登録するなど、バックアップやサポート体制があるのでいつでも気軽に始められます。
日々の活動をより実りあるものにでき、将来の就職活動や大学院進学など、自分のこれからのキャリアを考える時に、強力にサポートしてくれる頼もしいツールです。皆さんのよりよい未来のために、是非、ポートフォリオを役立ててください。

●トップページ
ポートフォリオにログインすると、PC やスマートフォンなどの機器によって適切な表示に自動的に切り替わります。以下は PC での画面になります。スマートフォンの場合は左右別の画面構成となり、トップページが表示されます。

⚠
掲載している機能やデータ連携は2021年 4 月現在のものです。

機能やデータ連携を予告なく追加・停止する可能性があります。

学修状況機能のスコアタブにある GPA や履修・修得単位数については、連携が反映されない時期があります。そのため、正式な成績は教学 Web サービスから確認してください。

進級や卒業に必要な単位数や科目等については、「履修心得」や「成績通知書」等を参考に各自で確認してください。

●ポートフォリオの記入内容について
ポートフォリオには、GPA のスコアなど大学がポートフォリオにデータを提供している情報と、キャリアシート、目標など学生のみなさんが新しく入力する情報の 2 種類があります。
どちらの情報も個人の情報が他の学生に開示されることはありません。ポートフォリオの情報は大学と共有され、みなさんの取り組みを支援するため、権限が与えられた教職員が厳格な管理の下、メニューの各機能の情報を参照することがあります。

海外渡航する場合には大学に届け出が必要です

世界各地で発生するテロや自然災害等様々な問題への対応のために、関西学院大学では次の 2 点について把握することとし、有事発生時の対応に備えています。

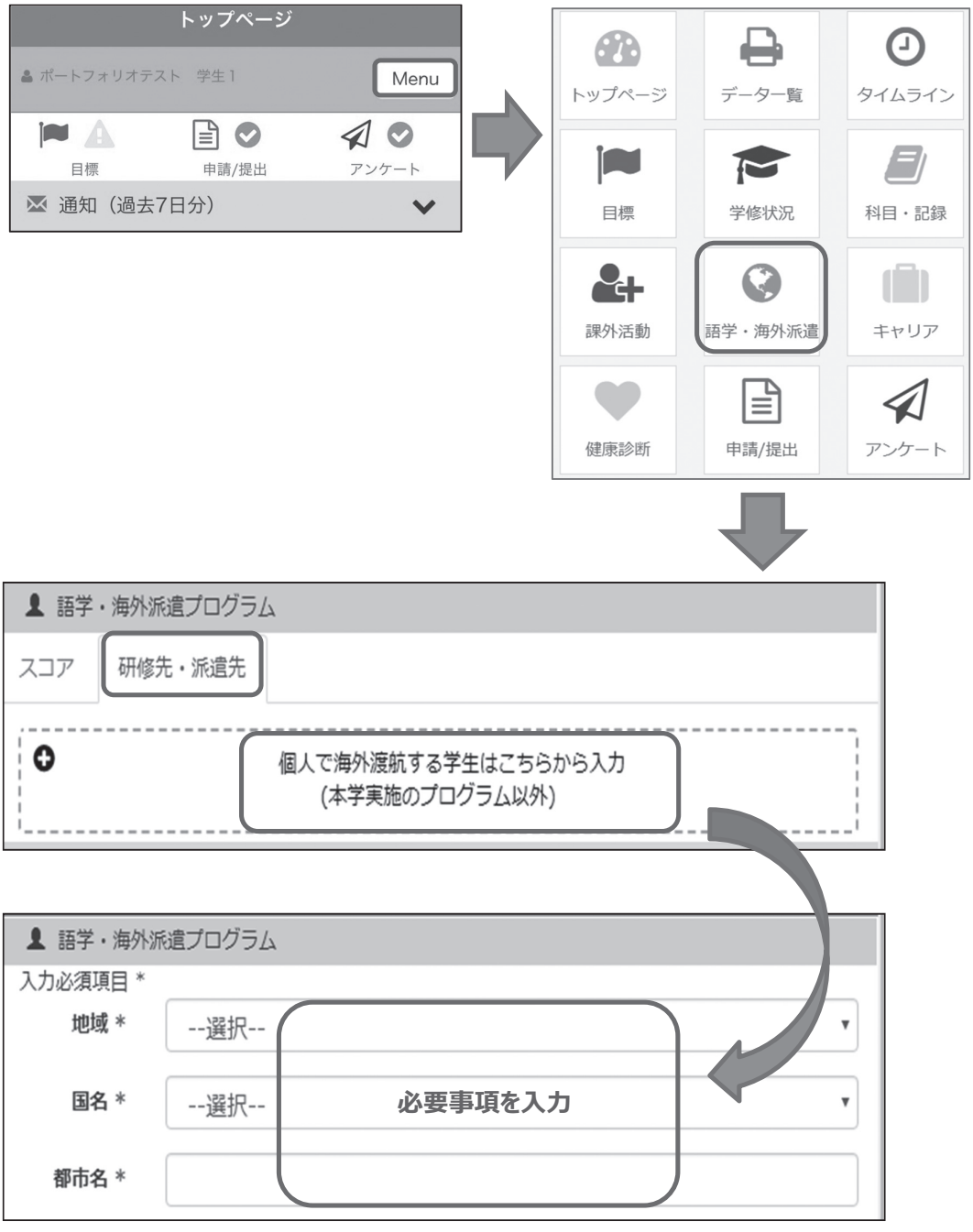
① 大学主催以外のプログラム等で海外へ渡航する学生のみなさんの渡航状況（大学主催プログラムは国際連携機構、プログラム実施学部等で把握）

② 大学主催プログラムの留学等での休暇中の学生のみなさんの旅行状況

上記に該当する場合、ポートフォリオで海外渡航情報の登録をお願いします。（ポートフォリオアプリのダウンロードは P. 21の「履修・学習に関する Web サイトには主に次の 4 つがあります」から確認ください。）

なお、本件は文部科学省「大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン」に基づく対応であり、登録された個人情報は本目的の範囲外で利用することはありません。

〈ポートフォリオからの入力方法〉



平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業

関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想

Global Academic Port

創立以来、「世界市民」の育成をめざして国際教育を積極的に推進してきた関西学院大学。
その豊富な実績と構想が認められ、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。
これを機に、多様性を学ぶ「国際性豊かな学術交流の港（グローバル・アカデミック・ポート）」を構築し「ダブルチャレンジ制度」を創設するなど、
国や地域の垣根にとらわれず世界を駆け巡り、競い合い、支え合って協働できる「世界市民」を育てます。

挑め、新たな世界に！
全学生が挑む「ダブルチャレンジ」

全学生が所属学部の主専攻の学び（ホームチャレンジ）に加え、
異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、
グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。
アウェイチャレンジは以下の3つのプログラムから構成されています。
是非、在学中の4年間を通じて多様な『チャレンジ』に取り組み、自らの可能性を拓いてください。

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「国を越え、世界を知る」

海外の大学・フィールドでの挑戦や海外からの学生との共修を通して、
グローバルな視野を身につけます。
例：交換留学、中期留学、外国語研修、インドネシア交流セミナー、
国連セミナー、海外インターンシップ、海外フィールドワーク など

ホームチャレンジ

（各学部・専攻での学び）

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」

主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、
複眼的な視野を身につけます。
例：複数分野専攻制プログラム、
複数分野専攻制特別プログラム＜国連・外交プログラム＞

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム（実践型学習）

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」

地域や企業、行政と連携した実践的なプログラムで思考力・行動力・学習姿勢を身につけます。
例：ハンズオン・アドバンスト、
ハンズオン・インターンシップ、
社会探究実習、社会探究実践演習、
キャリアゼミ、PBL特別演習 など

詳しくは『「ダブルチャレンジ」プログラムガイド2021』で確認してください。
新入生（1年生）には入学式で、2年生以上の学生には教務機構事務部や各学部・センター事務室で配布しています。

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
Global Academic Port

関西学院大学

■お問い合わせ先■
教務機構事務部（「ダブルチャレンジ」プログラム総合窓口）
Phone：0798-54-7479

「ダブルチャレンジ制度」登録システムについて

【2018年度以降入学生対象・新入生（１年生）は秋学期から登録開始】

「ダブルチャレンジ制度」は、変化の激しいグローバル社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むための本学オリジナル制度で、本制度を利用した多様なチャレンジを強く推奨しています。

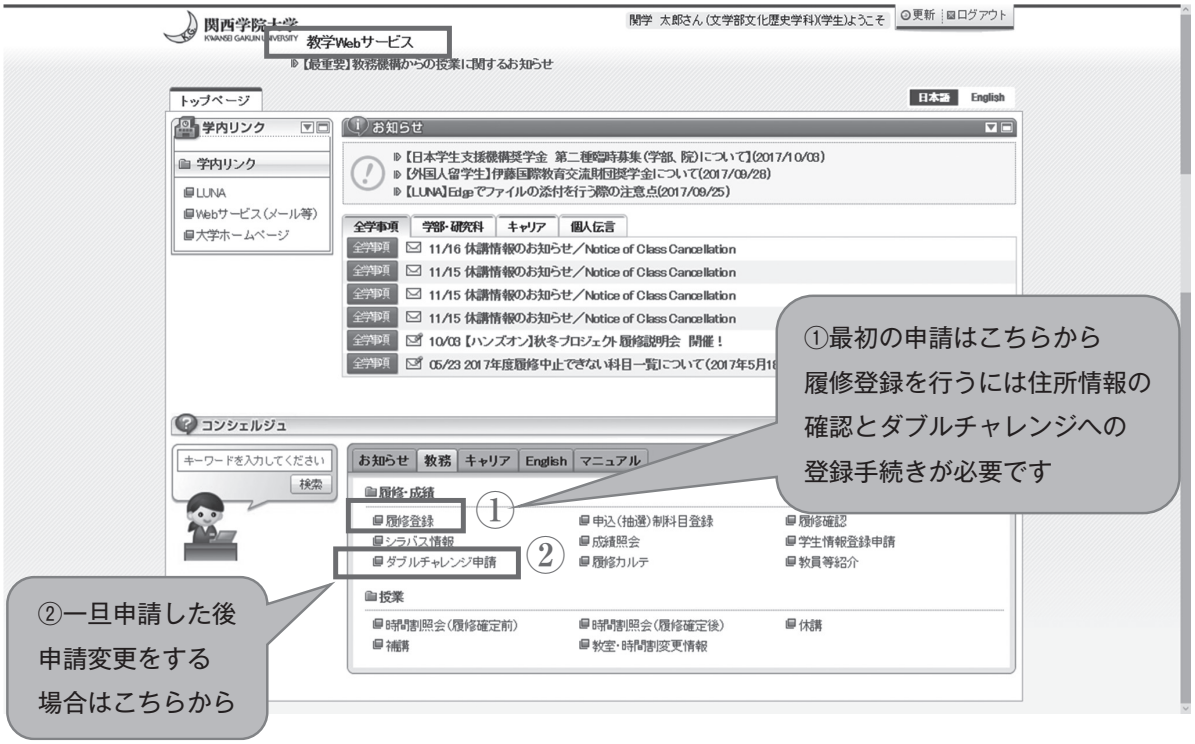
2018年度入学生より、各学期の履修登録に先立って、今後の大学生活で挑戦する（予定の）取組（プログラム・科目）を申請する必要があります。新入生（１年生）は秋学期から登録開始となります。（ダブルチャレンジ申請が完了しないと履修登録ができません！）

【申請にあたっての注意事項】

- ●当該学期に申請可能なプログラム・科目は１件のみです。最も挑戦したいプログラム・科目を１つ選択して申請してください。
- ●この申請を行ったことで当該プログラム・科目の履修登録が終了する訳ではありません。この申請と履修登録は全く別のものです。
  実際の科目の履修登録は、定められた期間に適宜申込・登録手続きを行ってください。
- ●一旦登録後、申請内容に変更がある場合は随時変更が可能です。また変更の有無にかかわらず毎学期申請内容を確認する必要があります。
- ●申請可能な科目は P. 27、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。
  インターナショナルプログラムのうち、国際教育・協力センター（CIEC）が提供するプログラムは「国際教育・協力プログラム募集要項 2021」を参照してください。

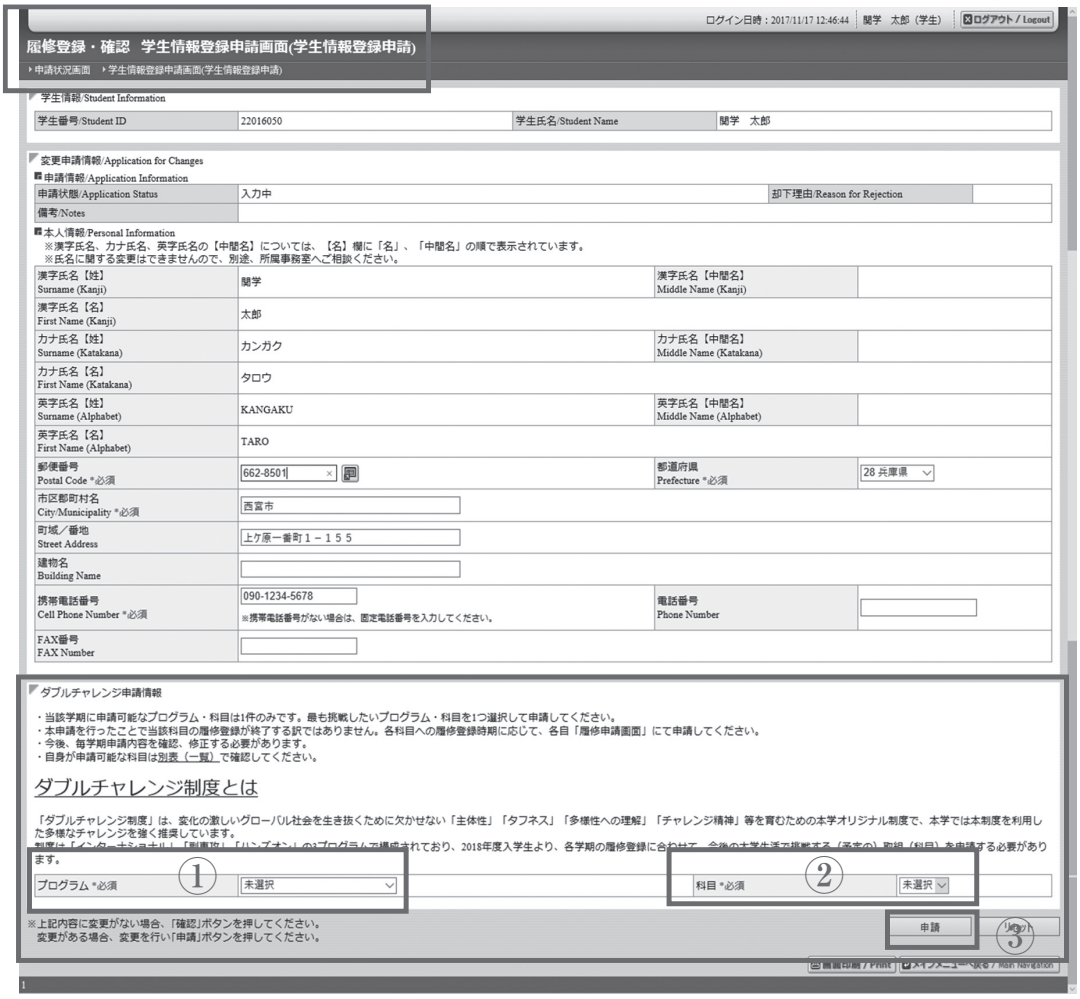
■申請画面入口（教学 Web サービス画面）

「履修登録」をクリックすると、申請画面に遷移します。



■初回のダブルチャレンジ申請画面

初めて申請する場合「履修登録・確認　学生情報登録申請（学生情報登録申請)」の画面より申請してください。



①プログラムの選択（プルダウンメニューより選択）

②科目の選択（プルダウンメニューより選択）

※自身が申請可能な科目は本冊子 P.27、「ダブルチャレンジ対象科目一覧」で確認してください。

③申請内容に誤りがないことを確認し、右下の「申請」ボタンを押下する。

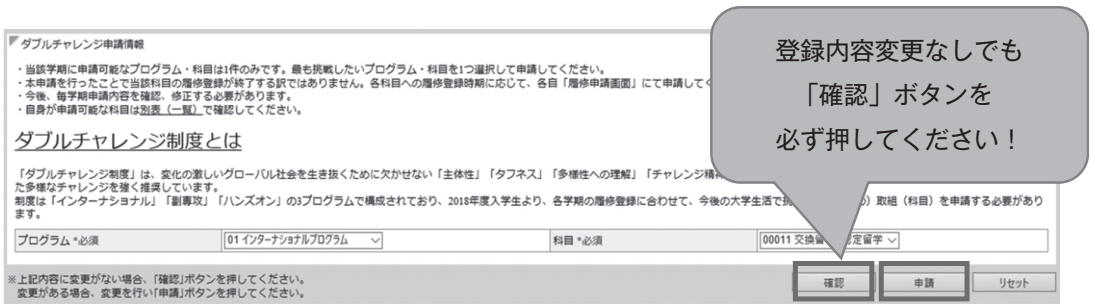
登録完了画面で登録が完了したことを確認する。

■2回目以降の申請・確認方法（毎学期確認が必要です）

①以下の画面で登録内容を確認する。

②登録内容に変更がない場合は「確認」ボタンを押下、

登録内容を変更する場合は、修正の上、「申請」ボタンを押下する。



ダブルチャレンジ対象科目一覧

インターナショナルプログラム

留学プログラム

提供部署	科目名称	期間
国際教育・協力センター/CIEC	交換留学	1学期間～1年間
	認定留学	1学期間～1年間
	長期留学（学部科目履修型）	1学期間～1年間
	英語中期留学	1学期間
	フランス語中期留学	1学期間
	スペイン語中期留学	1学期間
	外国語研修（英語、中国語、朝鮮語、スペイン語）	約2週間～6週間
	CCC Cross-Cultural Workshop	4週間
言語教育研究センター	フランス語海外研修	4週間
	ドイツ語海外研修	4週間
社会学部、商学部、国際学部	ダブルディグリー留学	1年～2.5年
神学部	Mission in DialogueA	約1週間
文学部	ドイツ語中期留学	4カ月半
法学部	中国人民大学法学院交換留学プログラム	1学期間～1年間
	エディンバラ大学春季法律英語研修	約3週間
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	約1週間～約1カ月間
理工学部	海外理工学プログラムB（English for Science and Technology）	約1週間
	海外理工学プログラムB（Python Program）	約3週間
人間福祉学部	社会起業英語中期留学	1学期間
国際学部	中国語中期留学	1学期間
	朝鮮語中期留学	1学期間
理学部	海外理学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間
	海外理学プログラムB(Python Program)	約3週間
工学部	海外工学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間
	海外工学プログラムB(Python Program)	約3週間
生命環境学部	海外生命環境学プログラムB(English for Science and Technology)	約1週間
	海外生命環境学プログラムB(Python Program)	約3週間

国際ボランティア・フィールドスタディプログラム

提供部署	科目名称	期間
国際教育・協力センター/CIEC	国連ユースボランティア	5カ月間
	国際社会貢献活動	5カ月間
	中期海外インターンシップ	1学期間
	短期海外インターンシップ（アメリカ）	約1カ月間
	短期海外インターンシップ（ベトナム）	約1カ月間
	海外フィールドワーク	約1週間
	CCC Field Study in Canadian Business	約2週間
	CCC Global Career Seminar in Canada	約1週間
	インドネシア交流セミナーA	約2週間
	海外異文化体験セミナー	約1週間
	グローバルPBL	約2週間
	インターンシップ準備演習（オーストラリア）	約10週間
	海外社会体験実習（オーストラリア）	約5週間
	海外社会体験実習（マレーシア）	4週間
	海外社会体験実習（タイ）	2週間
	短期海外インターンシップ	約2週間
	マレー文化研究	12週間
国連・外交統括センター	English through Sports	約2週間
	国連・外交フィールドワーク	約10日間
	国連セミナー	約10日間
文学部	美学芸術学資料研究7	約1週間
	異文化理解（ドイツ）2	約1週間
社会学部	比較社会演習A	約1週間
	海外社会調査A	約1週間
	海外社会調査B	約1～2週間
法学部	法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	約1～3週間
経済学部	海外学習活動（ドイツインターンシップ）	約1カ月間
	海外学習活動（アジア地域の観光開発）	約1カ月間
	海外学習活動（アフリカ研究）	約1カ月間
	海外学習活動（グローバルリーダーの養成）	約1週間
理工学部	海外理工学プログラムA（企業体感プログラム in シリコンバレー）	約1週間
	海外理工学プログラムB（Coral & Forest Study in Tropical Area）	約10日間
	海外理工学プログラムB（Introduction to Scientific Diving）	約10日間
	海外理工学プログラムB（Geoscience Program）	約1週間
	海外理工学プログラムB（発酵醸造学）	約8日間
総合政策学部	フィールドワーク（海外短期）	
	フィールドワーク（海外中期）	
	インターンシップ（海外短期）	
	インターンシップ（海外中期）	
	ソノマ州立大学英語研修&フィールドワーク（オンライン）	約1カ月間
	中国上海・蘇州フィールドワーク	約1週間
	台湾フィールドワーク	約1週間
	フィリピンフィールドワーク	10日間
人間福祉学部	社会起業フィールドワーク（海外）	約2週間
	社会起業インターンシップ（国内・海外）	6週間
	人間福祉グローバル演習A～H	約1～2週間
	福祉社会フィールドワーク	約1週間
	人間科学フィールドワーク	約2週間
教育学部	海外ボランティア実習（US"アシスタントティーチャー"ボランティア）	約2週間
	海外ボランティア実習（オーストラリア幼児教育プログラム）	約2週間
	海外ボランティア実習（セブ島ボランティア～Learn English & Volunteer with Children～）	約2週間
国際学部	EUフィールド・スタディー	約2週間
	Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership, and Strategy	約2週間
理学部	海外理学プログラムA（企業体感プログラム in シリコンバレー）	約1週間
	海外理学プログラムB（Coral & Forest Study in Tropical Area）	約10日間
	海外理学プログラムB（Introduction to Scientific Diving）	約10日間
	海外理学プログラムB（NTU-KGU On-line program 地球と環境）	約1週間
	海外理学プログラムB（発酵醸造学）	約8日間
工学部	海外工学プログラムA（企業体感プログラム in シリコンバレー）	約1週間
	海外工学プログラムB（Coral & Forest Study in Tropical Area）	約10日間
	海外工学プログラムB（Introduction to Scientific Diving）	約10日間
	海外工学プログラムB（NTU-KGU On-line program 地球と環境）	約1週間
	海外工学プログラムB（発酵醸造学）	約8日間
生命環境学部	海外生命環境学プログラムA（企業体感プログラム in シリコンバレー）	約1週間
	海外生命環境学プログラムB（Coral & Forest Study in Tropical Area）	約10日間
	海外生命環境学プログラムB（Introduction to Scientific Diving）	約10日間
	海外生命環境学プログラムB（NTU-KGU On-line program 地球と環境）	約1週間
	海外生命環境学プログラムB（発酵醸造学）	約8日間
建築学部	建築学国際プログラム	約2週間

融合プログラム

提供部署	科目名称
国際教育・協力センター/CIEC	CCC Global Internship in Japan
	CCC Global Career Seminar in Japan
	インドネシア交流セミナーB
	グローバルPBL
	多文化共修科目
	総合日本学習科目（KGU Summer School科目含む）
神学部	Theology in Dialogue
	Mission in DialogueB
社会学部	比較社会演習B
法学部	法学・政治学国際交流セミナー
商学部	会計学特論A（112）【英語で学ぶLEGO戦略会計】
総合政策学部	日本学総論 ※2019年度以降開講分のみ対象
人間福祉学部	Human Welfare and International Development
	グローバル化社会と福祉
教育学部	海外オンラインセミナー・交流プログラム（多文化共生）
	海外オンラインインターンシップ・交流プログラム（日本語教師アシスタント）
国際学部	The European Union: History, Politics & Economy（COIL/VE型）
	Contemporary Chinese Society and Culture（COIL/VE型）
	Japanese Corporate Governance（COIL/VE型）
	Introduction to ASEAN:Society,Economy,and Politics A/B(Short-term-Version)

ハンズオン・ラーニング・プログラム

ハンズオン・ラーニングセンター

全学科目

開講部署	科目名
	ハンズオン・アドバンストⅠ・Ⅱ
	ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ
	ハンズオン・プラクティス
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和FW）
	社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）
	社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（大阪・上本町）
	平和学特別演習「ヒロシマ」
	キャリアゼミA・B・C
	震が関セミナー
	ライフ・キャリア リーダーシップ実習
	ライフ・キャリア発展演習
	ライフ・キャリア実践演習
	ライフデザインと仕事A（日本企業編）・B（外資系企業編）
	インターンシップ実習
	PBL特別演習002（JETRO×産業研究所連携講座）
	PBL特別演習005（アントレプレナー養成講座）
	PBL特別演習007（阪急阪神HD（株）と続む社会課題）
	PBL特別演習008（福島で学ぶ復興と原発問題）
	PBL特別演習009（三木市・旧市街地FW）

学部独自科目

開講部署	科目名
神学部	キリスト教社会実習
	キリスト教と社会A・B
	教会と礼拝体験
文学部	美学芸術学基礎実習
	地理学地域文化学実習A・B
	エクスカーション Ⅰ・Ⅱ
	臨床心理科学実習A（心理調査）
	日本文学特殊講義6（神戸文学館）
社会学部	社会調査実習
法学部	国内フィールドワーク演習A・B・C・D
	議員インターンシップ実習
経済学部	国内フィールドワーク演習A・B・C・D
	国内フィールドワーク実習
商学部	ビジネスプロジェクト
理工学部	臨海実験
	地学実験A
	地球環境科学実験
総合政策学部	フィールドワーク（国内短期）
	フィールドワーク（国内中期）
	インターンシップ（国内短期）
	インターンシップ（国内中期）
	里山実習
	総合政策演習（パークマネジメント）
	都市政策演習（柏原まちづくりプロジェクト）
	都市政策演習（ゆるやかなつながりプロジェクト）
	都市政策演習（都市と建築 空間フィールドスタディ）
	都市財政論（西脇市都市経営フィールドワーク） ※2019年度以前開講分のみ対象
	総合政策トピックスA
	環境測定実習
	メディア制作演習（表現）
	メディア制作演習（社会情報デザイン）
	公共政策課題研究A ※2020年度以前開講分のみ対象
人間福祉学部	ソーシャルワーク実習
	精神保健福祉援助実習
	社会起業フィールドワーク（国内）
	社会起業インターンシップ（国内・海外）
	ソーシャルワーク・インターンシップ
	医療ソーシャルワーク・インターンシップ
	社会起業アドバンスト・インターンシップ
	学校ソーシャルワーク実習
	福祉社会フィールドワーク
	人間科学フィールドワーク
	社会起業プラクティス
	野外教育指導実習Ⅰ
	ソーシャルワーク実習入門
	日本のシニアビジネスの課題と展望
	野外教育実習A
	野外教育実習B
	野外教育指導実習Ⅱ
	社会起業調査実習
	人間科学実習入門
教育学部	実地教育研究（実習）
	地域社会論
国際学部	ベンチャービジネス創成
理学部	地学実験A
工学部	地学実験A
生命環境学部	臨海実習
	地球環境科学実験

副専攻プログラム

提供部署	プログラム名
国際教育・協力センター/CIEC	複数分野専攻制特別プログラム（CCS） ※2016年度以降入学生は募集停止
国連・外交統括センター	複数分野専攻制特別プログラム（国連・外交プログラム）
各学部、言語教育研究センター	複数分野専攻制プログラム
文学部	文学部内副専攻プログラム
社会学部	社会調査士
	認定心理士(心理調査)
法学部	法曹養成連携プログラム
総合政策学部	建築士プログラム
	社会調査士 ※2018年度以前入学生対象
	グローバルキャリアプログラム(GCaP)

関西学院大学　研究倫理について

▶ 貴方も責任ある研究者です。

「研究者」とは教員に限らず、**本学において研究活動に従事する者すべてを含みます。**
学部学生も、研究活動（各種調査におけるアンケートの実施やゼミ研究、研究リポート作成、卒業論文執筆など）に関わる際は、**「研究者」に準ずる者とみなされます。**

「関西学院大学　研究倫理規準　第 2 条」より

関西学院大学はキリスト教主義によってたつ教育研究機関であり、スクールモットーの Mastery for Service の精神に基づき、社会の信頼に支えられた高い倫理性をもって教育研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元することに、その本旨がある。

●研究者は、研究成果の発表における捏造、改ざん、盗用、重複発表、その他の研究活動における不正行為を行ってはならない。特許出願において虚偽を行ってはならない。また、研究活動における利益相反の発生に十分な注意を払い、相反が発生する場合には情報を開示し、適切な管理を行わねばならない。

●研究者は、研究活動にあたって、関係する個人の尊厳および人権を尊重しなければならない。また、研究活動に伴う守秘義務を厳守し、活動の過程において知り得た個人情報の保護に努めなければならない。

●研究者は、研究活動において装置、機器、薬品、材料などを用いるときは、関係する法令、本学の諸規則、学会等の指針を遵守し、環境、安全へ配慮しなければならない。

●研究者は、研究活動において、学生や共同で研究を行う者に対して正当な理由なくして不利益を与えてはならない。

「関西学院大学 研究活動に関する指針」より抜粋

▶ 研究活動上の不正行為

以下 3 つの行為は、文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の中で、「特定不正行為」と位置付けられています。

■ 試資料等の捏造　■ 試資料等の改ざん　■ 試資料等の盗用

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

■ 恣意的に取得した試資料等の利用　■ 不適切な著作者表示　■ 不適切な重複発表　■ 訂正の不作為

研究活動の倫理とは？

●研究者は、研究活動における責任を自覚し、研究成果の客観性を歪めることがないよう、良心と信念に従って研究を遂行しなければならない。

●研究者は、個人の尊厳及び人権の尊重、並びに個人情報の保護に留意し、科学的かつ社会的に妥当な方法、研究を遂行する義務を負います。

●研究者は、研究の遂行上、関連する法令等に従うとともに、本学諸規程、所属する学会・団体等の倫理規準等を遵守しなければならない。

「関西学院大学 研究倫理規準」より抜粋

【参考文献】1.「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」文科省 平成 26 年　2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」文科省 平成 18 年

研究活動上の不正行為とは？

文科省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」上の「特定不正行為」

捏　造

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

【事例】　ディオバン臨床研究不正事件
K 医科大学の教授らが行った高血圧治療薬（降圧剤）の臨床研究において、その薬に有利になるようにデータが人為的に操作されていた。
本件においては、薬の販売元である N 製薬会社の日本法人社員が、K 医科大学を含む複数の大学で行われた臨床研究で、N 製薬会社所属という身分を隠して参加し、論文作成にも関与していた。

【処分】　退職、退職金の自主返納

改ざん

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

【事例】　画像の流用等のデータ改ざん
学外の告発者からの指摘により、研究者の研究論文に捏造（方法論が同じ代表的な実験データの流用）、改ざん（見栄えを良くするための画像代用）、二重投稿（3 つの論文において、画像及び大部分の文章が他の論文と同一（注）。また、一つのデータを二つの論文に掲載。）が発覚した。
（注）　研究者は、投稿した一方の学術誌を、研究会の抄録であると誤認して投稿したものであり、故意によるものではなかった。

【処分】　当該教授は諭旨退職、共著者等も処分対象

【参考文献】「研究者の不正行為についてのお詫びとご報告」 D 医科大学 HP　平成 24 年 2 月 3 日

※「捏造」と「改ざん」は、定義上、区分されているが、実際には、上記の様な、これらが混在した複合的な事案等も存在するため、厳密な分類が難しい場合がある。

盗　用

他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること。

【事例】　W 大学論文不正問題
平成 23 年 3 月に学位取得した博士論文について、著作権侵害行為（インターネットからの文章のコピー・アンド・ペースト、バイオ関連企業サイトの画像との酷似）、意味不明な記載（画像に対応する記載の不備）、整合性がない箇所（根拠論文の記載内容との矛盾）等が指摘された。

【処分】　概ね一年間程度の猶予期間において、博士論文指導と研究倫理の再教育を受け、論文を訂正した場合は、学位が維持できるものとされた。これが適切に履行できないときは、当然に学位は取り消される。

【参考文献】1. 調査報告書　W 大学　大学院先進理工学研究科における博士学位論文に関する調査委員会　平成 26 年 7 月 17 日　　2. 会見発表　W 大学 HP　平成 26 年 10 月 7 日

その他、本学では以下の行為も不正行為として位置付けています。

- **恣意的に取得した試資料等の利用**
  計測・実験機器の操作や調査方法の決定等を恣意的に行うことによって、正当な方法では得られない試資料等を取得し、利用すること。
- **不適切な著作者表示**
  当該の研究活動に無関係の他者を著作者に加えたり、共同研究者を適正な形で著作者に含めなかったりすること。
- **不適切な重複発表**
  既発表の成果を新規なものであると偽って再び発表すること。
- **訂正の不作為**
  発表した研究成果に重要な間違いを発見しながら、当該成果の取り下げや訂正発表等の適切な処置を行わないこと。

【参考文献】1.「わが国における研究不正 ~ 公開情報に基づくマクロ分析（1）」独立行政法人科学技術振興機構　2013 vol.56 no.3
2.「研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて　～研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書」 文科省　平成 18 年

本学の研究活動における不正行為防止等の体制、関係規則、及び事例を URL にて紹介しています。
URL: **https://www.kwansei.ac.jp/kenkyu/kenkyu_010053.html** 「研究活動上の不正行為防止への取り組み」

研究活動上の不正行為に関する相談・告発等の窓口

研究推進社会連携機構事務部
E-mail : fuseisoudan@kwansei.ac.jp
（西宮上ケ原キャンパス）TEL 0798-54-6104 ／ FAX 0798-54-6905　　（神戸三田キャンパス）TEL 079-565-9052 ／ FAX 079-565-7910
※告発者は「関西学院大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」に基づき、不利益な取扱いを受けることがないよう保護されます。

Ⅳ　一般注意事項

1．学　生　証

学生証は常に携帯してください。試験や手続きの際は、必ず学生証の呈示が求められますので、紛失・汚損等の場合は早急に取扱窓口にて再発行手続きをとってください（再発行手数料が必要）。

キャンパス	西宮上ケ原	神戸三田	西宮聖和
取扱窓口	学生課	キャンパス事務室	教育学部

2．掲示・教学 Web サービス（※）

大学における**学生への連絡・通知は掲示および教学 Web サービス（※）による**ことを原則としています。

登校時には必ず掲示板を、また定期的に教学 Web サービス（※）を確認してください。掲示・教学 Web サービス（※）を見なかったという理由で責任を逃れることはできません。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われますので、十分に注意してください。

なお、事務室への電話による問い合わせには一切応じません。

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法や上記ルールの変更など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

3．学部事務室開室時間

キャンパス	学部	事務室開室時間
西宮上ケ原	神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・国際	月～金曜日　8：50～11：30、12：30～16：50
西宮聖和	教育	
神戸三田	理工・総合政策・理・工・生命環境・建築	月～金曜日　9：00～11：30、12：30～17：00

※土曜日は事務室を開室しません。

なお、夏季休業中、冬季休業中の事務室開室日および時間については、掲示により通知します。

4．各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出てください。

現住所の変更については、教学 Web サービス（※）で修正してください。

（※）2021年夏から新しいポータルサイトに移行します。

5．パソコンの利用

学内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができます。ただし、パソコン教室は授業で使用することがあるため、授業利用時以外（オープン利用時）のみ使用できます。各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は、http://pcstatus.kwansei.ac.jp/pclist/pc/ の「PC 教室空席状況」で確認することができます。

また、個人所有のデバイス（スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど）を学内のネットワークに接続して利用することもできます。

6．証明書等

■証明書発行機の設置場所

設置場所		台数	利用時間帯
西宮上ケ原	学生サービスセンター 1階	2台	月～金曜日　8：50～16：50
	大学図書館 1階	1台	
	G号館 1階	1台	
神戸三田	Ⅰ号館 1階	1台	月～金曜日　9：00～17：00
	Ⅵ号館 1階	1台	
大阪梅田	アプローズタワー14階（ラウンジ）	2台	月～金曜日　10：30～21：00 土　曜　日　10：30～20：00 日　曜　日　10：30～17：00
西宮聖和	Ⅰ号館 1階 （教育学部・短期大学事務室前）	2台	月～金曜日　8：50～16：50

注）メンテナンス等により利用時間帯であっても使用できない場合があるので注意してください。

利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要です。パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の誕生日（1月7日生まれの場合は「0107」）があらかじめ発行機に登録されています。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更（証明書発行機で変更可能）を行ってください。

■証明書発行機で発行する証明書

○：発行可　　×：証明書発行機による発行不可

種類	和文	英文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書（発行開始日は掲示で告知）	○	○
健康診断証明書（保健館のホームページに発行方法を掲載）	○	×
教育職員免許状取得見込証明書（発行開始日は掲示で告知）	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書（発行期間は掲示で告知）	○	○

■上記以外の各種申込書

証明書発行機で関係する各種「申込書」を購入のうえ、所属学部等事務室に申し込んでください。発行は、原則として申し込みの翌日、証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるため、余裕を持って申し込んでください。

7．授業の欠席

本学には「公欠」制度はありません。病気や身内の死亡等でやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前（不可能であれば事後）に直接授業担当者に相談してください。

■「学校保健安全法施行規則」に定める「学校において予防すべき感染症」のための登校停止の場合

罹患または罹患した疑いがある場合は、学内感染を予防するため登校停止としていますので、ただちに次の URL または QR コードから申請をしてください。教務上の配慮を行います。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibNINnIs33MiX2EzHdLv45lgi7jE2ZUMUEwWkpSTlpZSEc1Qk1aVUwzRTc3TzRTMCQlQCN0PWcu

※ログインを求められますので、関学の ID・パスワードを入力してログインしてください。

なお、主治医から登校許可が出たら、「学校感染症・登校許可証明書」を記載してもらい、必ず登校時に学部事務室へ提出してください。届出がない場合は、登校停止期間が確定できないため、教務上の配慮はできません。詳細は教務機構ホームページ（https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs）「感染症への対応について」を確認してください。

■裁判員制度による候補者として裁判員等選任手続きへの参加や裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合

呼出状を持参のうえ、所属学部事務室に申し出てください。教務上の配慮を行います。

8．授業の長期欠席

病気等によって１ヵ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行ってください。

9．学　　費

春学期と秋学期の２回に分けて学費を納入するシステムをとっています。

保証人の方に学費納入用紙を郵送しますので、各学期の納入期限までに納入してください。納入期限は曜日により前後することがありますので、詳しくは学費納入用紙を参照してください。

〈学費納入期限〉　春学期：５月19日
　　秋学期：11月９日

なお、学則で別途定める期限までに学費を納入できない場合には除籍となります。詳細については学費納付規程を確認してください。

〈延納手続〉

期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができます。
納入期限までに所属学部事務室で詳細確認の上手続きをしてください。

10．各 種 相 談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用してください。その他、学生生活の各種相談は学生活動支援機構、留学の相談は国際教育・協力センター、就職の相談はキャリアセンターで受け付けています。

また、総合支援センター学生支援相談室ではカウンセラーによる相談も行っています。健康上の問題については保健館を利用してください。

Ⅴ　卒業延期制度について

学部に４年以上在学し、卒業に必要な単位を修得した場合でも、卒業延期願を所属学部に申請し許可されれば、１回に限り卒業を延期することができる。**（最大１年）**

ただし、卒業延期期間中も含め、８年を越えて在学することはできない。

（参考：休学期間は、在学年数に算入しない。）

卒業延期の条件

◎卒業延期の申請はセメスター単位で最大２セメスター（１年間）まで。
◎２セメスター延期の場合は、初めの１セメスターを休学することもできる。
◎適用された卒業延期の取り消しは認めない。（適用期間の変更も認めない）

ケース１：１セメスターを延期する場合

卒業延期開始……→ 半年後

在学	卒業

ケース２：２セメスターを延期する場合

卒業延期開始……→ １年後

在学	在学	卒業

ケース３：２セメスターを延期し、かつ初めの１セメスターを休学する場合

卒業延期開始……→ １年後

休学	在学	卒業

申請手続き

所属学部の事務室で「卒業延期願」を受け取り、必要事項を記入、学生本人・保証人連署のうえ、秋学期卒業については原則として２月末まで、春学期卒業については原則として８月までに所属学部の事務室に提出する。なお、手続き後に急な進路の決定や取消し等の変更があった場合は、所属学部事務室に届出る。（締切日が事務室閉室日の場合は、翌業務日までとする。）

ただし、「卒業延期願」を申請しても、卒業判定の結果、卒業の要件を満たさなかった場合は、申請は無効となる。次回以降の卒業スケジュールで卒業を延期する必要がある場合は、改めて申請すること。

学　費

在学時……通常の学費・その他の諸費が必要
休学時……休学在籍料が必要

B．理工学部　カリキュラム
（2019・2020年度入学生）

はじめに

この「授業科目履修心得」は、関西学院大学学則や理工学部内規などをもとにして、皆さんが理工学部において履修を行うにあたり必要となる知識をまとめ、解説したものです。

よりよい履修を行うために、「関西学院大学 学則」「授業実施要綱」「大学に関する諸規程」さらには「教職課程等履修要項」などもあわせて熟読し、理工学部のカリキュラムや授業内容をよく理解した上で学習計画を立てて下さい。「シラバス」が Web 上で公開されており、各回の授業内容を掲載しているので参考にして下さい。

また、「大学院・理工学研究科について」、「理工学部における一般注意事項」なども必ず確認しておいて下さい。

履修登録やその他の諸手続きに関して不明なことがあった場合には、自己判断に頼らず、副学部長・学部長補佐か担任教員あるいは事務室の職員に質問して下さい。

なお、今後、各種の連絡は、教学 Web サービスを通じて行いますので、掲示内容によく注意して下さい。

Ⅰ　理工学部の理念・目的・教育目標

理工学部の基礎になっている理学部は、1961年の創設以来、物理学科、化学科の２学科で活動を行い、自然科学の基礎的分野の教育と研究を行ってきた。21世紀に大きな発展が予見される情報科学と生命科学の分野を充実し、工学的な領域にまで教育と研究の拡充をはかり、社会との繋がりをより一層強めていくために、2002年４月に情報科学科と生命科学科を新設し、理学部を理工学部に改組した。さらに2009年４月に数理科学科と人間システム工学科を新設し、６学科体制となり、2015年４月には先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科を新設し、９学科体制となった。

理工学部は、「自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する。」ことを理念としてその教育・研究活動を行っている。

この理念のもとに、理工学部は次の目的を掲げる。

1）自然科学・科学技術の幅広い分野にわたり、基礎的研究を中心におきながら応用も視野に入れ、それぞれの分野が相互に緊密な連携を保ちながら常に先端的でレベルの高い研究を行う。
2）しっかりとした自然科学の基礎知識と能力を身につけ、基礎を応用に繋げていくことが出来る柔軟な思考力を養い、未知の問題を発見していく能力と、その未知の問題に果敢に挑戦し、解決していくことが出来る能力に優れた、創造性に溢れた人材を育成する。
3）自然科学・科学技術の知識と能力とともに、幅広い教養を養い、キリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備えた人材を育てる。
4）社会との強い繋がりを絶えず念頭に置き、自然科学を通して社会に大きなインパクトを与え、また、その技術的応用を通して、人類の進歩に寄与することが出来る教育と研究ならびに人材の育成を行う。

この目的を実現するために、次の教育目標を設ける。

1）自然科学・科学技術の幅広い分野にわたって基礎知識と能力を修得し、多様な教養教育により人格形成に努めるとともに広い視野を養い、社会のいろいろな分野で活躍することができる人材を育成する。
2）実験科目、演習科目、卒業研究を重視し、これらの科目を通して、自然科学・科学技術の最新の研究に携わる機会を持ち、自然科学の真理を探究していくことの楽しさと感動を身近に体験するとともに、自然科学の知識や能力を社会に活かしていくための応用的能力を養う。
3）英語の能力は、自然科学・科学技術を学ぶ上で必須の要件であり、研究の成果を世界に向けて発信していくためにも不可欠である。英語に強い理系の人材育成を目指し、英語教育に力を入れる。

理工学部の人材育成目標

【理工学部】
自然科学・科学技術の幅広い分野にわたり、基礎から応用まで相互に連携しつつ、常に先進的でレベルの高い研究を行う。また、確固とした専門的知識と研究技法を身につけ、基礎知識を課題解決に繋げる柔軟な思考力を養うとともに、未知の問題を発見し挑戦していく創造力あふれる科学者・技術者を育てる。さらに、専門的能力に加えて幅広い教養教育およびキリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備え、国際的に活躍し社会貢献できる世界市民を育成する。

〈数理科学科〉
自然科学を学ぶ上で不可欠であり、自然科学のどの分野においても極めて重要な役割を果たしている数学を、理論と応用の両面から教育・研究し、柔軟で論理的な思考能力を持つ人材を育成する。数学の基礎理論を身につけ、数学的能力、コンピュータを思考の道具として駆使していく能力、数学の応用能力を養い、理系はもとより文系の分野も含めて幅広い分野でその能力を発揮できる人材を育てる。

〈物理学科〉
物理学の理解に必要な数学の基礎知識と応用力を習得し、力学・電磁気・熱現象等のマクロな物理学から量子力学、相対性理論、統計力学等の現代物理学までの物理法則の深いレベルでの理解をはかる。実験や演習を通して基礎と応用の両面で論理的思考能力と専門性を必要とする職業に対応できる能力を培うと同時に、視野を広め、既成の概念や常識に挑戦し、他の学問領域に進出していくことができるだけのチャレンジ精神と創造性を有する人材の育成をはかる。

〈先進エネルギーナノ工学科〉
グリーンイノベーションの基盤となる、エネルギーを「創る」、「蓄える」、「運ぶ」、「有効に使う」の４つの分野において、基礎から応用までの幅広い知識を学生に獲得させる。物理学・化学・数学の学習をベースに、次世代のエネルギー創生、蓄積、輸送、変換をナノテクノロジーを駆使して実現する創造力（イノベーション力）を養い、我が国が抱えるエネルギー問題に新たな視点から取り組むことのできる人材を育成する。

〈化学科〉
化学の基礎である物質の構造・物性・反応について、とくに物質の構造や機能の分子レベルでの解明法、既知・新規機能物質の合理的な合成法等を教授し、将来、研究・開発に携わることのできる優れた人材を育成する。さらに、現代社会のニーズに応じた明瞭な社会貢献を目指し、既存の化学から新領域へ挑戦できる人材を養成する。

〈環境・応用化学科〉
地球環境問題に関連するさまざまな課題に対して化学を基軸としたアプローチによって柔軟に取り組み、国際的に活躍できる個性豊かな人材の育成を目指す。具体的には、原子・分子の世界から地球レベルの問題まで幅広い知識と深い専門性を有し、多角的な視点を身につけることによって、環境・応用化学分野に深い関心を抱き、新しい課題に挑戦する情熱と知恵を持った人材の養成をはかる。

〈生命科学科〉
環境、食糧、エネルギー、医療など、21世紀の重要課題の解決および環境との調和を保つ社会構築に貢献する研究、教育および社会連携を目標とする。広い視野にたった倫理観を有し、生命現象を分子レベルから理解する基礎能力を修得し、応用できる人材を養成する。

〈生命医化学科〉
先端医療や製薬など、ヒトの疾病治療や健康維持に貢献するために、医化学を共通の基盤として生命科学や情報学を基礎医学系分野に応用できる人材の養成を目指す。ヒトの細胞やマウスなどの哺乳動物モデルを用い、生命科学や情報学の知識および生命に対する健全な倫理観を有する人材を育てる。

〈情報科学科〉
健全な情報化社会をリードし、新たな情報技術を創造できる人材の育成を目指す。特に高度情報化社会に必要なソフトウエアと情報ネットワークを中心とした技術の開発・研究に従事する技術者の養成を行う。また、情報科学以外の自然科学・社会科学の分野とも繋がりを強め、情報通信産業、ソフトウエア産業及びコンテンツ産業に高度な知識を持った人材を供給し、新しい科学・技術・文化の領域において社会貢献を果たす。

〈人間システム工学科〉
人間をトータルシステムとして探求する工学的視点を中心に据え、メディアやロボティクス等の魅力ある動機付けのもとに、その基礎となる数理科学を確実に身につけさせる。演習を重視したカリキュラムにより、感性・脳科学、信号処理、制御、センサなど現実に即した課題の学習・研究を通して論理的思考力・問題解決力・自己管理力・リーダシップ等を兼ね備えた学生を輩出し、新しい文化の形成において社会貢献を果たす。

理工学部数理科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部数理科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 数理科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 数理科学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部数理科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部数理科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、基礎科目、コンピュータ科目、発展科目)、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部数理科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「コンピュータ科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部数理科学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 / カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目				○						
	基礎科目				○						
	コンピュータ科目					○			○		
	発展科目						○	○			○
	専門選択科目		○	○							

理工学部物理学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

物理学科では理工学部の教育理念の下で、物理学の分野において、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤とした教育研究を行ない、人類の進歩に資する人材を輩出する。ここに、物理学科は学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 物理学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 物理学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部物理学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部物理学科おける授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は物理系科目（卒業研究科目、コア科目、実験科目、選択科目）、数学系科目、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部物理学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「物理系科目」

「卒業研究科目」

4年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「コア科目」

各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「実験科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「数学系科目」

基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部物理学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ／ カリキュラム・ポリシーの科目群			1		2					3		4
			(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目		○									
	英語教育科目										○	
	総合選択科目				○							
専門教育科目	物理系科目	卒業研究科目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コア科目				○						
		実験科目				○	○	○		○	○	
	数学系科目					○						
	専門選択科目					○	○	○		○	○	

理工学部先進エネルギーナノ工学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部先進エネルギーナノ工学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 先進エネルギーナノ工学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 先進エネルギーナノ工学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部先進エネルギーナノ工学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部先進エネルギーナノ工学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目〈数学系、物理系、化学系〉、実験科目、発展科目、先端科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部先進エネルギーナノ工学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「実験科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「先端科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部先進エネルギーナノ工学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 / カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○	○		○
	基礎科目				○						
	実験科目				○	○			○		
	発展科目						○				
	先端科目							○			
	専門選択科目			○							

理工学部化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 化学における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 化学における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

［総合教育科目］

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

［専門教育科目］

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「実験科目」

化学における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「物理分析化学科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「有機無機化学科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部化学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ／ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○			○
	実験科目				○	○			○		
	基礎科目				○						
	物理分析化学科目						○	○			
	有機無機化学科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部環境・応用化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部環境・応用化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 環境・応用化学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 環境・応用化学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部環境・応用化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部環境・応用化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部環境・応用化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「数学・物理科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「地学・生命・情報科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部環境・応用化学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 / カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○			○
	数学・物理科目				○	○					
	地学・生命・情報科目				○	○					
	基礎科目				○						
	発展科目						○	○	○		
	専門選択科目			○							

理工学部生命科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部生命科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 生命科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 生命科学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部生命科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部生命科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、発展科目、先端科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部生命科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「基礎科目」

主に１学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目」

主に２学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「先端科目」

主に３学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部生命科学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ＼ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○	○	○	○
	基礎科目				○	○					
	発展科目						○	○			
	先端科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部生命医化学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部生命医化学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 生命医化学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 生命医化学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部生命医化学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部生命医化学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部生命医化学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「先端科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部生命医化学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ＼ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	卒業研究科目		○					○		○	○
	基礎科目			○					○		
	発展科目				○				○		
	先端科目					○	○				
	専門選択科目			○							

理工学部情報科学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部情報科学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 情報科学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 情報科学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部情報科学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部情報科学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部情報科学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「必修科目（卒業研究科目を除く）」

低学年時に配当し、専攻分野において必須の基礎的な知識と技能を講義・実習を通じて習得させる。

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「情報科学実習科目」

情報科学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「人間システム工学実習・実験科目」

人間システム工学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目・人間システム工学系科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部情報科学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ／ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目（卒業研究科目を除く）				○	○			○		
	卒業研究科目		○					○			○
	情報科学実習科目				○	○			○		
	人間システム工学実習・実験科目						○				
	基礎科目				○						
	発展科目・人間システム工学系科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部人間システム工学科のディプロマ・ポリシー

関西学院は、キリスト教主義に基づく全人教育によって「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命としており、その実現に向けて、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwansei コンピテンシー」と定め、これを大学教育に通底するものとして位置づける。

そして自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部人間システム工学科の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 人間システム工学分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 人間システム工学分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部人間システム工学科のカリキュラム・ポリシー

理工学部人間システム工学科における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目にて構成し、専門教育科目は必修科目、選択必修科目（人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目）、専門選択科目にて構成する。各科目群については理工学部人間システム工学科ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「総合選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「必修科目（卒業研究科目を除く）」

低学年時に配当し、専攻分野において必須の基礎的な知識と技能を講義・実習を通じて習得させる。

「卒業研究科目」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「人間システム工学実習・実験科目」

人間システム工学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「情報科学実習科目」

情報科学分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「基礎科目」

主に低学年次に配当し、専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展科目・情報科学系科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「専門選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部人間システム工学科　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ／ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	キリスト教科目	○									
	英語教育科目									○	
	総合選択科目			○							
専門教育科目	必修科目（卒業研究科目を除く）				○	○			○		
	卒業研究科目		○					○			○
	人間システム工学実習・実験科目				○	○			○		
	情報科学実習科目						○				
	基礎科目				○						
	発展科目・情報科学系科目						○	○			
	専門選択科目			○							

理工学部の履修モデル

履修モデル　数理科学科

	総合教育科目						専門教育科目																修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目	単位	コンピュータ科目	単位	発展科目	単位	専門選択科目	単位							
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 論理学 哲学 経済学 心理学 法学 教育原論 体育方法学講義Ｃ 社会学 科学倫理 近代日本とアジア 発達・学習過程論 体育方法学演習Ｃ	8	微分積分Ⅰ 線形代数Ⅰ	4 4	数学入門演習 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ	2 4 4	コンピュータ演習Ａ	2									
	小計	4		6		8	小計	8	小計	10	小計	2	小計	0	小計	0							38
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境学 芸術と技術 西洋史 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8			基礎解析学Ⅰ 応用数理入門 基礎解析学Ⅱ 関数論入門 集合と位相 幾何入門 代数入門	4 2 2 2 4 2 2	数式処理演習Ⅰ 数式処理演習Ⅱ	2 2			情報科学概論 人間システム工学概論	2 2						
	小計	0		6		8	小計	0	小計	18	小計	4	小計	0	小計	4							40
3年									解析学Ⅰ 常微分方程式 複素解析 幾何学Ⅰ 応用数理Ⅰ 基礎物理学Ａ 解析学Ⅱ 偏微分方程式 確率統計Ⅰ 確率統計Ⅱ 幾何学Ⅱ 基礎物理学Ｂ	4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2					科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ	2 2				
	小計	0		0		0	小計	0	小計	32	小計	0	小計	0	小計	4							36
4年													解析学Ⅲ 幾何学Ⅲ 代数学Ⅲ 数理科学特別演習Ⅰ 数理科学特別演習Ⅱ	2 2 4 4									
	小計	0		0		0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0							14
卒業必要単位数	4		12		16		8		60		6		14		8								
	32										96												128
	128																						

履修モデル　物理学科

	総合教育科目						専門教育科目																修得単位数
							物理系科目										数学系科目		学科共通				
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	卒業研究科目	単位	コア科目	単位	実験科目	単位	選択科目	単位			選択必修科目	単位	専門選択科目	単位			
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 哲学 論理学 経済学 心理学 法学 教育原論 体育方法学講義Ｃ 西洋史 社会学 科学倫理 発達・学習過程論 体育方法学演習Ｃ	8			力学Ⅰ	2			次より４単位を選択 物理学序論 サブゼミ デモンストレーション物理Ⅰ	4			次より８単位を選択 微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ	6 6	次より10単位を選択 宇宙物理学入門 化学概論 生命科学Ⅰ 情報科学概論 基礎化学Ｃ 生命科学Ⅱ 生命科学入門実験 人間システム工学概論	10		
	小計	4		6		8	小計	0	小計	2	小計	0	小計	4	小計	6	小計	6	小計	10			40
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境学 芸術と技術 環境教育 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8			力学Ⅱ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 量子力学Ⅰ	2 2 2 2	基礎物理学実験Ⅰ	2	次より６単位を選択 デモンストレーション物理Ⅱ 解析力学 熱力学 基礎物理学演習	6	次より８単位を選択 物理のための微積入門 線形代数学Ⅲ 関数論入門 物理と確率 物理数学Ⅰ	6	コンピュータ演習Ａ 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ	2 2 2		
	小計	0		6		8	小計	0	小計	8	小計	2	小計	6	小計	6	小計	6	小計	2			38
3年											物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ	3 3	次より12単位を選択 構造物性学 物理学演習 宇宙物理学 電気力学 固体電子論 特殊相対論 連続体力学 物質構造論	12	物理数学Ⅱ	2	コンピュータ演習Ｂ 科学技術英語Ａ 基礎地学Ⅰ 特別英語セミナー 科学技術英語Ｂ 基礎地学Ⅱ	2 2 2 2 2		
	小計	0		0		0	小計	0	小計	0	小計	4	小計	6	小計	12	小計	2	小計	12			36
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8					次より２単位を選択 現代統計物理学 光物性物理学 高エネルギー物理学 赤外線天文学 Ｘ線天文学 電波天文学	2									
	小計	0		0		0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	2	小計	0	小計	0	小計	0			14
卒業必要単位数	4		12		16		12		14		8		24				14		24				
	32										86												128
	128																						

履修モデル　先進エネルギーナノ工学科

	総合教育科目						専門教育科目																		修得単位数
									基礎科目																
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	数学系	単位	物理系	単位	化学系	単位	実験科目	単位	発展科目	単位	先端科目	単位	専門選択科目	単位			
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	論理学 経済学 社会学 科学倫理	1 1 1 1	先進エネルギーナノ工学入門 先進エネルギーナノ工学概論	2 2 2 2	線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 微積分学Ⅱ	2 2 2 2	力学Ⅰ 物理学序論	2 2	ナノケミストリーⅠ 基礎化学Ａ 基礎化学Ｂ	2 2 2	基礎化学実験Ⅰ	2					基礎化学Ｃ 生命科学Ⅰ 生命科学入門実験	2 2 2				
	小計	4		6		8	小計	8	小計	4	小計	8	小計	6	小計	2	小計	0	小計	0	小計	6			48
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	自然科学史 サイバー社会入門 環境学 西洋史	1 1 1 1		2 2 2	物理数学Ⅰ 物理数学Ⅱ	2 2	電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2 2 2 2	ナノケミストリーⅡ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習	2 2 2	基礎物理学実験Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ	2 2	電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ デモンストレーション物理Ⅱ	2 2 2			基礎地学Ⅰ	2		
	小計	0		6		8	小計	0	小計	4	小計	8	小計	6	小計	4	小計	6	小計	0	小計	2			44
3年							先進エネルギーナノ工学詳論 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ	2 3 3									構造物性学 ナノケミストリーⅡ ナノ物性量子力学Ⅱ	2 2 2	物質設計ナノ工学 プロセス設計ナノ工学 エネルギー変換と電気化学 エネルギー電気・電子回路工学	2 2 2 2	特別英語セミナー	2			
	小計	0		0		0	小計	8	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	6	小計	8	小計	2			24
4年							外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8																	
	小計	0		0		0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0			12
卒業必要単位数	4		12		16		24		12		12		12		6		12		8		10				
	32										96														128
	128																								

履修モデル　化学科

	総合教育科目						専門教育科目																修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目 【選択必修】	単位	物理分析化学科目 【選択必修】	単位	有機無機化学科目 【選択必修】	単位	専門選択科目	単位							
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	上2年で　計16単位を選択 哲学 論理学 法学 心理学 サイバー社会入門 体育方法学講義Ｃ 経済学 自然科学史 日本国憲法 西洋史 環境学 科学倫理 体育方法学演習Ｃ 社会学 芸術と技術	8	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ	2 2	微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 基礎物理学Ａ 基礎化学Ａ 生命科学Ⅰ 基礎化学Ｃ 基礎化学実験法 （上記の中から５科目） 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 基礎化学Ｂ 基礎物理学Ｂ コンピュータ演習Ａ 情報科学概論 生命科学Ⅱ （上記の中から５科目）	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									
	小計	4		6		8	小計	4	小計	20	小計	0	小計	0	小計	0							42
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	上2年で　計16単位を選択 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	無機分析化学実験	4	(上1年次の５科目のうち２科目) 生命科学入門実験 基礎物理学実験Ⅰ 基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ	2 2 2 2 2	(この系列で７科目以上) 分析化学Ⅰ 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ	2 2 2 2	(この系列で７科目以上) 有機化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 無機化学Ⅱ	2 2 2 2 2	(この系列で10科目以上) 化学演習Ⅰ 基礎地学Ⅰ 化学演習Ⅱ 高分子化学 基礎地学Ⅱ	2 2 2 2 2							
	小計	0		6		8	小計	4	小計	2	小計	8	小計	8	小計	6							42
3年							有機化学実験 物理化学実験	4 4	化学数学	2	物理化学Ⅳ 物理化学Ⅴ 分析化学Ⅱ 物理化学Ⅵ	2 2 2 2	無機化学Ⅱ 有機化学Ⅳ 有機化学Ⅵ 有機化学Ⅳ 有機化学Ⅴ 有機化学Ⅶ	2 2 2 2 2 2	科学技術英語Ａ 特別英語セミナー 量子化学 化学演習Ⅲ 科学技術英語Ｂ 化学演習Ⅳ 環境分析化学	2 2 2 2 2 2 2							
	小計	0		0		0	小計	8	小計	2	小計	2	小計	6	小計	14							32
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8																	
	小計	0		0		0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0							12
卒業必要単位数	4		12		16		28		24		10		14		20								
	32										96												128
	128																						

履修モデル　環境・応用化学科

	総合教育科目						専門教育科目																修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	数学・物理科目	単位	地学・生命・情報科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	専門選択科目	単位					
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	心理学 経済学 社会学 科学倫理	1 1 1 1	基礎化学Ａ 環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｂ 基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅱ	2 2 2 2 2 2	線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学Ａ 線形代数学Ⅱ 基礎物理学Ｂ	2 2 2 2 2	生命科学Ⅰ	2					自然環境論	2				
	小計	4		6		8	小計	12	小計	10	小計	2	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2			44
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	自然科学史 サイバー社会入門 環境学 西洋史	1 1 1 1	基礎物理学実験Ⅰ	2 2 2			基礎地学Ⅰ	2	無機化学 基礎量子化学 分析化学 有機構造論 化学熱力学 地球環境化学 高分子化学	2 2 2 2 2 2 2	発展物理化学	2	地球環境科学実験	2				
	小計	0		6		8	小計	6			小計	2	小計	14	小計	2	小計	2					36
3年																							
	小計	0		0		0	小計	0			小計	0	小計	0	小計	0	小計	0					0
4年							外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8																	
	小計	0		0		0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0					12
卒業必要単位数	4		12		16		44		10		4		14		16		8						
	32										96												128
	128																						

履修モデル　生命科学科

	総合教育科目						専門教育科目										修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	先端科目	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	1,2年で計16単位を選択 哲学 論理学 心理学 経済学 環境学 教育原論 体育方法学講義C 西洋史 社会学 科学倫理 発達・学習過程論 体育方法学演習C	8	生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ コンピュータ演習A 生命科学入門実験	2 2 2 2	1,2年で計16単位を選択 生命有機化学 基礎化学実験Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学A 基礎化学A 化学概論 サブゼミ （臨海実験） 線形代数学Ⅰ 基礎物理学B 基礎化学B 基礎化学C プログラミング演習 生命科学倫理	14					1～4年で計12単位を選択 情報科学概論 自然環境論 人間システム工学概論	4	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	4	44
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	1,2年で計16単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 法学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ 環境学	8	生物分析化学 生命分子・生化学実験 細胞・組織学実験	2 3 3	1,2年で計16単位を選択 系統分類学	2	2,3年で計14単位を選択 薬理学 生化学 微生物学 組織学 数理生物学 データ科学演習 細胞学 発生生物学 生命代謝化学 生物統計学 分子遺伝学 生命工学	12			1～4年で計12単位を選択 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ	4	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	8	小計	2	小計	12	小計	0	小計	4	40
3年							先端生命科学実験Ⅰ 先端生命科学実験Ⅱ	8 8			2,3年で計14単位を選択 バイオインフォマティクス	2	春・秋より12単位以上を選択 植物分子生理学 器官形成学 生態システム学 遺伝子工学 染色体機能学 植物分子生物学 化学生態学 生物工学	12	1～4年で計12単位を選択 再生医学 脳神経科学 環境医化学 医学統計学 エピゲノム医化学 免疫学 病態生理学 発がん分子機構学 科学技術英語A 特別英語セミナー 科学技術英語B	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	2	小計	12	小計	4	30
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	 2 2 8							1～4年で計12単位を選択 先進エネルギーナノ工学詳論	0	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		44		16		12		12		12		128
	32						96										
	128																

履修モデル　生命医化学科

	総合教育科目						専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目【選択必修】	単位	発展科目【選択必修】	単位	先端科目【選択必修】	単位	生命科学科目【選択必修】	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	*1,2年で計16単位を選択* 哲学 論理学 法学 心理学 サイバー社会入門 体育方法学講義C 経済学 自然科学史 日本国憲法 西洋史 環境学 科学倫理 体育方法学演習C 社会学 芸術と技術	10	生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ コンピュータ演習A 生命科学入門実験	2 2 2 2	*1,2年で計16単位を選択* 生命有機化学 基礎化学実験Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学A 基礎化学A 化学概論 基礎医化学入門 線形代数学Ⅰ 基礎物理学B 基礎化学B 基礎化学C プログラミング演習 生命科学倫理	14							*1～4年で計12単位を選択* 情報科学概論 臨海実験 自然環境論 人間システム工学概論	4	
	小計	4	小計	6	小計	10	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	0	小計	4	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	*1,2年で計16単位を選択* ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	6	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ	3 3	*1,2年で計16単位を選択* 系統分類学	2	*2,3年で計14単位を選択* 薬理学 生化学 微生物学 数理生物学 データ科学演習 細胞学 発生生物学 生命代謝化学 生物統計学 分子遺伝学 生命工学 生物分析化学	12					*1～4年で計12単位を選択* 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ	4	
	小計	0	小計	6	小計	6	小計	6	小計	2	小計	12	小計	0	小計	0	小計	4	36
3年							先端医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ	8 8			*2,3年で計14単位を選択* バイオインフォマティクス	2	*春・秋より8単位以上を選択* 再生医学 脳神経科学 環境医化学 医学統計学 エピゲノム医化学 免疫学 病態生理学 発がん分子機構学	8	*3年で先端科目と併せ計12単位を選択* 器官形成学 生態システム学 遺伝子工学 染色体機能学 化学生態学 生物工学	4	*1～4年で計12単位を選択* 植物分子生理学 植物分子生物学 地学実験A（集中） 特別英語セミナー 科学技術英語A 科学技術英語B	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	2	小計	8	小計	4	小計	4	34
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	 2 2 8									*1～4年で計12単位を選択* 先進エネルギーナノ工学詳論	0	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		42		16		14		8		4		12		128
	32						96												
	128																		

履修モデル　情報科学科　（情報システムコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	情報科学実習科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	人間システム工学系科目	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	情報科学概論 キャリアデザイン論 コンピュータ演習A プログラミング実習Ⅰ	2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2			人間システム工学概論 メディア工学基礎	2 2	生命科学Ⅰ	2	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	4	小計	2	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然社会史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ プログラミング実習Ⅲ	2 2					情報科学のための確率・統計 情報科学のための数学演習 情報理論 ネットワーク データ構造とアルゴリズム データベース 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2 2 2 2 2 2	次より4単位を選択 数理論理学 基礎物理学A ディジタル信号処理 基礎物理学B	4	次より4単位を選択 メディア・ロボット実験 ヒューマンコンピュータインタラクション メディア信号処理	4	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	16	小計	4	小計	4	小計	2	44
3年							情報システム領域実習A 情報システム領域実習B	1 1	次より6単位を選択 数理計画法実習 知識情報処理実習 情報理論実習 数式処理実習 データ構造とアルゴリズム実習 コンパイラ実習 データマイニング実習 ネットワークコンピューティング実習	6			情報処理技術演習	2	次より12単位を選択 最適化理論 知識情報処理 コンパイラ モデリング物理学 オペレーティングシステム 符号理論 計算論 数値計算 ソフトウェア工学 データマイニング 暗号と情報セキュリティ	12			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 特別英語セミナー 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	12	小計	0	小計	4	26
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （情報システムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		26		6		0		32		16		8		8		128
									6						24						
									70												
	32						96														
	128																				

履修モデル　情報科学科　（ネットワークコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	情報科学実習科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	人間システム工学系科目	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理	8	情報科学概論 キャリアデザイン論 コンピュータ演習A プログラミング実習Ⅰ	2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2			人間システム工学概論 メディア工学基礎	2 2	生命科学Ⅰ	2	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	4	小計	2	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然社会史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ プログラミング実習Ⅲ	2 2					情報科学のための確率・統計 情報科学のための数学演習 情報理論 ネットワーク データ構造とアルゴリズム データベース 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2 2 2 2 2 2	数理論理学 ディジタル信号処理 基礎物理学B	2 2 2	次より4単位を選択 メディア・ロボット実験 ヒューマンコンピュータインタラクション メディア信号処理	4	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	16	小計	6	小計	4	小計	2	46
3年							ネットワークシステム領域実習A ネットワークシステム領域実習B	1 1	ディジタル信号処理実習 数理計画法実習 情報理論実習 データ構造とアルゴリズム実習 ネットワーク実習 グラフ・ネットワーク実習	1 1 1 1 1 1			情報処理技術演習	2	次より10単位を選択 最適化理論 符号理論 ディジタル通信 暗号と情報セキュリティ ネットワークコンピューティング ネットワーク設計論 数値計算	10			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 特別英語セミナー 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	10	小計	0	小計	4	24
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （ネットワークシステムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		26		6		0		32		16		8		8		128
									6						24						
									70												
	32						96														
	128																				

履修モデル　人間システム工学科　（映像音響システムコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	情報科学実習科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	情報科学系科目	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	キャリアデザイン論 コンピュータ演習A 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 人間システム工学概論 プログラミング実習Ⅰ 人間システム工学のための数学演習Ⅱ メディア工学基礎	2 2 2 2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2							
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	0	小計	0	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ メディア・ロボット実験	2 2					次より12単位を選択 情報科学のための確率・統計 制御工学 情報理論 メディア信号処理 データ構造とアルゴリズム ヒューマンコンピュータインタラクション プログラミング実習Ⅲ 機械の力学 知能コンピューティング ヒューマンデータ分析	12	デザイン論 ネットワーク データベース	2 2 2	情報科学概論	2	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	12	小計	6	小計	2	小計	2	40
3年							映像音響システム領域実習A 映像音響システム領域実習B	1 1	次より6単位を選択 音声情報処理実習 音楽情報処理実習 ユビキタスコンピューテング実験 画像情報処理実習 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 感性情報処理実習 コンピュータグラフィックス実習 ヒューマンコンピュータインタラクション実験	6			情報処理技術演習	2	音楽情報処理 音声情報処理 画像情報処理 認知情報処理 感性情報処理 コンテンツテクノロジー コンピュータグラフィックス バーチャルリアリティ	2 2 2 2 2 2 2 2			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 特別英語セミナー 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	16	小計	0	小計	4	30
4年							〈卒業研究科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （映像音響システムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		32		6		0		28		22		2		6		128
									6						24						
									64												
	32						96														
	128																				

履修モデル　人間システム工学科　（サイバーロボティクスコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	総合選択科目	単位	必修科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	情報科学実習科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	情報科学系科目	単位	専門選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	キャリアデザイン論 コンピュータ演習A 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 人間システム工学概論 プログラミング実習Ⅰ 人間システム工学のための数学演習Ⅱ メディア工学基礎	2 2 2 2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2							
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	0	小計	0	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ メディア・ロボット実験	2 2					次より14単位を選択 情報科学のための確率・統計 制御工学 情報理論 メディア信号処理 データ構造とアルゴリズム ヒューマンコンピュータインタラクション プログラミング実習Ⅲ 機械の力学 知能コンピューティング ヒューマンデータ分析	14	次より4単位を選択 メカトロニクス デザイン論 ネットワーク データベース	4	情報科学概論 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	14	小計	4	小計	6	小計	2	44
3年							サイバーロボティクス領域実習A サイバーロボティクス領域実習B	1 1	次より6単位を選択 認知情報処理実験 ユビキタスコンピューティング実験 画像情報処理実習 CAD/CAM/CAE 実習 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 エルゴノミクスコンピューティング実習 ロボット工学実験 ヒューマンコンピュータインタラクション実験	6			情報処理技術演習	2	音声情報処理 画像情報処理 認知情報処理 感性情報処理 コンテンツテクノロジー	2 2 2 2 2	次より2単位を選択 ネットワークコンピューティング ディジタル信号処理 数値計算 データマイニング	2	次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率論Ⅰ 特別英語セミナー 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	10	小計	2	小計	4	26
4年							〈卒業研究科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （サイバーロボティクスコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		32		6		0		30		14		8		6		128
									6						22						
									64												
	32						96														
	128																				

Ⅱ　授業科目と単位

1．授業科目の種類

理工学部における授業科目は、総合教育科目と専門教育科目に大別される。それぞれは下図のとおりさらに分類される。

［数理科学科］

総合教育科目	キリスト教科目	
	英語教育科目	
	総合選択科目	
専門教育科目	必修科目	
	基礎科目	
	コンピュータ科目	
	発展科目	
	専門選択科目	

［物理学科］

総合教育科目	キリスト教科目	
	英語教育科目	
	総合選択科目	
専門教育科目	物理系科目	卒業研究科目
		コア科目
		実験科目
		選択科目
	数学系科目	
	専門選択科目	

［先進エネルギーナノ工学科］

総合教育科目	キリスト教科目	
	英語教育科目	
	総合選択科目	
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）	
	基礎科目	数学系
		物理系
		化学系
	実験科目	
	発展科目	
	先端科目	
	専門選択科目	

［化学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	基礎科目
	物理分析化学科目
	有機無機化学科目
	専門選択科目

［環境・応用化学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	数学・物理科目
	地学・生命・情報科目
	基礎科目
	発展科目
	専門選択科目

［生命科学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	基礎科目
	発展科目
	先端科目
	専門選択科目

［生命医化学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	基礎科目
	発展科目
	先端科目
	生命科学科目
	専門選択科目

［情報科学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	情報科学実習科目
	人間システム工学実習・実験科目
	基礎科目
	発展科目
	人間システム工学系科目
	専門選択科目

［人間システム工学科］

総合教育科目	キリスト教科目
	英語教育科目
	総合選択科目
専門教育科目	必修科目（含む、卒研科目）
	人間システム工学実習・実験科目
	情報科学実習科目
	基礎科目
	発展科目
	情報科学系科目
	専門選択科目

2．授業科目名の表記

授業科目名は、原則次のとおり表記される。

	授　業　科　目　名	クラス名
記号	①ローマ数字、及び②アルファベット	③アラビア数字
例	英語ライティングＩＡ	英語ライティングＩＡ（3）

①ローマ数字
科目をグレードの高さによって分類している場合はローマ数字で表示される。

②アルファベット
同じグレードでも、特定の科目を更に分類している場合（学期等によって分ける場合）はアルファベットで表示される。

③アラビア数字
複数のクラスがある科目はアラビア数字で表示される。

3．開講期間と授業時間

関西学院大学では「セメスター制」を導入している。春学期科目・秋学期科目は１学期で完結し、通年科目（１年を通じて行う）は２学期で完結する。定期試験はそれぞれの学期末（７月中旬・１月中旬）に行われる。

１回あたりの授業時間は100分であるが、制度上これを「２時間」とみなす。

4．卒業に必要な単位数

卒業に必要な各授業科目の単位数は次のとおりである。

［数理科学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目	8			96
基礎科目		48	22	
コンピュータ科目		4		
発展科目		14		
専門選択科目				

［物理学科］

総合教育科目		必　修	選択必修			合　計
キリスト教科目		4				32
英語教育科目			12			
総合選択科目			16			
専門教育科目		必　修	選択必修			合　計
物理系科目	卒研科目	12				96
	コア科目		14	24	24	
	実験科目		8			
	選択科目					
数学系科目			14			
専門選択科目						

［先進エネルギーナノ工学科］

総合教育科目		必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目		4			32
英語教育科目			12		
総合選択科目			16		
専門教育科目		必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）		24			96
基礎科目	数学系		12	14	
	物理系		8		
	化学系		8		
実験科目			4		
発展科目			14		
先端科目			12		
専門選択科目					

［化学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	28			96
基礎科目		24	20	
物理分析化学科目		10		
有機無機化学科目		14		
専門選択科目				

［環境・応用化学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	44			96
数学・物理科目		10	8	
地学・生命・情報科目		4		
基礎科目		14		
発展科目		16		
専門選択科目				

［生命科学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	44			96
基礎科目		16	12	
発展科目		12		
先端科目		12		
専門選択科目				

［生命医化学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	42			96
基礎科目		16	12	
発展科目		14		
先端科目		8	4	
生命科学科目				
専門選択科目				

［情報科学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
総合選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	26			96
情報科学実習科目		4	2	16
人間システム工学実習・実験科目				
基礎科目		24		
発展科目		16	8	
人間システム工学系科目				
専門選択科目				

［人間システム工学科］

<table>
<tr><th>総合教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>キリスト教科目</td><td>4</td><td colspan="3"></td><td rowspan="3">32</td></tr>
<tr><td>英語教育科目</td><td></td><td colspan="3">12</td></tr>
<tr><td>総合選択科目</td><td></td><td colspan="3">16</td></tr>
<tr><th>専門教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>必修科目（含む、卒研科目）</td><td>32</td><td colspan="3"></td><td rowspan="8">96</td></tr>
<tr><td>人間システム工学実習・実験科目</td><td></td><td>4</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="6">14</td></tr>
<tr><td>情報科学実習科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td></td><td colspan="2">24</td></tr>
<tr><td>発展科目</td><td></td><td>12</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>情報科学系科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>専門選択科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

4.1　総合教育科目

総合教育科目における卒業に必要な単位数は32単位で、第２学年度終了時までにはすべて修得しておくのが望ましい。

総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、総合選択科目の３つに分類される。

（1）　キリスト教科目

本学はキリスト教主義に基づく人間教育を目指しており、次の科目をキリスト教科目とし、４単位をすべて修得しなければならない。

キリスト教学Ａ・Ｂ（各２単位）

（2）英語教育科目

次の16科目のうち、12単位を修得しなければならない。

英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、
英語コミュニケーションＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ（各１単位）

※ただし、入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂについては、英語プレスメントテスト（GTEC）のスコアに基づき履修する学生を指定する。入門英語を履修する学生は、『７．全学開講「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」の履修について』を必ず参照すること。

※入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂへの履修を指定されなかった学生は、英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語コミュニケーションＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂの計12単位を修得すること。

なお、英語能力の優秀な学生に対して、単位認定措置を行うことがある（「理工学部内規　Ⅱ 授業履修内規　５ 英語能力優秀者の特別履修について」を参照）。尚、単位認定措置を行った際の成績評価は100点とする。詳細は、英語担当教員またはⅥ号館１階事務室に確認すること。

また、帰国生徒入学試験および外国人留学生入学試験を受験して入学した者の必修科目については別に定める場合がある。

（3）　総合選択科目

次の①～④の科目を総合教育科目の総合選択科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

①理工学部で開講する次の科目（各２単位）

哲学　　論理学　　西洋史　　心理学　　社会学　　法学　　日本国憲法　　経済学
自然科学史　　科学倫理　　環境学　　サイバー社会入門　　近代日本とアジア
芸術と技術　　地誌学

②他学部が開講する授業科目（学則参照)、スポーツ科学・健康科学科目（「スポーツ科学・健康科学科目ガイドブック」参照)、基盤・学際科目、グローバルスタディーズ科目、ライフデザイン科目、AI 活用人材育成科目

③次にあげる教職に関する科目（各２単位）(P.75参照)
　教育原論　　発達・学習過程論

④次にあげる外国語科目
・ドイツ語、フランス語
　ドイツ語読解Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ、フランス語読解Ⅰ・Ⅱ、フランス語文法Ⅰ・Ⅱ（各１単位)。

・言語教育科目のうち、ドイツ語とフランス語のインテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ以外の科目

なお、96単位を超えて修得した専門教育科目のうち４単位までを総合選択科目に算入することができる。

ただし、理工学部は次の科目を履修することはできない。
・他学部開講科目
　数理の科学Ａ・Ｂ　　自然現象の科学Ａ・Ｂ　　物質の科学Ａ・Ｂ
　生命の科学Ａ・Ｂ　　数理科学の基礎　　感性情報

・全学科目の情報科学科目
　コンピュータ基礎　　コンピュータ実践　　コンピュータ言語
　情報技術概論　　文科系学生のための情報技術入門

・西宮市大学共通単位講座

総合政策学部との合併科目である「自然環境論」および「アーカイブ・デザイン」は、2021年度から合併解消（総合政策学部単独開講）となる。そのため、2021年度以降に単位を修得した場合、専門教育科目ではなく総合教育科目（総合選択科目）としてカウントされるので注意すること。

4.2　専門教育科目

専門教育科目における卒業に必要な単位数は96単位で、これらはすべて理工学部開講の専門教育科目でなければならない。各学科によって、必要とされる授業科目（必修科目・選択必修科目・専門選択科目）の内容や単位数が異なるので注意すること。（　）内は単位数。

数理科学科

[必修科目]
①必修科目
次の専門教育科目を必修科目といい、８単位を修得しなければならない。
　微分積分Ⅰ　　（４）　　線形代数Ⅰ　　（４）

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち48単位以上を修得しなければならない。

数学入門演習	（2）	微分積分Ⅱ	（4）	線形代数Ⅱ	（4）
基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）	基礎解析学Ⅰ	（4）
基礎解析学Ⅱ	（2）	関数論入門	（2）	集合と位相	（4）
確率統計入門	（2）	応用数理入門	（2）	代数入門	（2）
幾何入門	（2）	解析学Ⅰ	（4）	解析学Ⅱ	（4）
常微分方程式	（2）	偏微分方程式	（2）	複素解析	（2）
確率統計Ⅰ	（2）	確率統計Ⅱ	（2）	応用数理Ⅰ	（2）
幾何学Ⅰ	（4）	幾何学Ⅱ	（4）	代数学Ⅰ	（4）
代数学Ⅱ	（4）				

②コンピュータ科目

次の専門教育科目をコンピュータ科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

コンピュータ演習A	（2）	数式処理演習Ⅰ	（2）
数式処理演習Ⅱ	（2）	統計コンピュータ演習	（2）
シミュレーション演習	（2）		

③発展科目

次の専門教育科目を発展科目といい、14単位以上を修得しなければならない。

解析学Ⅲ	（2）	解析学Ⅳ	（2）	幾何学Ⅲ	（2）
幾何学Ⅳ	（2）	代数学Ⅲ	（2）	代数学Ⅳ	（2）
応用数理Ⅱ	（2）	応用数理Ⅲ	（2）	確率統計Ⅲ	（2）
確率統計Ⅳ	（2）	数理科学特別演習Ⅰ	（4）	数理科学特別演習Ⅱ	（4）

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち22単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（2）	人間システム工学概論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	特別英語セミナー	（2）	海外理工学プログラムA	（1）
海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）	理工学特別プログラム001	（1）
理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）	国内協定大学科目	（1～8）
※ベンチャー企業家講座	（2）				

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、数理科学科の基礎科目、コンピュータ科目、発展科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、発展科目は専門選択科目に算入できる。

物理学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

[選択必修科目]

〈物理系科目〉

次にあげる①コア科目、②実験科目、③選択科目を物理系科目といい、このうち46単位以上を修得しなければならない。

①コア科目

次の科目を物理系科目コア科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

力学Ⅰ	（2）	力学Ⅱ	（2）	電磁気学Ⅰ	（2）
電磁気学Ⅱ	（2）	量子力学Ⅰ	（2）	量子力学Ⅱ	（2）
量子力学Ⅲ	（2）	熱統計力学Ⅰ	（2）	熱統計力学Ⅱ	（2）

②実験科目

次の科目を物理系科目実験科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

基礎物理学実験Ⅰ	（2）	基礎物理学実験Ⅱ	（2）	基礎化学実験Ⅰ	（2）
物理学実験Ⅰ	（3）	物理学実験Ⅱ	（3）		

③選択科目

次の科目を物理系科目選択科目という。

デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）			デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）
物理学序論	（2）	サブゼミ	（2）	解析力学	（2）
熱力学	（2）	基礎物理学演習	（2）	電気力学	（2）
構造物性学	（2）	固体電子論	（2）	特殊相対論	（2）
連続体力学	（2）	生物物理学	（2）	物理学演習	（2）
物質構造論	（2）	宇宙物理学入門	（2）	宇宙物理学	（2）
赤外線天文学	（2）	X 線天文学	（2）	電波天文学	（2）
研究学概論	（2）	現代統計物理学	（2）	光物性物理学	（2）
高エネルギー物理学	（2）				

〈数学系科目〉

次の科目を数学系科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（2）	微積分学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）
線形代数学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅲ	（2）	物理のための幾何入門	（2）
関数論入門	（2）	物理と確率	（2）	物理数学Ⅰ	（2）
物理数学Ⅱ	（2）				

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

化学概論	（2）	基礎化学C	（2）	生命科学Ⅰ	（2）
生命科学Ⅱ	（2）	生命科学入門実験	（2）	情報科学概論	（2）
人間システム工学概論	（2）	コンピュータ演習A	（2）	コンピュータ演習B	（2）
コンピュータアーキテクチャ	（2）	数値計算	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	特別英語セミナー	（2）	海外理工学プログラムA	（1）
海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）	理工学特別プログラム001	（1）
理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）	基礎地学Ⅰ	（2）
基礎地学Ⅱ	（2）	地学実験A	（1）	国内協定大学科目	（1～8）
※ベンチャー企業家講座	（2）				

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目
　理工学部開講の専門教育科目のうち、物理学科のコア科目、実験科目、物理系選択科目、数学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得したコア科目、実験科目、物理系選択科目、数学系科目は専門選択科目に算入できる。

先進エネルギーナノ工学科

[必修科目]
①卒業研究科目
　外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目

先進エネルギーナノ工学入門	（２）	先進エネルギーナノ工学概論	（２）
先進エネルギーナノ工学詳論	（２）	ものづくり理工学実験Ⅰ	（３）
ものづくり理工学実験Ⅱ	（３）		

の５科目12単位が必修である。

[選択必修科目]
〈基礎科目〉
　次にあげる①数学系、②物理系、③化学系を基礎科目といい、このうち28単位以上を修得しなければならない。

①数学系
　次の専門教育科目を数学系といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

線形代数学Ⅰ	（２）	線形代数学Ⅱ	（２）	線形代数学Ⅲ	（２）
微積分学Ⅰ	（２）	微積分学Ⅱ	（２）	物理数学Ⅰ	（２）
物理数学Ⅱ	（２）	物理数学Ⅲ	（２）		

②物理系
　次の専門教育科目を物理系といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

物理学序論	（２）	デモンストレーション物理学Ⅰ	（２）	力学Ⅰ	（２）
電磁気学Ⅰ	（２）	電磁気学演習Ⅰ	（２）	ナノ物性量子力学Ⅰ	（２）
ナノ物性量子力学演習Ⅰ	（２）				

③化学系
　次の専門教育科目を化学系といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

基礎化学Ａ	（２）	基礎化学Ｂ	（２）	ナノケミストリーⅠ	（２）
ナノケミストリーⅡ	（２）	エネルギー材料熱力学	（２）	エネルギー材料熱力学演習	（２）

〈実験科目〉
　次の科目を実験科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

基礎化学実験Ⅰ	（２）	基礎物理学実験Ⅰ	（２）	基礎物理学実験Ⅱ	（２）

〈発展科目〉
　次の科目を発展科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

コンピュータ演習Ａ	（２）	デモンストレーション物理学Ⅱ	（２）	電磁気学Ⅱ	（２）
電磁気学演習Ⅱ	（２）	無機化学	（２）	構造物性学	（２）
固体電子論	（２）	ナノケミストリーⅢ	（２）	ナノ物性量子力学Ⅱ	（２）
ナノ物性量子力学演習Ⅱ	（２）	統計熱力学	（２）	反応速度論	（２）

〈先端科目〉
次の科目を先端科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

物質設計ナノ工学	（2）	プロセス設計ナノ工学	（2）
エネルギー変換と電気化学	（2）	エネルギー半導体工学	（2）
エネルギー電気・電子回路工学	（2）	極限環境プロセッシング	（2）
ナノスケール分析科学	（2）	分光学	（2）
環境分析化学	（2）	応用量子化学	（2）

[専門選択科目]
次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

基礎化学C	（2）	生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
生命科学入門実験	（2）	基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）
地学実験A	（1）	コンピュータ演習B	（2）	量子力学Ⅲ	（2）
科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）	特別英語セミナー	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）
理工学特別プログラム001	（1）	理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）
環境政策論	（2）	環境経済学	（2）	国内協定大学科目	（1～8）

※ベンチャー企業家講座　（2）
※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目
理工学部開講の専門教育科目のうち、先進エネルギーナノ工学科の基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目は専門選択科目に算入できる。

化学科

[必修科目]
①卒業研究科目
外国書講読（2単位）・輪講（2単位）・卒業実験及び演習（8単位）

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

基礎化学実験Ⅰ	（2）	基礎化学実験Ⅱ	（2）	無機分析化学実験	（4）
物理化学実験	（4）	有機化学実験	（4）		

の5科目16単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

基礎化学A	（2）	基礎化学B	（2）	基礎化学C	（2）
基礎化学実験法	（2）	基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）
基礎物理学C	（2）	基礎物理学D	（2）	微積分学Ⅰ	（2）
微積分学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）
線形代数学Ⅲ	（2）	コンピュータ演習A	（2）	生命科学Ⅰ	（2）
生命科学Ⅱ	（2）	情報科学概論	（2）	化学数学	（2）
生命科学入門実験	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）		

②物理分析化学科目

次の専門教育科目を物理分析化学科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

分析化学Ⅰ	（2）	分析化学Ⅱ	（2）	物理化学Ⅰ	（2）
物理化学Ⅱ	（2）	物理化学Ⅲ	（2）	物理化学Ⅳ	（2）
物理化学Ⅴ	（2）	物理化学Ⅵ	（2）		

③有機無機化学科目

次の専門教育科目を有機無機化学科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

無機化学Ⅰ	（2）	無機化学Ⅱ	（2）	無機化学Ⅲ	（2）
無機化学Ⅳ	（2）	有機化学Ⅰ	（2）	有機化学Ⅱ	（2）
有機化学Ⅲ	（2）	有機化学Ⅳ	（2）	有機化学Ⅴ	（2）
有機化学Ⅵ	（2）	有機化学Ⅶ	（2）		

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち20単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）	化学演習Ⅰ	（2）
化学演習Ⅱ	（2）	化学演習Ⅲ	（2）	化学演習Ⅳ	（2）
高分子化学	（2）	量子化学	（2）	環境分析化学	（2）
地学実験A	（1）	科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）
特別英語セミナー	（2）	海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	理工学特別プログラム001	（1）	理工学特別プログラム002	（2）
理工学特別プログラム004	（4）	国内協定大学科目	（1～8）	※ベンチャー企業家講座	（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、化学科の基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目は専門選択科目に算入できる。

環境・応用化学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）・卒業実験及び演習（8単位）

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

基礎化学A	（2）	基礎化学B	（2）	基礎化学C	（2）
環境化学	（2）	基礎化学実験Ⅰ	（2）	基礎化学実験Ⅱ	（2）
基礎物理学実験Ⅰ	（2）	環境・応用化学実験Ⅰ	（9）	環境・応用化学実験Ⅱ	（9）

の9科目32単位が必修である。

[選択必修科目]

①数学・物理科目

次の専門教育科目を数学・物理科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

線形代数学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅲ	（2）
微積分学Ⅰ	（2）	微積分学Ⅱ	（2）	基礎物理学A	（2）
基礎物理学B	（2）	基礎物理学C	（2）	基礎物理学D	（2）

②地学・生命・情報科目

次の専門教育科目を地学・生命・情報科目といい、このうち4単位以上を修得しなければならない。

生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）	生命科学入門実験	（2）
コンピュータ演習A	（2）	基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）

③基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

無機化学	（2）	基礎量子化学	（2）	化学熱力学	（2）
有機反応論	（2）	有機構造論	（2）	反応速度論	（2）
高分子化学	（2）	地球環境化学	（2）	分析化学	（2）

④発展科目

次の専門教育科目を発展科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

発展物理化学	（2）	発展有機化学	（2）	錯体化学	（2）
応用物理化学	（2）	分光学	（2）	合成有機化学	（2）
応用有機化学	（2）	応用物性化学	（2）	応用地球化学	（2）
応用量子化学	（2）	環境分析化学	（2）	地球物質科学	（2）
有機工業化学	（2）	環境有機材料化学	（2）		

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち8単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

自然環境論	（2）	環境倫理	（2）	地球環境科学実験	（2）
科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）	特別英語セミナー	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）
理工学特別プログラム001	（1）	理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）
国内協定大学科目	（1～8）	※ベンチャー企業家講座	（2）		

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、環境・応用化学科の数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目は専門選択科目に算入できる。

生命科学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目

生命科学Ⅰ	（２）	生命科学Ⅱ	（２）	コンピュータ演習Ａ	（２）
生命科学入門実験	（２）	生物分析化学	（２）	細胞・組織学実験	（３）
生命分子・生化学実験	（３）	先端生命科学実験Ⅰ	（８）	先端生命科学実験Ⅱ	（８）

の９科目32単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

生命有機化学	（２）	生命科学倫理	（２）	化学概論	（２）
微積分学Ⅰ	（２）	基礎物理学Ａ	（２）	基礎物理学Ｂ	（２）
基礎化学Ａ	（２）	基礎化学Ｂ	（２）	基礎化学Ｃ	（２）
基礎化学実験Ⅰ	（２）	線形代数学Ⅰ	（２）	系統分類学	（２）
サブゼミ	（２）	臨海実験	（２）	プログラミング演習	（２）

②発展科目

次の専門教育科目を発展科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

生命工学	（２）	生化学	（２）	薬理学	（２）
分子遺伝学	（２）	発生生物学	（２）	生命代謝化学	（２）
微生物学	（２）	細胞学	（２）	生物統計学	（２）
数理生物学	（２）	データ科学演習	（２）	バイオインフォマティクス	（２）

③先端科目

次の専門教育科目を先端科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

植物分子生物学	（２）	器官形成学	（２）	植物分子生理学	（２）
遺伝子工学	（２）	染色体機能学	（２）	生態システム学	（２）
化学生態学	（２）	生物工学	（２）		

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（２）	人間システム工学概論	（２）	基礎物理学実験Ⅰ	（２）
基礎地学Ⅰ	（２）	基礎地学Ⅱ	（２）	再生医学	（２）
発がん分子機構学	（２）	環境医化学	（２）	免疫学	（２）
脳神経科学	（２）	医学統計学	（２）	エピゲノム医化学	（２）
病態生理学	（２）	特別英語セミナー	（２）	海外理工学プログラムＡ	（１）
海外理工学プログラムＢ	（２）	海外理工学プログラムＣ	（３）	理工学特別プログラム001	（１）
理工学特別プログラム002	（２）	理工学特別プログラム004	（４）	地学実験Ａ	（１）
自然環境論	（２）	科学技術英語Ａ	（２）	科学技術英語Ｂ	（２）
先進エネルギーナノ工学詳論	（２）	国内協定大学科目	（１～８）	※ベンチャー企業家講座	（２）

※「Ⅵ 履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目
　理工学部開講の専門教育科目のうち、生命科学科の基礎科目、発展科目、先端科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目は専門選択科目に算入できる。

生命医化学科

[必修科目]

①卒業研究科目
　外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目

生命科学Ⅰ	（２）	生命科学Ⅱ	（２）	コンピュータ演習Ａ	（２）
生命科学入門実験	（２）	基礎医化学実験Ⅰ	（３）	基礎医化学実験Ⅱ	（３）
先端医化学実験Ⅰ	（８）	先端医化学実験Ⅱ	（８）		

の８科目30単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目
　次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

生命有機化学	（２）	生命科学倫理	（２）	化学概論	（２）
微積分学Ⅰ	（２）	基礎物理学Ａ	（２）	基礎物理学Ｂ	（２）
基礎化学Ａ	（２）	基礎化学Ｂ	（２）	基礎化学Ｃ	（２）
基礎化学実験Ⅰ	（２）	線形代数学Ⅰ	（２）	基礎医化学入門	（２）
プログラミング演習	（２）	系統分類学	（２）		

②発展科目
　次の専門教育科目を発展科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

生命工学	（２）	生化学	（２）	薬理学	（２）
分子遺伝学	（２）	発生生物学	（２）	生命代謝化学	（２）
微生物学	（２）	細胞学	（２）	生物分析化学	（２）
生物統計学	（２）	数理生物学	（２）	データ科学演習	（２）
バイオインフォマティクス（２）					

③先端科目
　次の専門教育科目を先端科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

再生医学	（２）	発がん分子機構学	（２）	環境医化学	（２）
免疫学	（２）	脳神経科学	（２）	医学統計学	（２）
エピゲノム医化学	（２）	病態生理学	（２）		

④生命科学科目
　イ）次の専門教育科目を生命科学科目という。

器官形成学	（２）	遺伝子工学	（２）	染色体機能学	（２）
生態システム学	（２）	化学生態学	（２）	生物工学	（２）

　ロ）先端科目及び生命科学科目あわせて12単位以上を修得しなければならない。

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（2）	人間システム工学概論	（2）	臨海実験	（2）
基礎物理学実験Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）
植物分子生物学	（2）	植物分子生理学	（2）	特別英語セミナー	（2）
地学実験A	（1）	自然環境論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	理工学特別プログラム001	（1）	理工学特別プログラム002	（2）
理工学特別プログラム004	（4）	先進エネルギーナノ工学詳論	（2）	国内協定大学科目	（1～8）

※ベンチャー企業家講座　（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、生命医化学科の基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目は専門選択科目に算入できる。

情報科学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）

卒業実験及び演習（情報システムコース/ネットワークシステムコース）（8単位）

＊ただし（　）内のコースの別については、配属された研究室によって決定される。

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

次の専門教育科目を必修科目といい、14単位を修得しなければならない。

ただし、□内の科目については、それぞれいずれか一方の科目を履修すること。

情報科学概論	（2）	キャリアデザイン論	（2）	コンピュータ演習A	（2）
プログラミング実習Ⅰ	（2）	プログラミング実習Ⅱ	（2）	プログラミング実習Ⅲ	（2）
情報システム領域実習A	（1）	ネットワークシステム領域実習A	（1）		
情報システム領域実習B	（1）	ネットワークシステム領域実習B	（1）		

[選択必修科目]

①情報科学実習科目

次の科目を情報科学実習科目といい、このうち4単位以上を修得しなければならない。

数理計画法実習	（1）	知識情報処理実習	（1）
情報理論実習	（1）	ディジタル信号処理実習	（1）
数式処理実習	（1）	グラフ・ネットワーク実習	（1）
データ構造とアルゴリズム実習	（1）	コンパイラ実習	（1）
ネットワーク実習	（1）	データマイニング実習	（1）
ネットワークコンピューティング実習	（1）		

②人間システム工学実習・実験科目

次の科目を人間システム工学実習・実験科目という。情報科学実習科目と人間システム工学実習・実験科目を合わせて6単位以上を修得しなければならない。

音声情報処理実習	（1）	音楽情報処理実習	（1）
認知情報処理実験	（1）	ユビキタスコンピューティング実験	（1）
画像情報処理実習	（1）	デザイン・コンテンツテクノロジー実習	（1）
エルゴノミクスコンピューティング実習	（1）	感性情報処理実習	（1）
コンピュータグラフィックス実習	（1）	CAD/CAM/CAE 実習	（1）
ロボット工学実験	（1）		
ヒューマンコンピュータインタラクション実験	（1）		

③基礎科目

次の科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）
微積分学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）
論理回路	（2）	離散数理	（2）
コンピュータアーキテクチャ	（2）	情報科学のための確率・統計	（2）
情報科学のための数学演習	（2）	情報理論	（2）
ネットワーク	（2）	データ構造とアルゴリズム	（2）
データベース	（2）	形式言語とオートマトン	（2）
※情報処理技術演習	（2）	グラフ・ネットワーク理論	（2）

※2009年度以降実施の情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」の合格者には、「情報処理技術演習」の2単位を認定する。

④発展科目

次の科目を発展科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）
数理論理学	（2）	ディジタル信号処理	（2）
計算論	（2）	符号理論	（2）
オペレーティングシステム	（2）	コンパイラ	（2）
最適化理論	（2）	知識情報処理	（2）
ディジタル通信	（2）	モデリング物理学	（2）
計算幾何学	（2）	数値計算	（2）
ソフトウェア工学	（2）	データマイニング	（2）
ネットワークコンピューティング	（2）	暗号と情報セキュリティ	（2）
ネットワーク設計論	（2）		

⑤人間システム工学系科目

次の科目を人間システム工学系科目という。発展科目と人間システム工学系科目を合わせて24単位以上を修得しなければならない。

人間システム工学概論	（2）	メディア工学基礎	（2）
制御工学	（2）	メディア信号処理	（2）
メディア・ロボット実験	（2）	デザイン論	（2）
ヒューマンコンピュータインタラクション	（2）	機械の力学	（2）
知能コンピューティング	（2）	ヒューマンデータ分析	（2）
音楽情報処理	（2）	音声情報処理	（2）
画像情報処理	（2）	認知情報処理	（2）
感性情報処理	（2）	コンテンツテクノロジー	（2）
コンピュータグラフィックス	（2）	バーチャルリアリティ	（2）
ロボティクス	（2）	応用数学	（2）

[専門選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
情報化社会と人間	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
メディア社会論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	特別英語セミナー	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	理工学特別プログラム001	（1）
理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）
確率統計Ⅰ	（2）	デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）
デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）	アーカイブ・デザイン	（2）
知的財産戦略論	（2）	サイバースペースの法と倫理	（2）
コンピュータ・アート	（2）	国内協定大学科目	（1～8）
※ベンチャー企業家講座	（2）		

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、情報科学科の情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目は専門選択科目に算入できる。

人間システム工学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）

卒業実験及び演習（映像音響システムコース/サイバーロボティクスコース）（8単位）

＊ただし（　）内のコースの別については、配属された研究室によって決定される。

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.77～78「Ⅲ 履修とその順序　3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

次の科目を必修科目といい、20単位すべてを修得しなければならない。

ただし、□内の科目についてはそれぞれ、いずれか一方を履修すること。

キャリアデザイン論	（2）	コンピュータ演習A	（2）
人間システム工学概論	（2）	人間システム工学のための数学演習Ⅰ	（2）
人間システム工学のための数学演習Ⅱ	（2）	メディア工学基礎	（2）
プログラミング実習Ⅰ	（2）	プログラミング実習Ⅱ	（2）
メディア・ロボット実験	（2）		
映像音響システム領域実習A	（1）	サイバーロボティクス領域実習A	（1）
映像音響システム領域実習B	（1）	サイバーロボティクス領域実習B	（1）

［選択必修科目］

①人間システム工学実習・実験科目

次の科目を人間システム工学実習・実験科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

音声情報処理実習	（1）	音楽情報処理実習	（1）
認知情報処理実験	（1）	ユビキタスコンピューティング実験	（1）
画像情報処理実習	（1）	デザイン・コンテンツテクノロジー実習	（1）
エルゴノミクスコンピューティング実習	（1）	感性情報処理実習	（1）
コンピュータグラフィックス実習	（1）	CAD/CAM/CAE 実習	（1）
ロボット工学実験	（1）		
ヒューマンコンピュータインタラクション実験	（1）		

②情報科学実習科目

次の科目を情報科学実習科目という。人間システム工学実習・実験科目と情報科学実習科目を合わせて６単位以上を修得しなければならない。

数理計画法実習	（1）	知識情報処理実習	（1）
情報理論実習	（1）	ディジタル信号処理実習	（1）
数式処理実習	（1）	グラフ・ネットワーク実習	（1）
データ構造とアルゴリズム実習	（1）	コンパイラ実習	（1）
ネットワーク実習	（1）	データマイニング実習	（1）
ネットワークコンピューティング実習	（1）		

③基礎科目

次の科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）
微積分学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）
論理回路	（2）	離散数理	（2）
コンピュータアーキテクチャ	（2）	情報科学のための確率・統計	（2）
制御工学	（2）	メディア信号処理	（2）
情報理論	（2）	データ構造とアルゴリズム	（2）
ヒューマンコンピュータインタラクション	（2）	プログラミング実習Ⅲ	（2）
機械の力学	（2）	知能コンピューティング	（2）
ヒューマンデータ分析	（2）	※情報処理技術演習	（2）

※2009年度以降実施の情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」の合格者には、「情報処理技術演習」の２単位を認定する。

④発展科目

次の科目を発展科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

デザイン論	（2）	データベース	（2）
ネットワーク	（2）	音楽情報処理	（2）
音声情報処理	（2）	画像情報処理	（2）
認知情報処理	（2）	感性情報処理	（2）
コンテンツテクノロジー	（2）	コンピュータグラフィックス	（2）
バーチャルリアリティ	（2）	ロボティクス	（2）
応用数学	（2）		

⑤情報科学系科目

次の科目を情報科学系科目という。発展科目と情報科学系科目を合わせて20単位以上を修得しなければならない。

情報科学概論	（2）	数理論理学	（2）
ディジタル信号処理	（2）	グラフ・ネットワーク理論	（2）
形式言語とオートマトン	（2）	計算論	（2）
符号理論	（2）	オペレーティングシステム	（2）
コンパイラ	（2）	最適化理論	（2）
知識情報処理	（2）	ディジタル通信	（2）
モデリング物理学	（2）	計算幾何学	（2）
数値計算	（2）	ソフトウェア工学	（2）
データマイニング	（2）	ネットワークコンピューティング	（2）
暗号と情報セキュリティ	（2）	ネットワーク設計論	（2）

［専門選択科目］

次の①、②、③を専門教育科目の専門選択科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

基礎物理学Ａ	（2）	基礎物理学Ｂ	（2）
生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
情報化社会と人間	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
メディア社会論	（2）	科学技術英語Ａ	（2）
科学技術英語Ｂ	（2）	特別英語セミナー	（2）
海外理工学プログラムＡ	（1）	海外理工学プログラムＢ	（2）
海外理工学プログラムＣ	（3）	理工学特別プログラム001	（1）
理工学特別プログラム002	（2）	理工学特別プログラム004	（4）
確率統計Ⅰ	（2）	デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）
デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）	アーカイブ・デザイン	（2）
知的財産戦略論	（2）	サイバースペースの法と倫理	（2）
コンピュータ・アート	（2）	国内協定大学科目	（1～8）
※ベンチャー企業家講座	（2）		

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、専門選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、人間システム工学科の人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目は専門選択科目に算入できる。

5．資格取得科目

専門教育科目のうち、教育職員の免許状（教職免許状）をはじめ、博物館学芸員、学校図書館司書教諭などの資格の取得のために開講されている授業科目。

原則として、卒業に必要な単位数に算入できない。

5.1　教職課程（「教職課程等履修要項」参照）

（1）　理工学部で取得できる教育職員免許状の教科（種類）は次のとおりである。

数理科学科	数学（中学１種、高校１種）
物理学科	理科（中学１種、高校１種）・数学（中学１種、高校１種）
先進エネルギーナノ工学科	理科（中学１種、高校１種）
化学科	理科（中学１種、高校１種）
環境・応用化学科	理科（中学１種、高校１種）
生命科学科	理科（中学１種、高校１種）
生命医化学科	理科（中学１種、高校１種）
情報科学科	情報（高校１種）・数学（中学１種、高校１種）
人間システム工学科	情報（高校１種）・数学（中学１種、高校１種）

また、大学院へ進学すれば中学専修免許状や高校専修免許状も取得可能である。

なお、取得できる教科は同じであっても、学科及び専攻によって、修得すべき科目が異なるので注意すること。自学科で取得できない教科の免許状を取得することも可能である。その場合、特に改めて手続きを行う必要はないので、各自にて計画的な履修を行い、必要な単位を修得すること。ただし、時間割配置の上での配慮はなく、入念な履修計画を必要とする。

また、他学部履修することで上記以外の教科の教職免許を取得することができる。ただし、所定の手続きを行うことが必要である。(P.105参照)

いずれの場合も、教職を志望する場合は、早い時期から計画を立て必要な単位を修得すること。教職課程履修要項を参照したり、教職教育研究センター（アカデミックコモンズ２Ｆ事務室）またはⅥ号館１階事務室でよく指導を受けること。

（2）　教職に関する科目（教職専門科目）は次のとおりである。

教職概論、教育原論、発達・学習過程論、特別支援教育概論、学校教育論、教育課程論、理科教育法Ａ、理科教育法Ｂ、理科教育法Ｃ、理科教育法Ｄ、数学科教育法Ａ、数学科教育法Ｂ、数学科教育法Ｃ、数学科教育法Ｄ、情報科教育法Ａ、情報科教育法Ｂ、道徳教育論、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、教育方法基礎論、生徒指導・進路指導論、教育相談基礎論、教職実践実習（中・高）、教育実習Ａ、教育実習Ｂ、人権教育論、環境教育論

これらの科目のうち、教育原論、発達・学習過程論は、総合教育科目の総合選択科目として、卒業に必要な単位数に算入できる。

（3）　体育は、教職課程上の必修科目である。「体育方法学講義Ｃ」２単位および「体育方法学演習Ｃ」２単位を履修すること。

（4）　これら教職に関する科目やスポーツ科学・健康科学科目については、授業が実施されるキャンパスに注意すること。

5.2　学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格の取得

標記資格の取得についても入学時に配付される『教職課程等履修要項』を参照するとともに教職教育研究センター学生相談室でよく指導を受けること。理工学部生の場合、これらの資格を取得するためには計画的な履修が必要である。

6．外国大学科目、単位互換科目、国内協定大学科目

他の大学等の機関で科目を履修し修得した単位を、本大学において修得したものと認められる科目がある。

（1） 本大学と学生交換に関する協定のある外国の大学に交換留学生として許可された者が、留学した大学で修得した単位。
（2） 本人の申請により、協定大学と同等と認定し認定留学生として許可された者が、留学した大学で修得した単位。
（3） 単位互換に関する協定のある他の大学で修得した単位。
（4） 国内の協定大学において修得した単位。
〈成績評価〉
上智大学：A＝95、B＝85、C＝75、D＝65、F＝認定しない、P＝認定

7．全学開講「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」の履修について

本学では、2017年度より、全学開講科目として「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」（以降、入門英語科目と呼ぶ）を開講する。入門英語科目は、英語の不得意な学生を対象とした科目である。

入学前に受験する英語プレスメントテスト（GTEC）の結果を勘案し、本科目を履修する学生を指定する。対象は、数理科学科、物理学科、化学科、生命科学科、情報科学科、人間システム工学科の2017年度以降入学生及び先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科の2019年度以降入学生である。

入門英語科目のクラスを履修することを指定された学生は、総合教育科目英語教育科目のうち、英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ（合計８単位）ではなく、入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ（１単位の科目を２単位ずつ修得し、合計８単位）を履修しなければならない。以下に履修モデルを示す。

【履修モデル】

学　年	第１学年	
春学期	入門英語ＩＡ　１単位、入門英語ＩＢ　１単位	英語コミュニケーションＩＡ　１単位
秋学期	入門英語ＩＡ　１単位、入門英語ＩＢ　１単位	英語コミュニケーションＩＢ　１単位

学　年	第２学年	
春学期	入門英語ⅡＡ　１単位、入門英語ⅡＢ　１単位	英語コミュニケーションⅡＡ　１単位
秋学期	入門英語ⅡＡ　１単位、入門英語ⅡＢ　１単位	英語コミュニケーションⅡＢ　１単位

（合計12単位を修得）

※入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂは、同一名称科目であるが、２回まで修得できる。
入門英語ＩＡ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ＩＢ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ⅡＡ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ⅡＢ（１単位）を２回（合計２単位分）修得すること。
※入門英語ⅡＡ・Ｂには先修条件がある。「Ⅲ 履修とその順序　3．先修条件」を参照のこと。
※入門英語の科目を不合格になった場合、カリキュラム上、神戸三田キャンパスで再履修できない可能性がある。本人より申請があれば、英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂに変更することも可能である。詳細について、別途掲示する。

その他、不明な点がある場合は、自分で判断せず、必ず英語担当教員またはⅥ号館１階事務室に相談すること。

Ⅲ　履修とその順序

1．履修基準年度

履修基準年度とは、その授業科目を履修できる最低学年度を表わすものである。従って、履修基準年度が自分の学年より高学年の科目を履修することは原則できない。また科目によっては先修条件（下記参照）を必要とするものもあるので注意すること。

2．履修の計画

「履修・学習要覧」や「シラバス」等で各授業科目の概要を把握し、科目間の関係を充分理解した上で無理のない学習計画を立てることが大切である。

3．先修条件

あらかじめ条件付けられた科目の単位を取得していなければ、その科目を履修することはできないという規則を先修条件といい、理工学部では次の授業科目に先修条件を設定している。

授業科目名	左の科目を履修するために要求される先修科目又は条件
科学技術英語Ａ、Ｂ 特別英語セミナー	卒業に必要な英語科目12単位
ドイツ語文法Ⅱ	ドイツ語文法Ⅰ
ドイツ語読解Ⅱ	ドイツ語読解Ⅰ
フランス語文法Ⅱ	フランス語文法Ⅰ
フランス語読解Ⅱ	フランス語読解Ⅰ
入門英語ⅡＡ	入門英語ⅠＡ（１単位）を２単位分修得していること
入門英語ⅡＢ	入門英語ⅠＢ（１単位）を２単位分修得していること
地学実験Ａ	基礎地学Ⅰ・基礎地学Ⅱのうち１科目以上、かつ基礎物理学実験Ⅰ、基礎化学実験Ⅰ、生命科学入門実験の３科目
物理学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上
ものづくり理工学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎化学実験Ⅰのうち２科目以上
無機分析化学実験 有機化学実験 物理化学実験	基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上
環境・応用化学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上
先端生命科学実験Ⅰ	細胞・組織学実験、生命分子・生化学実験のうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数（合計128単位）のうち、62単位以上修得済みであること
先端医化学実験Ⅰ	基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数（合計128単位）のうち、62単位以上修得済みであること
先端生命科学実験Ⅱ	先端生命科学実験Ⅰ
先端医化学実験Ⅱ	先端医化学実験Ⅰ
情報科学実習科目	プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａ
人間システム工学実習・実験科目	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうち１科目以上
情報システム領域実習Ａ、Ｂ ネットワークシステム領域実習Ａ、Ｂ	プログラミング実習Ⅰを含む専門必修科目８単位以上、かつ基礎科目20単位以上
映像音響システム領域実習Ａ、Ｂ サイバーロボティクス領域実習Ａ、Ｂ	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうち１科目以上を修得し、かつ専門必修科目14単位以上、かつ基礎科目20単位以上
数理科学特別演習Ⅰ	必修科目８単位かつ基礎科目42単位以上（ただし、早期卒業見込者が第３学年において履修する場合は、必修科目８単位かつ基礎科目32単位以上）
数理科学特別演習Ⅱ	数理科学特別演習Ⅰ

授業科目名	左の科目を履修するために要求される先修科目又は条件
「卒研科目」 卒業実験及び演習 輪講 外国書講読	休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有していること。 「卒研科目」の12単位以外の卒業に必要なすべての単位を修得していること。なお、不足単位が下記範囲内の場合（学科により異なるので注意）は、仮進級が認められる。 〈物理学科〉 実験科目以外の授業科目合計10単位以内（英語必修４単位以内） 〈先進エネルギーナノ工学科〉 実験科目、先進エネルギーナノ工学概論、ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱ以外の授業科目合計10単位以内（英語必修４単位以内） 〈化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈環境・応用化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈生命科学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈生命医化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈情報科学科〉 領域実習Ａ、Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（英語必修科目４単位以内、情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目の合計２単位以内） 〈人間システム工学科〉 領域実習Ａ、Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（英語必修科目４単位以内、人間システム工学実習・実験科目及び情報科学実習科目の合計２単位以内）

「卒研科目」は、他の授業科目とは異なり、いずれかの研究室に配属されて、より専門的な実験や演習を行うもので、各研究室では、それぞれに必要な基礎知識が要求される。規則で定められた進級条件を満たすだけでは不十分な場合が多い。従って、早い時期から各研究室の研究内容について、「履修・学習要覧」や、毎年編纂される「卒研選択のための研究室紹介」等を参照したり、研究室を訪問するなどして情報を収集し、履修する際にも計画性を持って行うことが大切である。

また、全学開講科目および他学部開講科目の一部の科目にも先修条件が設定されているので、「履修・学習要覧」や「シラバス」などにて確認すること。

４．先修条件に関する注意事項

・春学期開講科目及び通年開講科目の先修条件判定に、直近の秋学期集中講義科目の単位は、原則算入しない。同様に、秋学期開講科目の先修条件判定に、直近の春学期集中講義科目の単位は、原則算入しない。
・先修条件の一覧には記載がないものの、履修や単位修得にあたり条件を課される場合がある。そのため、授業内での説明、掲示、シラバス等、各自責任を持って確認をすること。

Ⅳ　履修登録

1．履修登録の方法

履修登録は指定の期間に Web 上で行うこと。

履修が確定した後の登録科目は変更が一切認められない。履修登録に関して日程等に変更があった場合には、すべて教学 Web を通じて連絡するので、毎日確認すること。

授業開始までの申し込み〈予備登録科目・事前申込みを要する科目（一部の再履修科目含む）〉

授業科目によっては、授業開始前の準備や収容人数の制限等の事情によって、授業開始前に申し込み手続を完了しておかなければ履修できないものがある。以下の記載事項をよく読んで誤りのないよう手続き（予備登録）を行なうとともに、予備登録した科目は必ず履修すること。

事前申し込みで履修を許可された場合にも、Web による正式な履修登録を行う必要がある。Web による履修登録の際は必ず許可された科目を入力すること。一部の科目は、Web 上ではあらかじめ科目が表示されているが、その内容に間違いがないかどうか各自の責任で確認すること。

〈春学期履修登録〉

履修登録該当授業科目

①予備登録で許可された授業科目および事前申込科目（一部の再履修科目含む）

②春学期開講の授業科目

③通年開講および通年開講扱いの授業科目（集中講義・卒研科目など）

通年科目および通年扱い科目を履修する場合、該当する曜日・時限の秋学期の時間割もよく確かめておくこと。履修した通年科目を秋学期に他の科目に変更することはできない。

履修登録スケジュール
履修登録　**4月9日(金) 9:00～4月13日(火) 16:50** ※期間中は追加・削除が可能。
修正手続　**4月16日(金) 9:00～4月17日(土) 16:50** ※期間中は追加・削除が可能。
(最終) 履修登録確認 (Web)　**4月23日(金) 8:50～** 各自 Web 上で最終の登録内容を必ず確認すること。
履修の中止　**5月25日(火) 9:00～5月31日(月) 16:50** ※履修中止できない科目については、教学 Web サービスの画面から確認すること。

〈秋学期履修登録〉

履修登録該当授業科目
①予備登録で許可された授業科目および事前申込科目（一部の再履修科目含む）
②秋学期開講の授業科目

履修登録スケジュール
履修登録　**9月21日(火) 9:00～9月23日(木) 16:50** ※期間中は追加･削除が可能。
修正手続　**9月27日(月) 9:00～9月28日(火) 16:50** ※期間中は追加･削除が可能。
(最終) 履修登録確認　**10月2日(土) 8:50～** 各自 Web 上で最終の登録内容を必ず確認すること。
履修の中止　**11月15日(月) 9:00～11月19日(金) 16:50** ※履修中止できない科目については、教学 Web サービスの画面から確認すること。

2．履修登録の科目数・単位数

単位数制限とは、1学期間に履修できる単位数の上限であり、無理のない学習の指針を与えるものである。この制限内で、各自の学習計画に基づいた履修登録を行うこと。

なお、理工学部開講科目では、従来から定期試験欠席者に対しても平常試験や授業中の学習状況を加味することによって、0点を含めた成績評価を行っている。登録した科目にはすべて評価がつくのでよく考えて履修すること。

(単位数制限)

	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
数理科学科	23	23	23	23	24	24	24	24
物理学科	25	24	25	24	25	24	25	24
先進エネルギーナノ工学科	25	24	24	25	25	24	25	24
化学科	25	24	24	24	24	24	25	24
環境・応用化学科	25	24	24	24	25	24	25	24
生命科学科	25	24	24	24	25	24	25	24
生命医化学科	25	24	24	24	25	24	25	24
情報科学科	25	23	25	23	24	25	24	25
人間システム工学科	23	25	25	23	24	25	24	25

※成績優秀者（当該学期の GPA が3.0以上である者）は、次学期の履修単位数制限が緩和され、4単位増加する。

ただし、下記の科目に関しては、上記の単位数制限の対象外とする。

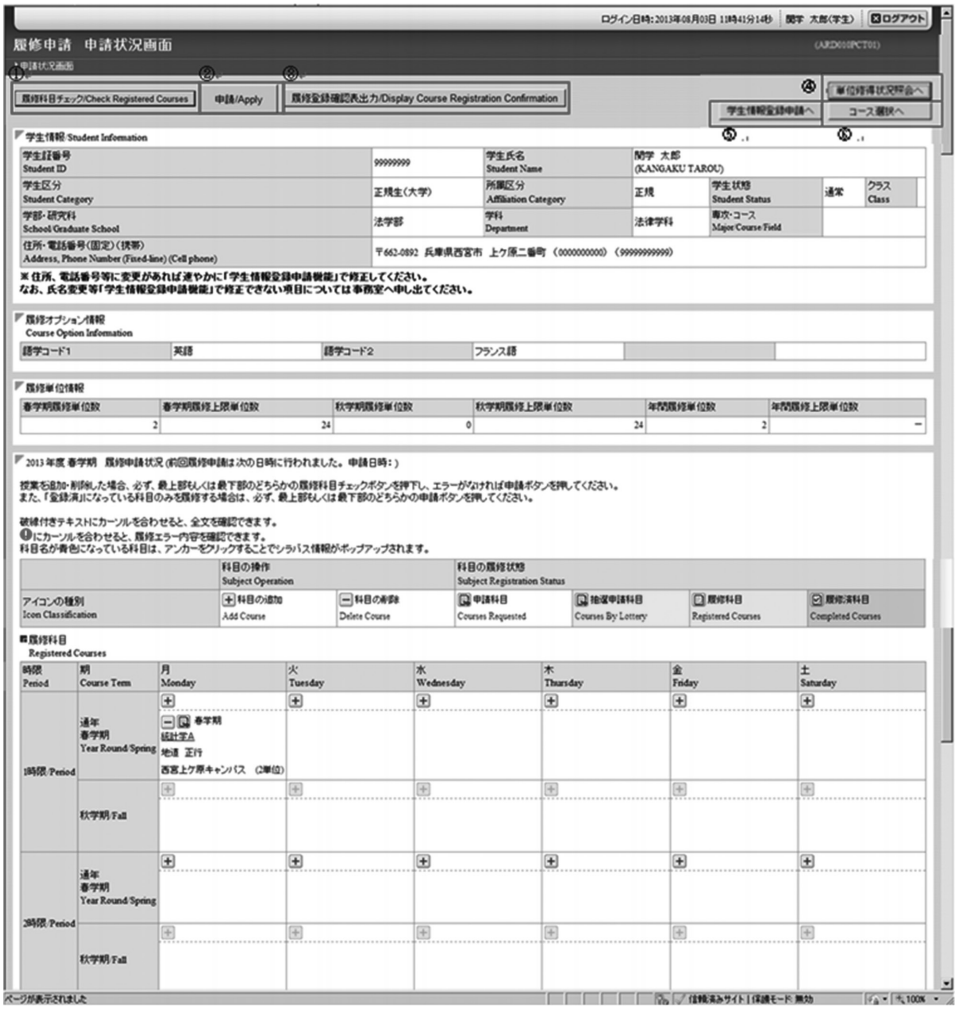
資格取得科目、理工学部開講の集中講義科目（夏期・冬期)、地球環境科学実験
ハンズオン・ラーニングセンターが2019年度以降授業期間外に開講する集中講義科目、
国連・外交フィールドワーク、国際教養としての時事問題

※教育原論、発達・学習過程論は資格取得科目だが、単位数制限に含まれる。
※スポーツ科学・健康科学科目は単位数制限に含まれる。
※理工学部開講の集中講義科目の成績が登録されるのは、履修が完了した次の学期となる。
例えば、秋学期集中で履修した場合、成績が登録されるのは春学期終了後となるため、進級・卒業の際には注意をすること。

履修登録の方法

履修登録の詳細な手順については、教学 Web サービストップページに「マニュアル」を掲載しているので、参照すること。

履修申請　申請状況画面
※履修申請の初回申請時には「1.2.2 本人情報申請画面」に遷移します。



【表示アイコン】

アイコン	処　理
＋（科目の追加）	「履修申請　配当科目選択画面」が表示され、科目が追加できます。 履修申請運用期間外、または履修申請確定済みの場合、非活性で表示されます。
－（科目の削除）	追加された科目が削除されます。 履修申請確定済みの場合、非活性で表示されます。
（申請科目）	セルの背景色が白色で表示され、押下すると「学籍情報保守　授業・時間割照会（詳細）」がポップアップで表示されます。
（抽選申請科目）	セルの背景色が薄青色で表示され、抽選中の科目を表示します。 抽選名称にマウスをあてると科目名称・教員名・単位数・開講キャンパスの情報を表示します。
（履修科目）	セルの背景色が薄オレンジ色で表示され、押下すると「学籍情報保守　授業・時間割照会（詳細）」がポップアップで表示されます。
（履修済科目）	セルの背景色が青紫色で表示されます。
（エラーアイコン）	エラーがある場合、表示されます。マウスをあてるとエラーメッセージが表示されます。

履修年度、現在の開講期が表示されますので、確認してください。
履修申請の登録・変更を行う場合は、該当曜日時限の「＋」・「－」アイコンを押下します。
集中講義（日曜日の開講授業も含む）の登録・変更を行う場合は、画面下部の「集中・その他」の「＋」・「－」アイコンを押下します。

※「＋」・「－」で登録・変更を行っただけでは履修申請は完了しません。メール送信もされません。

必ず「履修チェックボタン」を押下してエラーがないか確認した後、「申請ボタン」を押下してください。申請ボタンを押下しないと変更が反映されません。

「現在の履修単位数」
履修申請を行うと単位数が加算されます。履修可能な単位数を超過していないか、確認してください。
履修申請マトリクス画面で申請内容を確認した後は、画面上部もしくは下部の「履修チェック」ボタンを押下してください。エラーがある場合、該当部分にエラーアイコンが表示されますのでエラーを解消して再度「履修チェック」ボタンを押下してください。エラーがない場合、「申請」ボタンが活性化しますので「申請」ボタンを押下してください。「申請」ボタンを押下することで、履修申請が完了し、メールが送信されます。

履修登録の注意事項

（1） ペア科目（実験科目等1週間に2回以上授業を実施する科目）の入力には、特に注意すること。授業が行われるすべての曜日・時限（コマ）に、科目を選択すること。

☆ 2021年度　理工学部ペア科目

微分積分Ⅰ・Ⅱ	線形代数Ⅰ・Ⅱ
基礎解析学Ⅰ	集合と位相
解析学Ⅰ・Ⅱ	幾何学Ⅰ・Ⅱ
代数学Ⅰ・Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ
物理学実験Ⅰ・Ⅱ	ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱ
基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ	無機分析化学実験
物理化学実験	有機化学実験
環境・応用化学実験Ⅰ・Ⅱ	生命科学入門実験
細胞・組織学実験	生命分子・生化学実験
基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱ	先端生命科学実験Ⅰ・Ⅱ
先端医化学実験Ⅰ・Ⅱ	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
メディア・ロボット実験	

（2） キャンパス間の移動を伴う履修の場合、授業形態ごとに取り扱いが異なるため全学部共通ページ「Ⅲ．授業科目の履修にあたって」の12および13を十分に確認すること。

（3） 履修登録申請後、Web上の画面をプリントアウトしたり、「学生手帳」の時間割記入頁を利用するなどして登録科目をメモしておくこと。なお、履修登録申請したつもりでも登録出来ていないことがよくあるため、最終確認をスケジュール内に必ず行うこと。

3．授業時間割

「理工学部授業時間割」には、理工学部開講科目および理工学部生に関係する全学共通科目の授業時間帯、担当教員名、教室などが掲載されている。理工学部開講科目は表面に、全学科目は裏面に、春学期と秋学期に分けて表にしてある。通年科目を履修する場合は、秋学期の時間割もよく確認しておくこと。他学部開講の科目の履修を希望する場合は、当該学部の授業時間割などをもとに各自情報収集すること。他学部の時間割は、当該学部の事務室で閲覧することができる。

なお、理工学部では、毎週月曜日、火曜日、水曜日、金曜日のチャペルアワー（10：40～11：10）にチャペル（礼拝）が行われている。キリスト教の信仰に限らず、広く心の糧や生きる指針を与えてくれる場でもあるので、出席するよう勧める。

履修上の優先順位について

理工学部のカリキュラムでは、できるだけ自主的な履修計画を尊重しているが、演習科目および実験・実習科目は設備上の制約があるので、履修希望者が定員を超過した場合は、次のような原則で履修上の優先順位を設けている。ただし、特段の事情がある場合はこの限りではない。

優先順位1　当該科目を必修科目とする当該履修基準年度の学生。
優先順位2　当該科目を必修科目とする当該履修基準年度以外の学生。
優先順位3　当該科目を教職免許種（※）の必修科目とする教職免許取得希望者。
優先順位4　当該科目を必修科目としない当該履修基準年度の学生。
優先順位5　当該科目を必修科目としない当該履修基準年度以外の学生。
※ただし、各所属学科に設置された教職免許種のみとする。

4．2021年度　神戸三田キャンパス開講科目の履修制限（排他）について

以下の科目は、どちらか一方のみ履修できるものとする。また、すでにどちらか一方の単位を修得している場合は、他方の科目を履修することはできない。

① 心理学（理工学部開講）と心理学概論（総合政策学部開講）
② 社会学（理工学部開講）と社会学概論（総合政策学部開講）
③ 地誌学（理工学部開講）と地誌学（総合政策学部開講）
④ 西洋史（理工学部開講）と西洋史概説（総合政策学部開講）

5．他学科履修の制限

他学科カリキュラムの実験・実習科目および演習科目（後掲「理工学部学則別表」参照）は、原則として履修することができない。ただし、教職課程を希望する学生、および特別な事情でこれらの科目の履修を希望する者は、履修が認められる場合があるので、Ⅵ号館１階事務室へ申し出ること。（申し出の期間は教学 Web で確認すること）

また、実験・実習科目および演習科目以外の科目でも、以下の科目については、学科による履修の制限がある。

数理科学科生は履修不可の科目
微積分学Ⅰ
微積分学Ⅱ
線形代数学Ⅰ
線形代数学Ⅱ
線形代数学Ⅲ
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
物理と確率
物理のための幾何入門
物理数学Ⅰ
物理数学Ⅱ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
生物統計学
基礎医化学入門
メディア工学基礎
情報科学のための確率・統計
コンテンツテクノロジー

物理学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
確率統計入門
幾何入門
基礎物理学Ａ
基礎物理学Ｂ
基礎物理学Ｃ
基礎物理学Ｄ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
統計熱力学
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

先進エネルギーナノ工学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
基礎物理学Ａ
基礎物理学Ｂ
サブゼミ
熱力学
量子力学Ⅰ
量子力学Ⅱ
熱統計力学Ⅰ
熱統計力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎量子化学
発展物理化学
発展有機化学
化学概論
生命有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

環境・応用化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
量子化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

生命科学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

生命医化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
コンテンツテクノロジー

情報科学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門

人間システム工学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
先進エネルギーナノ工学概論
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎化学実験法
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門

6．クラス指定

授業科目により、所属学科や学生番号ごとに履修するクラスが定められている場合がある。クラス分けは、毎学期「クラス分け指定一覧」にて掲示するので、教学 Web お知らせや掲示板を確認すること。各自、間違いのないよう、指定されたクラスを選択すること。また、2017年度以降入学生で、入門英語ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢを履修する場合は、別紙にてクラスを指定する。

7．英語の履修について〈再履修等、事前申込をするケース〉

英語リーディングＩを再履修しなければならない学生は、指定された再履修クラス（クラス28）で履修すること（要事前申込）。

また、英語ライティングＩ、英語コミュニケーションＩ、英語リーディングⅡ、英語ライティングⅡ、英語コミュニケーションⅡには再履修クラスを設けないので、指定された期間に、確実に事前申込をすること。ただし、クラス間で履修者数の調整を行うため、必ずしも希望どおりのクラスを履修登録できるとは限らない。必ず履修者発表で自分のクラスを確認すること。

〈履修例〉

2021年度春学期	2021年度秋学期	2022年度春学期
英語リーディングＩＡ ⟶【不合格】 英語ライティングＩＡ ⟶【不合格】 英語コミュニケーションＩＡ ⟶【合格】	英語リーディングＩＡを 指定のクラスで再履修 ＋ 英語リーディングＩＢ 英語ライティングＩＢ 英語コミュニケーションＩＢ	英語ライティングＩＡを 再履修 ＋ 英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ

8．「海外理工学プログラム」・「理工学特別プログラム」の履修について

海外理工学プログラム及び理工学特別プログラムについて、同一名称の科目が複数開講されることがある。その際には、副題でこれを区別し、同一名称科目であっても副題が異なる（内容が異なる）場合は、重複して履修・修得することが可能である。ただし、副題が同じ科目（内容が同じ科目）については２回以上修得できないので、注意すること。当該年度開講予定科目については随時説明会等で案内する。

9．2021年度　全学科目　開講一覧・履修登録（事前申込含む）について

2021年度の全学科目の開講は以下のとおりです。
各授業科目の授業形態は、シラバスの「授業方法」欄で確認してください。
履修登録については、下記とともに、次頁以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり
共通教育センター（教務機構）……共通　　スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）……スポ
言語教育研究センター（教務機構）……言セン　　ハンズオン・ラーニングセンター……HoLC
国際教育・協力センター、日本語教育センター……CIEC　　国連・外交統括センター……国連・外交

◎申込方法

「教学 Web サービス」は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

A	Web での事前申込のみ	日程：春学期　4/1(木)　9：00～4/3(土)　16：50　　発表：4/7(水)　9：00 秋学期　9/9(木)　9：00～9/10(金)　16：00　　発表：9/15(水)　9：00
B	Web での事前申込＋担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間は Web 事前申込と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の学生は Web での事前申込のみで可
■	別日程での申込期間は 各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口：言セン……『Language Programs 2021 インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC……教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）、各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交……教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web 履修登録・修正期間に Web 登録	

＊注意事項に※のあるものは、次頁以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。
＊事前申込科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を適宜確認してください。
＊担当窓口　言セン、HoLC については、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。
＊CIEC 提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春	言語教育科目										
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	1～10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	1～10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	1～10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	1～10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1～5	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり（入学前）
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	31～60	春	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English (Basic)	1～7	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening)	1～2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L1	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L2	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Speaking & Listening) L3	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Writing) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Reading) L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L3	1～2	春	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Academic) L4	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business A) L2	1～2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English (Business B) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEFL)	1～2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEFL) L2	1～2	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (TOEIC)	1～4	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English (TOEIC) L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English (IELTS)	1～3	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ケ原	75	9/6～10の5日間 予備日9/11
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1～3	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1～2	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり

春学期開講科目

春　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
A		言セン	基礎フランス語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	40	
		言セン	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ポルトガル語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	朝鮮語初級Ⅲ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	インドネシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A		言セン	日本手話初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	16	
A		CIEC	ビジネス日本語A	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語B		春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

春　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	1	浦田　達也	2	1	火2	西宮上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	永石　高敏	2	1	月5	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	溝畑　潤	2	1	木1	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義　KSC	2	山下　伸一	2	1	水1	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	高島　規郎	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	高島　規郎	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島　規郎	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	廣田　音奏	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	仲田　秀臣	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	仲田　秀臣	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	フットサル	1	森　祐貴	2	1	月2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	山根　誠	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	浦田　達也	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	廣田　音奏	2	1	水3	西宮上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	山本　浩二	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	11	森　祐貴	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	山本　浩二	2	1	金3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	川上　光宣	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上　光宣	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	1	廣田　音奏	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	1	林　直也	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	森　祐貴	2	1	月3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	山根　誠	2	1	水1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	佐藤　博信	2	1	木1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	4	木谷　織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	5	木谷　織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	6	木谷　織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	7	山下　伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	8	山下　伸一	2	1	水3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	9	溝畑　潤	2	1	金1	神戸三田	35	

春学期開講科目

春　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	10	溝畑　潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	11	溝畑　潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア（キャンプ）	1〜2	林　直也	2	1	集中	西宮上ケ原・学外	40（各20）	4月〜7月に2回事前授業あり 8月実施

春　AI活用人材育成科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI活用入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習A	1	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習B	1	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用実践演習A（Java によるWebアプリケーションデザイン）	1	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A	※	共通	AI活用実践演習B（Python による機械学習・深層学習）	1	岩森　俊哉	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用実践演習C（Webデザイン）	1	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用データサイエンス入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ	1	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅰ	1	西野　均	2	2	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅱ	1	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、8月〜9月予定

春　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	1〜7	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	1〜8	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	1〜3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1〜2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	1〜2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1〜3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	国際情報分析	1〜5	春	2	1		上ケ原・三田	24	
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	1〜2	春集中	2	1		西宮上ケ原	24	
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	1	春	2	1		西宮上ケ原	100	
		CIEC	SDGsスタディーズ入門		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	カナダ研究入門A		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies D		春	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1〜4	春	2	1		上ケ原・三田	30	
A		CIEC	多文化共修科目		春	1〜3	1		西宮上ケ原	15	
B		CIEC	総合日本学習科目		春 春集中	2〜3	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	1〜3	春	2	1		西宮上ケ原	25	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（開発）		春	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり。MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ケ原・東ティモール	10	選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照
■		国連・外交	国連セミナー		春集中	2又は4	2	◎	上ケ原・学外	20	選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照

春　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口　悟	2	1	水3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可

春学期開講科目

春　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	冨岡　克彦	2	1	木2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	冨岡　克彦	2	1	水4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	1	石田　秀朗	2	1	金4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事A【日本企業編】	2	石田　秀朗	2	1	金5	西宮上ケ原	42	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺　一成	2	1	木3	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	渡辺　一成	2	1	木4	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	渡辺　一成	2	1	木5	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺　一成	2	1	金1	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺　一成	2	1	水3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺　一成	2	1	水4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	渡辺　一成	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	渡辺　一成	2	1	火4	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺　一成	2	1	火5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺　一成	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺　一成	2	1	水1	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺　一成	2	1	水2	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	佐藤　裕	2	2	火5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	佐藤　裕	2	2	火3	神戸三田	30	
■	※	HoLC	ライフ・キャリア リーダーシップ実習		佐藤　裕	2	1	集中	未定	20	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	奥貫　麻紀	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	キャリアゼミA	1	森　隆史	2	1	木2	西宮上ケ原	45	土曜日にも数回授業あり
A	※	HoLC	キャリアゼミA	2	森　隆史	2	1	木4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり
■	※	HoLC	キャリアゼミB		森　隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照

春　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	1	大宮　有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンドB型
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権A		高島　千代	2	1	火4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権A		倉島　哲	2	1	火3	西宮上ケ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田有希子	2	1	金2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権A		宮下　博幸	2	1	月4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見　和志	2	1	木4	神戸三田	200	
A	※	共通	災害復興学A	被災者支援		斉藤　容子	2	1	金2	西宮上ケ原	100	
A	※	共通	総合コース808	リーダーシップ論入門		志甫　啓	2	1	火4	西宮上ケ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡　克尚	2	1	火5	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門A		鈴木敬一郎	2	1	水2	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴　毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学		大村谷昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		1	渡辺　一成	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		2	渡辺　一成	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		3	渡辺　一成	2	1	火2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		4	渡辺　一成	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		5	渡辺　一成	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		6	渡辺　一成	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		1	西口　啓太	2	1	月2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		2	西口　啓太	2	1	月3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		3	西口　啓太	2	1	金2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		4	福山　佑樹	2	1	水2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		5	福山　佑樹	2	1	水3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		6	福山　佑樹	2	1	水4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		7	福山　佑樹	2	1	木2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		8	福山　佑樹	2	1	木3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		9	福山　佑樹	2	1	木4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		10	三井　規裕	2	1	金3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		11	三井　規裕	2	1	金4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		12	野瀬由季子	2	1	火1	西宮上ケ原	20	

春学期開講科目

春　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		13	野瀬由季子	2	1	火 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		14	野瀬由季子	2	1	火 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		15	西口　啓太	2	1	木 2	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		16	西口　啓太	2	1	木 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		17	野瀬由季子	2	1	水 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		18	時任　隼平	2	1	火 3	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		1	三井　規裕	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		2	三井　規裕	2	1	金 5	西宮上ケ原	30	
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」			澤村　雅史	2	1	集中	上ケ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		1	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 4	西宮上ケ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		2	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		1	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		2	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 3	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		3	木本　浩一 向井光太郎	2	1	水 2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA（定量編）		1	時任　隼平	2	1	金 3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA（定量編）		2	時任　隼平	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		1	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		1	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）		1	向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		1	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		1	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）		1	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）		1	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		1	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 2	8月上旬から9月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		1	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 1	8月上旬から9月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】			シュラーデ　アンナ 広瀬　憲三 小林　伸生	2	1	集中	西宮上ケ原	30	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神HD㈱と挑む社会課題】			奥貫　麻紀	4	1	水 4, 水 5	西宮上ケ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】			村尾　信尚 時任　隼平	2	1	集中	上ケ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】		1	奥貫　麻紀	2	1	火 2	上ケ原・三木	15	数回現地実習あり

春学期集中科目は、2021年度春学期卒業見込者は履修できません。
ただし、CCCプログラム（Certificate Program、MS特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」）登録者及び実践型“世界市民”育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

秋　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	11～20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	11～20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	11～20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	11～20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	1～30	秋	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English（Basic）	8～14	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）	3～4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L1	2～3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L2	2～3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L3	2～4	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L3	3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L4	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business A）L2	3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business B）L2	2～3	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（TOEFL）	3～6	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEFL）L2	3～4	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり

秋学期開講科目

秋　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		言セン	Skills-based English（TOEIC）	5～8	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEIC）L2	2～3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（IELTS）	4～5	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1～3	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2～3	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1～2	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	3	秋	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ロシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	5～6	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	2～4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	2～3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初中級	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	3～4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅱ	1～3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語中級	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	日本手話初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A		CIEC	ビジネス日本語A	2～3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	2～3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

秋　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	2	浦田　達也	2	1	火2	西宮上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石　高敏	2	1	月5	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	溝畑　　潤	2	1	木1	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義　KSC	4	山下　伸一	2	1	水3	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島　規郎	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島　規郎	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島　規郎	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	12	廣田　音奏	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	仲田　秀臣	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田　秀臣	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	山本　浩二	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	3	森　　祐貴	2	1	月2	西宮上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	浦田　達也	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	廣田　音奏	2	1	水3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森　　祐貴	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見　和至	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本　浩二	2	1	金3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	3	川上　光宣	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	4	川上　光宣	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	廣田　音奏	2	1	水1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林　　直也	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	森　　祐貴	2	1	月3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	林　　直也	2	1	水1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	山根　　誠	2	1	水3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	15	木谷　織信	2	1	火1	神戸三田	35	

秋学期開講科目

秋　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	16	木谷　織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	17	木谷　織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	18	山下　伸一	2	1	水1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	19	山下　伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	20	溝畑　潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	21	溝畑　潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	22	溝畑　潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア（スキー・スノーボード）	1〜4	佐藤　博信	2	1	集中	西宮上ケ原・学外	32（各8）	9月〜1月に3回事前授業あり 2月実施

秋　AI活用人材育成科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI活用入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習A	2	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習B	2	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン実践演習	1	西野　均	2	2	木2	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン実践演習	2	西野　均	2	2	水4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用実践演習A（Java によるWebアプリケーションデザイン）	2	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A	※	共通	AI活用実践演習B（Python による機械学習・深層学習）	2	岩森　俊哉	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用実践演習C（Webデザイン）	2	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用データサイエンス入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ	2	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習	1	西野　均	2	2	木3	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習	2	西野　均	2	2	水5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用発展演習Ⅰ	2	西野　均	2	2	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅱ	2	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、2月〜3月予定

秋　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	8〜16	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	9〜18	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	4〜6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3〜5	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	3〜4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4〜6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	6〜10	秋	2	1		上ケ原・三田	24	
		CIEC	国際平和構築論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	教育開発論		秋集中	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	3〜4	秋集中	2	1		西宮上ケ原	24	
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	2	秋	2	1		西宮上ケ原	100	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5〜8	秋	2	1		上ケ原・三田	30	
		CIEC	日本文化総論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
		CIEC	日本政治総論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
		CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	多文化共修科目		秋	1〜3	1		西宮上ケ原	15	
B		CIEC	総合日本学習科目		秋 秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	2〜3	秋 秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	4〜6	秋	2	1		上ケ原・三田	25	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1		西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（平和・人権・人道）		秋	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1		西宮上ケ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学Web（※）、募集要項等参照

秋学期開講科目

秋　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎	西宮上ケ原	15	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象

※教学 Web は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

秋　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口　悟	2	1	水 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口　悟	2	1	水 3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	冨岡　克彦	2	1	木 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	冨岡　克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	3	石田　秀朗	2	1	金 4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	4	石田　秀朗	2	1	金 5	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ｂ【外資系企業編】	1	森　隆史	2	1	木 3	西宮上ケ原	120	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ｂ【外資系企業編】	2	森　隆史	2	1	木 4	西宮上ケ原	120	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	未　定	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	未　定	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	渡辺　一成	2	1	木 5	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺　一成	2	1	金 1	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺　一成	2	1	水 3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	12	渡辺　一成	2	1	水 4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	7	未　定	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	8	未　定	2	1	火 4	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	9	渡辺　一成	2	1	火 5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	10	渡辺　一成	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	11	渡辺　一成	2	1	水 1	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	12	渡辺　一成	2	1	水 2	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	3	佐藤　裕	2	2	火 5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	4	佐藤　裕	2	2	火 3	神戸三田	30	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	2	奥貫　麻紀	1 もしくは 2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	キャリアゼミＣ		森　隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	霞が関セミナー		向井光太郎 神余　隆博 村尾　信尚 原田賢一郎	2	1	集中	上ケ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照

秋　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	2	大宮　有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンドＢ型
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権Ｂ		李　恩子	2	1	火 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権Ｂ		倉島　哲	2	1	火 3	西宮上ケ原	200	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井由起子	2	1	月 2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権Ｂ		宮下　博幸	2	1	月 4	西宮上ケ原	—	
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷　正登	2	1	木 3	西宮上ケ原	200	授業形態はオンデマンドＡ型
		共通	人権教育科目018	人権と共生		白川　俊介	2	1	木 3	神戸三田	—	
A	※	共通	災害復興学Ｂ	人の復興・まちの復興		斉藤　容子	2	1	金 2	西宮上ケ原	100	
		共通	総合コース215	インターネットとヘイトスピーチ		河村　克俊	2	1	火 5	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座002	たからづか学		加藤　哲弘	2	1	木 2	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座005	医学入門Ｂ		石戸　聡	2	1	水 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		7	渡辺　一成	2	1	月 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		8	渡辺　一成	2	1	火 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		9	渡辺　一成	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		10	渡辺　一成	2	1	木 1	西宮上ケ原	30	

秋学期開講科目

秋　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		11	渡辺　一成	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		12	渡辺　一成	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		19	西口　啓太	2	1	月 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		20	西口　啓太	2	1	月 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		21	西口　啓太	2	1	木 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		22	西口　啓太	2	1	木 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		23	西口　啓太	2	1	木 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		24	福山　佑樹	2	1	火 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		25	福山　佑樹	2	1	水 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		26	福山　佑樹	2	1	水 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		27	福山　佑樹	2	1	水 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		28	三井　規裕	2	1	金 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		29	三井　規裕	2	1	金 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		30	野瀬由季子	2	1	火 1	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		31	野瀬由季子	2	1	火 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		32	野瀬由季子	2	1	金 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		33	福山　佑樹	2	1	木 4	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		34	福山　佑樹	2	1	木 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		35	野瀬由季子	2	1	水 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		36	時任　隼平	2	1	水 4	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		3	三井　規裕	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		4	三井　規裕	2	1	金 5	西宮上ケ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		3	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 4	西宮上ケ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		4	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		4	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		5	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 3	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		6	木本　浩一 向井光太郎	2	1	水 2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）		1	時任　隼平	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）		2	時任　隼平	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		2	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		2	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）		2	向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		2	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		2	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（大阪・上本町）			向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）		2	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）			木本　浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）		2	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和FW）			木本　浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		2	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 2	2月上旬から3月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		2	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 1	2月上旬から3月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・アドバンストⅠ			木本　浩一 向井光太郎	2	2	集中	全国各地	15	詳細は「募集要項」を参照
A		HoLC	PBL特別演習005【アントレプレナー養成講座】		1	西元　　涼	2	1	月 5	西宮上ケ原	25	
A		HoLC	PBL特別演習005【アントレプレナー養成講座】		2	西元　　涼	2	1	月 3	神戸三田	25	
A	※	HoLC	PBL特別演習009【三木市・旧市街地FW】		2	奥貫　麻紀	2	1	火 2	上ケ原・三木	15	数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2021年度秋学期卒業見込者は履修できません。（ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・アドバンスト」を除く）
ただし、CCCプログラム（Certificate Program、MS特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」）登録者及び実践型“世界市民”育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

10. 2021年度　全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。
履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」（※）を参照してください。

■優先申込について

事前申込より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。
※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対 象 者	教育職員免許状取得のために履修する必要のある **3 年生以上**の未履修者
対象科目	「体育方法学講義Ｃ」・「体育方法学演習Ｃ」
申込方法	教学 Web サービス（URL：https://webinfo.kwansei.ac.jp/）（※） ※講義・演習科目ともに第２希望まで申し込むことができます。
発　　表	教学 Web サービス（※）

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

◆春 学 期：申込期間　2021年３月23日（火）９：00～３月24日（水）16：50締切
　　発　　表　2021年３月26日（金）９：00～
◆秋 学 期：申込期間　2021年９月６日（月）９：00～９月７日（火）16：00締切
　　発　　表　2021年９月９日（木）９：00～

Ⅰ．申込にあたっての注意事項

１．１学期（春学期又は秋学期）に履修できる科目は講義１科目、演習１科目の２科目４単位までです。
２．同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
　例）【スポーツ科学演習Ａ１：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習Ａ21：バドミントン】を履修できません（同じ「スポーツ科学演習Ａ」であるため）。
３．講義科目は開講科目数まで、演習科目は第５希望まで申し込むことができます。
（ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと）
４．科目には、西宮上ケ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。
※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため
履修の中止を申請することはできません。
学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

１．卒業要件との関係
　全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

２．教職課程を履修する場合
　スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義Ｃ」と「体育方法学演習Ｃ」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ１科目２単位の合計２科目４単位を選択し履修しても構いません。
※理工学部生、理学部生、工学部生、生命環境学部生、総合政策学部生、建築学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義Ｃ」と「体育方法学演習Ｃ」を履修してください。
※優先申込制度があります（教育学部を除く）。
※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3．養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習Ｃ」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期　2021年４月２日（金）16：50まで
　　秋学期　2021年９月２日（木）16：00まで

4．集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習Ｃ（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習Ｄ（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5．演習科目の履修についての諸注意

1）第１回目の授業

演習科目の第１回目の授業はオリエンテーションを行います。**更衣はせず**に下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

学　期	科　目　名	集 合 場 所
春	西宮上ケ原キャンパス開講　全演習科目	総合体育館２Ｆ
	神戸三田キャンパス開講　全演習科目	未定※
秋	西宮上ケ原キャンパス開講　全演習科目	総合体育館２Ｆ
	神戸三田キャンパス開講　全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

2）授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ケ原キャンパス：当日、総合体育館１Ｆエントランスホールの掲示板にて指示。
神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3）受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4）「総合体育館」（西宮上ケ原キャンパス）および「体育館アリーナ」（神戸三田キャンパス）の利用際の注意事項

①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。
②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。
③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5）成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、リポート等により総合評価します（講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください）。

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を参照してください。

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」 「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 「AI 活用データサイエンス入門」	「AI 活用入門」
「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用アプリケーションデザイン入門」
「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス入門」
「AI 活用発展演習Ⅰ」	「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 のすべての科目 または 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 のすべての科目
「AI 活用発展演習Ⅱ」	「AI 活用発展演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」 のすべての科目 または 「AI 活用発展演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」	「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」 （2020年度まで開講）

2．新旧科目群の取扱い

下表の科目群は旧科目群のコンテンツを組み替えて、講義中心の科目（「～入門」）と演習中心の科目（「～実践演習」）に分けて開講します。表の右の科目群（旧科目群）と左の科目群（現科目群）は同一内容となるため、旧科目群の２科目の単位を既に修得している場合、現科目群を履修できません。

なお、旧科目群の２科目の単位をともに修得した場合、現科目群の２科目の単位を修得したことと同等と認定します。

現科目群	旧科目群
「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」
「AI 活用データサイエンス入門」 「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」

（例１：旧科目群の２科目の単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習Ａ」と「AI 活用導入演習Ｂ」の単位を既に修得している場合、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できません。

「AI 活用アプリケーションデザイン入門」と「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」の単位を修得したことと同等と認定します。

（例２：旧科目群の１科目のみの単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習Ａ」の単位を既に修得しているが、「AI 活用導入演習Ｂ」の単位を未修得の場合は、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できます。ただし、AI 活用人材育成プログラムを進むためには「AI 活用アプリケーションデザイン入門」の単位を修得した後、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」を履修する必要があります。

3．2021年度入学生への注意事項

2021年度入学生は上記表の旧科目群（「AI 活用導入演習Ａ」、「AI 活用導入演習Ｂ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」）を履修できません。2021年度からの新カリキュラムとして開講する現科目群（「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」、「AI 活用データサイエンス入門」、「AI 活用データサイエンス実践演習」）を履修してください。

4．2020年度以前入学生への注意事項

上記表の旧科目群の内、「AI 活用導入演習Ａ」、「AI 活用導入演習Ｂ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」は2021年度までの開講とし、2022年度以降は開講されません。既に旧科目群の２科目の内、一方の科目の単位を修得していて、旧科目群の単位にて AI 活用人材育成プログラムの修了を計画している場合は、必ず2021年度中にもう一方の旧科目を履修してください。

5．集中講義

1）集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

2）授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

6．開講キャンパス

科目には、西宮上ケ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

7．履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

1．AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。

2．AI 活用人材育成科目の対面授業では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC（Microsoft Windows10、または Mac OS X 10.8以上）を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク（持込デバイス用（無線）KGU-WLAN）の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』のページ」を参照してください。

3．「AI 活用入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用データサイエンス入門」はオンデマンドＢ型オンライン授業として開講します。受講時に顔認証による本人確認を行いますので、PC にカメラ機能が備わっていない場合は必ず Web カメラを準備してください。

《ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］》

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
● ライフ・キャリア リーダーシップ実習	● キャリアゼミＣ
● インターンシップ実習	● 霞が関セミナー
● キャリアゼミＢ	

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．**同一名称科目**

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分（インターンシップ講義） 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》

2．集中講義の申し込みについて

1）次の科目は、2021年９月卒業見込の方は履修申込ができません。
「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「インターンシップ実習１」「キャリアゼミＢ」

2）次の科目は、2022年３月卒業見込の方は履修申込ができません。
「インターンシップ実習２」「キャリアゼミＣ」「霞が関セミナー」

3）授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。

4）次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
「インターンシップ実習２」「キャリアゼミＣ」「霞が関セミナー」

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

1．ライフ・キャリア リーダーシップ実習 〈春学期集中〉

・履修にあたっては、実習先への往復交通費、宿泊費、食費等が必要です。
・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

8月25日(水)	：事前学修
8月29日(日)～9月1日(水)	：実習
9月3日(金)	：事後学修

2．インターンシップ実習 〈春学期集中・秋学期集中〉

キャリアセンター提供の「KG枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後学修の受講が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申込が可能です。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、募集要項を参照してください。

3．キャリアゼミA 〈春学期〉

・本科目は木曜日（西宮上ケ原・神戸三田）だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

《開講予定日》

4月8日(木)、4月15日(木)、4月22日(木)、5月6日(木)、5月20日(木)、5月27日(木)、6月10日(木)、6月17日(木)、6月24日(木)、7月1日(木)、7月8日(木)
合同開講：5月15日(土)、7月3日(土)

4．キャリアゼミB 〈春学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

7月31日(土)	：事前学修
8月7日(土)～8月9日(月・祝)	：実習
8月11日(水)	：事後学修

5．キャリアゼミC 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月25日(金)	：事前学修
3月2日(水)～3月6日(日)	：実習
3月11日(金)	：事後学修

6．霞が関セミナー 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月9日(水)	：事前学修
2月15日(火)～2月18日(金)	：実習
2月24日(木)	：事後学修

《基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］》

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

募集要項を別途作成・公表する科目
●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●ハンズオン・アドバンストⅠ ● PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】 ● PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和 FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）、 社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）
社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）
社会探究実践演習Ⅱ（大阪・上本町）	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）
ハンズオン・インターンシップⅡ （ただし、先修科目と同一の受入先での実習に限る）	ハンズオン・インターンシップⅠ
	ハンズオン・インターンシップ実習

2．同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権Ａ】 人権教育科目015【障害と人権Ｂ】
スタディスキルセミナー （リポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）
災害復興学Ａ	災害復興学入門
災害復興学Ｂ	災害復興学
総合コース808	総合コース807
PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD㈱と挑む社会課題】	PBL 特別演習007 【阪急阪神ホールディングス㈱　社会課題解決 PJ】
PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001【福島から原発を考える】

3．集中講義の申し込みについて

1．次の科目は、2021年９月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈共通教育センター〉

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC)〉

平和学特別演習「ヒロシマ」

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）　1

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ　1

PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】

PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

2．次の科目は、2022年３月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC)〉

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）　2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ　2

ハンズオン・アドバンストⅠ

3．授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。

4．次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）　2、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW)、ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ　2、ハンズオン・アドバンストⅠ

5．ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ　〈春学期集中・秋学期集中〉

本科目は、旧科目「ハンズオン・インターンシップ実習」を修得済であっても履修することができ、「ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ」それぞれの重複履修も可能です。ただし、「ハンズオン・インターンシップⅡ」を履修する場合は、「ハンズオン・インターンシップⅠ」または「ハンズオン・インターンシップ実習（2020年度まで開講)」と同一の受入先での実習に限ります。

6．ハンズオン・アドバンストⅠ

本科目は「ハンズオン・アドバンストⅠ」と、2022年度から開講する「ハンズオン・アドバンストⅡ」を続けて履修し、1年間を通じて活動することが条件です。また、オンラインフォーム上でのエントリーが必要です。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

〈共通教育センター〉

「連携講座006（早期臨床体験実習）」

実習参加にあたっての注意事項

（１）　関西学院大学の健康診断を受診し感染症などの異常のないこと。（胸部レントゲン検査（結核）を必須とする。）

（２）　４種ワクチン（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の２回接種歴があることを原則とする。

抗体価検査等結果証明書を提出すること。ただし、４月の時点でワクチン接種実施証明書（医療機関等での証明又は母子手帳（写））等により２回の接種歴を証明できない場合は、実習開始までに接種を終えることは困難なため、抗体価検査を行い、抗体検査結果により必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体価検査は自費となるため注意すること（金額１万円前後）。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に７月中旬頃教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）で連絡をするので注意してください。

「連携講座006（早期臨床体験実習）」「連携講座008（医療入門）」

「連携講座009（東洋医学入門）」「連携講座014（臨床ゲノム医学）」

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

１．平和学特別演習「ヒロシマ」〈春学期集中〉

・宿泊代等の諸費用として18,000円程度（予定）必要です（現地までの交通費、現地での移動費、一部飲食代を除く）。

《開講予定日》

５月22日（土）、７月３日（土）　：事前学修

８月４日（水）～８月８日（日）　：実習

２．ハンズオン・プラクティス

本科目は木曜日（西宮上ケ原・神戸三田）だけでなく、土曜日、日曜日にも開講される回があります。

１クラス〈春学期〉

《開講予定日》

４月８日（木）、４月15日（木）、４月22日（木）、５月22日（土）、６月19日（土）、

７月１日（木）、７月８日（木）、７月15日（木）

２クラス〈秋学期〉

《開講予定日》

９月30日（木）、10月７日（木）、10月14日（木）、11月13日（土）、12月５日（日）、

12月16日（木）、12月23日（木）、１月６日（木）

３．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

４．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

５．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（大阪・上本町）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

6．社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）
・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として50,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
1クラス〈春学期集中〉
《開講予定日》
6月12日(土)、7月3日(土)、8月5日(木)：事前学修
8月8日(日)～8月14日(土)　：実習
2クラス〈秋学期集中〉
《開講予定日》
11月20日(土)、12月11日(土)　：事前学修
2月23日(水・祝)～2月28日(月)：実習

7．社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）〈秋学期集中〉
・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
《開講予定日》
11月20日(土)、12月11日(土)　：事前学修
2月15日(火)～2月20日(日)　：実習

8．PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】〈春学期集中〉
《開講予定日》
6月5日(土)　：事前学修
8月23日(月)～8月27日(金)　：集中授業

9．PBL 特別演習007【阪急阪神 HD ㈱と挑む社会課題】〈春学期〉
学期期間中に阪急阪神沿線でフィールドワークを実施予定です。なお、交通費は原則自己負担です。

10．PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】〈春学期集中〉
・宿泊代等の諸費用として40,000円程度必要です（補助金申請中のため、25,000円になる可能性有)。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
《開講予定日》
7月9日(金)　：オリエンテーション
8月10日(火)　：事前学修
8月23日(月)～8月28日(土)　：実習

11．PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は自己負担です。

12．ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ
夏休みや春休みの約6週間にわたって実施するインターンシッププログラムです。
1クラス〈春学期集中〉
5月15日(土）にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。
2クラス〈秋学期集中〉
10月30日(土）にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。

13．ハンズオン・アドバンストⅠ　〈秋学期集中〉
活動に伴う交通費等は原則自己負担となります。

11. 2021年度　免許状取得のための他学部履修について

1　免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

2　2021年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

（1）　申し込み資格

卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。

（2）　申し込み

日　時：［通年・春学期科目］　3月22日（月）～3月26日（金）の事務室開室時間中
［秋学期科目］　8月27日（金）～9月2日（木）の事務室開室時間中
※1年生については［秋学期科目］からの申し込みとする。

手続き：

手順①　「履修申込書」（Excel ファイル）のダウンロード
教学 Web のお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。

手順②　「履修申込書」（Excel ファイル）の印刷
ダウンロードした「履修申込書」（Excel ファイル）に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものを A 4 用紙に印刷すること。
（電子データの提出は不要）

手順③　「履修申込書」の提示（確認）（上記申込期間内）
必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」（A 4 用紙）を教職教育研究センター（上ケ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス）に提示し受付印を押印してもらう。

手順④　「履修申込書」の提出（上記申込期間内）
手順③で押印を受けた「履修申込書」（A 4 用紙）を各自の所属学部事務室へ提出する。

※事前に申込が必要な授業科目の履修を申し込む場合は、上記「履修申込書」を提出するだけでは履修できないので、各自で授業を履修するために必要な申込手続きを行うこと。申込制科目名、申込手続き方法、手続き期間等の詳細については、各自で受け入れ学部に確認すること。

（3）　履修許可科目の確認

日　時：［通年・春学期科目］　4月8日（木）
［秋学期科目］　9月21日（火）

場　所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3　「理科」、「数学」、「情報」、「保健体育」、「福祉」（福祉は2018年度以前入学生のみ）の取り扱いについて

（1）　理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。
（2）　理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。
（3）　総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
（4）　人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。
（5）　人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※　なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

12. 2021年度 「博物館実習」履修について

Ⅰ　先修条件・履修者数制限

1　2021年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。
「博物館概論」２単位、「博物館経営論」２単位、「博物館資料論」２単位、
「博物館教育論」２単位、の計４科目８単位を修得すること。

2　上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。

3　先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を超える場合は、履修者数制限を行う。その方法は以下のとおりとする。

（1）　４年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて３年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。

（2）　選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

Ⅱ　2021年度「博物館実習」履修希望者の手続き

1　オリエンテーション出席
日　時：４月１日(木)　13：30～14：30
場　所：第４別館　202号教室（上ケ原キャンパス）

2　履修者発表の確認
(オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。)
日　時：４月５日(月)　9：00
場　所：(上ケ原キャンパス)　教職教育研究センター掲示板
(神戸三田キャンパス)　教職教育研究センター掲示板

(以下は履修が認められた者の手続きである。)

3　実習費納入・履修申し込み
日　時：４月５日(月)～６日(火)
場　所：(上ケ原キャンパス)　教職教育研究センター
(神戸三田キャンパス)　教職教育研究センター
※提出は上ケ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方　法：実習費金額(8,000円)の申請書を証明書自動発行機(学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパスⅠ・Ⅵ号館、(聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス))で購入し、オリエンテーションの際に配付する実習生カード（要　写真　3.5×4.0 cm）とともに提出すること。

4　許可されたクラスの第１回授業に必ず出席すること。

13. 教職課程における「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録をすること。

14. 履修の中止について

授業開始後約２ヶ月の時点において、各学部等が定めた科目において、教学 Web サービスから所定の手続きをすることにより履修の中止をすることができる。スケジュールについては、「１．履修登録の方法」を参照。

理工学部提供科目で履修中止ができない科目

実験・実習科目、演習科目および事前申込科目（ただし、一部の演習科目を除く）

履修登録開始前に「履修中止ができない科目」の一覧を教学 Web サービスに掲出するので各自確認すること。

15. 2021年度　全学科目予備登録スケジュール（神戸三田キャンパス）

【春学期】

担当窓口	共通教育センター		スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）	言語教育研究センター	国際教育・協力センター（CIEC）、日本語教育センター		教職教育研究センター
3/22（月）								●免許状取得のための他学部履修申込
3/23（火）			●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込　受付》 対象：教育職員免許状取得のために履修する必要のある３年生以上の未履修者 対象科目： 「体育方法学講義Ｃ」 「体育方法学演習Ｃ」のみ ▼Web 受付のみ 3/23(火) 9:00～ 3/24(水)16:50					●免許状取得のための他学部履修申込
3/24（水）								●免許状取得のための他学部履修申込
3/25（木）								●免許状取得のための他学部履修申込
3/26（金）			《優先申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表					●免許状取得のための他学部履修申込
4/1（木）	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ●AI 活用人材育成科目の全科目 ●「関学」学１ ●人権教育科目004・010・013 ●災害復興学Ａ ●総合コース808 ●連携講座006・008・009・014 ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 センター科目： １～４年生対象 ▼4/1(木)～4/7(水) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼4/20(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ●コンソーシアムひょうご神戸講座 申込受付期間・履修者発表については教学 Web サービスでお知らせします。 ▼教務機構事務部 ●EUIJ プログラム 《申込受付》 ▼4/1(木)～4/15(木) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学Ｗeb サービスでお知らせします。 受付時間（全科目共通） （平日） 9:00～11:30 12:30～16:50	《一般申込　受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目　全科目 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事Ａ ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●キャリアゼミＡ ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベーシックＡ ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD (株)と挑む社会課題】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●Skills-based English ●Special English Seminar ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●基礎フランス語Ⅰ ●フランス語アラカルト（聞く・話す）Ａ ●日本手話初級Ⅰ ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※1　フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特例措置希望者は言語教育研究センター事務室（教務機構事務部、上ケ原キャンパス）にて申込 4/1(木) 9:00～ 4/2(金)16:50	《英語スコアの事前登録が必要な科目》 ●総合日本学習科目 ●CCC Introduction to Multicultural Studies ▼Web 受付＆オンラインフォームでの英語スコア提出 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表をオンラインフォームにて提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 《英語スコアの事前登録が不要な科目》 ●多文化共修科目 ●English for Cross-Cultural Studies Ａ ●Topics in Canadian Studies Ｃ・Ｄ ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバル社会の課題と持続可能な未来 ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※その他プログラムの申込方法については CIEC ホームページまたは「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語Ａ ●ビジネス日本語Ｂ ●ビジネス日本語Ｃ ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●博物館実習オリエンテーション（３年生以上、西宮上ケ原キャンパス）
4/2（金）								●教育実習２次登録（４年生）
4/3（土）								●教育実習２次登録（４年生）
4/5（月）								《博物館実習履修者発表》 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ●教育実習２次登録（４年生）
4/6（火）								●博物館実習履修申込 ●教育実習２次登録（４年生）
4/7（水）	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表		《一般申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	●３年生対象　教育実習オリエンテーションⅠ ●介護等体験事前指導（３年生以上） ●教職課程・博物館学芸員課程・学校図書館司書教諭課程・国際バカロレア教員養成プログラム等説明会（新入生対象）
4/8（木）								《免許状取得のための他学部履修許可発表》　各学部
随時				●ライフ・キャリアリーダーシップ実習 ●インターンシップ実習 ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●キャリアゼミＢ ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●PBL 特別演習002 【JETRO×産業研究所連携講座】 ●PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】 ・募集要項公開： ４月より随時公開ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：４月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2021年度全学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラム、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

【秋学期】

「教学 Web サービス」は、2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。
アクセス方法など詳細は、2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

担当窓口	共通教育センター		スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）	言語教育研究センター	国際教育・協力センター（CIEC）、日本語教育センター		教職教育研究センター
8/27（金）								●免許状取得のための他学部履修申込
8/30（月）								●免許状取得のための他学部履修申込
8/31（火）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/1（水）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/2（木）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/6（月）			●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込　受付》 対象：教育職員免許状取得のために履修する必要のある３年生以上の未履修者 対象科目： 「体育方法学講義Ｃ」 「体育方法学演習Ｃ」のみ ▼Web 受付のみ 9/6(月) 9:00～ 9/7(火)16:00					●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 9/6(月) 9:00～ 9/7(火)16:00
9/7（火）								●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで
9/9（木）	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ● AI 活用人材育成科目の全科目 ●「関学」学２ ●人権教育科目005・009・017 ●災害復興学Ｂ ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00		《優先申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 《一般申込　受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目　全科目 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事Ａ ●ライフデザインと仕事Ｂ ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベーシックＢ ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ● PBL 特別演習004 【富士ゼロックス兵庫㈱『志プロジェクト』】 ● PBL 特別演習005 【アントレプレナー養成講座】 ● PBL 特別演習009 【三木市・市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	●Skills-based English ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●フランス語アラカルト（聞く・話す）Ａ ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※1　フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特例措置希望者は言語教育研究センター事務室（教務機構事務部、上ケ原キャンパス）にて申込 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	(英語スコアの事前登録が必要な科目) ●総合日本学習科目 ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●CCC Introduction to International Relations ▼Web 受付＆オンラインフォームでの英語スコア提出 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※申し込み最終日までに英語スコア表をオンラインフォームにて提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が不要な科目) ●多文化共修科目 ●English for Cross-Cultural Studies Ｂ ●Topics in Canadian Studies Ａ・Ｂ ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバル社会の課題と持続可能な未来 ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※その他プログラムの申込方法については CIEC ホームページまたは「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語Ａ ●ビジネス日本語Ｃ ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	《教職実践演習履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ●教職実践演習　追加申込 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。
9/10（金）								●教職実践演習　追加申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで
9/14（火）		●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 センター科目： １～４年生対象 ▼9/14(火)～9/21(火) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼10/5(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ●EUIJ プログラム 《申込受付》 ▼9/15(水)～9/24(金) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 受付時間（全科目共通） （平日） 9:00～11:30 12:30～16:50							
9/15（水）	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30		《一般申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《追加申込　教職実践演習履修者発表》 9:00　Web でのみ発表
9/16（木）	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表		《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	
9/18（土）								●３年生対象 教育実習オリエンテーションⅡ（西宮上ケ原キャンパス） ●介護等体験事前指導（後期・３年生以上、西宮上ケ原キャンパス） ●教職課程・博物館学芸員課程・学校図書館司書教諭課程・国際バカロレア教員養成プログラム等説明会（西宮上ケ原キャンパス）
9/21（火）								《免許状取得のための他学部履修許可発表》　各学部
随時				●インターンシップ実習 ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●ハンズオン・アドバンストⅠ ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●キャリアゼミＣ ●霞が関セミナー ・募集要項公開： ９月より随時公開 ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：９月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2021年度全学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラムは、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目、オンキャンパス科目は各参加大学で実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web（※）、各科目個別の募集要項等で案内。（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）

Ⅴ　試験と成績の評価

1．試　験

「成績評価・試験規程」および「理工学部内規」をよく確認しておくこと。

・試験は中間試験、定期試験と追試験に分けられる。これら以外にも、授業担当者が随時テストを行ったり、リポートの提出を求めたりする場合がある。
・定期試験は春・秋学期末に一定の時間割により行われる。また、中間試験は、通年開講の科目について春学期末に行われる。
・追試験は、定期試験に際して、（1）二親等以内の親族の死亡、（2）本人の病気、（3）試験当日の事故、（4）学校において予防すべき感染症による登校停止、（5）裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合、（6）公共交通機関の遅延又は運行停止等、（7）学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合、（8）その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの。上記（1）、（4）、（5）、（6）、（7）の場合を除き追試験の評点は20％を減じる。（1）～（6）及び（8）については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、（7）については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。
・全学開講科目の試験に関しては、科目を開講しているセンター等に確認をすること。
・他学部開講の科目を履修したときは、開講学部の試験内規に従って受験することになる。
・講義を実施しているキャンパスと試験を実施するキャンパスが異なる場合があるので、注意すること。
・定期試験は、開始の10分前を目途に注意事項を伝達する。余裕をもって、着席しておくこと。

2．リポート

履修科目の成績評価は試験の他、リポートによる場合もある。したがって、リポートは、試験と同等に重要なものである。作成要領、提出期限等は必ず守ること。

（1）　提出方法
　（ア）　担当者に直接提出するもの……担当者の指示に従うこと。
　（イ）　事務室に提出するもの……リポート受領証を渡すので、その学期の成績発表が終了するまで保存すること。

（2）　用紙の種類
　掲示や講義における授業科目担当者の指示に従うこと。

（3）　綴じ方
　表紙を付け指定箇所を綴じる。授業科目名（クラス名がある場合はクラス名を含む）、担当者名、学年、学生番号、氏名を必ず明記すること。

（4）　提出締め切り期限に遅れたリポートは受領しない。各自、余裕をもって提出すること。
　担当者から特に指定がない場合、レポートはＡ４サイズの用紙を使用すること。

3．成績評価

1　成績評価は、S（90点以上）・A＋（85点以上）・A（80点以上）・B＋（75点以上）・B（70点以上）・C＋（65点以上）・C（60点以上）・F（60点未満）とし、S・A＋・A・B＋・B・C＋、及びＣを合格とする。
2　グレードポイントは、S（90点以上）は4.0、A＋（85点以上）は3.5、A（80点以上）は3.0、B＋（75点以上）は2.5、B（70点以上）は2.0、C＋（65点以上）は1.5、C（60点以上）は1.0、及びF（60点未満）は０とする。

4.「剽窃」について

リポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を「剽窃（ひょうせつ）」することは、絶対にしてはならない行為です。

学生として許されるべき行為でないだけでなく、違法行為ともなりえます。剽窃は「不正行為」として当該科目の成績、または特に悪質な場合は全科目の成績が無効となる場合がありますので、リポート等作成および提出の際は十分注意してください。

「剽窃」とはなにか

他の人によって書かれた論文、概念、文章などの著作（特に、他の人によって書かれた著作）の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章のように書いたとしても「剽窃」とみなされます。

インターネット上のテキストの一部をコピー＆ペーストし、表現を変えるなどして自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

正しい「引用」をしましょう

リポートや論文の作成のために、他人の文章を用いる場合は必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。どこまでが「他者が記述した内容」の紹介で、どこからが「自分の考え」かをはっきりさせることが必要です。

故意ではなく、不注意で行った場合も「剽窃」に変わりはありません。
決して「剽窃」をおこなわないように十分に気を付けてください。

Ⅵ　履修登録参考資料

理工学部のカリキュラムは、学科ごとに独自の構成となっており、学科別に特色のある履修体系となっている。学生諸君が自覚と意欲を持って、各学科の卒業生にふさわしい能力を身につけることができるように計画的な履修を進めていくことが大切である。

低学年の間は、専門への基礎固めが中心であるため、時間割の自由度はどうしても少なくなるが、高学年へ進むにつれて多様な学習が可能となっていく。

各自で、教員の研究内容を大学案内などで参照し、自分のやりたい研究テーマを見据えて、計画的な履修を行うこと。

以下の資料は履修計画を立てる上で参考にして欲しい。

【資料１】理工学部学則別表（教育課程表）

理工学部の総合教育科目カリキュラムと各学科カリキュラムを、履修基準年度別、必修科目・選択必修科目・選択科目別に掲載したもの。Ⅱ 授業科目と単位―４．卒業に必要な単位数も合わせて確認すること。

【資料２】卒業可否の確認方法について

卒業可否は学生自身が責任を持って確認する必要があるため、教職員に確認してもらうことはできない。そのため、勘違いや計算ミスがないよう、自身で正確に判断する必要がある。そこで、「２．理工学部学則別表（教育課程表）」を活用した、比較的シンプルな確認方法の例を紹介するので、参考にすること。

〈卒業可否確認方法の例〉

①単位を修得した科目を**見え消し**で消し込んでいく。

②各カテゴリの修得単位数（見え消しとなった単位数）を、「**修得単位数／必要単位数**」という形で表す。

例：10/14、26/20　等

③卒業に必要な単位のルールに基づき確認する。特定のカテゴリの余剰単位を別のカテゴリに充当する場合、その動きを矢印で表す。

数理科学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目					履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	基礎科目	コンピュータ科目	発展科目	専門選択科目	
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学Ａ 2 100 キリスト教学Ｂ 2	110 英語リーディングＩＡ 1 110 英語リーディングＩＢ 1 110 英語ライティングＩＡ 1 110 英語ライティングＩＢ 1 110 英語コミュニケーションＩＡ 1 110 英語コミュニケーションＩＢ 1 入門英語ＩＡ（＊1） 1 入門英語ＩＢ（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	101 微分積分Ⅰ 4 101 線形代数Ⅰ 4	112 微分積分Ⅱ 4 112 線形代数Ⅱ 4 112 数学入門演習 2 112 基礎物理学Ａ 2 112 基礎物理学Ｂ 2	113 コンピュータ演習Ａ 2		126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 海外理工学プログラムＡ 1 126 海外理工学プログラムＢ 2 126 海外理工学プログラムＣ 3 126 理工学特別プログラム001 1 126 理工学特別プログラム002 2 126 理工学特別プログラム004 4 126 国内協定大学科目 1~8	46 春；23 秋；23
3年		210 英語リーディングⅡＡ 1 210 英語リーディングⅡＢ 1 210 英語ライティングⅡＡ 1 210 英語ライティングⅡＢ 1 210 英語コミュニケーションⅡＡ 1 210 英語コミュニケーションⅡＢ 1 入門英語ⅡＡ（＊3） 1 入門英語ⅡＢ（＊4） 1			212 基礎解析学Ⅰ 4 212 基礎解析学Ⅱ 2 212 関数論入門 2 212 集合と位相 4 212 確率統計入門 2 212 応用数理入門 2 212 代数入門 2 212 幾何入門 2	213 数式処理演習Ⅰ 2 213 数式処理演習Ⅱ 2			46 春；23 秋；23
4年					312 解析学Ⅰ 4 312 解析学Ⅱ 4 312 常微分方程式 2 312 偏微分方程式 2 312 複素解析 2 312 確率統計Ⅰ 2 312 確率統計Ⅱ 2 312 応用数理Ⅰ 2 312 幾何学Ⅰ 4 312 幾何学Ⅱ 4 312 代数学Ⅰ 4 312 代数学Ⅱ 4	313 統計コンピュータ演習 2 313 シミュレーション演習 2		326 科学技術英語Ａ 2 326 科学技術英語Ｂ 2 326 特別英語セミナー 2	48 春；24 秋；24
							414 解析学Ⅲ 2 414 解析学Ⅳ 2 414 幾何学Ⅲ 2 414 幾何学Ⅳ 2 414 代数学Ⅲ 2 414 代数学Ⅳ 2 414 応用数理Ⅱ 2 414 応用数理Ⅲ 2 414 確率統計Ⅲ 2 414 確率統計Ⅳ 2 415 数理科学特別演習Ⅰ 4 415 数理科学特別演習Ⅱ 4		48 春；24 秋；24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	8	48	4	14	22 ※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、発展科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。	
	32			96					
	128								

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

理工学部　カリキュラム（2019・2020年度入学生用）

物理学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目						履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	物理系科目				数学系科目	専門選択科目	
				卒業研究科目	コア科目	実験科目	選択科目			
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2		112 力学Ⅰ 2		114 物理学序論 2 114 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 114 サブゼミ 2 114 宇宙物理学入門 2	115 微積分学Ⅰ 2 115 微積分学Ⅱ 2 115 線形代数学Ⅰ 2 115 線形代数学Ⅱ 2	126 化学概論 2 126 基礎化学C 2 126 生命科学Ⅰ 2 126 生命科学Ⅱ 2 126 生命科学入門実験 2 126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 コンピュータ演習A 2 126 コンピュータアーキテクチャ 2 126 海外理工学プログラムA 1 126 海外理工学プログラムB 2 126 海外理工学プログラムC 3 126 理工学特別プログラム001 1 126 理工学特別プログラム002 2 126 理工学特別プログラム004 4 126 国内協定大学科目 1～8	49 春；25 秋；24
3年 4年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1			212 力学Ⅱ 2 212 電磁気学Ⅰ 2 212 電磁気学Ⅱ 2 212 量子力学Ⅰ 2	213 基礎物理学実験Ⅰ 2 213 基礎物理学実験Ⅱ 2 101 基礎化学実験Ⅰ 2	214 デモンストレーション物理学Ⅱ 2 214 解析力学 2 214 熱力学 2 214 基礎物理学演習 2	215 物理のための幾何入門 2 215 線形代数学Ⅲ 2 215 関数論入門 2 215 物理と確率 2 215 物理数学Ⅰ 2	226 基礎地学Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅱ 2	49 春；25 秋；24
3年 4年					312 量子力学Ⅱ 2 312 量子力学Ⅲ 2 312 熱統計力学Ⅰ 2 312 熱統計力学Ⅱ 2	313 物理学実験Ⅰ 3 313 物理学実験Ⅱ 3	314 電気力学 2 314 構造物性学 2 314 固体電子論 2 314 特殊相対論 2 314 連続体力学 2 314 生物物理学 2 314 物理学演習 2 314 物質構造論 2 314 宇宙物理学 2	315 物理数学Ⅱ 2	326 コンピュータ演習B 2 326 数値計算 2 326 科学技術英語A 2 326 科学技術英語B 2 326 特別英語セミナー 2 326 地学実験A 1	49 春；25 秋；24
4年				401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8			414 現代統計物理学 2 414 光物性物理学 2 414 高エネルギー物理学 2 414 赤外線天文学 2 414 X線天文学 2 414 電波天文学 2 414 研究学概論 2			49 春；25 秋；24
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4)は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	12	14	8	24	14	24	
	32			96						
	128									

※卒業必要単位数を超えて修得した物理系科目、数学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

先進エネルギーナノ工学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目								履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目						専門選択科目	
					基礎科目			実験科目	発展科目	先端科目		
					数学系	物理系	化学系					
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2	101 先進エネルギーナノ工学入門 2 101 先進エネルギーナノ工学概論 2	112 線形代数学Ⅰ 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅱ 2 112 微積分学Ⅱ 2	113 物理学序論 2 113 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 113 力学Ⅰ 2	114 ナノケミストリーⅠ 2 114 基礎化学A 2 114 基礎化学B 2	115 基礎化学実験Ⅰ 2	116 コンピュータ演習A 2		128 基礎化学C 2 128 生命科学Ⅰ 2 128 生命科学Ⅱ 2 128 生命科学入門実験 2 128 海外理工学プログラムA 1 128 海外理工学プログラムB 2 128 海外理工学プログラムC 3 128 理工学特別プログラム001 1 128 理工学特別プログラム002 2 128 理工学特別プログラム004 4 128 国内協定大学科目1～8	49 春：25 秋：24
3年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1	120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 地誌学 2		212 物理数学Ⅰ 2 212 物理数学Ⅱ 2 212 線形代数学Ⅲ 2	213 電磁気学Ⅰ 2 213 電磁気学演習Ⅰ 2 213 ナノ物性量子力学Ⅰ 2 213 ナノ物性量子力学演習Ⅰ 2	214 ナノケミストリーⅡ 2 214 エネルギー材料熱力学 2 214 エネルギー材料熱力学演習 2	215 基礎物理学実験Ⅰ 2 215 基礎物理学実験Ⅱ 2	216 デモンストレーション物理学Ⅱ 2 216 電磁気学Ⅱ 2 216 電磁気学演習Ⅱ 2 216 無機化学 2		228 環境政策論 2 228 環境経済学 2 228 基礎地学Ⅰ 2 228 基礎地学Ⅱ 2	49 春：24 秋：25
4年				415 先進エネルギーナノ工学評論 2 301 ものづくり理工学実験Ⅰ 3 301 ものづくり理工学実験Ⅱ 3	312 物理数学Ⅲ 2				316 構造物性学 2 316 固体電子論 2 316 ナノケミストリーⅢ 2 316 ナノ物性量子力学Ⅱ 2 316 ナノ物性量子力学演習Ⅱ 2 316 統計熱力学 2 214 反応速度論 2	317 物質設計ナノ工学 2 317 プロセス設計ナノ工学 2 317 エネルギー変換と電気化学 2 317 エネルギー電気・電子回路工学 2 317 エネルギー半導体工学 2 415 極限環境プロセッシング 2 415 ナノスケール分析科学 2 317 分光学 2 317 環境分析化学 2 317 応用量子化学 2	328 量子力学Ⅲ 2 328 コンピュータ演習B 2 328 科学技術英語A 2 328 科学技術英語B 2 328 特別英語セミナー 2 328 地学実験A 1	49 春：25 秋：24
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8								49 春：25 秋：24
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4) は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	24	12	8	8	4	14	12	14	
					※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。							
	32			96								
	128											

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

理工学部　カリキュラム（2019・2020年度入学生用）

化学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度		総合教育科目			専門教育科目					履修制限
		キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目			専門選択科目	
						基礎科目	物理分析化学科目	有機無機化学科目		
		科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
4年 3年 2年 1年		100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA（＊1） 1 入門英語ⅠB（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	101 基礎化学実験Ⅰ 2 101 基礎化学実験Ⅱ 2	112 基礎化学A 2 112 基礎化学B 2 112 基礎化学C 2 112 基礎物理学A 2 112 基礎物理学B 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 微積分学Ⅱ 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅱ 2 112 コンピュータ演習A 2 112 生命科学Ⅰ 2 112 生命科学Ⅱ 2 112 情報科学概論 2 112 基礎化学実験法 2			125 海外理工学プログラムA 1 125 海外理工学プログラムB 2 125 海外理工学プログラムC 3 125 理工学特別プログラム001 1 125 理工学特別プログラム002 2 125 理工学特別プログラム004 4 125 国内協定大学科目 1~8	49 春：25 秋：24
4年 3年 2年			210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA（＊3） 1 入門英語ⅡB（＊4） 1		201 無機分析化学実験 4	212 基礎物理学C 2 212 基礎物理学D 2 212 線形代数学Ⅲ 2 101 生命科学入門実験 2 212 基礎物理学実験Ⅰ 2	213 分析化学Ⅰ 2 213 物理化学Ⅰ 2 213 物理化学Ⅱ 2 213 物理化学Ⅲ 2	214 無機化学Ⅰ 2 214 無機化学Ⅱ 2 214 有機化学Ⅰ 2 214 有機化学Ⅱ 2 214 有機化学Ⅲ 2	225 基礎地学Ⅰ 2 225 基礎地学Ⅱ 2 225 化学演習Ⅰ 2 225 化学演習Ⅱ 2 225 高分子化学 2	48 春：24 秋：24
4年 3年					301 物理化学実験 4 301 有機化学実験 4	312 化学数学 2	313 分析化学Ⅱ 2 313 物理化学Ⅳ 2 313 物理化学Ⅴ 2 313 物理化学Ⅵ 2	314 無機化学Ⅲ 2 314 無機化学Ⅳ 2 314 有機化学Ⅳ 2 314 有機化学Ⅴ 2 314 有機化学Ⅵ 2 314 有機化学Ⅶ 2	325 化学演習Ⅲ 2 325 化学演習Ⅳ 2 325 量子化学 2 325 地学実験A 1 325 環境分析化学 2 325 科学技術英語A 2 325 科学技術英語B 2 325 特別英語セミナー 2	48 春：24 秋：24
4年					〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8					49 春：25 秋：24
卒業必要単位数		4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄参入することができる。	28	24 ※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。	10	14	20	
		32			96					
		128								

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

環境・応用化学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目						履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目				専門選択科目	
					数学・物理科目	地学・生命・情報科目	基礎科目	発展科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年	100 キリスト教学Ａ 2 100 キリスト教学Ｂ 2	110 英語リーディングⅠＡ 1 110 英語リーディングⅠＢ 1 110 英語ライティングⅠＡ 1 110 英語ライティングⅠＢ 1 110 英語コミュニケーションⅠＡ 1 110 英語コミュニケーションⅠＢ 1 入門英語ⅠＡ（＊1） 1 入門英語ⅠＢ（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 地誌学 2	101 基礎化学Ａ 2 101 基礎化学Ｂ 2 101 基礎化学Ｃ 2 101 環境化学 2 101 基礎化学実験Ⅰ 2 101 基礎化学実験Ⅱ 2	112 線形代数学Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅱ 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 微積分学Ⅱ 2 112 基礎物理学Ａ 2 112 基礎物理学Ｂ 2	113 生命科学Ⅰ 2 113 生命科学Ⅱ 2 113 生命科学入門実験 2 113 コンピュータ演習Ａ 2			126 環境倫理 2 126 自然環境論 2 126 海外理工学プログラムＡ 1 126 海外理工学プログラムＢ 2 126 海外理工学プログラムＣ 3 126 理工学特別プログラム001 1 126 理工学特別プログラム002 2 126 理工学特別プログラム004 4 126 国内協定大学科目 1~8	49 春；25 秋；24
2年		210 英語リーディングⅡＡ 1 210 英語リーディングⅡＢ 1 210 英語ライティングⅡＡ 1 210 英語ライティングⅡＢ 1 210 英語コミュニケーションⅡＡ 1 210 英語コミュニケーションⅡＢ 1 入門英語ⅡＡ（＊3） 1 入門英語ⅡＢ（＊4） 1		201 基礎物理学実験Ⅰ 2	212 線形代数学Ⅲ 2 212 基礎物理学Ｃ 2 212 基礎物理学Ｄ 2	213 基礎地学Ⅰ 2 213 基礎地学Ⅱ 2	214 無機化学 2 214 基礎量子化学 2 214 化学熱力学 2 214 有機反応論 2 214 有機構造論 2 214 反応速度論 2 214 高分子化学 2 214 地球環境化学 2 214 分析化学 2	215 発展物理化学 2 215 発展有機化学 2	226 地球環境科学実験 2	48 春；24 秋；24
3年				301 環境・応用化学実験Ⅰ 9 301 環境・応用化学実験Ⅱ 9				315 錯体化学 2 315 応用物理化学 2 315 分光学 2 315 合成有機化学 2 315 応用有機化学 2 315 環境有機材料化学 2 315 応用物性化学 2 315 応用地球化学 2 315 応用量子化学 2 315 環境分析化学 2 315 地球物質科学 2 315 有機工業化学 2	326 科学技術英語Ａ 2 326 科学技術英語Ｂ 2 326 特別英語セミナー 2	49 春；25 秋；24
4年				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8						49 春；25 秋；24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	44	10	4	14	16	8 ※卒業必要単位数を超えて修得した数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。	
	32			96						
	128									

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

生命科学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度				総合教育科目			専門教育科目					履修制限
				キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目			専門選択科目	
								基礎科目	発展科目	先端科目		
				科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
4年	3年	2年	1年	100 キリスト教学Ａ 2 100 キリスト教学Ｂ 2	110 英語リーディングⅠＡ 1 110 英語リーディングⅠＢ 1 110 英語ライティングⅠＡ 1 110 英語ライティングⅠＢ 1 110 英語コミュニケーションⅠＡ 1 110 英語コミュニケーションⅠＢ 1 入門英語ⅠＡ（＊1） 1 入門英語ⅠＢ（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	101 生命科学Ⅰ 2 101 生命科学Ⅱ 2 101 生命科学入門実験 2 101 コンピュータ演習Ａ 2	112 生命有機化学 2 112 生命科学倫理 2 112 化学概論 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 基礎物理学Ａ 2 112 基礎物理学Ｂ 2 112 基礎化学Ａ 2 112 基礎化学Ｂ 2 112 基礎化学Ｃ 2 112 基礎化学実験Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 プログラミング演習 2 112 サブゼミ 2 112 臨海実験 2			125 情報科学概論 2 125 人間システム工学概論 2 125 自然環境論 2 125 海外理工学プログラムＡ 1 125 海外理工学プログラムＢ 2 125 海外理工学プログラムＣ 3 125 理工学特別プログラム001 1 125 理工学特別プログラム002 2 125 理工学特別プログラム004 4 125 国内協定大学科目 1~8	49 春：25 秋：24
					210 英語リーディングⅡＡ 1 210 英語リーディングⅡＢ 1 210 英語ライティングⅡＡ 1 210 英語ライティングⅡＢ 1 210 英語コミュニケーションⅡＡ 1 210 英語コミュニケーションⅡＢ 1 入門英語ⅡＡ（＊3） 1 入門英語ⅡＢ（＊4） 1		201 生物分析化学 2 201 細胞・組織学実験 3 201 生命分子・生化学実験 3	212 系統分類学 2	213 生命工学 2 213 生化学 2 213 薬理学 2 213 分子遺伝学 2 213 発生生物学 2 213 生命代謝化学 2 213 微生物学 2 213 生物統計学 2 213 細胞学 2 213 数理生物学 2 213 データ科学演習 2		225 基礎物理学実験Ⅰ 2 225 基礎地学Ⅰ 2 225 基礎地学Ⅱ 2	48 春：24 秋：24
							301 先端生命科学実験Ⅰ 8 301 先端生命科学実験Ⅱ 8		313 バイオインフォマティクス 2	314 植物分子生物学 2 314 器官形成学 2 314 植物分子生理学 2 314 遺伝子工学 2 314 生態システム学 2 314 染色体機能学 2 314 化学生態学 2 314 生物工学 2	325 再生医学 2 325 発がん分子機構学 2 325 環境医化学 2 325 免疫学 2 325 脳神経科学 2 325 医学統計学 2 325 エピゲノム医化学 2 325 病態生理学 2 325 科学技術英語Ａ 2 325 科学技術英語Ｂ 2 325 特別英語セミナー 2 325 地学実験Ａ 1	49 春：25 秋：24
							〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8				425 先進エネルギーナノ工学詳論 2	49 春：25 秋：24
卒業必要単位数				4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	44	16	12	12	12	
								※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。				
				32			96					
				128								

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

生命医化学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目						履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目				専門選択科目	
					基礎科目	発展科目	先端科目	生命科学科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
4年 3年 2年 1年	100 キリスト教学Ａ 2 100 キリスト教学Ｂ 2	110 英語リーディングⅠＡ 1 110 英語リーディングⅠＢ 1 110 英語ライティングⅠＡ 1 110 英語ライティングⅠＢ 1 110 英語コミュニケーションⅠＡ 1 110 英語コミュニケーションⅠＢ 1 入門英語ⅠＡ（＊1） 1 入門英語ⅠＢ（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 地誌学 2	101 生命科学Ⅰ 2 101 生命科学Ⅱ 2 101 生命科学入門実験 2 101 コンピュータ演習Ａ 2	112 生命有機化学 2 112 生命科学倫理 2 112 化学概論 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 基礎物理学Ａ 2 112 基礎物理学Ｂ 2 112 基礎化学Ａ 2 112 基礎化学Ｂ 2 112 基礎化学Ｃ 2 112 基礎化学実験Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 プログラミング演習 2 112 基礎医化学入門 2				126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 臨海実験 2 126 自然環境論 2 126 海外理工学プログラムＡ 1 126 海外理工学プログラムＢ 2 126 海外理工学プログラムＣ 3 126 理工学特別プログラム001 1 126 理工学特別プログラム002 2 126 理工学特別プログラム004 4 126 国内協定大学科目 1~8	49 春；25 秋；24
4年 3年 2年		210 英語リーディングⅡＡ 1 210 英語リーディングⅡＢ 1 210 英語ライティングⅡＡ 1 210 英語ライティングⅡＢ 1 210 英語コミュニケーションⅡＡ 1 210 英語コミュニケーションⅡＢ 1 入門英語ⅡＡ（＊3） 1 入門英語ⅡＢ（＊4） 1		201 基礎医化学実験Ⅰ 3 201 基礎医化学実験Ⅱ 3	212 系統分類学 2	213 生命工学 2 213 生化学 2 213 薬理学 2 213 分子遺伝学 2 213 発生生物学 2 213 生命代謝化学 2 213 微生物学 2 213 細胞学 2 213 生物分析化学 2 213 生物統計学 2 213 数理生物学 2 213 データ科学演習 2				226 基礎物理学実験Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅱ 2	48 春；24 秋；24
4年 3年				301 先端医化学実験Ⅰ 8 301 先端医化学実験Ⅱ 8		313 バイオインフォマティクス 2	314 再生医学 2 314 発がん分子機構学 2 314 環境医化学 2 314 免疫学 2 314 脳神経科学 2 314 医学統計学 2 314 エピゲノム医化学 2 314 病態生理学 2	315 器官形成学 2 315 遺伝子工学 2 315 生態システム学 2 315 染色体機能学 2 315 化学生態学 2 315 生物工学 2	326 植物分子生物学 2 326 植物分子生理学 2 326 地学実験Ａ 1 326 科学技術英語Ａ 2 326 科学技術英語Ｂ 2 326 特別英語セミナー 2	49 春；25 秋；24
4年				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8					426 先進エネルギーナノ工学詳論 2	49 春；25 秋；24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	42	16	14	8	4	12	
					※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。					
	32			96						
	128									

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

生命医化学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

情報科学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目							履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目					専門選択科目	
					情報科学実習科目	人間システム工学実習・実験科目	基礎科目	発展科目	人間システム工学系科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	101 情報科学概論 2 101 キャリアデザイン論 2 101 コンピュータ演習A 2 101 プログラミング実習Ⅰ 2			114 微積分学Ⅰ 2 114 線形代数学Ⅰ 2 114 論理回路 2 114 微積分学Ⅱ 2 114 線形代数学Ⅱ 2 114 離散数理 2 114 コンピュータアーキテクチャ 2	115 基礎物理学A 2 115 基礎物理学B 2	116 人間システム工学概論 2 201 メディア工学基礎 2	127 生命科学Ⅰ 2 127 生命科学Ⅱ 2 127 情報化社会と人間 2 127 メディア社会論 2 127 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 127 海外理工学プログラムA 1 127 海外理工学プログラムB 2 127 海外理工学プログラムC 3 127 理工学特別プログラム001 1 127 理工学特別プログラム002 2 127 理工学特別プログラム004 4 127 国内協定大学科目1～8	48 春：25 秋：23
3年 4年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1		201 プログラミング実習Ⅱ 2 201 プログラミング実習Ⅲ 2			214 情報科学のための確率・統計 2 214 情報科学のための数学演習 2 214 情報理論 2 214 ネットワーク 2 214 データ構造とアルゴリズム 2 214 データベース 2 214 形式言語とオートマトン 2 214 グラフ・ネットワーク理論 2	215 数理論理学 2 215 ディジタル信号処理 2	216 制御工学 2 216 メディア信号処理 2 216 メディア・ロボット実験 2 216 デザイン論 2 216 ヒューマンコンピュータインタラクション 2 216 機械の力学 2 216 知能コンピューティング 2 216 ヒューマンデータ分析 2	227 基礎物理学実験Ⅰ 2 227 デモンストレーション物理学Ⅱ 2	48 春：25 秋：23
4年				301 情報システム領域実習A(＊5) 1 301 ネットワークシステム領域実習A(＊5) 1 301 情報システム領域実習B(＊6) 1 301 ネットワークシステム領域実習B(＊6) 1	312 数理計画法実習 1 312 知識情報処理実習 1 312 情報理論実習 1 312 ディジタル信号処理実習 1 312 数式処理実習 1 312 グラフ・ネットワーク実習 1 312 データ構造とアルゴリズム実習 1 312 コンパイラ実習 1 312 ネットワーク実習 1 312 データマイニング実習 1 312 ネットワークコンピューティング実習 1	313 音声情報処理実習 1 313 音楽情報処理実習 1 313 認知情報処理実験 1 313 ユビキタスコンピューティング実験 1 313 画像情報処理実習 1 313 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 1 313 エルゴノミクスコンピューティング実習 1 313 感性情報処理実習 1 313 コンピュータグラフィックス実習 1 313 CAD/CAM/CAE 実習 1 313 ロボット工学実験 1 313 ヒューマンコンピュータインタラクション実験 1	314 情報処理技術演習 2	315 計算論 2 315 符号理論 2 315 オペレーティングシステム 2 315 コンパイラ 2 315 最適化理論 2 315 知識情報処理 2 315 ディジタル通信 2 315 モデリング物理学 2 315 計算幾何学 2 315 数値計算 2 315 ソフトウェア工学 2 315 データマイニング 2 315 ネットワークコンピューティング 2 315 暗号と情報セキュリティ 2 315 ネットワーク設計論 2	316 音楽情報処理 2 316 音声情報処理 2 316 画像情報処理 2 316 認知情報処理 2 316 感性情報処理 2 316 コンテンツテクノロジー 2 316 コンピュータグラフィックス 2 316 バーチャルリアリティ 2 316 ロボティクス 2 316 応用数学 2	327 科学技術英語A 2 327 科学技術英語B 2 327 特別英語セミナー 2 327 確率統計Ⅰ 2 327 アーカイブ・デザイン 2 327 知的財産戦略論 2 327 サイバースペースの法と倫理 2 327 コンピュータ・アート 2	49 春：24 秋：25
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習(情報システムコース)(＊7) 8 401 卒業実験及び演習(ネットワークシステムコース)(＊7) 8							49 春：24 秋：25
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4) は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	26 (＊5)、(＊6)、(＊7) はそれぞれ、いずれか一方を履修すること。	4	2	24	16	8	16	
					※卒業必要単位数を超えて修得した情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。						
	32			96							
	128										

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

人間システム工学科　教育課程表（2019・2020年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目							履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	選択必修科目					専門選択科目	
					人間システム工学実習・実験科目	情報科学実習科目	基礎科目	発展科目	情報科学系科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2	101 キャリアデザイン論 2 101 コンピュータ演習A 2 101 人間システム工学概論 2 101 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 2 101 人間システム工学のための数学演習Ⅱ 2 101 プログラミング実習Ⅰ 2 201 メディア工学基礎 2			114 微積分学Ⅰ 2 114 線形代数学Ⅰ 2 114 論理回路 2 114 微積分学Ⅱ 2 114 線形代数学Ⅱ 2 114 離散数理 2 114 コンピュータアーキテクチャ 2		116 情報科学概論 2	127 基礎物理学A 2 127 基礎物理学B 2 127 生命科学Ⅰ 2 127 生命科学Ⅱ 2 127 情報化社会と人間 2 127 メディア社会論 2 127 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 127 海外理工学プログラムA 1 127 海外理工学プログラムB 2 127 海外理工学プログラムC 3 127 理工学特別プログラム001 1 127 理工学特別プログラム002 2 127 理工学特別プログラム004 4 127 国内協定大学科目 1~8	48 春：23 秋：25
3年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1	120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	201 プログラミング実習Ⅱ 2 201 メディア・ロボット実験 2			214 情報科学のための確率・統計 2 214 制御工学 2 214 メディア信号処理 2 214 情報理論 2 214 データ構造とアルゴリズム 2 214 ヒューマンコンピュータインタラクション 2 214 プログラミング実習Ⅲ 2 214 機械の力学 2 214 知能コンピューティング 2 214 ヒューマンデータ分析 2	215 デザイン論 2 215 データベース 2 215 ネットワーク 2	216 数理論理学 2 216 ディジタル信号処理 2 216 グラフ・ネットワーク理論 2 216 形式言語とオートマトン 2	227 基礎物理学実験Ⅰ 2 227 デモンストレーション物理学Ⅱ 2	48 春：25 秋：23
4年				301 映像音響システム領域実習A(＊5) 1 301 サイバーロボティクス領域実習A(＊5) 1 301 映像音響システム領域実習B(＊6) 1 301 サイバーロボティクス領域実習B(＊6) 1	312 音声情報処理実習 1 312 音楽情報処理実習 1 312 認知情報処理実験 1 312 ユビキタスコンピューティング実験 1 312 画像情報処理実習 1 312 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 1 312 エルゴノミクスコンピューティング実習 1 312 感性情報処理実習 1 312 コンピュータグラフィックス実習 1 312 CAD/CAM/CAE 実習 1 312 ロボット工学実験 1 312 ヒューマンコンピュータインタラクション実験 1	313 数理計画法実習 1 313 知識情報処理実習 1 313 情報理論実習 1 313 ディジタル信号処理実習 1 313 数式処理実習 1 313 グラフ・ネットワーク実習 1 313 データ構造とアルゴリズム実習 1 313 コンパイラ実習 1 313 ネットワーク実習 1 313 データマイニング実習 1 313 ネットワークコンピューティング実習 1	314 情報処理技術演習 2	315 音楽情報処理 2 315 音声情報処理 2 315 画像情報処理 2 315 認知情報処理 2 315 感性情報処理 2 315 コンテンツテクノロジー 2 315 コンピュータグラフィックス 2 315 バーチャルリアリティ 2 315 ロボティクス 2 315 応用数学 2	316 計算論 2 316 符号理論 2 316 オペレーティングシステム 2 316 コンパイラ 2 316 最適化理論 2 316 知識情報処理 2 316 ディジタル通信 2 316 モデリング物理学 2 316 計算幾何学 2 316 数値計算 2 316 ソフトウェア工学 2 316 データマイニング 2 316 ネットワークコンピューティング 2 316 暗号と情報セキュリティ 2 316 ネットワーク設計論 2	327 科学技術英語A 2 327 科学技術英語B 2 327 特別英語セミナー 2 327 確率統計Ⅰ 2 327 アーカイブ・デザイン 2 327 知的財産戦略論 2 327 サイバースペースの法と倫理 2 327 コンピュータ・アート 2	49 春：24 秋：25
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 (映像音響システムコース)(＊7) 8 401 卒業実験及び演習 (サイバーロボティクスコース)(＊7) 8							49 春：24 秋：25
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4) は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	32 (＊5)、(＊6)、(＊7) はそれぞれ、いずれか一方を履修すること。	4	2	24	12	8	14	
					※卒業必要単位数を超えて修得した人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は専門選択科目に算入することができる。						
	32			96							
	128										

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目					履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	基礎科目	コンピュータ科目	発展科目	専門選択科目	
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 ~~キリスト教学Ａ　2~~ 100 ~~キリスト教学Ｂ　2~~	110 ~~英語リーディングⅠＡ　1~~ 110 ~~英語リーディングⅠＢ　1~~ 110 ~~英語ライティングⅠＡ　1~~ 110 ~~英語ライティングⅠＢ　1~~ 110 ~~英語コミュニケーションⅠＡ　1~~ 110 ~~英語コミュニケーションⅠＢ　1~~ 入門英語ⅠＡ（＊1）　1 入門英語ⅠＢ（＊2）　1	120 ドイツ語読解Ⅰ　1 120 ドイツ語読解Ⅱ　1 120 フランス語読解Ⅰ　1 120 フランス語読解Ⅱ　1 120 ドイツ語文法Ⅰ　1 120 ドイツ語文法Ⅱ　1 120 フランス語文法Ⅰ　1 120 フランス語文法Ⅱ　1	101 ~~微分積分Ⅰ　4~~ 101 ~~線形代数Ⅰ　4~~	112 ~~微分積分Ⅱ　4~~ 112 ~~線形代数Ⅱ　4~~ 112 ~~数学入門演習　2~~ 112 ~~基礎物理学Ａ　2~~ 112 ~~基礎物理学Ｂ　2~~	113 ~~コンピュータ演習Ａ　2~~		126 ~~情報科学概論　2~~ 126 ~~人間システム工学概論　2~~ 126 海外理工学プログラムＡ　1 126 海外理工学プログラムＢ　2 126 海外理工学プログラムＣ　3 126 理工学特別プログラム001　1 126 理工学特別プログラム002　2 126 理工学特別プログラム004　4	46 春；23 秋；23
3年		210 ~~英語リーディングⅡＡ　1~~ 210 ~~英語リーディングⅡＢ　1~~ 210 ~~英語ライティングⅡＡ　1~~ 210 ~~英語ライティングⅡＢ　1~~ 210 ~~英語コミュニケーションⅡＡ　1~~ 210 ~~英語コミュニケーションⅡＢ　1~~ 入門英語ⅡＡ（＊3）　1 入門英語ⅡＢ（＊4）　1	120 ~~哲学　2~~ 120 論理学　2 120 ~~西洋史　2~~ 120 心理学　2 120 ~~社会学　2~~ 120 法学　2 120 ~~日本国憲法　2~~ 120 経済学　2 120 自然科学史　2		212 ~~基礎解析学Ⅰ　4~~ 212 ~~基礎解析学Ⅱ　2~~ 212 ~~関数論入門　2~~ 212 ~~集合と位相　4~~ 212 ~~確率統計入門　2~~ 212 ~~応用数理入門　2~~ 212 ~~代数入門　2~~ 212 ~~幾何入門　2~~	213 ~~数式処理演習Ⅰ　2~~ 213 ~~数式処理演習Ⅱ　2~~			46 春；23 秋；23
4年			120 科学倫理　2 120 環境学　2 120 サイバー社会入門　2 120 ~~芸術と技術　2~~ 120 近代日本とアジア　2 120 地誌学　2 ~~体育方法学演習Ｃ　2~~ ~~体育方法学講義Ｃ　2~~		312 ~~解析学Ⅰ　4~~ 312 ~~解析学Ⅱ　4~~ 312 常微分方程式　2 312 偏微分方程式　2 312 ~~複素解析　2~~ 312 ~~確率統計Ⅰ　2~~ 312 確率統計Ⅱ　2 312 ~~応用数理Ⅰ　2~~ 312 ~~幾何学Ⅰ　4~~ 312 ~~幾何学Ⅱ　4~~ 312 代数学Ⅰ　4 312 代数学Ⅱ　4	313 統計コンピュータ演習　2 313 ~~シミュレーション演習　2~~		326 ~~科学技術英語Ａ　2~~ 326 ~~科学技術英語Ｂ　2~~ 326 ~~特別英語セミナー　2~~	48 春；24 秋；24
							414 ~~解析学Ⅲ　2~~ 414 ~~解析学Ⅳ　2~~ 414 ~~幾何学Ⅲ　2~~ 414 ~~幾何学Ⅳ　2~~ 414 代数学Ⅲ　2 414 代数学Ⅳ　2 414 応用数理Ⅱ　2 414 ~~応用数理Ⅲ　2~~ 414 確率統計Ⅲ　2 414 確率統計Ⅳ　2 415 ~~数理科学特別演習Ⅰ　4~~ 415 ~~数理科学特別演習Ⅱ　4~~		48 春；24 秋；24
卒業必要単位数	4／4	12／12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	~~14~~／16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	8／8	~~56~~／48 ※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、発展科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。	~~8~~／4	~~16~~／14	~~10~~／22	
	32			96					
	128								

②単位　16　48　4　②単位　22　④単位　⑥単位

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

【資料２】卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉

Ⅶ 付　　録

1．大学院・理工学研究科について

本学大学院理工学研究科には、2021年４月現在、博士課程前期課程（標準修業年限２年）および博士課程後期課程（同３年）に９専攻（数理科学専攻・物理学専攻・先進エネルギーナノ工学専攻・化学専攻・環境・応用化学専攻・生命科学専攻・生命医化学専攻・情報科学専攻・人間システム工学専攻）が設置されている。博士課程前期課程は、専攻分野における研究能力や高度で専門的な職業に就くための能力を養成することを目的としており、博士課程前期課程において、修了者には「修士（理学）」または「修士（工学）」の学位が授与される。また、博士課程後期課程は、自立した研究者を養成することが目的であり、修了者には「博士（理学）」または「博士（工学）」の学位が授与される。

博士課程前期課程の入学試験は、１次入試が８月に行われる（2022年度入試）。また、２次募集として２月にも入試を行っている（この時にあわせて博士課程後期課程の入試も実施する）。さらに、理工学研究科では、優秀な学生が本学大学院（博士課程前期課程）への進学を希望する際、「推薦入試」制度を設けている。これは学部での成績が優秀で、大学院へ進学後も勉学・研究において優秀な成績を修めるであろうと期待される学生を指導教授が推薦し、面接によって合否を判定するという制度である。詳細については、担任教員に確認すること。

科学技術の進歩、専門性の深度化により、企業も研究職としてより高度な専門知識を修得した人材を求める傾向にある。入学後、早い段階から将来計画を立て、大いに勉学に励み、より多くの者が大学院への進学を考えるよう期待している。その際、上記の制度があることを覚えて、大いに活用してもらいたいと願っている。

2．理工学部における一般注意事項

（１）　授業・試験

（ア）授業の時間帯について

授業時間は次の通りである。尚、追試験時間帯は以下と異なるため、注意すること。詳細は、全学部共通―Ⅲ 授業科目の履修にあたって-４．授業時間帯等（１）（ⅱ）を参照。

	通常授業・定期試験・補講時間帯 神戸三田	通常授業・定期試験・補講時間帯 西宮上ケ原・西宮聖和	集中講義時間帯 全て
第１時限	９：００～１０：４０	８：５０～１０：３０	９：００～１０：４０
ﾁｬﾍﾟﾙｱﾜｰ	１０：４０～１１：１０	１０：３０～１１：００	―
第２時限	１１：１０～１２：５０	１１：００～１２：４０	１０：５０～１２：３０
第３時限	１３：３０～１５：１０	１３：２０～１５：００	１３：１０～１４：５０
第４時限	１５：２０～１７：００	１５：１０～１６：５０	１５：００～１６：４０
第５時限	１７：０５～１８：４５	１７：００～１８：４０	１６：５０～１８：３０

（イ）補講について

理工学部では授業回数確保のため、授業期間中の土曜日に補講を行うことがある。補講の実施・取消は教学 Web サービスで連絡するので、よく確認しておくこと。

（ウ）教育研究システム利用 ID・パスワードについて

履修登録、シラバス関連に加え、授業（英語など）に使用する。

（２）　休学

所定の手続きを取り、休学在籍料を納めることで、休学が可能となる。ただし、休学する学期の授業開始後１ヶ月以内に手続きを完了する必要がある。

（３）　自動車による通学について

神戸三田キャンパスに自動車通学を行う場合、学生本人が Web（Microsoft Forms）で申請し、神戸三田キャンパス事務室長の許可を受ける必要がある。自動車通学の「許可証」が交付されるまで、神戸三田キャンパスに自動車通学はできない。詳細は神戸三田キャンパス HP「神戸三田キャンパス通学・交通アクセス→自動車通学について」で確認すること。

また、自動車通学に関してルール違反があった場合、状況を確認したうえで罰則を適用する。

（4） 学生実験用ロッカー

Ⅳ号館・Ⅶ号館には、実験中の手回り品の収納のためのロッカーがある。
学生実験用ロッカーの使用について、以下の通り定める。

1．利用対象者
ａ）物理学科、先進エネルギーナノ工学科、化学科、環境・応用化学科、生命科学科、生命医化学科の学生
ｂ）その他、副学部長（学生担当）が必要と認める者
※卒業研究配属者および休学者は、原則的にロッカーの利用はできない。

2．ロッカー利用申請
ａ）学生実験用ロッカー利用申請書を提出して、許可を得た者がロッカーを使用できる。
ｂ）先進エネルギーナノ工学科、化学科、環境・応用化学科、生命科学科、生命医化学科については１年次より、物理学科については２年次より申請可能とする。
ｃ）実験科目を履修していることが分かる履修登録確認表のコピーを添付して、申請する。
ｄ）その他、ロッカーを必要とする者は、学生実験用ロッカー利用申請書を提出の上、判断する。

3．ロッカー利用期間
ａ）**学期授業開始日より学生実験履修終了の日（最長で卒業研究配属決定日）までとする。**
ｂ）利用期限までに、ロッカーを空にしておくこと。
ｃ）学生実験の受講期間中、原則１年間（４月から翌年３月）とするが、学生実験を継続して履修している場合は、履修期間中は同一ロッカーを継続することとする。
ｄ）その他、副学部長（学生担当）が必要と認めた者は、最大１年の借用期間とする（更新可）。

4．保管してはいけない物
ａ）貴重品（現金等）
ｂ）可燃性や揮発性の物または危険な薬品等
ｃ）不潔な物、異臭を発する物
ｄ）生き物

5．使用上の注意
ａ）利用者は、他人にロッカーを転貸（又貸）してはいけない。
ｂ）ロッカーの暗証番号は他人に知られないようにすること。安全管理のため、適宜変更すること。
ｃ）利用者は、ロッカーの利用期限後は、ロッカー内を空にしなければならない。利用期限を過ぎても、ロッカー内に残っている物品については、理工学部にて適宜廃棄等の処分を行う。
ｄ）ロッカーの上および周辺に放置した物品については、理工学部にて適宜廃棄等の処分を行う。
ｅ）利用者は、自己責任を持ってロッカーを常に清潔丁寧に扱うこと。
ｆ）ロッカー周辺でたむろして騒いだり周りに迷惑を掛ける行為をしないこと。
ｇ）適正な使用中において、問題が発生した場合は、直ちにⅥ号館１階事務室に申し出ること。
ｈ）ロッカーに荷物を詰め込みすぎないこと。特にロッカー扉の開閉ノブに荷物が接触しないように注意すること。
ｉ）ロッカーの場所、暗証番号を失念した場合は、Ⅳ号館警備室まで申し出ること。その他の理由で開閉できない場合は、「学生実験用ロッカー開錠依頼書」をⅥ号館１階事務室へ提出のこと。

6．損害賠償
ａ）利用者が上記使用上の注意を違反した場合は、ロッカーの使用許可を取り消す。
ｂ）ロッカーを破損または汚損した場合は、実費分を弁償することとする。

（5）　シャトルバスの利用について

・利用料金　　片道400円（事前に生協でチケットを購入すること）
・運行時刻表　　適宜大学 HP を確認すること

（6）　暴風警報発令時等の下校方法（バス）について

授業・定期試験期間中に、暴風警報発令等があった場合、休講・試験中止の措置をとることがあります。この場合、みなさんが速やかに下校できるよう、状況に応じ、神姫バスやシャトルバスの臨時バスを手配します。必要なバス台数の把握とバス乗り場での混乱を避けるため、以下のとおり対応してください。

●路線別に指定場所に集合してください。直接バス停に行っても乗車できません。
●集合後、バスの到着にあわせて順次、乗車誘導を行います。
●集合場所
・新三田線　　：Ⅵ（6）号館１階 101号教室
・三田線　　：Ⅵ（6）号館２階 201号教室
・三宮線　　：第二厚生棟２階 食堂
・新大阪線　　：第二厚生棟１階 学生ホール
・シャトルバス：アカデミックコモンズ１階 シアター

（7）　新旧授業科目対照表（2019～）

2019年度より、学則改正と理工学部のカリキュラム変更に伴い、順次科目が不開講となる。

そこで、2018年度までの科目については、2019年度以降理工学部開講科目で読み替え、その科目を修得することにより卒業要件に必要な科目を修得したこととする場合がある。

その一覧表をあげておくので、時間割・シラバス等と合わせて各自必ず確認すること。

また、読み替えに指定されている科目は、二重に履修できない。

単位	履修基準年度	旧科目	単位	履修基準年度	2020開講授業科目	2021開講授業科目	2022開講授業科目
4	4	数学特別演習Ⅰ	4	4	数学特別演習Ⅰ	数学特別演習Ⅰ	***数理科学特別演習Ⅰ***
4	4	数学特別演習Ⅱ	4	4	数学特別演習Ⅱ	数学特別演習Ⅱ	***数理科学特別演習Ⅱ***
4	4	応用数理特別演習Ⅰ	4	4	応用数理特別演習Ⅰ	応用数理特別演習Ⅰ	***数理科学特別演習Ⅰ***
4	4	応用数理特別演習Ⅱ	4	4	応用数理特別演習Ⅱ	応用数理特別演習Ⅱ	***数理科学特別演習Ⅱ***
2	2	量子化学　2（環境用）	2	2	***基礎量子化学***	***基礎量子化学***	***基礎量子化学***
2	2	組織学	—	—	廃止	廃止	廃止
2	2	分子細胞生物学	—	—	廃止	廃止	廃止
2	3	発癌分子機構学	2	3	発癌分子機構学	***発がん分子機構学***	***発がん分子機構学***
2	1	ロボット工学序論	2	2	***機械の力学***	***機械の力学***	***機械の力学***
2	2	エルゴノミクスコンピューティング	2	2	***ヒューマンデータ分析***	***ヒューマンデータ分析***	***ヒューマンデータ分析***
2	2	メカトロニクス	2	3	***（不開講）***	***ロボティクス***	***ロボティクス***
2	3	千刈集中英語実習	2	3	千刈集中英語実習	***特別英語セミナー***	***特別英語セミナー***

さらに、2021年度より、学部再編に伴い、授業科目の多くが新旧合併開講を行っていく。時間割等をよく確認し、自身の卒業要件に必要な科目を漏れなく修得していくこと。

Ⅷ　2020年度　理工学部内規

Ⅰ　学則及び内規の適用について

1　学則の適用は、原則として入学年度の学則が適用される。ただし、学則が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

2　内規の適用は、原則として入学年度の内規が適用される。ただし、内規が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

3　学則及び内規の変更に伴う移行措置が講じられた場合は別に配布される理工学部『授業科目履修心得』（以下『履修心得』）による。

Ⅱ　授業履修内規

［全学科共通］

1　授業科目の履修について

(1) 履修しようとする授業科目については、すべて所定の期日内に履修届を提出しなければならない。

(2) 履修登録されていない授業科目の単位を修得することはできない。

(3) 履修届の変更は原則として認めない。

(4) 時間割上、同一時間に組まれた２つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) すでに単位を修得した授業科目は原則として再度履修することはできない。

(6) クラス指定のある授業科目は、定められたクラスで履修しなければならない。

(7) 同一学期に複数クラス開講している授業科目について、２つ以上のクラスを原則として同時に履修することはできない。

(8) 授業科目の履修は原則として履修基準年度に従わなければならない。

2　専門教育科目について

(1) 卒業に必要な単位数のうち、専門教育科目の96単位はすべて理工学部開講の専門教育科目で満たさなければならない。

(2) 卒業に必要な単位数を越えて修得した専門教育科目の単位を４単位まで総合教育科目として算入できる。

3　卒業単位に算入されない科目について

(1) 学則第33条第３項に定められた資格取得科目は、卒業に必要な単位には算入できない。ただし、下記の科目は、卒業に必要な総合教育科目の選択科目の単位として算入できる。

教育原論、発達・学習過程論

(2) 下記の科目（資格取得科目）は卒業に必要な単位には算入できない。

博物館教育論	博物館概論
博物館経営論	博物館資料論
生涯学習概論	博物館資料保存論
博物館教育メディア論	博物館展示論
博物館実習	社会教育概論
社会教育計画	社会教育実習
社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	社会体育
社会教育行政	職業指導
社会教育課題研究	

4　全学開講・他学部開講科目の履修制限について

全学開講・他学部開講科目のうち下記の科目は履修できない。

数理の科学Ａ・Ｂ	自然現象の科学Ａ・Ｂ
物質の科学Ａ・Ｂ	生命の科学Ａ・Ｂ
コンピュータ基礎	情報技術概論
文科系学生のための情報技術入門	
コンピュータ言語	コンピュータ実践
数理科学の基礎	感性情報

5　英語能力優秀者の特別履修について

下記［資格一覧］にある資格試験のいずれかにおいて一定以上のスコアを修得した英語能力の優秀な者については、語学力を勘案した上で、英語リーディング・ライティング・コミュニケーションⅠＡ/ⅠＢ/ⅡＡ/ⅡＢの中から未修得のものを最大12単位認定する。

なお、この措置を希望する者は指定された期間に所定の手続きを行い履修指導を受ける。

［資格一覧］

試験名	スコア・級
TOEIC	750点
TOEFL ITP	550点
TOEFL iBT	79点
IELTS	5.5点
実用英語技能検定	準１級
TEAP	334点

6　成績優秀者の履修単位数制限緩和について

当該学期の GPA が3.0以上である者に対して、次学期の履修単位数制限を緩和し、４単位増加する。

7　その他履修に関する事項は、『履修心得』による。

［数理科学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第２学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外の科目は次のとおりとする。

学則第24条　ハンズオン・ラーニングセンターが2019年度以降授業期間外に開講する集中講義科目、国連・外交フィールドワーク、国際教養としての時事問題

学則第33条第３項の資格取得科目
（ただし、教育原論、発達・学習過程論を除く）
理工学部開講の集中講義科目
（夏期および冬期）

2　先修条件について

(1) 科学技術英語Ａ・Ｂ、特別英語セミナーを履修するためには、卒業に必要な英語科目12単位を修得していなければならない。

(2) 地学実験Ａを履修するためには、基礎地学Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得し、かつ基礎物理学実験Ⅰ、基礎化学実験Ⅰ、生命科学入門実験の３科目を修得していなければならない。

(3) ドイツ語文法Ⅱ、ドイツ語読解Ⅱを履修するためには、それぞれドイツ語文法Ⅰ、ドイツ語読解Ⅰを修得していなければならない。

(4) フランス語文法Ⅱ、フランス語読解Ⅱを履修するためには、それぞれフランス語文法Ⅰ、フランス語読解Ⅰを修得していなければならない。

(5) 全学開講　入門英語ⅡＡ、入門英語ⅡＢを履修するためには、それぞれ入門英語ⅠＡ、入門英語ⅠＢを２単位ずつ修得していなければならない。

(6) 数理科学特別演習Ⅰを履修するためには、必修科目８単位かつ基礎科目42単位以上を修得していなければならない。ただし、早期卒業見込者が第３学年において履修する場合は、必修科目８単位かつ基礎科目32単位以上を修得していなければならないものとする。

(7) 数理科学特別演習Ⅱを履修するためには、数理科学特別演習Ⅰを修得していなければならない。

[物理学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 物理学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[先進エネルギーナノ工学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎化学実験Ⅰのうち２科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読(卒業研究)を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目、先進エネルギーナノ工学概論、ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[化学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 無機分析化学実験、物理化学実験、有機化学実験を履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち2科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[環境・応用化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目については、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 環境・応用化学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち2科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[生命科学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端生命科学実験Ⅰを履修するためには、細胞・組織学実験、生命分子・生化学実験のうち1科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端生命科学実験Ⅱを履修するためには、先端生命科学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会において在籍期間を認定する。

[生命医化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端医化学実験Ⅰを履修するためには、基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱのうち1科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端医化学実験Ⅱを履修するためには、先端医化学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会において在籍期間を認定する。

［情報科学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について（2）を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 情報科学実習科目を履修するためには、プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａを修得していなければならない。

(3) 人間システム工学実習・実験科目を履修するためには、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか１科目を修得していなければならない。

(4) 情報システム領域実習Ａ・Ｂ及びネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、プログラミング実習Ⅰを含む専門必修科目８単位以上、専門基礎科目20単位以上を修得していなければならない。

(5) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と情報システム領域実習Ａ・Ｂまたはネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する。

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

［人間システム工学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 23単位、秋学期 25単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について（2）を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 情報科学実習科目については、［情報科学科］２．先修条件（2）を参照すること。

(3) 人間システム工学実習・実験科目については、［情報科学科］２．先修条件（3）を参照すること。

(4) 映像音響システム領域実習Ａ・Ｂ及びサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、専門必修科目14単位以上、かつ基礎科目20単位以上を修得していなければならない。ただし、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか１科目を修得していなければならない。

(5) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と映像音響システム領域実習Ａ・Ｂまたはサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、人間システム工学実習・実験科目及び情報科学実習科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

Ⅲ　成績評価・試験内規

1　成績評価は、成績評価・試験規程に基づき、行なう。

2　追試験は次の事由により定期試験が受けられなかった場合に施行される。

(1) 二親等以内の親族の死亡

(2) 本人の病気

(3) 試験当日の事故

(4) 学校において予防すべき感染症による登校停止

(5) 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職

務に従事する場合
(6) 公共交通機関の遅延又は運行停止等
(7) 学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合
(8) その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの

3　上記 (1)、(4)、(5)、(6)、(7) の場合を除き追試験の評点は20%を減じる。(1)～(6) 及び (8) については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、(7) については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。

4　代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験又は追試験を受けられなかった場合に施行される。なお、代替試験の成績は、100%評価とする。ただし、追試験の代替試験の成績は追試験に準ずる。

5　試験において不正行為があった場合には、当該試験期間中の全試験科目を 0 点とする。

6　成績評価に関して疑義がある場合は、成績発表後一定の期間内に所定の手続により、調査を願い出ることができる。

Ⅳ　転科・転専攻内規

転科または転専攻を希望する者があれば選考のうえ転科・転専攻を許可することがある。転科または転専攻を希望する者は、毎年 1 月の指定された期間に所定の書類を学部長に提出する。ただし、各学科の入学年度別学生数が、結果として各学科・専攻の入学定員を越えない範囲とする。

Ⅴ　卒業研究配属内規

1　卒研（卒業研究）は原則として所属学科の研究室で行わなければならない。

2　所属学科でない学科の研究室で卒研を行うには、教授会の承認を受けなければならない。

Ⅵ　その他

1　編入学生等の学則の適用について
(1) 編入学生については、入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。
(2) 再入学生については、原則として再入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

2　単位認定について
(1) 編入学生が前に在学した学校において修得した単位は、一定の基準によって本学部授業科目の履修により修得したものとして認定される。
(2) (1) 以外のものについては、編入生に準じて単位認定を行なう。

3　聴講生について
(1) 本学部の特定の授業科目について聴講を希望するものがある場合、教授会の議を経て聴講生として許可することができる。
(2) 聴講生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

4　科目等履修生について
(1) 本学部の特定の授業科目を履修し、単位の修得を希望するものがある場合、教授会の議を経て科目等履修生として許可することができる。
(2) 科目等履修生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

5　迷惑行為について
「学外における迷惑駐車・迷惑駐輪を行った学生への指導に関するガイドライン（西宮上ケ原キャンパス、神戸三田キャンパス）」に規定がある場合はそれを優先する。それ以外の場合で、神戸三田キャンパス自動車通学取扱要項を遵守しない場合、近隣住民に迷惑をかける行為を繰り返し行なった場合及び火災や事故につながる迷惑行為を行った場合は、その学期の定期試験の受験資格を停止する。

6　数理科学科早期卒業について
学則第 7 条第 2 項の規程に基づき、理工学部数理科学科における早期卒業に関し必要な事項を定めるものとする。
(1) 対象学生
早期卒業は、本学に 3 年在籍し、卒業の要件として定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。
(2) 早期卒業の申請資格
次の各号に挙げる要件を全て満たした者が早期卒業を希望するとき、指定の期間中に、所定の申請書を提出する。
①第 2 学年終了時に、卒業要件単位を86単位以上修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
②第 2 学年終了時に、必修科目の単位を 8 単位かつ基礎科目の単位を28単位修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
③第 2 学年終了時に、コンピュータ科目の単位を 4 単位以上修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
(3) 早期卒業見込者の認定
申請書を提出後、面接において適格の認定を受けた者が早期卒業見込者となる。
(4) 早期卒業見込者の履修特別措置
早期卒業見込者は第 3 学年において、履修基準年度 4 年の配当科目を履修することができる。
(5) 早期卒業の辞退
早期卒業見込者が早期卒業を希望しなくなったとき、指定の辞退届を提出しなければならない。ただし、辞退届の提出期限は第 3 学年秋学期の授業が終了するまでとする。
(6) 卒業要件
早期卒業するためには、次の各号に挙げる要件を全て満たしていなければならない。
①第 3 学年春学期成績発表の時点で、第 3 学年春学期に修得した専門教育科目の 1 科目当たりの平均点が85点以上である。

②第 3 学年春学期成績発表後に面接を受け、引き続き秋学期も早期卒業見込者として適格の認定を受ける。

(7) 卒業認定

上記の卒業要件を満たしている早期卒業見込者は、教授会の議を経て早期卒業が認められる。

(8) 合格点の平均を算出する際の注意

合格点の平均を算出する際には認定科目および資格取得科目の成績は算入しない。ただし、卒業要件に含むことができる以下の資格取得科目の成績は算入する。

教育原論、発達・学習過程論

Ⅸ　2019年度　理工学部内規

Ⅰ　学則及び内規の適用について

1　学則の適用は、原則として入学年度の学則が適用される。ただし、学則が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

2　内規の適用は、原則として入学年度の内規が適用される。ただし、内規が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

3　学則及び内規の変更に伴う移行措置が講じられた場合は別に配布される理工学部『授業科目履修心得』（以下『履修心得』）による。

Ⅱ　授業履修内規

［全学科共通］

1　授業科目の履修について

(1) 履修しようとする授業科目については、すべて所定の期日内に履修届を提出しなければならない。

(2) 履修登録されていない授業科目の単位を修得することはできない。

(3) 履修届の変更は原則として認めない。

(4) 時間割上、同一時間に組まれた２つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) すでに単位を修得した授業科目は原則として再度履修することはできない。

(6) クラス指定のある授業科目は、定められたクラスで履修しなければならない。

(7) 同一学期に複数クラス開講している授業科目について、２つ以上のクラスを原則として同時に履修することはできない。

(8) 授業科目の履修は原則として履修基準年度に従わなければならない。

2　専門教育科目について

(1) 卒業に必要な単位数のうち、専門教育科目の96単位はすべて理工学部開講の専門教育科目で満たさなければならない。

(2) 卒業に必要な単位数を越えて修得した専門教育科目の単位を４単位まで総合教育科目として算入できる。

3　卒業単位に算入されない科目について

(1) 学則第33条第３項に定められた資格取得科目は、卒業に必要な単位には算入できない。ただし、下記の科目は、卒業に必要な総合教育科目の選択科目の単位として算入できる。

教育原論、発達・学習過程論

(2) 下記の科目（資格取得科目）は卒業に必要な単位には算入できない。

博物館教育論	博物館概論
博物館経営論	博物館資料論
生涯学習概論	博物館資料保存論
博物館教育メディア論	博物館展示論
博物館実習	社会教育概論
社会教育計画	社会教育実習
社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	社会体育
社会教育行政	職業指導
社会教育課題研究	

4　全学開講・他学部開講科目の履修制限について

全学開講・他学部開講科目のうち下記の科目は履修できない。

数理の科学Ａ・Ｂ	自然現象の科学Ａ・Ｂ
物質の科学Ａ・Ｂ	生命の科学Ａ・Ｂ
コンピュータ基礎	情報技術概論
文科系学生のための情報技術入門	
コンピュータ言語	コンピュータ実践
数理科学の基礎	感性情報

5　英語能力優秀者の特別履修について

下記［資格一覧］にある資格試験のいずれかにおいて一定以上のスコアを修得した英語能力の優秀な者については、語学力を勘案した上で、英語リーディング・ライティング・コミュニケーションⅠＡ/ⅠＢ/ⅡＡ/ⅡＢの中から未修得のものを最大12単位認定する。

なお、この措置を希望する者は指定された期間に所定の手続きを行い履修指導を受ける。

［資格一覧］

試験名	スコア・級
TOEIC	750点
TOEFL ITP	550点
TOEFL iBT	79点
IELTS	5.5点
実用英語技能検定	準１級
TEAP	334点

6　成績優秀者の履修単位数制限緩和について

当該学期の GPA が3.0以上である者に対して、次学期の履修単位数制限を緩和し、４単位増加する。

7　その他履修に関する事項は、『履修心得』による。

［数理科学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第２学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外の科目は次のとおりとする。

学則第24条　ハンズオン・ラーニングセンターが2019年度以降授業期間外に開講する集中講義科目、国連・外交フィールドワーク、国際教養としての時事問題

学則第33条第３項の資格取得科目
（ただし、教育原論、発達・学習過程論を除く）
理工学部開講の集中講義科目
（夏期および冬期）

2　先修条件について

(1) 科学技術英語Ａ・Ｂ、特別英語セミナーを履修するためには、卒業に必要な英語科目12単位を修得していなければならない。

(2) 地学実験Ａを履修するためには、基礎地学Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得し、かつ基礎物理学実験Ⅰ、基礎化学実験Ⅰ、生命科学入門実験の３科目を修得していなければならない。

(3) ドイツ語文法Ⅱ、ドイツ語読解Ⅱを履修するためには、それぞれドイツ語文法Ⅰ、ドイツ語読解Ⅰを修得していなければならない。

(4) フランス語文法Ⅱ、フランス語読解Ⅱを履修するためには、それぞれフランス語文法Ⅰ、フランス語読解Ⅰを修得していなければならない。

(5) 全学開講　入門英語ⅡＡ、入門英語ⅡＢを履修するためには、それぞれ入門英語ⅠＡ、入門英語ⅠＢを２単位ずつ修得していなければならない。

(6) 数理科学特別演習Ⅰを履修するためには、必修科目８単位かつ基礎科目42単位以上を修得していなければならない。ただし、早期卒業見込者が第３学年において履修する場合は、必修科目８単位かつ基礎科目32単位以上を修得していなければならないものとする。

(7) 数理科学特別演習Ⅱを履修するためには、数理科学特別演習Ⅰを修得していなければならない。

[物理学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 物理学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[先進エネルギーナノ工学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎化学実験Ⅰのうち２科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読(卒業研究)を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目、先進エネルギーナノ工学概論、ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[化学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 無機分析化学実験、物理化学実験、有機化学実験を履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち2科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[環境・応用化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目については、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 環境・応用化学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち2科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[生命科学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端生命科学実験Ⅰを履修するためには、細胞・組織学実験、生命分子・生化学実験のうち1科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端生命科学実験Ⅱを履修するためには、先端生命科学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会において在籍期間を認定する。

[生命医化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第1学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第2学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第3学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第4学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] 1．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端医化学実験Ⅰを履修するためには、基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱのうち1科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端医化学実験Ⅱを履修するためには、先端医化学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計6単位以内（そのうち英語必修科目4単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて3年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会において在籍期間を認定する。

［情報科学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について（2）を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 情報科学実習科目を履修するためには、プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａを修得していなければならない。

(3) 人間システム工学実習・実験科目を履修するためには、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか１科目を修得していなければならない。

(4) 情報システム領域実習Ａ・Ｂ及びネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、プログラミング実習Ⅰを含む専門必修科目８単位以上、専門基礎科目20単位以上を修得していなければならない。

(5) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と情報システム領域実習Ａ・Ｂまたはネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する。

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

［人間システム工学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 23単位、秋学期 25単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について（2）を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 情報科学実習科目については、［情報科学科］２．先修条件（2）を参照すること。

(3) 人間システム工学実習・実験科目については、［情報科学科］２．先修条件（3）を参照すること。

(4) 映像音響システム領域実習Ａ・Ｂ及びサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、専門必修科目14単位以上、かつ基礎科目20単位以上を修得していなければならない。ただし、プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのいずれか１科目を修得していなければならない。

(5) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と映像音響システム領域実習Ａ・Ｂまたはサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、人間システム工学実習・実験科目及び情報科学実習科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

Ⅲ　成績評価・試験内規

1　成績評価は、成績評価・試験規程に基づき、行なう。

2　追試験は次の事由により定期試験が受けられなかった場合に施行される。

(1) 二親等以内の親族の死亡

(2) 本人の病気

(3) 試験当日の事故

(4) 学校において予防すべき感染症による登校停止

(5) 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職

務に従事する場合
(6) 公共交通機関の遅延又は運行停止等
(7) 学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合
(8) その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの

3　上記 (1)、(4)、(5)、(6)、(7) の場合を除き追試験の評点は20%を減じる。(1)～(6) 及び (8) については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、(7) については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。

4　代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験又は追試験を受けられなかった場合に施行される。なお、代替試験の成績は、100%評価とする。ただし、追試験の代替試験の成績は追試験に準ずる。

5　試験において不正行為があった場合には、当該試験期間中の全試験科目を 0 点とする。

6　成績評価に関して疑義がある場合は、成績発表後一定の期間内に所定の手続により、調査を願い出ることができる。

Ⅳ　転科・転専攻内規

転科または転専攻を希望する者があれば選考のうえ転科・転専攻を許可することがある。転科または転専攻を希望する者は、毎年 1 月の指定された期間に所定の書類を学部長に提出する。ただし、各学科の入学年度別学生数が、結果として各学科・専攻の入学定員を越えない範囲とする。

Ⅴ　卒業研究配属内規

1　卒研（卒業研究）は原則として所属学科の研究室で行わなければならない。

2　所属学科でない学科の研究室で卒研を行うには、教授会の承認を受けなければならない。

Ⅵ　その他

1　編入学生等の学則の適用について
(1) 編入学生については、入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。
(2) 再入学生については、原則として再入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

2　単位認定について
(1) 編入学生が前に在学した学校において修得した単位は、一定の基準によって本学部授業科目の履修により修得したものとして認定される。
(2) (1) 以外のものについては、編入生に準じて単位認定を行なう。

3　聴講生について
(1) 本学部の特定の授業科目について聴講を希望するものがある場合、教授会の議を経て聴講生として許可することができる。
(2) 聴講生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

4　科目等履修生について
(1) 本学部の特定の授業科目を履修し、単位の修得を希望するものがある場合、教授会の議を経て科目等履修生として許可することができる。
(2) 科目等履修生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

5　迷惑行為について
「学外における迷惑駐車・迷惑駐輪を行った学生への指導に関するガイドライン（西宮上ケ原キャンパス、神戸三田キャンパス）」に規定がある場合はそれを優先する。それ以外の場合で、神戸三田キャンパス自動車通学取扱要項を遵守しない場合、近隣住民に迷惑をかける行為を繰り返し行なった場合及び火災や事故につながる迷惑行為を行った場合は、その学期の定期試験の受験資格を停止する。

6　数理科学科早期卒業について
学則第 7 条第 2 項の規程に基づき、理工学部数理科学科における早期卒業に関し必要な事項を定めるものとする。
(1) 対象学生
早期卒業は、本学に 3 年在籍し、卒業の要件として定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。
(2) 早期卒業の申請資格
次の各号に挙げる要件を全て満たした者が早期卒業を希望するとき、指定の期間中に、所定の申請書を提出する。
①第 2 学年終了時に、卒業要件単位を86単位以上修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
②第 2 学年終了時に、必修科目の単位を8単位かつ基礎科目の単位を28単位修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
③第 2 学年終了時に、コンピュータ科目の単位を 4 単位以上修得し、1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。
(3) 早期卒業見込者の認定
申請書を提出後、面接において適格の認定を受けた者が早期卒業見込者となる。
(4) 早期卒業見込者の履修特別措置
早期卒業見込者は第 3 学年において、履修基準年度 4 年の配当科目を履修することができる。
(5) 早期卒業の辞退
早期卒業見込者が早期卒業を希望しなくなったとき、指定の辞退届を提出しなければならない。ただし、辞退届の提出期限は第 3 学年秋学期の授業が終了するまでとする。
(6) 卒業要件
早期卒業するためには、次の各号に挙げる要件を全て満たしていなければならない。
①第 3 学年春学期成績発表の時点で、第 3 学年春学期に修得した専門教育科目の 1 科目当たりの平均点が85点以上である。

②第 3 学年春学期成績発表後に面接を受け、引き続き秋学期も早期卒業見込者として適格の認定を受ける。

(7) 卒業認定

上記の卒業要件を満たしている早期卒業見込者は、教授会の議を経て早期卒業が認められる。

(8) 合格点の平均を算出する際の注意

合格点の平均を算出する際には認定科目および資格取得科目の成績は算入しない。ただし、卒業要件に含むことができる以下の資格取得科目の成績は算入する。

教育原論、発達・学習過程論

C．理工学部　カリキュラム
（2018年度入学生）

はじめに

この「授業科目履修心得」は、関西学院大学学則や理工学部内規などをもとにして、皆さんが理工学部において履修を行うにあたり必要となる知識をまとめ、解説したものです。

よりよい履修を行うために、「関西学院大学 学則」「授業実施要綱」「大学に関する諸規程」さらには「教職課程等履修要項」などもあわせて熟読し、理工学部のカリキュラムや授業内容をよく理解した上で学習計画を立てて下さい。「シラバス」が Web 上で公開されており、各回の授業内容を掲載しているので参考にして下さい。

また、「大学院・理工学研究科について」、「理工学部における一般注意事項」なども必ず確認しておいて下さい。

履修登録やその他の諸手続きに関して不明なことがあった場合には、自己判断に頼らず、副学部長・学部長補佐か担任教員あるいは事務室の職員に質問して下さい。

なお、今後、各種の連絡は、教学 Web サービスを通じて行いますので、掲示内容によく注意して下さい。

Ⅰ　理工学部の理念・目的・教育目標

理工学部の基礎になっている理学部は、1961年の創設以来、物理学科、化学科の２学科で活動を行い、自然科学の基礎的分野の教育と研究を行ってきた。21世紀に大きな発展が予見される情報科学と生命科学の分野を充実し、工学的な領域にまで教育と研究の拡充をはかり、社会との繋がりをより一層強めていくために、2002年４月に情報科学科と生命科学科を新設し、理学部を理工学部に改組した。さらに2009年４月に数理科学科と人間システム工学科を新設し、６学科体制となり、2015年４月には先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科を新設し、９学科体制となった。

理工学部は、「自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する。」ことを理念としてその教育・研究活動を行っている。

この理念のもとに、理工学部は次の目的を掲げる。

1）自然科学・科学技術の幅広い分野にわたり、基礎的研究を中心におきながら応用も視野に入れ、それぞれの分野が相互に緊密な連携を保ちながら常に先端的でレベルの高い研究を行う。
2）しっかりとした自然科学の基礎知識と能力を身につけ、基礎を応用に繋げていくことが出来る柔軟な思考力を養い、未知の問題を発見していく能力と、その未知の問題に果敢に挑戦し、解決していくことが出来る能力に優れた、創造性に溢れた人材を育成する。
3）自然科学・科学技術の知識と能力とともに、幅広い教養を養い、キリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備えた人材を育てる。
4）社会との強い繋がりを絶えず念頭に置き、自然科学を通して社会に大きなインパクトを与え、また、その技術的応用を通して、人類の進歩に寄与することが出来る教育と研究ならびに人材の育成を行う。

この目的を実現するために、次の教育目標を設ける。

1）自然科学・科学技術の幅広い分野にわたって基礎知識と能力を修得し、多様な教養教育により人格形成に努めるとともに広い視野を養い、社会のいろいろな分野で活躍することができる人材を育成する。
2）実験科目、演習科目、卒業研究を重視し、これらの科目を通して、自然科学・科学技術の最新の研究に携わる機会を持ち、自然科学の真理を探究していくことの楽しさと感動を身近に体験するとともに、自然科学の知識や能力を社会に活かしていくための応用的能力を養う。
3）英語の能力は、自然科学・科学技術を学ぶ上で必須の要件であり、研究の成果を世界に向けて発信していくためにも不可欠である。英語に強い理系の人材育成を目指し、英語教育に力を入れる。

理工学部の人材育成目標

【理工学部】
自然科学・科学技術の幅広い分野にわたり、基礎から応用まで相互に連携しつつ、常に先進的でレベルの高い研究を行う。また、確固とした専門的知識と研究技法を身につけ、基礎知識を課題解決に繋げる柔軟な思考力を養うとともに、未知の問題を発見し挑戦していく創造力あふれる科学者・技術者を育てる。さらに、専門的能力に加えて幅広い教養教育およびキリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備え、国際的に活躍し社会貢献できる世界市民を育成する。

〈数理科学科〉
自然科学を学ぶ上で不可欠であり、自然科学のどの分野においても極めて重要な役割を果たしている数学を、理論と応用の両面から教育・研究し、柔軟で論理的な思考能力を持つ人材を育成する。数学の基礎理論を身につけ、数学的能力、コンピュータを思考の道具として駆使していく能力、数学の応用能力を養い、理系はもとより文系の分野も含めて幅広い分野でその能力を発揮できる人材を育てる。

〈物理学科〉
物理学の理解に必要な数学の基礎知識と応用力を習得し、力学・電磁気・熱現象等のマクロな物理学から量子力学、相対性理論、統計力学等の現代物理学までの物理法則の深いレベルでの理解をはかる。実験や演習を通して基礎と応用の両面で論理的思考能力と専門性を必要とする職業に対応できる能力を培うと同時に、視野を広め、既成の概念や常識に挑戦し、他の学問領域に進出していくことができるだけのチャレンジ精神と創造性を有する人材の育成をはかる。

〈先進エネルギーナノ工学科〉
グリーンイノベーションの基盤となる、エネルギーを「創る」、「蓄える」、「運ぶ」、「有効に使う」の４つの分野において、基礎から応用までの幅広い知識を学生に獲得させる。物理学・化学・数学の学習をベースに、次世代のエネルギー創生、蓄積、輸送、変換をナノテクノロジーを駆使して実現する創造力（イノベーション力）を養い、我が国が抱えるエネルギー問題に新たな視点から取り組むことのできる人材を育成する。

〈化学科〉
化学の基礎である物質の構造・物性・反応について、とくに物質の構造や機能の分子レベルでの解明法、既知・新規機能物質の合理的な合成法等を教授し、将来、研究・開発に携わることのできる優れた人材を育成する。さらに、現代社会のニーズに応じた明瞭な社会貢献を目指し、既存の化学から新領域へ挑戦できる人材を養成する。

〈環境・応用化学科〉
地球環境問題に関連するさまざまな課題に対して化学を基軸としたアプローチによって柔軟に取り組み、国際的に活躍できる個性豊かな人材の育成を目指す。具体的には、原子・分子の世界から地球レベルの問題まで幅広い知識と深い専門性を有し、多角的な視点を身につけることによって、環境・応用化学分野に深い関心を抱き、新しい課題に挑戦する情熱と知恵を持った人材の養成をはかる。

〈生命科学科〉
環境、食糧、エネルギー、医療など、21世紀の重要課題の解決および環境との調和を保つ社会構築に貢献する研究、教育および社会連携を目標とする。広い視野にたった倫理観を有し、生命現象を分子レベルから理解する基礎能力を修得し、応用できる人材を養成する。

〈生命医化学科〉
先端医療や製薬など、ヒトの疾病治療や健康維持に貢献するために、医化学を共通の基盤として生命科学や情報学を基礎医学系分野に応用できる人材の養成を目指す。ヒトの細胞やマウスなどの哺乳動物モデルを用い、生命科学や情報学の知識および生命に対する健全な倫理観を有する人材を育てる。

〈情報科学科〉
健全な情報化社会をリードし、新たな情報技術を創造できる人材の育成を目指す。特に高度情報化社会に必要なソフトウエアと情報ネットワークを中心とした技術の開発・研究に従事する技術者の養成を行う。また、情報科学以外の自然科学・社会科学の分野とも繋がりを強め、情報通信産業、ソフトウエア産業及びコンテンツ産業に高度な知識を持った人材を供給し、新しい科学・技術・文化の領域において社会貢献を果たす。

〈人間システム工学科〉
人間をトータルシステムとして探求する工学的視点を中心に据え、メディアやロボティクス等の魅力ある動機付けのもとに、その基礎となる数理科学を確実に身につけさせる。演習を重視したカリキュラムにより、感性・脳科学、信号処理、制御、センサなど現実に即した課題の学習・研究を通して論理的思考力・問題解決力・自己管理力・リーダシップ等を兼ね備えた学生を輩出し、新しい文化の形成において社会貢献を果たす。

理工学部のディプロマ・ポリシー

関西学院のめざす人間像である「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成するために、自然科学の基本原理とその応用について教育と研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する理工学部の理念の下、理工学部の学生が卒業時に身につけておくべき知識・能力を次のとおり定める。

1．［関心・意欲・態度］自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢

（1） 自らを律する強さと高い倫理観を持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。

（2） 自然科学・科学技術と社会、文化、人間との関係に深い関心を抱き、自然科学・科学技術の発展を通じて、人類の進歩に貢献しようとする意欲を持っている。

2．［知識・理解］幅広い知識と深い専門性

（1） 社会、文化、人間、自然科学・科学技術についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。

（2） 専攻分野における基礎知識を体系的・構造的に理解している。

（3） 専攻分野における基礎的な技能を修得している。

（4） 基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識、および柔軟な思考力を有している。

（5） 社会、文化、人間等との様々な関係において、専門分野の学問的・技術的発展が持つ意義を理解している。

3．［技能・表現］実践的な学習技能とコミュニケーション力

（1） 論理的思考力、情報収集力、データ分析力、表現力及びコンピュータとネットワークを活用する能力を身につけている。

（2） 日本語および英語によって、コミュニケーションできる力を身につけている。

4．［思考・判断］課題解決のための総合的思考・判断力

現代社会における問題に取り組むための、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

理工学部のカリキュラム・ポリシー

理工学部における授業科目を、総合教育科目と専門教育科目に大別する。総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、自由選択科目にて構成し、専門教育科目は各学科専門の基礎的科目、発展的科目、実験・演習科目、卒業研究科目（数理科学科は特別演習）、自由選択科目にて構成する。各科目群については理工学部ディプロマ・ポリシーに沿う形で以下の方針をもって実施する。

[総合教育科目]

「キリスト教科目」

初年次に配当し、本学の建学の精神であるキリスト教主義にもとづく人間形成によって、自らを律する強さ、倫理観、他者との協調性などの基本的な態度を身につけさせる。

「英語教育科目」

自然科学・科学技術分野における共通言語である英語を低学年次に配当する。自ら情報発信できるよう、総合的な英語コミュニケーション能力を修得させる。

「自由選択科目」

社会、文化、人間、自然科学・科学技術について、幅広い教養と視野を身につけさせる。

[専門教育科目]

「基礎的科目」

主に低学年次に配当し、各専攻分野における基礎知識を講義等を通じて修得させる。

「発展的科目」

主に高学年次に配当し、基礎知識や基礎的な技能を応用するための知識を講義等を通じて修得させる。

「実験・演習科目」

各専攻分野における基礎的な技能、コンピュータを活用する技能、および基礎知識を体系的・構造的に理解し論理的に思考する力を実験・演習・実習を通じて修得させる。

「卒業研究科目（数理科学科は特別演習）」

４年次に配当し、各専攻分野の学問的・技術的発展が社会、文化、人間等との様々な関連において持つ意味を理解させた上で、取り組むための課題を発見させ、これまでに培ったコミュニケーション力・知識・技能を用いて課題解決に向けて意欲的に取り組ませることにより、現代社会における問題解決力を修得させる。

「自由選択科目」

主に専攻分野以外の自然科学・科学技術などについて、幅広い教養と視野を養成し、各専攻分野の伸展となる知識を修得させる。

理工学部　カリキュラム・マップ（概要）
（ディプロマ・ポリシーの項目とカリキュラム・ポリシーの科目群の主たる方針との対応表）

ディプロマ・ポリシーの項目 ／ カリキュラム・ポリシーの科目群		1		2					3		4
		(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	
総合教育科目	【1】キリスト教科目	○									
	【2】英語教育科目									○	
	【3】自由選択科目			○							
専門教育科目	【4】基礎的科目				○						
	【5】発展的科目						○	○			
	【6】実験・演習科目				○	○			○		
	【7】卒業研究科目（数理科学科は特別演習）		○					○			○
	【8】自由選択科目			○							

理工学部の履修モデル

履修モデル　数理科学科　（数学コース〈純粋数学〉）

	総合教育科目						専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	基礎科目	単位	コンピュータ科目	単位	数学コース科目	単位	応用数理コース科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 論理学 哲学 経済学 心理学 法学 教育原論 体育方法学講義Ｃ 社会学 科学倫理 近代日本とアジア 発達・学習過程論 体育方法学演習Ｃ	8	数学入門演習 微分積分Ⅰ 線形代数Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ	2 4 4 4 4	コンピュータ演習Ａ	2							38
	小計	4		6		8		18		2		0		0		0		
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境学 芸術と技術 西洋史 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	基礎解析学Ⅰ 応用数理入門 基礎解析学Ⅱ 関数論入門 集合と位相 幾何入門 代数入門	4 2 2 2 4 2 2	数式処理演習Ⅰ 数式処理演習Ⅱ	2 2			情報科学概論 人間システム工学概論	2 2	40
	小計	0		6		8		16		4		0		0		4		
3年							解析学Ⅰ 常微分方程式 複素解析 幾何学Ⅰ 応用数理Ⅰ 基礎物理学Ａ 解析学Ⅱ 偏微分方程式 確率統計Ⅰ 確率統計Ⅱ 幾何学Ⅱ 基礎物理学Ｂ	4 2 2 4 2 4 2 2 2 2 2						科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ	2 2	36
	小計	0		0		0		32		0		0		0		4		
4年											数学特別演習Ⅰ 数学特別演習Ⅱ 幾何学Ⅲ 応用数理Ⅱ 解析学Ⅲ	4 4 2 2 2					14
	小計	0		0		0		0		0		14		0		0		
卒業必要単位数	4		12		16		68		6		14		0		8		128	
	32						96											
	128																	

履修モデル　数理科学科　（応用数理コース〈応用数理〉）

	総合教育科目						専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	基礎科目	単位	コンピュータ科目	単位	数学コース科目	単位	応用数理コース科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 論理学 哲学 経済学 心理学 法学 教育原論 体育方法学講義Ｃ 社会学 科学倫理 近代日本とアジア 発達・学習過程論 体育方法学演習Ｃ	8	数学入門演習 微分積分Ⅰ 線形代数Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ	2 4 4 4 4	コンピュータ演習Ａ	2							38
	小計	4		6		8		18		2		0		0		0		
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境学 芸術と技術 西洋史 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	基礎解析学Ⅰ 確率統計入門 応用数理入門 基礎解析学Ⅱ 関数論入門 集合と位相 代数入門 幾何入門	4 2 2 2 4 2 4 2	数式処理演習Ⅰ 数式処理演習Ⅱ	2 2					38
	小計	0		6		8		20		4		0		0		0		
3年							解析学Ⅰ 常微分方程式 複素解析 応用数理Ⅰ 基礎物理学Ａ 代数学Ⅰ 解析学Ⅱ 偏微分方程式 確率統計Ⅰ 確率統計Ⅱ	4 2 2 2 4 2 4 2 2 2	統計コンピュータ演習 シミュレーション演習	2 2					38
	小計	0		0		0		26		4		0		0		8		
4年													応用数理Ⅱ 確率統計Ⅲ 確率統計Ⅳ 応用数理特別演習Ⅰ 応用数理特別演習Ⅱ	2 2 2 4 4				14
	小計	0		0		0		0		0		0		14		0		
卒業必要単位数	4		12		16		64		10		0		14		8		128	
	32						96											
	128																	

履修モデル　物理学科

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
							物理系科目								数学系科目		学科共通				
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	コア科目	単位	実験科目	単位	選択科目	単位	選択必修科目	単位	自由選択科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 教育原論 体育方法学講義Ｃ 西洋史 社会学 科学倫理 発達・学習過程論 体育方法学演習Ｃ	8			力学Ⅰ	2			次より４単位を選択 物理学特論 サブゼミ デモンストレーション物理Ⅰ	4	次より５単位を選択 微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ	6	次より10単位を選択 宇宙物理学入門 化学概論 生命科学Ⅰ 情報科学概論 基礎化学Ｃ 生命科学Ⅱ 生命科学入門実験 人間システム工学概論	10	
	小計	4		6		8		0		2		0		4		6		10		40
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	次より８単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境学 芸術と技術 環境教育 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	力学Ⅱ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 量子力学Ⅰ	2 2 2 2	基礎物理学実験Ⅰ	2	次より５単位を選択 デモンストレーション物理Ⅱ 解析力学 熱力学 基礎物理学演習	6 2 2 2	次より８単位を選択 物理のための幾何入門 線形代数学Ⅱ 関数論入門 物理と確率 物理数学Ⅰ	6 2 2 2	コンピュータ演習Ａ 基礎地学Ⅰ	2 2			38
	小計	0		6		8		8		8		2		6		6		2		38
3年									次より４単位を選択 量子力学Ⅱ 熱統計力学Ⅰ 量子力学Ⅲ 熱統計力学Ⅱ	4	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ	3 3	次より12単位を選択 構造物性学 物理学演習 宇宙物理学 電気力学 固体電子論 特殊相対論 連続体力学 物質構造論	12	物理数学Ⅱ	2	コンピュータ演習Ｂ 科学技術英語Ａ 特別英語ゼミナール 千刈集中英語実習	2 2 2 2			36
	小計	0		0		0		0		4		6		12		2		12		
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8					次より２単位を選択 現代統計物理学 光物性物理学 高エネルギー物理学 赤外線天文学 Ｘ線天文学 電波天文学	2							14
	小計	0		0		0		12		0		0		2		0		0		
卒業必要単位数	4		12		16		12		14		8		24		14		24				128
	32						58								14		24				
	128																				

履修モデル　先進エネルギーナノ工学科

	総合教育科目				専門教育科目																修得単位数
	キリスト教科目、英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目	単位	実験科目	単位	発展科目	単位	先端科目	単位	境界領域科目	単位	自由選択科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ 英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ キリスト教学Ｂ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	2 1 1 1 2 1 1 1	論理学 経済学 社会学 科学倫理	2 2 2 2	先進エネルギーナノ工学入門	2	線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅰ 力学Ⅰ	2 2 2	基礎化学実験Ⅰ	2	ナノケミストリーⅠ	2			物理学序論 基礎化学Ａ 基礎化学Ｂ 基礎化学Ｃ 線形代数学Ⅱ 微積分学Ⅱ	2 2 2 2 2 2	生命科学入門実験 生命科学Ⅰ	2 2		
	小計	10		8		2		6		2		2		0		12		4		46
2年	英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	自然科学史 サイバー社会入門 環境学 西洋史	2 2 2 2			力学Ⅱ 物理数学Ⅰ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 物理数学Ⅱ 電磁気学演習Ⅰ 電磁気学演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2	基礎物理学実験Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ	2 2	ナノケミストリーⅡ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2 2 2 2 2			デモンストレーション物理Ⅱ	2	基礎地学Ⅰ	2	46
	小計	6		8		0		14		4		10		0		2		2		
3年					ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ	3 3	構造物性学	2			ナノケミストリーⅢ ナノ物性量子力学Ⅱ	2 2	物質設計ナノ工学 プロセス設計ナノ工学 エネルギー変換と電池学 エネルギー・電気・電子回路工学	2 2 2 2			千刈集中英語実習	2	
	小計	0		0		6		2		0		4		8		0		2		22
4年					外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8							先端エネルギーナノ工学特論	2							
	小計	0		0		12		0		0		0		2		0		0		14
卒業必要単位数	16		16		20		22		6		16		10		14		8				128
	32				96																
	128																				

履修モデル　化学科

	総合教育科目						専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目 〔選択必修〕	単位	物理分析化学科目 〔選択必修〕	単位	有機無機化学科目 〔選択必修〕	単位	自由選択科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ	2 2	英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	1 1 1 1 1 1	上2年で 計3単位を選択 哲学 論理学 法学 心理学 サイバー社会入門 体育方法学講義Ｃ 経済学 自然科学史 日本国憲法 西洋史 環境学 科学倫理 体育方法学演習Ｃ 社会学 芸術と技術	8	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ	2 2	微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 基礎物理学Ａ 基礎化学Ａ 生命科学Ⅰ 基礎化学Ｃ 〔上記の中から５科目〕 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 基礎化学Ｂ 基礎物理学Ｂ コンピュータ演習Ａ 情報科学概論 生命科学Ⅱ 〔上記の中から５科目〕	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					42
	小計	4		6		8		4		20		0		0		0		0	
2年			英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	上2年で 計3単位を選択 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	無機分析化学実験	4	〔2,3年次の5科目のうち2科目〕 生命科学入門実験 基礎物理学実験Ⅰ 基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ	2 2 2 2	〔この系列で５科目以上〕 分析化学Ⅰ 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ	2 2 2 2	〔この系列で７科目以上〕 有機化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 無機化学Ⅱ	2 2 2 2 2	〔この系列で10科目以上〕 化学演習Ⅰ 基礎地学Ⅰ 化学演習Ⅱ 高分子化学 基礎地学Ⅱ	2 2 2 2 2			42
	小計	0		6		8		4		8		8		8		6		6	
3年					有機化学実験 物理化学実験	4 4	化学数学	2	物理化学Ⅳ 物理化学Ⅴ 分析化学Ⅱ 物理化学Ⅵ	2 2 2 2	無機化学Ⅱ 有機化学Ⅳ 有機化学Ⅵ 無機化学Ⅳ 有機化学Ⅴ 有機化学Ⅶ	2 2 2 2 2 2	科学技術英語Ａ 千刈集中英語実習 量子化学 化学演習Ⅲ 科学技術英語Ｂ 化学演習Ⅳ 環境分析化学	2 2 2 2 2 2 2			32
	小計	0		0		0		2		8		8		6		14		14	
4年					〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8													
	小計	0		0		12		0		0		0		0		0		0	
卒業必要単位数	4		12		16		28		24		10		14		20				128
	32						96												
	128																		

履修モデル　環境・応用化学科

	総合教育科目				専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目、英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	数学・物理科目	単位	地学・生命・情報科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 英語リーディングⅠＡ 英語ライティングⅠＡ 英語コミュニケーションⅠＡ 英語リーディングⅠＢ 英語ライティングⅠＢ 英語コミュニケーションⅠＢ	2 2 1 1 1 1 1 1	心理学 経済学 社会学 科学倫理	2 2 2 2	基礎化学Ａ 環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｂ 基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅱ	2 2 2 2 2 2	線形代数学Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学Ａ 線形代数学Ⅱ 基礎物理学Ｂ	2 2 2 2 2	生命科学Ⅰ	2					自然環境論	2	
	小計	10		8		12		10		2		0		0		2		44
2年	英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ 英語リーディングⅡＢ 英語ライティングⅡＢ 英語コミュニケーションⅡＢ	1 1 1 1 1 1	自然科学史 サイバー社会入門 環境学 西洋史	2 2 2 2	基礎物理学実験Ⅰ	2			基礎地学Ⅰ	2	無機化学 量子化学 分析化学 有機構造論 化学熱力学 地球環境化学 高分子化学	2 2 2 2 2 2 2	発展物理化学	2	地球環境科学実験	2	
	小計	6		8		2		0		2		14		2		2		36
3年					環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ	9 9							錯体化学 応用物理化学 合成有機化学 環境有機材料化学 環境分析化学 応用地球化学 応用量子化学	2 2 2 2 2 2 2	科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ	2 2		
	小計	0		0		18		0		0		0		14		4		36	
4年					外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	2 2 8													
	小計	0		0		12		0		0		0		0		0		0	
卒業必要単位数	16		16		44		10		4		14		16		8		128
	32				96												
	128																

履修モデル　生命科学科

	総合教育科目						専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	先端科目	単位	生命医化学科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	1,2年で計16単位を選択 哲学 論理学 心理学 経済学 環境学 教育原論 体育方法学講義C 西洋史 社会学 科学倫理 発達・学習過程論 体育方法学演習C	8	生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 生命有機化学 生命科学入門実験	2 2 2 2	1,2年で計16単位を選択 基礎化学実験Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学A 基礎化学A コンピュータ演習A 化学概論 サブゼミ （臨海実験） 線形代数学Ⅰ 基礎物理学B 基礎化学B 基礎化学C プログラミング演習 生命科学倫理	14							1~4年で計12単位を選択 情報科学概論 自然環境論 人間システム工学概論	4	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	0	小計	4	44
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	1,2年で計16単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 法学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ 環境学	8	生命分子・生化学実験 細胞・組織学実験	3 3	1,2年で計16単位を選択 系統分類学	2	2,3年で計14単位を選択 薬理学 生化学 微生物学 組織学 数理生物学 データ科学演習 細胞学 発生生物学 生命代謝化学 生物統計学 分子遺伝学 生命工学	12					1~4年で計12単位を選択 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ	4	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	6	小計	2	小計	12	小計	0	小計	0	小計	4	38
3年							先端生命科学実験Ⅰ 先端生命科学実験Ⅱ	8 8			2,3年で計14単位を選択 バイオインフォマティクス	2	春・秋より8単位以上を選択 植物分子生理学 器官形成学 生態システム学 分子細胞生物学 遺伝子工学 染色体機能学 植物分子生物学	8	3年で先端科目と併せ計12単位を選択 再生医学 脳神経科学 環境医化学 医学統計学 エピゲノム医化学 免疫学 病態生理学 発癌分子機構学	4	1~4年で計12単位を選択 科学技術英語A 千刈集中英語実習 科学技術英語B	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	2	小計	8	小計	4	小計	4	34
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	 2 2 8									1~4年で計12単位を選択 先進エネルギーナノ工学詳論	0	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		42		16		14		8		4		12		128
	32						84										12		
	128																		

履修モデル　生命医化学科

	総合教育科目				専門教育科目												修得単位数
	キリスト教科目、英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	基礎科目【選択必修】	単位	発展科目【選択必修】	単位	先端科目【選択必修】	単位	生命科学科目【選択必修】	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A 英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA キリスト教学B 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	2 1 1 1 2 1 1 1	*1.2年で計16単位を選択* 哲学 論理学 法学 心理学 サイバー社会入門 体育方法学講義C 経済学 自然科学史 日本国憲法 西洋史 環境学 科学倫理 体育方法学演習C 社会学 芸術と技術	10	生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 生命有機化学 生命科学入門実験	2 2 2 2	*1.2年で計16単位を選択* 基礎化学実験Ⅰ 微積分学Ⅰ 基礎物理学A 基礎化学A コンピュータ演習A 化学概論 基礎医化学入門 線形代数学Ⅰ 基礎物理学B 基礎化学B 基礎化学C プログラミング演習 生命科学倫理	14							*1~4年で計12単位を選択* 情報科学概論 臨海実験 自然環境論 人間システム工学概論	4	
	小計	10	小計	10	小計	8	小計	14	小計	0	小計	0	小計	0	小計	4	46
2年	英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	*1.2年で計16単位を選択* ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	6	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ	3 3	*1.2年で計16単位を選択* 系統分類学	2	*2.3年で計14単位を選択* 薬理学 生化学 微生物学 組織学 数理生物学 データ科学演習 細胞学 発生生物学 生命代謝化学 生物統計学 分子遺伝学 生命工学	12					*1~4年で計12単位を選択* 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ	4	
	小計	6	小計	6	小計	6	小計	2	小計	12	小計	0	小計	0	小計	4	36
3年					先端医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ	8 8			*2.3年で計14単位を選択* バイオインフォマティクス	2	*春・秋より8単位以上を選択* 再生医学 脳神経科学 環境医化学 医学統計学 エピゲノム医化学 免疫学 病態生理学 発癌分子機構学	8	*3年で先端科目と併せ計12単位を選択* 植物分子生理学 器官形成学 生態システム学 分子細胞生物学 遺伝子工学 染色体機能学 植物分子生物学	4	*1~4年で計12単位を選択* 地学実験A（集中） 千刈集中英語実習 科学技術英語A 科学技術英語B	4	
	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	2	小計	8	小計	4	小計	4	34
4年					〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習	 2 2 8									*1~4年で計12単位を選択* 先進エネルギーナノ工学詳論		
	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	16		16		42		16		14		8				12		128
											4						
	32				96												
	128																

履修モデル　情報科学科　（情報システムコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	情報科学実習科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	人間システム工学系科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	情報科学概論 キャリアデザイン論 コンピュータ演習A プログラミング実習Ⅰ	2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2			人間システム工学概論 ロボット工学序論	2 2	生命科学Ⅰ	2	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	4	小計	2	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然社会史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ プログラミング実習Ⅲ	2 2					情報科学のための確率・統計 情報科学のための数学演習 情報理論 ネットワーク データ構造とアルゴリズム データベース 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2 2 2 2 2 2	次より4単位を選択 数理論理学 基礎物理学A ディジタル信号処理 基礎物理学B	4	次より4単位を選択 メディア工学基礎 メディア・ロボット実験 ヒューマンコンピュータインタラクション メディア信号処理	4	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	16	小計	4	小計	4	小計	2	44
3年							情報システム領域実習A 情報システム領域実習B	1 1	次より6単位を選択 数理計画法実習 知識情報処理実習 情報理論実習 数式処理実習 データ構造とアルゴリズム実習 コンパイラ実習 データマイニング実習 ネットワークコンピューティング実習	6			情報処理技術演習	2	次より12単位を選択 最適化理論 知識情報処理 コンパイラ モデリング物理学 オペレーティングシステム 符号理論 計算論 数値計算 ソフトウェア工学 データマイニング 暗号と情報セキュリティ	12			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 千刈集中英語実習 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	12	小計	0	小計	4	26
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （情報システムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		26		6		0		32		16		8		8		128
									6						24						
									70												
	32						96														
	128																				

履修モデル　情報科学科　（ネットワークコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	情報科学実習科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	人間システム工学系科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理	8	情報科学概論 キャリアデザイン論 コンピュータ演習A プログラミング実習Ⅰ	2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ	2 2 2 2 2 2 2			人間システム工学概論 ロボット工学序論	2 2	生命科学Ⅰ	2	
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	8	小計	0	小計	0	小計	14	小計	0	小計	4	小計	2	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然社会史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ プログラミング実習Ⅲ	2 2					情報科学のための確率・統計 情報科学のための数学演習 情報理論 ネットワーク データ構造とアルゴリズム データベース 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2 2 2 2 2 2	数理論理学 ディジタル信号処理 基礎物理学B	2 2 2	次より4単位を選択 メディア工学基礎 メディア・ロボット実験 ヒューマンコンピュータインタラクション メディア信号処理	4	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	4	小計	0	小計	0	小計	16	小計	6	小計	4	小計	2	46
3年							ネットワークシステム領域実習A ネットワークシステム領域実習B	1 1	ディジタル信号処理実習 数理計画法実習 情報理論実習 データ構造とアルゴリズム実習 ネットワーク実習 グラフ・ネットワーク実習	1 1 1 1 1 1			情報処理技術演習	2	次より10単位を選択 最適化理論 符号理論 ディジタル通信 暗号と情報セキュリティ ネットワークコンピューティング ネットワーク設計論 数値計算	10			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 千刈集中英語実習 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	10	小計	0	小計	4	24
4年							〈卒研科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （ネットワークシステムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		26		6		0		32		16		8		8		128
									6						24						
									70												
	32						96														
	128																				

履修モデル　人間システム工学科　（映像音響システムコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	情報科学実習科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	情報科学系科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	キャリアデザイン論 コンピュータ演習A 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 人間システム工学概論 プログラミング実習Ⅰ 人間システム工学のための数学演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ ロボット工学序論	2 2 2 2 2 2 2 2							
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	12	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	0	小計	0	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ メディア工学基礎 メディア・ロボット実験	2 2 2					次より10単位を選択 情報科学のための確率・統計 エルゴノミクスコンピューティング 制御工学 情報理論 メディア信号処理 データ構造とアルゴリズム ヒューマンコンピュータインタラクション プログラミング実習Ⅲ	10	デザイン論 ネットワーク データベース	2 2 2	情報科学概論	2	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	6	小計	0	小計	0	小計	10	小計	6	小計	2	小計	2	40
3年							映像音響システム領域実習A 映像音響システム領域実習B	1 1	次より6単位を選択 音声情報処理実習 音楽情報処理実習 ユビキタスコンピューテング実験 画像情報処理実習 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 感性情報処理実習 コンピュータグラフィックス実習 ヒューマンコンピュータインタラクション実験	6			情報処理技術演習	2	音楽情報処理 音声情報処理 画像情報処理 認知情報処理 感性情報処理 コンテンツテクノロジー コンピュータグラフィックス バーチャルリアリティ	2 2 2 2 2 2 2 2			次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率統計Ⅰ 千刈集中英語実習 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	16	小計	0	小計	4	30
4年							〈卒業研究科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （映像音響システムコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		32		6		0		28		22		2		6		128
									6						24						
									64												
	32						96														
	128																				

履修モデル　人間システム工学科　（サイバーロボティクスコース）

	総合教育科目						専門教育科目														修得単位数
	キリスト教科目	単位	英語教育科目	単位	自由選択科目	単位	必修科目	単位	人間システム工学実習・実験科目	単位	情報科学実習科目	単位	基礎科目	単位	発展科目	単位	情報科学系科目	単位	自由選択科目	単位	
1年	キリスト教学A キリスト教学B	2 2	英語リーディングⅠA 英語ライティングⅠA 英語コミュニケーションⅠA 英語リーディングⅠB 英語ライティングⅠB 英語コミュニケーションⅠB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 教育原論 体育方法学講義C 哲学 論理学 心理学 経済学 法学 発達・学習過程論 体育方法学演習C 西洋史 社会学 科学倫理 地誌学	8	キャリアデザイン論 コンピュータ演習A 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 人間システム工学概論 プログラミング実習Ⅰ 人間システム工学のための数学演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2					微積分学Ⅰ 線形代数学Ⅰ 論理回路 微積分学Ⅱ 線形代数学Ⅱ 離散数理 コンピュータアーキテクチャ ロボット工学序論	2 2 2 2 2 2 2 2							
	小計	4	小計	6	小計	8	小計	12	小計	0	小計	0	小計	16	小計	0	小計	0	小計	0	46
2年			英語リーディングⅡA 英語ライティングⅡA 英語コミュニケーションⅡA 英語リーディングⅡB 英語ライティングⅡB 英語コミュニケーションⅡB	1 1 1 1 1 1	次より8単位を選択 日本国憲法 自然科学史 サイバー社会入門 近代日本とアジア ドイツ語読解Ⅰ フランス語読解Ⅰ ドイツ語文法Ⅰ フランス語文法Ⅰ 環境教育 環境学 芸術と技術 ドイツ語読解Ⅱ フランス語読解Ⅱ ドイツ語文法Ⅱ フランス語文法Ⅱ	8	プログラミング実習Ⅱ メディア工学基礎 メディア・ロボット実験	2 2 2					次より12単位を選択 情報科学のための確率・統計 エルゴノミクスコンピューティング 制御工学 情報理論 メディア信号処理 データ構造とアルゴリズム ヒューマンコンピュータインタラクション プログラミング実習Ⅲ	12	次より4単位を選択 メカトロニクス デザイン論 ネットワーク データベース	4	情報科学概論 形式言語とオートマトン グラフ・ネットワーク理論	2 2 2	次より2単位を選択 情報化社会と人間 基礎物理学実験Ⅰ	2	
	小計	0	小計	6	小計	8	小計	6	小計	0	小計	0	小計	12	小計	4	小計	6	小計	2	44
3年							サイバーロボティクス領域実習A サイバーロボティクス領域実習B	1 1	次より6単位を選択 認知情報処理実験 ユビキタスコンピューティング実験 画像情報処理実習 CAD/CAM/CAE 実習 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 エルゴノミクスコンピューティング実習 ロボット工学実験 ヒューマンコンピュータインタラクション実験	6			情報処理技術演習	2	音声情報処理 画像情報処理 認知情報処理 感性情報処理 コンテンツテクノロジー	2 2 2 2 2	次より2単位を選択 ネットワークコンピューティング ディジタル信号処理 数値計算 データマイニング	2	次より4単位を選択 科学技術英語A 知的財産戦略論 確率論Ⅰ 千刈集中英語実習 科学技術英語B サイバースペースの法と倫理 コンピュータ・アート アーカイブ・デザイン	4	
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	2	小計	6	小計	0	小計	2	小計	10	小計	2	小計	4	26
4年							〈卒業研究科目〉 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 （サイバーロボティクスコース）	 2 2 8													
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	12	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0	12
卒業必要単位数	4		12		16		32		6		0		30		14		8		6		128
									6						22						
									64												
	32						96														
	128																				

Ⅱ　授業科目と単位

1．授業科目の種類

理工学部における授業科目は、総合教育科目と専門教育科目に大別される。それぞれは下図のとおりさらに分類される。

［数理科学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【5】基礎科目	
	【6】コンピュータ科目	
	【7】数学コース科目	
	【7】応用数理コース科目	
	【8】自由選択科目	

［物理学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	物理系科目	【7】卒研科目
		【4】・【5】コア科目
		【6】実験科目
		【4】・【5】選択科目
	【4】・【5】数学系科目	
	【8】自由選択科目	

［先進エネルギーナノ工学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
		【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【4】・【5】基礎科目	
	【6】実験科目	
	【5】発展科目	
	【5】先端科目	
	【4】・【5】境界領域科目	
	【8】自由選択科目	

［化学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【4】・【5】基礎科目	
	【5】物理分析化学科目	
	【5】有機無機化学科目	
	【8】自由選択科目	

［環境・応用化学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
		【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【4】・【5】数学・物理科目	
	【4】・【5】地学・生命・情報科目	
	【4】・【5】基礎科目	
	【5】発展科目	
	【8】自由選択科目	

［生命科学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【5】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【4】・【5】基礎科目	
	【5】発展科目	
	【5】先端科目	
	【5】生命医化学科目	
	【8】自由選択科目	

［生命医化学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
		【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【4】・【5】基礎科目	
	【5】・【6】発展科目	
	【5】先端科目	
	【5】生命科学科目	
	【8】自由選択科目	

［情報科学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【6】情報科学実習科目	
	【6】人間システム工学実習・実験科目	
	【4】・【5】基礎科目	
	【4】・【5】発展科目	
	【4】・【5】・【6】人間システム工学系科目	
	【8】自由選択科目	

［人間システム工学科］

総合教育科目	必修科目	【1】キリスト教科目
	選択必修科目	【2】英語教育科目
	【3】自由選択科目	
専門教育科目	【4】・【6】・【7】必修科目（含む、卒研科目）	
	【6】人間システム工学実習・実験科目	
	【6】情報科学実習科目	
	【4】・【5】基礎科目	
	【4】・【5】発展科目	
	【4】・【5】情報科学系科目	
	【8】自由選択科目	

2．授業科目名の表記

授業科目名は、原則次のとおり表記される。

	授　業　科　目　名	クラス名
記号	①ローマ数字、及び②アルファベット	③アラビア数字
例	英語ライティングＩＡ	英語ライティングＩＡ（3）

①ローマ数字
科目をグレードの高さによって分類している場合はローマ数字で表示される。

②アルファベット
同じグレードでも、特定の科目を更に分類している場合（学期等によって分ける場合）はアルファベットで表示される。

③アラビア数字
複数のクラスがある科目はアラビア数字で表示される。

3．開講期間と授業時間

関西学院大学では「セメスター制」を導入している。春学期科目・秋学期科目は１学期で完結し、通年科目（１年を通じて行う）は２学期で完結する。定期試験はそれぞれの学期末（７月中旬・１月中旬）に行われる。

１回あたりの授業時間は100分であるが、制度上これを「２時間」とみなす。

4．卒業に必要な単位数

卒業に必要な各授業科目の単位数は次のとおりである。

［数理科学科］

<table>
<tr><th>総合教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="2">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>キリスト教科目</td><td>4</td><td colspan="2"></td><td rowspan="3">32</td></tr>
<tr><td>英語教育科目</td><td></td><td colspan="2">12</td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td></td><td colspan="2">16</td></tr>
<tr><th>専門教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="2">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td></td><td>56</td><td rowspan="5">22</td><td rowspan="5">96</td></tr>
<tr><td>コンピュータ科目</td><td></td><td>4</td></tr>
<tr><td>数学コース科目</td><td></td><td rowspan="2">どちらかのコースより14</td></tr>
<tr><td>応用数理コース科目</td><td></td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td></td><td></td></tr>
</table>

［物理学科］

<table>
<tr><th colspan="2">総合教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td colspan="2">キリスト教科目</td><td>4</td><td colspan="3"></td><td rowspan="3">32</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語教育科目</td><td></td><td colspan="3">12</td></tr>
<tr><td colspan="2">自由選択科目</td><td></td><td colspan="3">16</td></tr>
<tr><th colspan="2">専門教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td rowspan="4">物理系科目</td><td>卒研科目</td><td>12</td><td colspan="3"></td><td rowspan="6">96</td></tr>
<tr><td>コア科目</td><td></td><td>14</td><td rowspan="3">24</td><td rowspan="4">24</td></tr>
<tr><td>実験科目</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td>選択科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">数学系科目</td><td></td><td colspan="2">14</td></tr>
<tr><td colspan="2">自由選択科目</td><td></td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

［先進エネルギーナノ工学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目	12			
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	20			96
基礎科目		20	18	
実験科目		4		
発展科目		14		
先端科目		10		
境界領域科目		10		
自由選択科目				

［化学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	28			96
基礎科目		24	20	
物理分析化学科目		10		
有機無機化学科目		14		
自由選択科目				

［環境・応用化学科］

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目	12			
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	44			96
数学・物理科目		10	8	
地学・生命・情報科目		4		
基礎科目		14		
発展科目		16		
自由選択科目				

[生命科学科]

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	42			96
基礎科目		16	12	
発展科目		14		
先端科目		8	4	
生命医化学科目				
自由選択科目				

[生命医化学科]

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目	12			
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	42			96
基礎科目		16	12	
発展科目		14		
先端科目		8	4	
生命科学科目				
自由選択科目				

[情報科学科]

総合教育科目	必　修	選択必修		合　計
キリスト教科目	4			32
英語教育科目		12		
自由選択科目		16		
専門教育科目	必　修	選択必修		合　計
必修科目（含む、卒研科目）	26			96
情報科学実習科目		4	2	16
人間システム工学実習・実験科目				
基礎科目		24		
発展科目		16	8	
人間システム工学系科目				
自由選択科目				

［人間システム工学科］

<table>
<tr><th>総合教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>キリスト教科目</td><td>4</td><td colspan="3"></td><td rowspan="3">32</td></tr>
<tr><td>英語教育科目</td><td></td><td colspan="3">12</td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td></td><td colspan="3">16</td></tr>
<tr><th>専門教育科目</th><th>必　修</th><th colspan="3">選択必修</th><th>合　計</th></tr>
<tr><td>必修科目（含む、卒研科目）</td><td>32</td><td colspan="3"></td><td rowspan="8">96</td></tr>
<tr><td>人間システム工学実習・実験科目</td><td></td><td>4</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="6">14</td></tr>
<tr><td>情報科学実習科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td></td><td colspan="2">24</td></tr>
<tr><td>発展科目</td><td></td><td>12</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>情報科学系科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>自由選択科目</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

4.1　総合教育科目

総合教育科目における卒業に必要な単位数は32単位で、第２学年度終了時までにはすべて修得しておくのが望ましい。

総合教育科目はキリスト教科目、英語教育科目、自由選択科目の３つに分類される。

（1）　キリスト教科目

本学はキリスト教主義に基づく人間教育を目指しており、次の科目をキリスト教科目とし、４単位をすべて修得しなければならない。

キリスト教学Ａ・Ｂ（各２単位）

（2）　英語教育科目

［先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科］

次の12科目計12単位が必修である。

英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、
英語コミュニケーションＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ（各１単位）

［数理科学科、物理学科、化学科、生命科学科、情報科学科、人間システム工学科］

次の16科目のうち、12単位を修得しなければならない。

英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、
英語コミュニケーションＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ（各１単位）

※ただし、入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂについては、英語プレスメントテスト（GTEC）のスコアに基づき履修する学生を指定する。入門英語を履修する学生は、『７．全学開講「入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ」の履修について』を必ず参照すること。

※入門英語ＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂへの履修を指定されなかった学生は、英語リーディングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語ライティングＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂ、英語コミュニケーションＩＡ・Ｂ、ⅡＡ・Ｂの計12単位を修得すること。

なお、英語能力の優秀な学生に対して、単位認定措置を行うことがある（「理工学部内規　Ⅱ 授業履修内規　５ 英語能力優秀者の特別履修について」を参照）。尚、単位認定措置を行った際の成績評価は100点とする。詳細は、英語担当教員またはⅥ号館１階事務室に確認すること。

また、帰国生徒入学試験および外国人留学生入学試験を受験して入学した者の必修科目については別に定める場合がある。

（3） 自由選択科目

次の①～④の科目を総合教育科目の自由選択科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

①理工学部で開講する次の15科目（各２単位）
哲学　論理学　西洋史　心理学　社会学　法学　日本国憲法　経済学
自然科学史　科学倫理　環境学　サイバー社会入門　近代日本とアジア
芸術と技術　地誌学

②他学部が開講する授業科目（学則参照）、スポーツ科学・健康科学科目（「スポーツ科学・健康科学科目ガイドブック」参照）、基盤・学際科目、グローバルスタディーズ科目、ライフデザイン科目、AI 活用人材育成科目
ただし、キャリアゼミＡ・Ｂ・Ｃ、霞が関セミナー、海外インターンシップは卒業単位に算入することができない。

③次にあげる教職に関する科目（各２単位）（P. 165参照）
教育原論　発達・学習過程論

④次にあげる外国語科目
・ドイツ語、フランス語
ドイツ語読解Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ、フランス語読解Ⅰ・Ⅱ、フランス語文法Ⅰ・Ⅱ（各１単位）。

・言語教育科目のうち、ドイツ語とフランス語のインテンシブ初級Ⅰ・Ⅱ以外の科目

なお、96単位を超えて修得した専門教育科目のうち４単位までを自由選択科目に算入することができる。

ただし、理工学部は次の科目を履修することはできない。
・他学部開講科目
数理の科学Ａ・Ｂ　自然現象の科学Ａ・Ｂ　物質の科学Ａ・Ｂ
生命の科学Ａ・Ｂ　数理科学の基礎　感性情報

・全学科目の情報科学科目
コンピュータ基礎　コンピュータ実践　コンピュータ言語
情報技術概論　文科系学生のための情報技術入門

・西宮市大学共通単位講座

総合政策学部との合併科目である「自然環境論」および「アーカイブ・デザイン」は、2021年度から合併解消（総合政策学部単独開講）となる。そのため、2021年度以降に単位を修得した場合、専門教育科目ではなく総合教育科目（総合選択科目）としてカウントされるので注意すること。

4.2 専門教育科目

専門教育科目における卒業に必要な単位数は96単位で、これらはすべて理工学部開講の専門教育科目でなければならない。各学科によって、必要とされる授業科目（必修科目・選択必修科目・自由選択科目）の内容や単位数が異なるので注意すること。（　）内は単位数。

数理科学科

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち56単位以上を修得しなければならない。

数学入門演習	（2）	微分積分Ⅰ	（4）	微分積分Ⅱ	（4）
線形代数Ⅰ	（4）	線形代数Ⅱ	（4）	基礎物理学A	（2）
基礎物理学B	（2）	基礎解析学Ⅰ	（4）	基礎解析学Ⅱ	（2）
関数論入門	（2）	集合と位相	（4）	確率統計入門	（2）
応用数理入門	（2）	代数入門	（2）	幾何入門	（2）
解析学Ⅰ	（4）	解析学Ⅱ	（4）	常微分方程式	（2）
偏微分方程式	（2）	複素解析	（2）	確率統計Ⅰ	（2）
確率統計Ⅱ	（2）	応用数理Ⅰ	（2）	幾何学Ⅰ	（4）
幾何学Ⅱ	（4）	代数学Ⅰ	（4）	代数学Ⅱ	（4）

②コンピュータ科目

次の専門教育科目をコンピュータ科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

コンピュータ演習A	（2）	数式処理演習Ⅰ	（2）
数式処理演習Ⅱ	（2）	統計コンピュータ演習	（2）
シミュレーション演習	（2）		

③数学コース科目・応用数理コース科目

次の専門教育科目を数学コース科目・応用数理コース科目といい、数学コース科目より14単位以上、または応用数理コース科目より14単位以上を修得しなければならない。

（数学コース科目）

解析学Ⅲ	（2）	解析学Ⅳ	（2）	幾何学Ⅲ	（2）
幾何学Ⅳ	（2）	代数学Ⅲ	（2）	代数学Ⅳ	（2）
応用数理Ⅱ	（2）	数学特別演習Ⅰ	（4）	数学特別演習Ⅱ	（4）

（応用数理コース科目）

解析学Ⅲ	（2）	解析学Ⅳ	（2）	応用数理Ⅱ	（2）
応用数理Ⅲ	（2）	確率統計Ⅲ	（2）	確率統計Ⅳ	（2）
代数学Ⅲ	（2）	応用数理特別演習Ⅰ	（4）	応用数理特別演習Ⅱ	（4）

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち22単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（2）	人間システム工学概論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	千刈集中英語実習	（2）	海外理工学プログラムA	（1）
海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）	※理工学特別プログラム001	（1）
※理工学特別プログラム002	（2）	※理工学特別プログラム004	（4）		

国内協定大学科目（１～８）[2018年度以降入学生のみ]　　※ベンチャー企業家講座　（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、数理科学科の基礎科目、コンピュータ科目、数学コース科目、応用数理コース科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、数学コース科目、応用数理コース科目は自由選択科目に算入できる。

物理学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

[選択必修科目]

〈物理系科目〉

次にあげる①コア科目、②実験科目、③選択科目を物理系科目といい、このうち46単位以上を修得しなければならない。

①コア科目

次の科目を物理系科目コア科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

力学Ⅰ	（２）	力学Ⅱ	（２）	電磁気学Ⅰ	（２）
電磁気学Ⅱ	（２）	量子力学Ⅰ	（２）	量子力学Ⅱ	（２）
量子力学Ⅲ	（２）	熱統計力学Ⅰ	（２）	熱統計力学Ⅱ	（２）

②実験科目

次の科目を物理系科目実験科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

基礎物理学実験Ⅰ	（２）	基礎物理学実験Ⅱ	（２）	基礎化学実験Ⅰ	（２）
物理学実験Ⅰ	（３）	物理学実験Ⅱ	（３）		

③選択科目

次の科目を物理系科目選択科目という。

デモンストレーション物理学Ⅰ	（２）			デモンストレーション物理学Ⅱ	（２）
物理学序論	（２）	サブゼミ	（２）	解析力学	（２）
熱力学	（２）	基礎物理学演習	（２）	電気力学	（２）
構造物性学	（２）	固体電子論	（２）	特殊相対論	（２）
連続体力学	（２）	生物物理学	（２）	物理学演習	（２）
物質構造論	（２）	宇宙物理学入門	（２）	宇宙物理学	（２）
赤外線天文学	（２）	Ｘ線天文学	（２）	電波天文学	（２）
研究学概論	（２）［2018年度以降入学生のみ］				
現代統計物理学	（２）	光物性物理学	（２）	高エネルギー物理学	（２）

〈数学系科目〉

次の科目を数学系科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（２）	微積分学Ⅱ	（２）	線形代数学Ⅰ	（２）
線形代数学Ⅱ	（２）	線形代数学Ⅲ	（２）	物理のための幾何入門	（２）
関数論入門	（２）	物理と確率	（２）	物理数学Ⅰ	（２）
物理数学Ⅱ	（２）				

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

化学概論	（2）	基礎化学C	（2）	生命科学Ⅰ	（2）
生命科学Ⅱ	（2）	生命科学入門実験	（2）	情報科学概論	（2）
人間システム工学概論	（2）	コンピュータ演習A	（2）	コンピュータ演習B	（2）
コンピュータアーキテクチャ	（2）［2018年度より追加］				
数値計算	（2）［2018年度より追加］				
研究学概論	（2）［2017年度以前入学生のみ］				
科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）	千刈集中英語実習	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）
基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）	地学実験A	（1）
※理工学特別プログラム001	（1）	※理工学特別プログラム002	（2）	※理工学特別プログラム004	（4）
国内協定大学科目	（1～8）［2018年度以降入学生のみ］			※ベンチャー企業家講座	（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、物理学科のコア科目、実験科目、物理系選択科目、数学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得したコア科目、実験科目、物理系選択科目、数学系科目は自由選択科目に算入できる。

先進エネルギーナノ工学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）・卒業実験及び演習（8単位）

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

先進エネルギーナノ工学入門	（2）	ものづくり理工学実験Ⅰ	（3）
ものづくり理工学実験Ⅱ	（3）		

の3科目8単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち20単位以上を修得しなければならない。

線形代数学Ⅰ	（2）	微積分学Ⅰ	（2）	力学Ⅰ	（2）
力学Ⅱ	（2）	物理数学Ⅰ	（2）	物理数学Ⅱ	（2）
物理数学Ⅲ	（2）	電磁気学Ⅰ	（2）	電磁気学Ⅱ	（2）
電磁気学演習Ⅰ	（2）	電磁気学演習Ⅱ	（2）	構造物性学	（2）
固体電子論	（2）				

②実験科目

次の専門教育科目を実験科目といい、このうち4単位以上を修得しなければならない。

基礎化学実験Ⅰ	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
基礎物理学実験Ⅱ	（2）		

③発展科目
次の専門教育科目を発展科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

ナノケミストリーⅠ	（2）	ナノケミストリーⅡ	（2）
ナノケミストリーⅢ	（2）	エネルギー材料熱力学	（2）
エネルギー材料熱力学演習	（2）	ナノ物性量子力学Ⅰ	（2）
ナノ物性量子力学Ⅱ	（2）	ナノ物性量子力学演習Ⅰ	（2）
ナノ物性量子力学演習Ⅱ	（2）	統計熱力学	（2）

④先端科目
次の専門教育科目を先端科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

物質設計ナノ工学	（2）	プロセス設計ナノ工学	（2）
エネルギー変換と電気化学	（2）	エネルギー半導体工学	（2）
エネルギー電気・電子回路工学	（2）	極限環境プロセッシング	（2）
先進エネルギーナノ工学詳論	（2）	ナノスケール分析科学	（2）

⑤境界領域科目
次の専門教育科目を境界領域科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

基礎化学A	（2）	基礎化学B	（2）	基礎化学C	（2）
線形代数学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅲ	（2）	微積分学Ⅱ	（2）
物理学序論	（2）	デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）		
デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）				

[自由選択科目]
次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち18単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）	生命科学入門実験	（2）
基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）	地学実験A	（1）
コンピュータ演習A	（2）	コンピュータ演習B	（2）	量子力学Ⅲ	（2）
科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）	千刈集中英語実習	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）
環境政策論	（2）	環境経済学	（2）	※理工学特別プログラム001	（1）
※理工学特別プログラム002	（2）	※理工学特別プログラム004	（4）		
国内協定大学科目	（1～8）[2018年度以降入学生のみ]			※ベンチャー企業家講座	（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目
理工学部開講の専門教育科目のうち、先進エネルギーナノ工学科の基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目、境界領域科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目、境界領域科目は自由選択科目に算入できる。

化学科

[必修科目]
①卒業研究科目
外国書講読（2単位）・輪講（2単位）・卒業実験及び演習（8単位）

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

基礎化学実験Ⅰ	（2）	基礎化学実験Ⅱ	（2）	無機分析化学実験	（4）
物理化学実験	（4）	有機化学実験	（4）		

の５科目16単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

基礎化学A	（2）	基礎化学B	（2）	基礎化学C	（2）
基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）	基礎物理学C	（2）
基礎物理学D	（2）	微積分学Ⅰ	（2）	微積分学Ⅱ	（2）
線形代数学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅲ	（2）
コンピュータ演習A	（2）	生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
情報科学概論	（2）	化学数学	（2）	生命科学入門実験	（2）
基礎物理学実験Ⅰ	（2）				

②物理分析化学科目

次の専門教育科目を物理分析化学科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

分析化学Ⅰ	（2）	分析化学Ⅱ	（2）	物理化学Ⅰ	（2）
物理化学Ⅱ	（2）	物理化学Ⅲ	（2）	物理化学Ⅳ	（2）
物理化学Ⅴ	（2）	物理化学Ⅵ	（2）		

③有機無機化学科目

次の専門教育科目を有機無機化学科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

無機化学Ⅰ	（2）	無機化学Ⅱ	（2）	無機化学Ⅲ	（2）
無機化学Ⅳ	（2）	有機化学Ⅰ	（2）	有機化学Ⅱ	（2）
有機化学Ⅲ	（2）	有機化学Ⅳ	（2）	有機化学Ⅴ	（2）
有機化学Ⅵ	（2）	有機化学Ⅶ	（2）		

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち20単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）	化学演習Ⅰ	（2）
化学演習Ⅱ	（2）	化学演習Ⅲ	（2）	化学演習Ⅳ	（2）
高分子化学	（2）	量子化学	（2）	環境分析化学	（2）
地学実験A	（1）	科学技術英語A	（2）	科学技術英語B	（2）
千刈集中英語実習	（2）	海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	※理工学特別プログラム001	（1）	※理工学特別プログラム002	（2）
※理工学特別プログラム004	（4）	国内協定大学科目	（1～8）[2018年度以降入学生のみ]		
※ベンチャー企業家講座	（2）				

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、化学科の基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目は自由選択科目に算入できる。

環境・応用化学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目

基礎化学Ａ	（２）	基礎化学Ｂ	（２）	基礎化学Ｃ	（２）
環境化学	（２）	基礎化学実験Ⅰ	（２）	基礎化学実験Ⅱ	（２）
基礎物理学実験Ⅰ	（２）	環境・応用化学実験Ⅰ	（９）	環境・応用化学実験Ⅱ	（９）

の９科目32単位が必修である。

[選択必修科目]

①数学・物理科目

次の専門教育科目を数学・物理科目といい、このうち10単位以上を修得しなければならない。

線形代数学Ⅰ	（２）	線形代数学Ⅱ	（２）	線形代数学Ⅲ	（２）
微積分学Ⅰ	（２）	微積分学Ⅱ	（２）	基礎物理学Ａ	（２）
基礎物理学Ｂ	（２）	基礎物理学Ｃ	（２）	基礎物理学Ｄ	（２）

②地学・生命・情報科目

次の専門教育科目を地学・生命・情報科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

生命科学Ⅰ	（２）	生命科学Ⅱ	（２）	生命科学入門実験	（２）
コンピュータ演習Ａ	（２）	基礎地学Ⅰ	（２）	基礎地学Ⅱ	（２）

③基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

無機化学	（２）	量子化学	（２）	化学熱力学	（２）
有機反応論	（２）	有機構造論	（２）	反応速度論	（２）
高分子化学	（２）	地球環境化学	（２）	分析化学	（２）

④発展科目

次の専門教育科目を発展科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

発展物理化学	（２）	発展有機化学	（２）	錯体化学	（２）
応用物理化学	（２）	分光学	（２）	合成有機化学	（２）
応用有機化学	（２）	応用物性化学	（２）	応用地球化学	（２）
応用量子化学	（２）	環境分析化学	（２）	地球物質科学	（２）
有機工業化学	（２）	環境有機材料化学	（２）		

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

自然環境論	（２）	環境倫理	（２）	地球環境科学実験	（２）
科学技術英語Ａ	（２）	科学技術英語Ｂ	（２）	千刈集中英語実習	（２）
海外理工学プログラムＡ	（１）	海外理工学プログラムＢ	（２）	海外理工学プログラムＣ	（３）
※理工学特別プログラム001	（１）	※理工学特別プログラム002	（２）	※理工学特別プログラム004	（４）
国内協定大学科目	（１～８）[2018年度以降入学生のみ]			※ベンチャー企業家講座	（２）

※「Ⅵ 履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目
理工学部開講の専門教育科目のうち、環境・応用化学科の数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目は自由選択科目に算入できる。

生命科学科

[必修科目]

①卒業研究科目
外国書講読（２単位）・輪講（２単位）・卒業実験及び演習（８単位）

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目

生命科学Ⅰ	（２）	生命科学Ⅱ	（２）	生命有機化学	（２）
生命科学入門実験	（２）	細胞・組織学実験	（３）	生命分子・生化学実験	（３）
先端生命科学実験Ⅰ	（８）	先端生命科学実験Ⅱ	（８）		

の８科目30単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目
次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

生命科学倫理	（２）	化学概論	（２）	微積分学Ⅰ	（２）
基礎物理学Ａ	（２）	基礎物理学Ｂ	（２）	基礎化学Ａ	（２）
基礎化学Ｂ	（２）	基礎化学Ｃ	（２）	基礎化学実験Ⅰ	（２）
コンピュータ演習Ａ	（２）	線形代数学Ⅰ	（２）	系統分類学	（２）
サブゼミ	（２）	臨海実験	（２）	プログラミング演習	（２）

②発展科目
次の専門教育科目を発展科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

生命工学	（２）	生化学	（２）	薬理学	（２）
分子遺伝学	（２）	発生生物学	（２）	生命代謝化学	（２）
微生物学	（２）	組織学	（２）	細胞学	（２）
生物分析化学	（２）	生物統計学	（２）	数理生物学	（２）
データ科学演習	（２）	バイオインフォマティクス	（２）		

③先端科目
次の専門教育科目を先端科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

植物分子生物学	（２）	分子細胞生物学	（２）	器官形成学	（２）
植物分子生理学	（２）	遺伝子工学	（２）	染色体機能学	（２）
生態システム学	（２）	化学生態学	（２）	生物工学	（２）

④生命医化学科目
イ）次の専門教育科目を生命医化学科目という。

再生医学	（２）	発癌分子機構学	（２）	環境医化学	（２）
免疫学	（２）	脳神経科学	（２）	医学統計学	（２）
エピゲノム医化学	（２）	病態生理学	（２）		

ロ）先端科目及び生命医化学科目あわせて12単位以上を修得しなければならない。

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（2）	人間システム工学概論	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
基礎地学Ⅰ	（2）	基礎地学Ⅱ	（2）	千刈集中英語実習	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）	海外理工学プログラムC	（3）
地学実験A	（1）	自然環境論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	先進エネルギーナノ工学詳論	（2）	※理工学特別プログラム001	（1）
※理工学特別プログラム002	（2）	※理工学特別プログラム004	（4）		

国内協定大学科目　（1～8）[2018年度以降入学生のみ]　　※ベンチャー企業家講座　（2）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、生命科学科の基礎科目、発展科目、先端科目、生命医化学科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命医化学科目は自由選択科目に算入できる。

生命医化学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）・卒業実験及び演習（8単位）

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）	生命有機化学	（2）
生命科学入門実験	（2）	基礎医化学実験Ⅰ	（3）	基礎医化学実験Ⅱ	（3）
先端医化学実験Ⅰ	（8）	先端医化学実験Ⅱ	（8）		

の8科目30単位が必修である。

[選択必修科目]

①基礎科目

次の専門教育科目を基礎科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

生命科学倫理	（2）	化学概論	（2）	微積分学Ⅰ	（2）
基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）	基礎化学A	（2）
基礎化学B	（2）	基礎化学C	（2）	基礎化学実験Ⅰ	（2）
コンピュータ演習A	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）	基礎医化学入門	（2）
プログラミング演習	（2）	系統分類学	（2）		

②発展科目

次の専門教育科目を発展科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

生命工学	（2）	生化学	（2）	薬理学	（2）
分子遺伝学	（2）	発生生物学	（2）	生命代謝化学	（2）
微生物学	（2）	組織学	（2）	細胞学	（2）
生物統計学	（2）	数理生物学	（2）	データ科学演習	（2）
バイオインフォマティクス	（2）				

③先端科目
次の専門教育科目を先端科目といい、このうち８単位以上を修得しなければならない。

再生医学	（２）	発癌分子機構学	（２）	環境医化学	（２）
免疫学	（２）	脳神経科学	（２）	医学統計学	（２）
エピゲノム医化学	（２）	病態生理学	（２）		

④生命科学科目
イ）次の専門教育科目を生命科学科目という。

植物分子生物学	（２）	分子細胞生物学	（２）	器官形成学	（２）
植物分子生理学	（２）	遺伝子工学	（２）	染色体機能学	（２）
生態システム学	（２）				

ロ）先端科目及び生命科学科目あわせて12単位以上を修得しなければならない。

[自由選択科目]
次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

情報科学概論	（２）	人間システム工学概論	（２）	臨海実験	（２）
基礎物理学実験Ⅰ	（２）	基礎地学Ⅰ	（２）	基礎地学Ⅱ	（２）
千刈集中英語実習	（２）	地学実験Ａ	（１）	自然環境論	（２）
科学技術英語Ａ	（２）	科学技術英語Ｂ	（２）	海外理工学プログラムＡ	（１）
海外理工学プログラムＢ	（２）	海外理工学プログラムＣ	（３）	先進エネルギーナノ工学詳論	（２）
※理工学特別プログラム001	（１）	※理工学特別プログラム002	（２）	※理工学特別プログラム004	（４）
国内協定大学科目	（１～８）[2018年度以降入学生のみ]			※ベンチャー企業家講座	（２）

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料２】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目
理工学部開講の専門教育科目のうち、生命医化学科の基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目は自由選択科目に算入できる。

情報科学科

[必修科目]
①卒業研究科目
外国書講読（２単位）・輪講（２単位）
卒業実験及び演習（情報システムコース/ネットワークシステムコース）（８単位）
＊ただし（　）内のコースの別については、配属された研究室によって決定される。

の３科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第４学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 ３．先修条件」を参照すること。

②必修科目
次の専門教育科目を必修科目といい、14単位を修得しなければならない。
ただし、□内の科目については、それぞれいずれか一方の科目を履修すること。

情報科学概論	（２）	キャリアデザイン論	（２）	コンピュータ演習Ａ	（２）
プログラミング実習Ⅰ	（２）	プログラミング実習Ⅱ	（２）	プログラミング実習Ⅲ	（２）
情報システム領域実習Ａ	（１）	ネットワークシステム領域実習Ａ	（１）		
情報システム領域実習Ｂ	（１）	ネットワークシステム領域実習Ｂ	（１）		

［選択必修科目］

①情報科学実習科目

次の科目を情報科学実習科目といい、このうち４単位以上を修得しなければならない。

数理計画法実習	（１）	知識情報処理実習	（１）
情報理論実習	（１）	ディジタル信号処理実習	（１）
数式処理実習	（１）	グラフ・ネットワーク実習	（１）
データ構造とアルゴリズム実習	（１）	コンパイラ実習	（１）
ネットワーク実習	（１）	データマイニング実習	（１）
ネットワークコンピューティング実習	（１）		

②人間システム工学実習・実験科目

次の科目を人間システム工学実習・実験科目という。情報科学実習科目と人間システム工学実習・実験科目を合わせて６単位以上を修得しなければならない。

音声情報処理実習	（１）	音楽情報処理実習	（１）
認知情報処理実験	（１）	ユビキタスコンピューティング実験	（１）
画像情報処理実習	（１）	デザイン・コンテンツテクノロジー実習	（１）
エルゴノミクスコンピューティング実習	（１）	感性情報処理実習	（１）
コンピュータグラフィックス実習	（１）	CAD/CAM/CAE 実習	（１）
ロボット工学実験	（１）		
ヒューマンコンピュータインタラクション実験	（１）		

③基礎科目

次の科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（２）	線形代数学Ⅰ	（２）
微積分学Ⅱ	（２）	線形代数学Ⅱ	（２）
論理回路	（２）	離散数理	（２）
コンピュータアーキテクチャ	（２）	情報科学のための確率・統計	（２）
情報科学のための数学演習	（２）	情報理論	（２）
ネットワーク	（２）	データ構造とアルゴリズム	（２）
データベース	（２）	形式言語とオートマトン	（２）
※情報処理技術演習	（２）	グラフ・ネットワーク理論	（２）

※2009年度以降実施の情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」の合格者には、「情報処理技術演習」の２単位を認定する。

④発展科目

次の科目を発展科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

基礎物理学Ａ	（２）	基礎物理学Ｂ	（２）
数理論理学	（２）	ディジタル信号処理	（２）
計算論	（２）	符号理論	（２）
オペレーティングシステム	（２）	コンパイラ	（２）
最適化理論	（２）	知識情報処理	（２）
ディジタル通信	（２）	モデリング物理学	（２）
計算幾何学	（２）	数値計算	（２）
ソフトウェア工学	（２）	データマイニング	（２）
ネットワークコンピューティング	（２）	暗号と情報セキュリティ	（２）
ネットワーク設計論	（２）		

⑤人間システム工学系科目

次の科目を人間システム工学系科目という。発展科目と人間システム工学系科目を合わせて24単位以上を修得しなければならない。

人間システム工学概論	（2）	ロボット工学序論	（2）
エルゴノミクスコンピューティング	（2）	制御工学	（2）
メディア信号処理	（2）	メディア・ロボット実験	（2）
デザイン論	（2）	メカトロニクス	（2）
ヒューマンコンピュータインタラクション	（2）	メディア工学基礎	（2）
音楽情報処理	（2）	音声情報処理	（2）
画像情報処理	（2）	認知情報処理	（2）
感性情報処理	（2）	コンテンツテクノロジー	（2）
コンピュータグラフィックス	（2）	バーチャルリアリティ	（2）

[自由選択科目]

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち16単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
情報化社会と人間	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
メディア社会論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	千刈集中英語実習	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	確率統計Ⅰ	（2）
デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）	デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）
アーカイブ・デザイン	（2）	知的財産戦略論	（2）
サイバースペースの法と倫理	（2）	コンピュータ・アート	（2）
※理工学特別プログラム001	（1）	※理工学特別プログラム002	（2）
※理工学特別プログラム004	（4）	国内協定大学科目（1～8）[2018年度以降入学生のみ]	
※ベンチャー企業家講座	（2）		

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、情報科学科の情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目は自由選択科目に算入できる。

人間システム工学科

[必修科目]

①卒業研究科目

外国書講読（2単位）・輪講（2単位）

卒業実験及び演習（映像音響システムコース/サイバーロボティクスコース）（8単位）

＊ただし（　）内のコースの別については、配属された研究室によって決定される。

の3科目12単位をまとめて「卒研科目（卒業研究科目）」と通称し、一定の進級条件を満たした者は第4学年度に履修可能。「一定の進級条件」は、休学期間を除いて3年以上の在籍期間を有し、上記「卒研科目」の12単位を除いた卒業に必要な単位をすべて修得していることである。仮進級については、PP.167～168「Ⅲ 履修とその順序 3．先修条件」を参照すること。

②必修科目

次の科目を必修科目といい、20単位すべてを修得しなければならない。

ただし、□内の科目についてはそれぞれ、いずれか一方を履修すること。

キャリアデザイン論	（2）	コンピュータ演習A	（2）
人間システム工学概論	（2）	人間システム工学のための数学演習Ⅰ	（2）
人間システム工学のための数学演習Ⅱ	（2）	プログラミング実習Ⅰ	（2）
プログラミング実習Ⅱ	（2）	メディア工学基礎	（2）
メディア・ロボット実験	（2）		
映像音響システム領域実習A	（1）	サイバーロボティクス領域実習A	（1）
映像音響システム領域実習B	（1）	サイバーロボティクス領域実習B	（1）

［選択必修科目］

①人間システム工学実習・実験科目

次の科目を人間システム工学実習・実験科目といい、このうち4単位以上を修得しなければならない。

音声情報処理実習	（1）	音楽情報処理実習	（1）
認知情報処理実験	（1）	ユビキタスコンピューティング実験	（1）
画像情報処理実習	（1）	デザイン・コンテンツテクノロジー実習	（1）
エルゴノミクスコンピューティング実習	（1）	感性情報処理実習	（1）
コンピュータグラフィックス実習	（1）	CAD/CAM/CAE 実習	（1）
ロボット工学実験	（1）		
ヒューマンコンピュータインタラクション実験	（1）		

②情報科学実習科目

次の科目を情報科学実習科目という。人間システム工学実習・実験科目と情報科学実習科目を合わせて6単位以上を修得しなければならない。

数理計画法実習	（1）	知識情報処理実習	（1）
情報理論実習	（1）	ディジタル信号処理実習	（1）
数式処理実習	（1）	グラフ・ネットワーク実習	（1）
データ構造とアルゴリズム実習	（1）	コンパイラ実習	（1）
ネットワーク実習	（1）	データマイニング実習	（1）
ネットワークコンピューティング実習	（1）		

③基礎科目

次の科目を基礎科目といい、このうち24単位以上を修得しなければならない。

微積分学Ⅰ	（2）	線形代数学Ⅰ	（2）
微積分学Ⅱ	（2）	線形代数学Ⅱ	（2）
論理回路	（2）	離散数理	（2）
コンピュータアーキテクチャ	（2）	ロボット工学序論	（2）
情報科学のための確率・統計	（2）	エルゴノミクスコンピューティング	（2）
制御工学	（2）	メディア信号処理	（2）
情報理論	（2）	データ構造とアルゴリズム	（2）
ヒューマンコンピュータインタラクション	（2）	プログラミング実習Ⅲ	（2）
※情報処理技術演習	（2）		

※2009年度以降実施の情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」の合格者には、「情報処理技術演習」の2単位を認定する。

④発展科目

次の科目を発展科目といい、このうち12単位以上を修得しなければならない。

メカトロニクス	（2）	デザイン論	（2）
データベース	（2）	ネットワーク	（2）
音楽情報処理	（2）	音声情報処理	（2）
画像情報処理	（2）	認知情報処理	（2）
感性情報処理	（2）	コンテンツテクノロジー	（2）
コンピュータグラフィックス	（2）	バーチャルリアリティ	（2）

⑤情報科学系科目

次の科目を情報科学系科目という。発展科目と情報科学系科目を合わせて20単位以上を修得しなければならない。

情報科学概論	（2）	数理論理学	（2）
ディジタル信号処理	（2）	グラフ・ネットワーク理論	（2）
形式言語とオートマトン	（2）	計算論	（2）
符号理論	（2）	オペレーティングシステム	（2）
コンパイラ	（2）	最適化理論	（2）
知識情報処理	（2）	ディジタル通信	（2）
モデリング物理学	（2）	計算幾何学	（2）
数値計算	（2）	ソフトウェア工学	（2）
データマイニング	（2）	ネットワークコンピューティング	（2）
暗号と情報セキュリティ	（2）	ネットワーク設計論	（2）

［自由選択科目］

次の①、②、③を専門教育科目の自由選択科目といい、このうち14単位以上を修得しなければならない。

①次にあげる科目

基礎物理学A	（2）	基礎物理学B	（2）
生命科学Ⅰ	（2）	生命科学Ⅱ	（2）
情報化社会と人間	（2）	基礎物理学実験Ⅰ	（2）
メディア社会論	（2）	科学技術英語A	（2）
科学技術英語B	（2）	千刈集中英語実習	（2）
海外理工学プログラムA	（1）	海外理工学プログラムB	（2）
海外理工学プログラムC	（3）	確率統計Ⅰ	（2）
デモンストレーション物理学Ⅰ	（2）	デモンストレーション物理学Ⅱ	（2）
アーカイブ・デザイン	（2）	知的財産戦略論	（2）
サイバースペースの法と倫理	（2）	コンピュータ・アート	（2）
※理工学特別プログラム001	（1）	※理工学特別プログラム002	（2）
※理工学特別プログラム004	（4）	国内協定大学科目（1～8）［2018年度以降入学生のみ］	
※ベンチャー企業家講座	（2）		

※「Ⅵ　履修登録参考資料【資料2】理工学部学則別表」には掲載されていないが、自由選択科目に算入する。

②他学科科目

理工学部開講の専門教育科目のうち、人間システム工学科の人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目以外のもの。

③卒業に必要な単位数を超えて修得した人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目は自由選択科目に算入できる。

5．資格取得科目

専門教育科目のうち、教育職員の免許状（教職免許状）をはじめ、博物館学芸員、学校図書館司書教諭などの資格の取得のために開講されている授業科目。

原則として、卒業に必要な単位数に算入できない。

5.1　教職課程（「教職課程等履修要項」参照）

（1）　理工学部で取得できる教育職員免許状の教科（種類）は次のとおりである。

数理科学科	数学（中学１種、高校１種）
物理学科	理科（中学１種、高校１種）・数学（中学１種、高校１種）
先進エネルギーナノ工学科	理科（中学１種、高校１種）
化学科	理科（中学１種、高校１種）
環境・応用化学科	理科（中学１種、高校１種）
生命科学科	理科（中学１種、高校１種）
生命医化学科	理科（中学１種、高校１種）
情報科学科	情報（高校１種）・数学（中学１種、高校１種）
人間システム工学科	情報（高校１種）・数学（中学１種、高校１種）

また、大学院へ進学すれば中学専修免許状や高校専修免許状も取得可能である。

なお、取得できる教科は同じであっても、学科及び専攻によって、修得すべき科目が異なるので注意すること。自学科で取得できない教科の免許状を取得することも可能である。その場合、特に改めて手続きを行う必要はないので、各自にて計画的な履修を行い、必要な単位を修得すること。ただし、時間割配置の上での配慮はなく、入念な履修計画を必要とする。

また、他学部履修することで上記以外の教科の教職免許を取得することができる。ただし、所定の手続きを行うことが必要である。（P.195参照）

いずれの場合も、教職を志望する場合は、早い時期から計画を立て必要な単位を修得すること。教職課程履修要項を参照したり、教職教育研究センター（アカデミックコモンズ２Ｆ事務室）またはⅥ号館１階事務室でよく指導を受けること。

（2）　教職に関する科目（教職専門科目）は次のとおりである。

教職概論、教育原論、発達・学習過程論、学校教育論、教育課程論、理科教育法Ａ、理科教育法Ｂ、理科教育法Ｃ、理科教育法Ｄ、数学科教育法Ａ、数学科教育法Ｂ、数学科教育法Ｃ、数学科教育法Ｄ、情報科教育法Ａ、情報科教育法Ｂ、道徳教育論、特別活動論、教育方法基礎論、生徒指導論、教育相談基礎論、教職実践実習（中・高）、教育実習Ａ、教育実習Ｂ、人権教育論、環境教育論

これらの科目のうち、教育原論、発達・学習過程論は、総合教育科目の自由選択科目として、卒業に必要な単位数に算入できる。

（3）　体育は、教職課程上の必修科目である。「体育方法学講義Ｃ」２単位および「体育方法学演習Ｃ」２単位を履修すること。

（4）　これら教職に関する科目やスポーツ科学・健康科学科目については、授業が実施されるキャンパスに注意すること。

5.2　学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格の取得

標記資格の取得についても入学時に配付される『教職課程等履修要項』を参照するとともに教職教育研究センター学生相談室でよく指導を受けること。理工学部生の場合、これらの資格を取得するためには計画的な履修が必要である。

6．外国大学科目、単位互換科目、国内協定大学科目

他の大学等の機関で科目を履修し修得した単位を、本大学において修得したものと認められる科目がある。

（1） 本大学と学生交換に関する協定のある外国の大学に交換留学生として許可された者が、留学した大学で修得した単位。

（2） 本人の申請により、協定大学と同等と認定し認定留学生として許可された者が、留学した大学で修得した単位。

（3） 単位互換に関する協定のある他の大学で修得した単位。

（4） 国内の協定大学において修得した単位。

〈成績評価〉

上智大学：A＝95、B＝85、C＝75、D＝65、F＝認定しない、P＝認定

7．全学開講「入門英語ＩＡ・B、ⅡＡ・B」の履修について

本学では、2017年度より、全学開講科目として「入門英語ＩＡ・B、ⅡＡ・B」（以降、入門英語科目と呼ぶ）を開講する。入門英語科目は、英語の不得意な学生を対象とした科目である。

入学前に受験する英語プレスメントテスト（GTEC）の結果を勘案し、本科目を履修する学生を指定する。対象は、数理科学科、物理学科、化学科、生命科学科、情報科学科、人間システム工学科の2017年度以降入学生である。

入門英語科目のクラスを履修することを指定された学生は、総合教育科目英語教育科目のうち、英語リーディングＩＡ・B、ⅡＡ・B、英語ライティングＩＡ・B、ⅡＡ・B（合計８単位）ではなく、入門英語ＩＡ・B、ⅡＡ・B（１単位の科目を２単位ずつ修得し、合計８単位）を履修しなければならない。以下に履修モデルを示す。

【履修モデル】

学　年	第１学年	
春学期	入門英語ＩＡ　１単位、入門英語ＩＢ　１単位	英語コミュニケーションＩＡ　１単位
秋学期	入門英語ＩＡ　１単位、入門英語ＩＢ　１単位	英語コミュニケーションＩＢ　１単位

学　年	第２学年	
春学期	入門英語ⅡＡ　１単位、入門英語ⅡＢ　１単位	英語コミュニケーションⅡＡ　１単位
秋学期	入門英語ⅡＡ　１単位、入門英語ⅡＢ　１単位	英語コミュニケーションⅡＢ　１単位

（合計12単位を修得）

※入門英語ＩＡ・B、ⅡＡ・Bは、同一名称科目であるが、２回まで修得できる。
入門英語ＩＡ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ＩＢ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ⅡＡ（１単位）を２回（合計２単位分）、入門英語ⅡＢ（１単位）を２回（合計２単位分）修得すること。

※入門英語ⅡＡ・Bには先修条件がある。「Ⅲ 履修とその順序　3．先修条件」を参照のこと。

※入門英語の科目を不合格になった場合、カリキュラム上、神戸三田キャンパスで再履修できない可能性がある。本人より申請があれば、英語リーディングＩＡ・B、ⅡＡ・B、英語ライティングＩＡ・B、ⅡＡ・Bに変更することも可能である。詳細について、別途掲示する。

その他、不明な点がある場合は、自分で判断せず、必ず英語担当教員またはⅥ号館１階事務室に相談すること。

Ⅲ　履修とその順序

1．履修基準年度

履修基準年度とは、その授業科目を履修できる最低学年度を表わすものである。従って、履修基準年度が自分の学年より高学年の科目を履修することは原則できない。また科目によっては先修条件（下記参照）を必要とするものもあるので注意すること。

2．履修の計画

「履修・学習要覧」や「シラバス」等で各授業科目の概要を把握し、科目間の関係を充分理解した上で無理のない学習計画を立てることが大切である。

3．先修条件

あらかじめ条件付けられた科目の単位を取得していなければ、その科目を履修することはできないという規則を先修条件といい、理工学部では次の授業科目に先修条件を設定している。

授業科目名	左の科目を履修するために要求される先修科目又は条件
科学技術英語Ａ、Ｂ 千刈集中英語実習	卒業に必要な英語科目12単位
ドイツ語文法Ⅱ	ドイツ語文法Ⅰ
ドイツ語読解Ⅱ	ドイツ語読解Ⅰ
フランス語文法Ⅱ	フランス語文法Ⅰ
フランス語読解Ⅱ	フランス語読解Ⅰ
入門英語ⅡＡ	入門英語ⅠＡ（１単位）を２単位分修得していること
入門英語ⅡＢ	入門英語ⅠＢ（１単位）を２単位分修得していること
地学実験Ａ	基礎地学Ⅰ、基礎物理学実験Ⅰ、基礎化学実験Ⅰ、生命科学入門実験の４科目８単位
物理学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上
ものづくり理工学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎化学実験Ⅰのうち２科目以上
無機分析化学実験 有機化学実験 物理化学実験	基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上
環境・応用化学実験Ⅰ、Ⅱ	基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上
先端生命科学実験Ⅰ	細胞・組織学実験、生命分子・生化学実験のうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数（合計128単位）のうち、62単位以上修得済みであること
先端医化学実験Ⅰ	基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数（合計128単位）のうち、62単位以上修得済みであること
先端生命科学実験Ⅱ	先端生命科学実験Ⅰ
先端医化学実験Ⅱ	先端医化学実験Ⅰ
情報科学実習科目	プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａ
人間システム工学実習・実験科目	プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａ
情報システム領域実習Ａ、Ｂ ネットワークシステム領域実習Ａ、Ｂ	プログラミング実習Ⅰを含む専門必修科目８単位以上、かつ基礎科目20単位以上
映像音響システム領域実習Ａ、Ｂ サイバーロボティクス領域実習Ａ、Ｂ	プログラミング実習Ⅰ、及びコンピュータ演習Ａの２科目４単位を含む専門必修科目14単位以上、かつ基礎科目20単位以上
数学特別演習Ⅰ 応用数理特別演習Ⅰ	基礎科目50単位以上（ただし、早期卒業見込者が第３学年において履修する場合は、基礎科目40単位以上）
数学特別演習Ⅱ	数学特別演習Ⅰ
応用数理特別演習Ⅱ	応用数理特別演習Ⅰ

授業科目名	左の科目を履修するために要求される先修科目又は条件
「卒研科目」 卒業実験及び演習 輪講 外国書講読	休学期間を除いて３年以上の在籍期間を有していること。 「卒研科目」の12単位以外の卒業に必要なすべての単位を修得していること。なお、不足単位が下記範囲内の場合（学科により異なるので注意）は、仮進級が認められる。 〈物理学科〉 実験科目以外の授業科目合計10単位以内（英語必修４単位以内） 〈先進エネルギーナノ工学科〉 実験科目以外の授業科目合計10単位以内（英語必修４単位以内） （なお、上記「実験科目」のうちに、ものづくり理工学実験ⅠおよびⅡを含まない。） 〈化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈環境・応用化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈生命科学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈生命医化学科〉 実験科目以外の授業科目合計６単位以内（英語必修４単位以内） 〈情報科学科〉 領域実習Ａ、Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（英語必修科目４単位以内、情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目の合計２単位以内） 〈人間システム工学科〉 領域実習Ａ、Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（英語必修科目４単位以内、人間システム工学実習・実験科目及び情報科学実習科目の合計２単位以内）

「卒研科目」は、他の授業科目とは異なり、いずれかの研究室に配属されて、より専門的な実験や演習を行うもので、各研究室では、それぞれに必要な基礎知識が要求される。規則で定められた進級条件を満たすだけでは不十分な場合が多い。従って、早い時期から各研究室の研究内容について、「履修・学習要覧」や、毎年編纂される「卒研選択のための研究室紹介」等を参照したり、研究室を訪問するなどして情報を収集し、履修する際にも計画性を持って行うことが大切である。

また、全学開講科目および他学部開講科目の一部の科目にも先修条件が設定されているので、「履修・学習要覧」や「シラバス」などにて確認すること。

４．先修条件に関する注意事項

・春学期開講科目及び通年開講科目の先修条件判定に、直近の秋学期集中講義科目の単位は、原則算入しない。同様に、秋学期開講科目の先修条件判定に、直近の春学期集中講義科目の単位は、原則算入しない。
・先修条件の一覧には記載がないものの、履修や単位修得にあたり条件を課される場合がある。そのため、授業内での説明、掲示、シラバス等、各自責任を持って確認をすること。

Ⅳ　履修登録

1．履修登録の方法

履修登録は指定の期間に Web 上で行うこと。

履修が確定した後の登録科目は変更が一切認められない。履修登録に関して日程等に変更があった場合には、すべて教学 Web を通じて連絡するので、毎日確認すること。

授業開始までの申し込み〈予備登録科目・事前申込みを要する科目（一部の再履修科目含む）〉

授業科目によっては、授業開始前の準備や収容人数の制限等の事情によって、授業開始前に申し込み手続を完了しておかなければ履修できないものがある。以下の記載事項をよく読んで誤りのないよう手続き（予備登録）を行なうとともに、予備登録した科目は必ず履修すること。

事前申し込みで履修を許可された場合にも、Web による正式な履修登録を行う必要がある。Web による履修登録の際は必ず許可された科目を入力すること。一部の科目は、Web 上ではあらかじめ科目が表示されているが、その内容に間違いがないかどうか各自の責任で確認すること。

〈春学期履修登録〉

履修登録該当授業科目

①予備登録で許可された授業科目および事前申込科目（一部の再履修科目含む）

②春学期開講の授業科目

③通年開講および通年開講扱いの授業科目（集中講義・卒研科目など）

通年科目および通年扱い科目を履修する場合、該当する曜日・時限の秋学期の時間割もよく確かめておくこと。履修した通年科目を秋学期に他の科目に変更することはできない。

履修登録スケジュール
履修登録　**4月9日(金) 9:00～4月13日(火) 16:50** ※期間中は追加・削除が可能。
修正手続　**4月16日(金) 9:00～4月17日(土) 16:50** ※期間中は追加・削除が可能。
(最終) 履修登録確認 (Web)　**4月23日(金) 8:50～** 各自 Web 上で最終の登録内容を必ず確認すること。
履修の中止　**5月25日(火) 9:00～5月31日(月) 16:50** ※履修中止できない科目については、教学 Web サービスの画面から確認すること。

〈秋学期履修登録〉

履修登録該当授業科目
①予備登録で許可された授業科目および事前申込科目（一部の再履修科目含む）
②秋学期開講の授業科目

履修登録スケジュール
履修登録　**9月21日(火) 9:00～9月23日(木) 16:50** ※期間中は追加･削除が可能。
修正手続　**9月27日(月) 9:00～9月28日(火) 16:50** ※期間中は追加･削除が可能。
(最終) 履修登録確認　**10月2日(土) 8:50～** 各自 Web 上で最終の登録内容を必ず確認すること。
履修の中止　**11月15日(月) 9:00～11月19日(金) 16:50** ※履修中止できない科目については、教学 Web サービスの画面から確認すること。

2．履修登録の科目数・単位数

単位数制限とは、1学期間に履修できる単位数の上限であり、無理のない学習の指針を与えるものである。この制限内で、各自の学習計画に基づいた履修登録を行うこと。

なお、理工学部開講科目では、従来から定期試験欠席者に対しても平常試験や授業中の学習状況を加味することによって、0点を含めた成績評価を行っている。登録した科目にはすべて評価がつくのでよく考えて履修すること。

(単位数制限)

	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
数理科学科	23	23	23	23	24	24	24	24
物理学科	25	24	25	24	25	24	25	24
先進エネルギーナノ工学科	24	24	24	25	25	24	25	24
化学科	25	24	24	24	24	24	25	24
環境・応用化学科	25	24	24	24	25	24	25	24
生命科学科	25	24	24	24	25	24	25	24
生命医化学科	25	24	24	24	25	24	25	24
情報科学科	25	23	25	23	24	25	24	25
人間システム工学科	23	25	25	21	24	25	24	25

※成績優秀者（当該学期の GPA が3.0以上である者）は、次学期の履修単位数制限が緩和され、4単位増加する。

ただし、下記の科目に関しては、上記の単位数制限の対象外とする。

資格取得科目、理工学部開講の集中講義科目（夏期・冬期)、地球環境科学実験
ハンズオン・ラーニングセンターが2019年度以降授業期間外に開講する集中講義科目

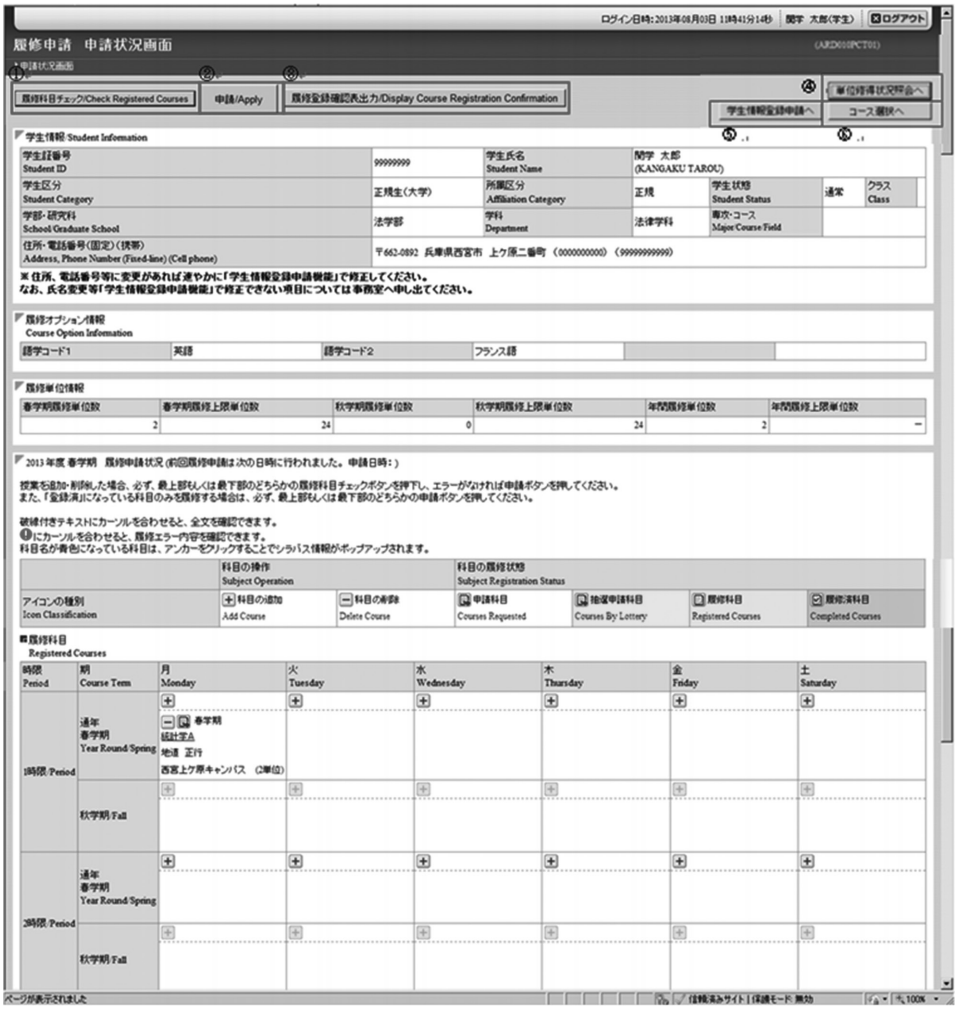
※教育原論、発達・学習過程論は資格取得科目だが、単位数制限に含まれる。
※スポーツ科学・健康科学科目は単位数制限に含まれる。
※理工学部開講の集中講義科目の成績が登録されるのは、履修が完了した次の学期となる。
例えば、秋学期集中で履修した場合、成績が登録されるのは春学期終了後となるため、進級・卒業の際には注意をすること。

履修登録の方法

履修登録の詳細な手順については、教学 Web サービストップページに「マニュアル」を掲載しているので、参照すること。

履修申請　申請状況画面

※履修申請の初回申請時には「1.2.2 本人情報申請画面」に遷移します。



【表示アイコン】

アイコン	処　理
⊞（科目の追加）	「履修申請　配当科目選択画面」が表示され、科目が追加できます。 履修申請運用期間外、または履修申請確定済みの場合、非活性で表示されます。
⊟（科目の削除）	追加された科目が削除されます。 履修申請確定済みの場合、非活性で表示されます。
（申請科目）	セルの背景色が白色で表示され、押下すると「学籍情報保守　授業・時間割照会（詳細）」がポップアップで表示されます。
（抽選申請科目）	セルの背景色が薄青色で表示され、抽選中の科目を表示します。 抽選名称にマウスをあてると科目名称・教員名・単位数・開講キャンパスの情報を表示します。
（履修科目）	セルの背景色が薄オレンジ色で表示され、押下すると「学籍情報保守　授業・時間割照会（詳細）」がポップアップで表示されます。
（履修済科目）	セルの背景色が青紫色で表示されます。
（エラーアイコン）	エラーがある場合、表示されます。マウスをあてるとエラーメッセージが表示されます。

履修年度、現在の開講期が表示されますので、確認してください。
履修申請の登録・変更を行う場合は、該当曜日時限の「⊞」・「⊟」アイコンを押下します。
集中講義（日曜日の開講授業も含む）の登録・変更を行う場合は、画面下部の「集中・その他」の「⊞」・「⊟」アイコンを押下します。

※「⊞」・「⊟」で登録・変更を行っただけでは履修申請は完了しません。メール送信もされません。

必ず「履修チェックボタン」を押下してエラーがないか確認した後、「申請ボタン」を押下してください。申請ボタンを押下しないと変更が反映されません。

「現在の履修単位数」

履修申請を行うと単位数が加算されます。履修可能な単位数を超過していないか、確認してください。
履修申請マトリクス画面で申請内容を確認した後は、画面上部もしくは下部の「履修チェック」ボタンを押下してください。エラーがある場合、該当部分にエラーアイコンが表示されますのでエラーを解消して再度「履修チェック」ボタンを押下してください。エラーがない場合、「申請」ボタンが活性化しますので「申請」ボタンを押下してください。「申請」ボタンを押下することで、履修申請が完了し、メールが送信されます。

履修登録の注意事項

（1） ペア科目（実験科目等１週間に２回以上授業を実施する科目）の入力には、特に注意すること。授業が行われるすべての曜日・時限（コマ）に、科目を選択すること。

☆ 2021年度　理工学部ペア科目

微分積分Ⅰ・Ⅱ	線形代数Ⅰ・Ⅱ
基礎解析学Ⅰ	集合と位相
解析学Ⅰ・Ⅱ	幾何学Ⅰ・Ⅱ
代数学Ⅰ・Ⅱ	基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ
物理学実験Ⅰ・Ⅱ	ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱ
基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ	無機分析化学実験
物理化学実験	有機化学実験
環境・応用化学実験Ⅰ・Ⅱ	生命科学入門実験
細胞・組織学実験	生命分子・生化学実験
基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱ	先端生命科学実験Ⅰ・Ⅱ
先端医化学実験Ⅰ・Ⅱ	プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
メディア・ロボット実験	線形代数Ⅰ・Ⅱ

（2） キャンパス間の移動を伴う履修の場合、授業形態ごとに取り扱いが異なるため全学部共通ページ「Ⅲ．授業科目の履修にあたって」の12および13を十分に確認すること。

（3） 履修登録申請後、Web 上の画面をプリントアウトしたり、「学生手帳」の時間割記入頁を利用するなどして登録科目をメモしておくこと。なお、履修登録申請したつもりでも登録出来ていないことがよくあるため、最終確認をスケジュール内に必ず行うこと。

3．授業時間割

「理工学部授業時間割」には、理工学部開講科目および理工学部生に関係する全学共通科目の授業時間帯、担当教員名、教室などが掲載されている。理工学部開講科目は表面に、全学科目は裏面に、春学期と秋学期に分けて表にしてある。通年科目を履修する場合は、秋学期の時間割もよく確認しておくこと。他学部開講の科目の履修を希望する場合は、当該学部の授業時間割などをもとに各自情報収集すること。他学部の時間割は、当該学部の事務室で閲覧することができる。

なお、理工学部では、毎週月曜日、火曜日、水曜日、金曜日のチャペルアワー（10：40～11：10）にチャペル（礼拝）が行われている。キリスト教の信仰に限らず、広く心の糧や生きる指針を与えてくれる場でもあるので、出席するよう勧める。

履修上の優先順位について

理工学部のカリキュラムでは、できるだけ自主的な履修計画を尊重しているが、演習科目および実験・実習科目は設備上の制約があるので、履修希望者が定員を超過した場合は、次のような原則で履修上の優先順位を設けている。ただし、特段の事情がある場合はこの限りではない。

優先順位１　当該科目を必修科目とする当該履修基準年度の学生。
優先順位２　当該科目を必修科目とする当該履修基準年度以外の学生。
優先順位３　当該科目を教職免許種（※）の必修科目とする教職免許取得希望者。
優先順位４　当該科目を必修科目としない当該履修基準年度の学生。
優先順位５　当該科目を必修科目としない当該履修基準年度以外の学生。
※ただし、各所属学科に設置された教職免許種のみとする。

4．2021年度　神戸三田キャンパス開講科目の履修制限（排他）について

以下の科目は、どちらか一方のみ履修できるものとする。また、すでにどちらか一方の単位を修得している場合は、他方の科目を履修することはできない。

① 心理学（理工学部開講）と心理学概論（総合政策学部開講）
② 社会学（理工学部開講）と社会学概論（総合政策学部開講）
③ 地誌学（理工学部開講）と地誌学（総合政策学部開講）
④ 西洋史（理工学部開講）と西洋史概説（総合政策学部開講）

5．他学科履修の制限

他学科カリキュラムの実験・実習科目および演習科目（後掲「理工学部学則別表」参照）は、原則として履修することができない。ただし、教職課程を希望する学生、および特別な事情でこれらの科目の履修を希望する者は、履修が認められる場合があるので、Ⅵ号館１階事務室へ申し出ること。（申し出の期間は教学 Web で確認すること）

また、実験・実習科目および演習科目以外の科目でも、以下の科目については、学科による履修の制限がある。

数理科学科生は履修不可の科目
微積分学Ⅰ
微積分学Ⅱ
線形代数学Ⅰ
線形代数学Ⅱ
線形代数学Ⅲ
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
物理と確率
物理のための幾何入門
物理数学Ⅰ
物理数学Ⅱ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
生物統計学
基礎医化学入門
メディア工学基礎
情報科学のための確率・統計
コンテンツテクノロジー

物理学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
確率統計入門
幾何入門
基礎物理学A
基礎物理学B
基礎物理学C
基礎物理学D
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
統計熱力学
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

先進エネルギーナノ工学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
基礎物理学A
基礎物理学B
サブゼミ
熱力学
量子力学Ⅰ
量子力学Ⅱ
熱統計力学Ⅰ
熱統計力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
化学概論
生命有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

環境・応用化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

生命科学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門
コンテンツテクノロジー

生命医化学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
デモンストレーション物理学Ⅰ
デモンストレーション物理学Ⅱ
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
コンテンツテクノロジー

情報科学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門

人間システム工学科生は履修不可の科目
微分積分Ⅰ
微分積分Ⅱ
線形代数Ⅰ
線形代数Ⅱ
物理学序論
サブゼミ
先進エネルギーナノ工学入門
エネルギー材料熱力学
ナノ物性量子力学Ⅰ
ナノ物性量子力学Ⅱ
発展物理化学
発展有機化学
基礎医化学入門

6．クラス指定

授業科目により、所属学科や学生番号ごとに履修するクラスが定められている場合がある。クラス分けは、毎学期「クラス分け指定一覧」にて掲示するので、教学 Web お知らせや掲示板を確認すること。各自、間違いのないよう、指定されたクラスを選択すること。また、2017年度以降入学生で、入門英語ＩＡ、ＩＢ、ⅡＡ、ⅡＢを履修する場合は、別紙にてクラスを指定する。

7．英語の履修について〈再履修等、事前申込をするケース〉

英語リーディングⅠを再履修しなければならない学生は、指定された再履修クラス（クラス28）で履修すること（要事前申込）。

また、英語ライティングⅠ、英語コミュニケーションⅠ、英語リーディングⅡ、英語ライティングⅡ、英語コミュニケーションⅡには再履修クラスを設けないので、指定された期間に確実に事前申込をすること。ただし、クラス間で履修者数の調整を行うため、必ずしも希望どおりのクラスを履修登録できるとは限らない。必ず履修者発表で自分のクラスを確認すること。

〈履修例〉

2021年度春学期	2021年度秋学期	2022年度春学期
英語リーディングＩＡ ⟶【不合格】 英語ライティングＩＡ ⟶【不合格】 英語コミュニケーションＩＡ ⟶【合格】	英語リーディングＩＡを 指定のクラスで再履修 ＋ 英語リーディングＩＢ 英語ライティングＩＢ 英語コミュニケーションＩＢ	英語ライティングＩＡを 再履修 ＋ 英語リーディングⅡＡ 英語ライティングⅡＡ 英語コミュニケーションⅡＡ

8．「海外理工学プログラム」・「理工学特別プログラム」の履修について

海外理工学プログラム及び理工学特別プログラムについて、同一名称の科目が複数開講されることがある。その際には、副題でこれを区別し、同一名称科目であっても副題が異なる（内容が異なる）場合は、重複して履修・修得することが可能である。ただし、副題が同じ科目（内容が同じ科目）については２回以上修得できないので、注意すること。当該年度開講予定科目については随時説明会等で案内する。

9．2021年度　全学科目　開講一覧・履修登録（事前申込含む）について

2021年度の全学科目の開講は以下のとおりです。
各授業科目の授業形態は、シラバスの「授業方法」欄で確認してください。
履修登録については、下記とともに、次頁以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり
共通教育センター（教務機構）……共通　　スポーツ科学・健康科学教育プログラム室（教務機構）……スポ
言語教育研究センター（教務機構）……言セン　　ハンズオン・ラーニングセンター……HoLC
国際教育・協力センター、日本語教育センター……CIEC　　国連・外交統括センター……国連・外交

◎申込方法

「教学 Web サービス」は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。アクセス方法など詳細は2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

A	Web での事前申込のみ	日程：春学期　4/1(木)　9：00～4/3(土)　16：50　　発表：4/7(水)　9：00 秋学期　9/9(木)　9：00～9/10(金)　16：00　　発表：9/15(水)　9：00
B	Web での事前申込＋担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間は Web 事前申込と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の学生は Web での事前申込のみで可
■	別日程での申込期間は 各要項で確認（右記） 配布は学部事務室・各窓口	担当窓口：言セン……『Language Programs 2021 インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ』 HoLC……教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）、各科目個別の募集要項にてお知らせ 国連・外交……教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）、各科目個別の募集要項等で案内
空白	Web 履修登録・修正期間に Web 登録	

＊注意事項に※のあるものは、次頁以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。
＊事前申込科目について、定員に満たないクラス等で追加受付を行う場合がありますので、スケジュール、教学 Web（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を適宜確認してください。
＊担当窓口　言セン、HoLC については、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。
＊CIEC 提供科目および海外留学プログラムについては『国際教育・協力プログラム募集要項』を参照してください。

春学期開講科目

春	言語教育科目										
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	1～10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	1～10	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	1～10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	1～10	春	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	1～5	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり（入学前）
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	31～60	春	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English（Basic）	1～7	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）	1～2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L1	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L2	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L3	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L1	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L3	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L3	1～2	春	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L4	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business A）L2	1～2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business B）L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（TOEFL）	1～2	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEFL）L2	1～2	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（TOEIC）	1～4	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEIC）L2	1	春	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（IELTS）	1～3	春	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Special English Seminar	1	春集中	1	1	◎	西宮上ケ原	75	9/6～10の5日間 予備日9/11
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1～3	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1～2	春	3	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり

春学期開講科目

春　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1	春	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	1	春	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
A		言セン	基礎フランス語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	40	
		言セン	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	1	春	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ポルトガル語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅰ	1～4	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	朝鮮語初級Ⅲ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅰ	1～2	春	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	インドネシア語初中級	1	春	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A		言セン	日本手話初級Ⅰ	1	春	1	1		西宮上ケ原	16	
A		CIEC	ビジネス日本語A	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語B		春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	1	春	1	3		西宮上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

春　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	1	浦田　達也	2	1	火2	西宮上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	永石　高敏	2	1	月5	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	溝畑　　潤	2	1	木1	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義　KSC	2	山下　伸一	2	1	水1	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	高島　規郎	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	高島　規郎	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島　規郎	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	廣田　音奏	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	仲田　秀臣	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	仲田　秀臣	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	フットサル	1	森　　祐貴	2	1	月2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	山根　　誠	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	浦田　達也	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	廣田　音奏	2	1	水3	西宮上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	山本　浩二	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	11	森　　祐貴	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	山本　浩二	2	1	金3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	川上　光宣	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	2	川上　光宣	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	1	廣田　音奏	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	1	林　　直也	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	森　　祐貴	2	1	月3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	山根　　誠	2	1	水1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	佐藤　博信	2	1	木1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	4	木谷　織信	2	1	火1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	5	木谷　織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	6	木谷　織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	7	山下　伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	8	山下　伸一	2	1	水3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	9	溝畑　　潤	2	1	金1	神戸三田	35	

春学期開講科目

春　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	10	溝畑　潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	11	溝畑　潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア（キャンプ）	1〜2	林　直也	2	1	集中	西宮上ケ原・学外	40（各20）	4月〜7月に2回事前授業あり 8月実施

春　AI活用人材育成科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI活用入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習A	1	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習B	1	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用実践演習A（Java によるWebアプリケーションデザイン）	1	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A	※	共通	AI活用実践演習B（Python による機械学習・深層学習）	1	岩森　俊哉	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用実践演習C（Webデザイン）	1	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用データサイエンス入門	1	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ	1	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅰ	1	西野　均	2	2	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、8月〜9月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅱ	1	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、8月〜9月予定

春　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	1〜7	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	1〜8	春	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	1〜3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1〜2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	1〜2	春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	1〜3	春	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)		春	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語能力目安あり／CIEC募集要項参照
A		CIEC	国際情報分析	1〜5	春	2	1		上ケ原・三田	24	
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	1〜2	春集中	2	1		西宮上ケ原	24	
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	1	春	2	1		西宮上ケ原	100	
		CIEC	SDGsスタディーズ入門		春	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	カナダ研究入門A		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies C		春	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies D		春	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
		CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	1〜4	春	2	1		上ケ原・三田	30	
A		CIEC	多文化共修科目		春	1〜3	1		西宮上ケ原	15	
B		CIEC	総合日本学習科目		春 春集中	2〜3	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	1	春	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	1〜3	春	2	1		西宮上ケ原	25	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	1	春	2	1		西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（開発）		春	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	1	春	2	3	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり。MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国連・外交フィールドワーク		春集中	2	1	◎	上ケ原・東ティモール	10	選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照
■		国連・外交	国連セミナー		春集中	2又は4	2	◎	上ケ原・学外	20	選考あり。詳細は教学Web、募集要項等参照

春　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	1	阪口　悟	2	1	水3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可

春学期開講科目

春　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	2	冨岡　克彦	2	1	木2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	3	冨岡　克彦	2	1	水4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	1	石田　秀朗	2	1	金4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	2	石田　秀朗	2	1	金5	西宮上ケ原	42	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	1	渡辺　一成	2	1	木3	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	2	渡辺　一成	2	1	木4	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	3	渡辺　一成	2	1	木5	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	4	渡辺　一成	2	1	金1	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	5	渡辺　一成	2	1	水3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	6	渡辺　一成	2	1	水4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	1	渡辺　一成	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	2	渡辺　一成	2	1	火4	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	3	渡辺　一成	2	1	火5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	4	渡辺　一成	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	5	渡辺　一成	2	1	水1	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	6	渡辺　一成	2	1	水2	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	1	佐藤　裕	2	2	火5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	2	佐藤　裕	2	2	火3	神戸三田	30	
■	※	HoLC	ライフ・キャリア　リーダーシップ実習		佐藤　裕	2	1	集中	未定	20	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	インターンシップ実習	1	奥貫　麻紀	1もしくは2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	キャリアゼミＡ	1	森　隆史	2	1	木2	西宮上ケ原	45	土曜日にも数回授業あり
A	※	HoLC	キャリアゼミＡ	2	森　隆史	2	1	木4	神戸三田	25	土曜日にも数回授業あり
■	※	HoLC	キャリアゼミＢ		森　隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照

春　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	1	大宮　有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンドB型
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権Ａ		高島　千代	2	1	火4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目004	ジェンダーと人権Ａ		倉島　哲	2	1	火3	西宮上ケ原	200	
A		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		澤田有希子	2	1	金2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権Ａ		宮下　博幸	2	1	月4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目013	差別と人権		細見　和志	2	1	木4	神戸三田	200	
A	※	共通	災害復興学Ａ	被災者支援		斉藤　容子	2	1	金2	西宮上ケ原	100	
A	※	共通	総合コース808	リーダーシップ論入門		志甫　啓	2	1	火4	西宮上ケ原	50	
		共通	寄附講座207	手話の世界		松岡　克尚	2	1	火5	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座004	医学入門Ａ		鈴木敬一郎	2	1	水2	神戸三田	—	
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		鈴木敬一郎	1	1	集中	兵庫医大	20	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		鈴木敬一郎	2	1	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		戴　毅	1	2	集中	兵庫医大	10	
A	※	共通	連携講座014	臨床ゲノム医学		大村谷昌樹	1	1	集中	兵庫医大	10	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		1	渡辺　一成	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		2	渡辺　一成	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		3	渡辺　一成	2	1	火2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		4	渡辺　一成	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		5	渡辺　一成	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		6	渡辺　一成	2	1	月3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		1	西口　啓太	2	1	月2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		2	西口　啓太	2	1	月3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		3	西口　啓太	2	1	金2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		4	福山　佑樹	2	1	水2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		5	福山　佑樹	2	1	水3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		6	福山　佑樹	2	1	水4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		7	福山　佑樹	2	1	木2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		8	福山　佑樹	2	1	木3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		9	福山　佑樹	2	1	木4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		10	三井　規裕	2	1	金3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		11	三井　規裕	2	1	金4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		12	野瀬由季子	2	1	火1	西宮上ケ原	20	

春学期開講科目

春　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		13	野瀬由季子	2	1	火 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		14	野瀬由季子	2	1	火 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		15	西口　啓太	2	1	木 2	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		16	西口　啓太	2	1	木 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		17	野瀬由季子	2	1	水 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		18	時任　隼平	2	1	火 3	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		1	三井　規裕	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		2	三井　規裕	2	1	金 5	西宮上ケ原	30	
■	※	HoLC	平和学特別演習「ヒロシマ」			澤村　雅史	2	1	集中	上ケ原・広島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		1	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 4	西宮上ケ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		2	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		1	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		2	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 3	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		3	木本　浩一 向井光太郎	2	1	水 2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA（定量編）		1	時任　隼平	2	1	金 3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックA（定量編）		2	時任　隼平	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		1	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		1	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）		1	向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		1	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		1	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）		1	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）		1	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		1	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 2	8月上旬から9月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		1	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 1	8月上旬から9月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】			シュラーデ　アンナ 広瀬　憲三 小林　伸生	2	1	集中	西宮上ケ原	30	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習007【阪急阪神HD㈱と挑む社会課題】			奥貫　麻紀	4	1	水 4, 水 5	西宮上ケ原	20	学期期間中に数回企業訪問あり
■	※	HoLC	PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】			村尾　信尚 時任　隼平	2	1	集中	上ケ原・福島	25	詳細は「募集要項」を参照
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】		1	奥貫　麻紀	2	1	火 2	上ケ原・三木	15	数回現地実習あり

春学期集中科目は、2021年度春学期卒業見込者は履修できません。
ただし、CCCプログラム（Certificate Program、MS特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」）登録者及び実践型“世界市民”育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者でCIEC開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC事務室まで個別相談に来てください。

秋学期開講科目

秋　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		言セン	入門英語ⅠA	11～20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅠB	11～20	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡA	11～20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	入門英語ⅡB	11～20	秋	1	2	◎	上ケ原・三田	25	クラス指定あり
■		言セン	インテンシブ・イングリッシュ	1～30	秋	3	1	◎	西宮上ケ原	25	選考あり
A		言セン	Skills-based English（Basic）	8～14	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
A		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）	3～4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L1	2～3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L2	2～3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Speaking & Listening）L3	2～4	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Writing）L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L1	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Reading）L3	2	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L3	3	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Academic）L4	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business A）L2	3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
B		言セン	Skills-based English（Business B）L2	2～3	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（TOEFL）	3～6	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEFL）L2	3～4	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり

秋学期開講科目

秋　言語教育科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		言セン	Skills-based English（TOEIC）	5～8	秋	1	1	◎	上ケ原・三田	25	
B		言セン	Skills-based English（TOEIC）L2	2～3	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	英語要件あり
A		言セン	Skills-based English（IELTS）	4～5	秋	1	1	◎	西宮上ケ原	25	
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅰ	1～3	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■		言セン	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	2～3	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	フランス語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ	1～2	秋	3	1		西宮上ケ原	約20	選考あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	2	秋	2	2		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
■		言セン	ドイツ語インテンシブ中級	2	秋	2	3		西宮上ケ原	約20	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎フランス語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	フランス語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
A		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）A	3	秋	1	1		西宮上ケ原	30	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	フランス語アラカルト（聞く・話す）C	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	基礎ドイツ語Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎ドイツ語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ドイツ語アラカルト（読む）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（書く）	2	秋	1	2		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	ロシア語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ロシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初級Ⅰ	5～6	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	イタリア語初級Ⅱ	2～4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	イタリア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	スペイン語中級	2～3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	ポルトガル語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初級Ⅰ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	
		言セン	アラビア語初級Ⅱ	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	アラビア語初中級	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	基礎中国語Ⅳ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	中国語中級	3～4	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語初級Ⅱ	1～3	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	朝鮮語中級	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初級Ⅱ	1～2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	インドネシア語初中級	2	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
		言セン	日本手話初級Ⅱ	1	秋	1	1		西宮上ケ原	—	履修要件あり
A		CIEC	ビジネス日本語A	2～3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A		CIEC	ビジネス日本語C	2～3	秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

秋　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	スポーツパフォーマンス	2	浦田　達也	2	1	火2	西宮上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	永石　高敏	2	1	月5	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	溝畑　　潤	2	1	木1	西宮上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義　KSC	4	山下　伸一	2	1	水3	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	高島　規郎	2	1	木1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	高島　規郎	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	高島　規郎	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	12	廣田　音奏	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	仲田　秀臣	2	1	木2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	仲田　秀臣	2	1	木3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	山本　浩二	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	3	森　　祐貴	2	1	月2	西宮上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	浦田　達也	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	3	廣田　音奏	2	1	水3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	森　　祐貴	2	1	月1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	高見　和至	2	1	金2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	2	山本　浩二	2	1	金3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	3	川上　光宣	2	1	火1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	4	川上　光宣	2	1	火3	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習A	フィットネス	2	廣田　音奏	2	1	水1	西宮上ケ原	30	
A		スポ	健康科学演習C	ニュースポーツ	2	林　　直也	2	1	水2	西宮上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	森　　祐貴	2	1	月3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	林　　直也	2	1	水1	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	山根　　誠	2	1	水3	西宮上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	15	木谷　織信	2	1	火1	神戸三田	35	

秋学期開講科目

秋　スポーツ科学・健康科学科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	16	木谷　織信	2	1	火2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	17	木谷　織信	2	1	火3	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	18	山下　伸一	2	1	水1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	19	山下　伸一	2	1	水2	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	20	溝畑　潤	2	1	金1	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	21	溝畑　潤	2	1	金2	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技　KSC	22	溝畑　潤	2	1	金3	神戸三田	35	
A		スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア（スキー・スノーボード）	1〜4	佐藤　博信	2	1	集中	西宮上ケ原・学外	32（各8）	9月〜1月に3回事前授業あり 2月実施

秋　AI活用人材育成科目　（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	担当者	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	AI活用入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習A	2	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用導入演習B	2	西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン実践演習	1	西野　均	2	2	木2	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用アプリケーションデザイン実践演習	2	西野　均	2	2	水4	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用実践演習A （Java によるWebアプリケーションデザイン）	2	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A	※	共通	AI活用実践演習B （Python による機械学習・深層学習）	2	岩森　俊哉	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用実践演習C（Webデザイン）	2	陰山　真矢	2	1	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用データサイエンス入門	2	巳波　弘佳 西野　均	2	1	指定なし	指定なし	—	履修要件あり、授業形態はオンデマンドB型
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ	2	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	50	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習	1	西野　均	2	2	木3	西宮上ケ原	50	履修要件あり
A		共通	AI活用データサイエンス実践演習	2	西野　均	2	2	水5	神戸三田	50	履修要件あり
A		共通	AI活用発展演習Ⅰ	2	西野　均	2	2	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、2月〜3月予定
A		共通	AI活用発展演習Ⅱ	2	西野　均	2	3	集中	西宮上ケ原	30	履修要件あり、2月〜3月予定

秋　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
B		言セン	Language and Communication	8〜16	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Culture and Society	9〜18	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	12	英語要件あり
B		言セン	Academic Writing and Presentation	4〜6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	3〜5	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	20	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Career English)	3〜4	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Critical Writing)	2	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
B		言セン	Project-based Seminar in English (Area Studies)	4〜6	秋	2	1	◎	西宮上ケ原	12	英語要件あり
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
A		CIEC	国際情報分析	6〜10	秋	2	1		上ケ原・三田	24	
		CIEC	国際平和構築論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	
		CIEC	教育開発論		秋集中	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	3〜4	秋集中	2	1		西宮上ケ原	24	
A		CIEC	グローバル社会の課題と持続可能な未来	2	秋	2	1		西宮上ケ原	100	
A		CIEC	グローバルスタディーズ入門	5〜8	秋	2	1		上ケ原・三田	30	
		CIEC	日本文化総論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
		CIEC	日本政治総論		秋	2	1		西宮上ケ原	—	留学生対象
		CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1		西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies A		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	Topics in Canadian Studies B		秋	2	1	◎	西宮上ケ原	—	
A		CIEC	多文化共修科目		秋	1〜3	1		西宮上ケ原	15	
B		CIEC	総合日本学習科目		秋 秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	15	
B		CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies	2〜3	秋 秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
B		CIEC	CCC Introduction to International Relations		秋集中	2	1	◎	西宮上ケ原	100	
A		CIEC	日本語教育基礎	4〜6	秋	2	1		上ケ原・三田	25	
A		CIEC	日本語教育基礎演習	2	秋	2	1		西宮上ケ原	20	
■		国連・外交	国連・外交入門（平和・人権・人道）		秋	2	2	◎	西宮上ケ原	—	MS国連・外交プログラム履修許可者対象
■		国連・外交	国際教養としての時事問題		秋集中	1	1		西宮上ケ原	50	1年生のみ履修可。選考あり。詳細は教学Web（※）、募集要項等参照

秋学期開講科目

秋　グローバルスタディーズ科目

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施	開講場所	受講者数制限	特記事項
■		国連・外交	Career Seminar for International Organizations	2	秋	2	3	◎	西宮上ケ原	15	MS 国連・外交プログラム履修許可者対象

※教学 Web は2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

秋　ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	4	阪口　悟	2	1	水 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	5	阪口　悟	2	1	水 3	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	6	冨岡　克彦	2	1	木 2	西宮上ケ原	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア概論	7	冨岡　克彦	2	1	水 4	神戸三田	250	「社会の中での自分（インターンシップ講義）」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	3	石田　秀朗	2	1	金 4	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ａ【日本企業編】	4	石田　秀朗	2	1	金 5	西宮上ケ原	42	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ｂ【外資系企業編】	1	森　隆史	2	1	木 3	西宮上ケ原	120	
A		HoLC	ライフデザインと仕事Ｂ【外資系企業編】	2	森　隆史	2	1	木 4	西宮上ケ原	120	
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	7	未　定	2	1	木 3	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	8	未　定	2	1	木 4	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	9	渡辺　一成	2	1	木 5	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	10	渡辺　一成	2	1	金 1	西宮上ケ原	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	11	渡辺　一成	2	1	水 3	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A	※	HoLC	ライフ・キャリア入門演習	12	渡辺　一成	2	1	水 4	神戸三田	30	「グローバルキャリアデザイン入門」の単位修得者は履修不可
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	7	未　定	2	1	火 3	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	8	未　定	2	1	火 4	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	9	渡辺　一成	2	1	火 5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	10	渡辺　一成	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	11	渡辺　一成	2	1	水 1	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア実践演習	12	渡辺　一成	2	1	水 2	神戸三田	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	3	佐藤　裕	2	2	火 5	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	ライフ・キャリア発展演習	4	佐藤　裕	2	2	火 3	神戸三田	30	
■	※	HoLC	インターンシップ実習	2	奥貫　麻紀	1 もしくは 2	1	集中	各企業・団体	なし	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	キャリアゼミＣ		森　隆史	2	1	集中	未定	40	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	霞が関セミナー		向井光太郎 神余　隆博 村尾　信尚 原田賢一郎	2	1	集中	上ケ原・東京	60	詳細は「募集要項」を参照

秋　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学	関西学院の歴史	2	大宮　有博	2	1	指定なし	指定なし	150	授業形態はオンデマンドＢ型
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権Ｂ		李　恩子	2	1	火 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	人権教育科目005	ジェンダーと人権Ｂ		倉島　哲	2	1	火 3	西宮上ケ原	200	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		高井由起子	2	1	月 2	西宮上ケ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権Ｂ		宮下　博幸	2	1	月 4	西宮上ケ原	—	
A	※	共通	人権教育科目017	障害と人権		小谷　正登	2	1	木 3	西宮上ケ原	200	授業形態はオンデマンドＡ型
		共通	人権教育科目018	人権と共生		白川　俊介	2	1	木 3	神戸三田	—	
A	※	共通	災害復興学Ｂ	人の復興・まちの復興		斉藤　容子	2	1	金 2	西宮上ケ原	100	
		共通	総合コース215	インターネットとヘイトスピーチ		河村　克俊	2	1	火 5	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座002	たからづか学		加藤　哲弘	2	1	木 2	西宮上ケ原	—	
		共通	連携講座005	医学入門Ｂ		石戸　聡	2	1	水 4	西宮上ケ原	—	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		7	渡辺　一成	2	1	月 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		8	渡辺　一成	2	1	火 1	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		9	渡辺　一成	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		10	渡辺　一成	2	1	木 1	西宮上ケ原	30	

秋学期開講科目

秋　基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		11	渡辺　一成	2	1	木 2	西宮上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		12	渡辺　一成	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		19	西口　啓太	2	1	月 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		20	西口　啓太	2	1	月 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		21	西口　啓太	2	1	木 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		22	西口　啓太	2	1	木 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		23	西口　啓太	2	1	木 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		24	福山　佑樹	2	1	火 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		25	福山　佑樹	2	1	水 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		26	福山　佑樹	2	1	水 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		27	福山　佑樹	2	1	水 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		28	三井　規裕	2	1	金 3	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		29	三井　規裕	2	1	金 4	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		30	野瀬由季子	2	1	火 1	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		31	野瀬由季子	2	1	火 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		32	野瀬由季子	2	1	金 2	西宮上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		33	福山　佑樹	2	1	木 4	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		34	福山　佑樹	2	1	木 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		35	野瀬由季子	2	1	水 3	神戸三田	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（リポート執筆の基礎）		36	時任　隼平	2	1	水 4	西宮聖和	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		3	三井　規裕	2	1	金 2	西宮上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		4	三井　規裕	2	1	金 5	西宮上ケ原	30	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		3	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 4	西宮上ケ原	60	
A	※	HoLC	ハンズオン・プラクティス		4	向井光太郎 木本　浩一	2	1	木 2	神戸三田	60	
A		HoLC	社会探究入門		4	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 2	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		5	木本　浩一 向井光太郎	2	1	火 3	西宮上ケ原	45	
A		HoLC	社会探究入門		6	木本　浩一 向井光太郎	2	1	水 2	神戸三田	45	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）		1	時任　隼平	2	1	火 2	西宮上ケ原	30	
A		HoLC	社会探究リサーチ・ベーシックB（定性編）		2	時任　隼平	2	1	月 3	神戸三田	30	
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		2	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		2	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）		2	向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	20	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンスFW）		2	木本　浩一	4	1	水 3, 水 4	神戸三田・ 丹波篠山	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化PJ）		2	奥貫　麻紀	4	1	木 3, 木 4	上ケ原・朝来	5	数回現地実習あり
A	※	HoLC	社会探究実践演習Ⅱ（大阪・上本町）			向井光太郎	4	1	月 3, 月 4	上ケ原・ 上本町	5	数回現地実習あり
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境FW）		2	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和FW）			木本　浩一	2	1	集中	広島県江田島	15	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境FW）		2	木本　浩一	2	1	集中	香川県豊島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和FW）			木本　浩一	2	1	集中	広島県江田島	5	詳細は「募集要項」を参照
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅠ		2	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 2	2月上旬から3月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・インターンシップⅡ		2	向井光太郎 木本　浩一	6	1	集中	全国各地	各受入先 1	2月上旬から3月中旬の約1ケ月間受入企業・団体でインターン
■	※	HoLC	ハンズオン・アドバンストⅠ			木本　浩一 向井光太郎	2	2	集中	全国各地	15	詳細は「募集要項」を参照
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		1	西元　　涼	2	1	月 5	西宮上ケ原	25	
A		HoLC	PBL 特別演習005【アントレプレナー養成講座】		2	西元　　涼	2	1	月 3	神戸三田	25	
A	※	HoLC	PBL 特別演習009【三木市・旧市街地FW】		2	奥貫　麻紀	2	1	火 2	上ケ原・三木	15	数回現地実習あり

秋学期集中科目は、2021年度秋学期卒業見込者は履修できません。（ただし、ハンズオン・ラーニングセンター開講「ハンズオン・アドバンスト」を除く）

ただし、CCC プログラム（Certificate Program、MS 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」）登録者及び実践型“世界市民”育成プログラム・グローバルリーダーコース登録者で CIEC 開講の集中科目の履修を希望する場合は、CIEC 事務室まで個別相談に来てください。

10. 2021年度　全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。

履修を希望する方は下記および教学 Web サービス「お知らせ」（※）を参照してください。

■優先申込について

事前申込より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。

※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対 象 者	教育職員免許状取得のために履修する必要のある **3 年生以上**の未履修者
対象科目	「体育方法学講義Ｃ」・「体育方法学演習Ｃ」
申込方法	教学 Web サービス（URL：https://webinfo.kwansei.ac.jp/）（※） ※講義・演習科目ともに第２希望まで申し込むことができます。
発　　表	教学 Web サービス（※）

（※）教学 Web サービスは2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。

◆春 学 期：申込期間　2021年３月23日（火）９：00～３月24日（水）16：50締切
　　発　　表　2021年３月26日（金）９：00～

◆秋 学 期：申込期間　2021年９月６日（月）９：00～９月７日（火）16：00締切
　　発　　表　2021年９月９日（木）９：00～

Ⅰ．申込にあたっての注意事項

１．１学期（春学期又は秋学期）に履修できる科目は講義１科目、演習１科目の２科目４単位までです。

２．同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
　例）【スポーツ科学演習Ａ１：卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習Ａ21：バドミントン】を履修できません（同じ「スポーツ科学演習Ａ」であるため）。

３．講義科目は開講科目数まで、演習科目は第５希望まで申し込むことができます。
（ただし、教職希望者の優先申込については、この限りではありません。※「優先申込について」参照のこと）

４．科目には、西宮上ケ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。
※キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取消は出来ません。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目が申込科目のため
履修の中止を申請することはできません。
学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

１．卒業要件との関係
　全学部自由選択（時間が許す範囲で履修することができます）

２．教職課程を履修する場合
　スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義Ｃ」と「体育方法学演習Ｃ」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ１科目２単位の合計２科目４単位を選択し履修しても構いません。
※理工学部生、理学部生、工学部生、生命環境学部生、総合政策学部生、建築学部生、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義Ｃ」と「体育方法学演習Ｃ」を履修してください。
※優先申込制度があります（教育学部を除く）。
※履修に際しては、教職教育研究センターの『教職課程等履修要項』を参照してください。

3．養護コース

身体活動を制限および禁止されている学生のために、「体育方法学演習Ｃ」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期　2021年４月２日（金）16：50まで
　　秋学期　2021年９月２日（木）16：00まで

4．集中講義

春学期開講の「余暇生活学演習Ｃ（夏期アウトドア：キャンプ）」および、秋学期開講の「余暇生活学演習Ｄ（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）」は集中講義として開講されます。集中講義は、受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が最終的に認められません。必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できることを確認した上で申し込みをしてください。集中講義実施の詳細内容については「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください。

なお、集中講義は当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

5．演習科目の履修についての諸注意

1）第１回目の授業

演習科目の第１回目の授業はオリエンテーションを行います。**更衣はせず**に下記の場所に集合してください。また、集合場所が変更になる場合は、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

学　期	科　目　名	集 合 場 所
春	西宮上ケ原キャンパス開講　全演習科目	総合体育館２Ｆ
	神戸三田キャンパス開講　全演習科目	未定※
秋	西宮上ケ原キャンパス開講　全演習科目	総合体育館２Ｆ
	神戸三田キャンパス開講　全演習科目	未定※

※上記未定の教室は決定次第、教学 Web サービスの「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）にてお知らせします。

2）授業場の指示（毎回の授業開始前に必ず確認してください）

西宮上ケ原キャンパス：当日、総合体育館１Ｆエントランスホールの掲示板にて指示。
神戸三田キャンパス：当日、体育館ロビーのホワイトボードにて指示。

3）受講時の服装など

動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。

4）「総合体育館」（西宮上ケ原キャンパス）および「体育館アリーナ」（神戸三田キャンパス）の利用際の注意事項

①ロッカー、下足箱は授業に際しての利用に限ります。授業終了後は私物を持ち帰ってください。また、貴重品の管理は各自で十分注意してください。
②シャワー室は基本的に授業終了後に利用可能です。
③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。

5）成績評価

演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席態度、技術・体力、リポート等により総合評価します（講義科目と集中講義は「教学 Web サービス」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）のシラバスを参照してください）。

《AI 活用人材育成科目》

AI 活用人材育成科目は全科目申込手続きが必要です。履修を希望する方は下記及び教学 Web サービス「お知らせ」（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）を参照してください。

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．先修条件

下表の科目は、以下のとおり先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」 「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 「AI 活用データサイエンス入門」	「AI 活用入門」
「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用アプリケーションデザイン入門」
「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス入門」
「AI 活用発展演習Ⅰ」	「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 のすべての科目 または 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」 「AI 活用実践演習Ａ （Java による Web アプリケーションデザイン）」 「AI 活用実践演習Ｂ （Python による機械学習・深層学習）」 「AI 活用実践演習Ｃ（Web デザイン）」 のすべての科目
「AI 活用発展演習Ⅱ」	「AI 活用発展演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」 のすべての科目 または 「AI 活用発展演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習」 のすべての科目
「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」	「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」 （2020年度まで開講）

2．新旧科目群の取扱い

下表の科目群は旧科目群のコンテンツを組み替えて、講義中心の科目（「～入門」）と演習中心の科目（「～実践演習」）に分けて開講します。表の右の科目群（旧科目群）と左の科目群（現科目群）は同一内容となるため、旧科目群の２科目の単位を既に修得している場合、現科目群を履修できません。

なお、旧科目群の２科目の単位をともに修得した場合、現科目群の２科目の単位を修得したことと同等と認定します。

現科目群	旧科目群
「AI 活用アプリケーションデザイン入門」 「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」	「AI 活用導入演習Ａ」 「AI 活用導入演習Ｂ」
「AI 活用データサイエンス入門」 「AI 活用データサイエンス実践演習」	「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」 「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」

（例１：旧科目群の２科目の単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習Ａ」と「AI 活用導入演習Ｂ」の単位を既に修得している場合、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できません。

「AI 活用アプリケーションデザイン入門」と「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」の単位を修得したことと同等と認定します。

（例２：旧科目群の１科目のみの単位を既に修得している場合）

「AI 活用導入演習Ａ」の単位を既に修得しているが、「AI 活用導入演習Ｂ」の単位を未修得の場合は、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」を履修できます。ただし、AI 活用人材育成プログラムを進むためには「AI 活用アプリケーションデザイン入門」の単位を修得した後、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」を履修する必要があります。

3．2021年度入学生への注意事項

2021年度入学生は上記表の旧科目群（「AI 活用導入演習Ａ」、「AI 活用導入演習Ｂ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅰ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」）を履修できません。2021年度からの新カリキュラムとして開講する現科目群（「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン実践演習」、「AI 活用データサイエンス入門」、「AI 活用データサイエンス実践演習」）を履修してください。

4．2020年度以前入学生への注意事項

上記表の旧科目群の内、「AI 活用導入演習Ａ」、「AI 活用導入演習Ｂ」、「AI 活用データサイエンス実践演習Ⅱ」は2021年度までの開講とし、2022年度以降は開講されません。既に旧科目群の２科目の内、一方の科目の単位を修得していて、旧科目群の単位にて AI 活用人材育成プログラムの修了を計画している場合は、必ず2021年度中にもう一方の旧科目を履修してください。

5．集中講義

1）集中講義は、当該科目が開講される学期末に卒業見込みの方は履修申込ができません。

2）授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申込みしてください。

6．開講キャンパス

科目には、西宮上ケ原キャンパス開講と神戸三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。キャンパスを間違えて申込みをした場合でも、申込期間を過ぎると取り消しはできません。

7．履修発表後は、原則として履修を取り消すことはできません。学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

1．AI 活用人材育成科目は、AI やデータサイエンスに対する強い学習意欲を持っている学生を対象として開講する科目です。AI やデータサイエンス、プログラミングに関する知識やスキルがなくても受講可能ですが、基本的な PC スキルやインターネットスキルは事前に身につけておいてください。スマートフォンしか使用したことがない学生、Word や Excel 等の入力程度しか経験がない学生はまず情報科学科目「コンピュータ基礎」等から履修することをお勧めします。

2．AI 活用人材育成科目の対面授業では、履修学生が各自のノート PC を持参し、通常教室で授業を行います。履修に先立ち、各自でノート PC（Microsoft Windows10、または Mac OS X 10.8以上）を必ず準備してください。もし PC の新規購入を検討する場合は、持ち運びが可能な軽量 PC、記憶媒体は HDD ではなく SSD の PC をお勧めします。必要なソフトウェアなどについては、初回授業時に説明します。また、本科目では課題も出され、学内で作業を行うこともあるため、授業開始までに学内ネットワーク（持込デバイス用（無線）KGU-WLAN）の利用申請を済ませておいてください。利用申請の詳細は「情報環境機構 Web サイト『学内ネットワークに接続』のページ」を参照してください。

3．「AI 活用入門」、「AI 活用アプリケーションデザイン入門」、「AI 活用データサイエンス入門」はオンデマンドＢ型オンライン授業として開講します。受講時に顔認証による本人確認を行いますので、PC にカメラ機能が備わっていない場合は必ず Web カメラを準備してください。

《ライフデザイン科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］》

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
● ライフ・キャリア リーダーシップ実習	● キャリアゼミＣ
● インターンシップ実習	● 霞が関セミナー
● キャリアゼミＢ	

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．**同一名称科目**

次の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
ライフ・キャリア概論	社会の中での自分（インターンシップ講義） 《2017年度まで開講》
ライフ・キャリア入門演習	グローバルキャリアデザイン入門 《2016年度まで開講》

2．集中講義の申し込みについて

1）次の科目は、2021年９月卒業見込の方は履修申込ができません。
「ライフ・キャリア リーダーシップ実習」「インターンシップ実習１」「キャリアゼミＢ」

2）次の科目は、2022年３月卒業見込の方は履修申込ができません。
「インターンシップ実習２」「キャリアゼミＣ」「霞が関セミナー」

3）授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。

4）次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。
「インターンシップ実習２」「キャリアゼミＣ」「霞が関セミナー」

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

1．ライフ・キャリア リーダーシップ実習 〈春学期集中〉

・履修にあたっては、実習先への往復交通費、宿泊費、食費等が必要です。
・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

8月25日(水)	：事前学修
8月29日(日)～9月1日(水)	：実習
9月3日(金)	：事後学修

2．インターンシップ実習 〈春学期集中・秋学期集中〉

キャリアセンター提供の「KG枠インターンシップ」もしくは、各自でエントリー、参加するインターンシップを活用して履修申込をすることができます。事前に履修申込の上、インターンシップ事前・事後学修の受講が必要です。5日以上かつ実習時間30時間以上60時間未満で1単位、8日以上かつ60時間以上で2単位とします。また、1学期につき、最大2単位まで履修申込が可能です。申込にあたっては、参加日数や各種研修参加など条件がありますので、募集要項を参照してください。

3．キャリアゼミA 〈春学期〉

・本科目は木曜日（西宮上ケ原・神戸三田）だけでなく、土曜日にもクラス合同で開講される回があります。

《開講予定日》

4月8日(木)、4月15日(木)、4月22日(木)、5月6日(木)、5月20日(木)、5月27日(木)、6月10日(木)、6月17日(木)、6月24日(木)、7月1日(木)、7月8日(木)
合同開講：5月15日(土)、7月3日(土)

4．キャリアゼミB 〈春学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

7月31日(土)	：事前学修
8月7日(土)～8月9日(月・祝)	：実習
8月11日(水)	：事後学修

5．キャリアゼミC 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月25日(金)	：事前学修
3月2日(水)～3月6日(日)	：実習
3月11日(金)	：事後学修

6．霞が関セミナー 〈秋学期集中〉

・開講場所、実施形態については検討中です。詳細は、改めて募集要項でお知らせします。

《開講予定日》

2月9日(水)	：事前学修
2月15日(火)～2月18日(金)	：実習
2月24日(木)	：事後学修

《基盤・学際科目［2012年度以前入学生：学際・連携科目］》

次の科目については、後日、別途募集要項を公表します。募集要項の内容を確認の上、申し込んでください。

募集要項を別途作成・公表する科目
●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●ハンズオン・アドバンストⅠ ● PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】 ● PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

Ⅰ．申込にあたっての諸注意

1．先修条件

下表の科目は履修にあたり、先修条件が設けられています。科目申込み時に先修科目を修得していることが必要です。

授業科目	先修科目
社会探究実習Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）	社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）
社会探究実習Ⅱ（広島・江田島平和 FW）	社会探究実習Ⅰ（広島・江田島平和 FW）、 社会探究実習Ⅰ（瀬戸内海・豊島環境 FW）、 または平和学特別演習「ヒロシマ」
社会探究実践演習Ⅱ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）	社会探究実践演習Ⅰ （篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）
社会探究実践演習Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）	社会探究実践演習Ⅰ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）
社会探究実践演習Ⅱ（大阪・上本町）	社会探究実践演習Ⅰ（大阪・上本町）
ハンズオン・インターンシップⅡ （ただし、先修科目と同一の受入先での実習に限る）	ハンズオン・インターンシップⅠ
	ハンズオン・インターンシップ実習

2．同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
人権教育科目017【障害と人権】	人権教育科目006【障害と人権】 人権教育科目014【障害と人権Ａ】 人権教育科目015【障害と人権Ｂ】
スタディスキルセミナー （リポート執筆の基礎）	スタディスキルセミナー（論文作成） スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）
災害復興学Ａ	災害復興学入門
災害復興学Ｂ	災害復興学
総合コース808	総合コース807
PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD㈱と挑む社会課題】	PBL 特別演習007 【阪急阪神ホールディングス㈱　社会課題解決 PJ】
PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】	PBL 特別演習001【福島から原発を考える】

3．集中講義の申し込みについて

1．次の科目は、2021年９月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈共通教育センター〉

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC)〉

平和学特別演習「ヒロシマ」

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 1

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 1

PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】

PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】

2．次の科目は、2022年３月卒業見込の方は履修申込ができません。

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC)〉

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）

ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 2

ハンズオン・アドバンストⅠ

3．授業日程の重複する集中講義を同時に複数科目履修することはできません。事前にシラバス等で授業日程を確認し、注意して申し込んでください。

4．次の科目は、当年度の進級判定には含まれません。

社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） 2、社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW)、ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 2、ハンズオン・アドバンストⅠ

5．ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ 〈春学期集中・秋学期集中〉

本科目は、旧科目「ハンズオン・インターンシップ実習」を修得済であっても履修することができ、「ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ」それぞれの重複履修も可能です。ただし、「ハンズオン・インターンシップⅡ」を履修する場合は、「ハンズオン・インターンシップⅠ」または「ハンズオン・インターンシップ実習（2020年度まで開講)」と同一の受入先での実習に限ります。

6．ハンズオン・アドバンストⅠ

本科目は「ハンズオン・アドバンストⅠ」と、2022年度から開講する「ハンズオン・アドバンストⅡ」を続けて履修し、1年間を通じて活動することが条件です。また、オンラインフォーム上でのエントリーが必要です。

Ⅱ．履修にあたっての諸注意

〈共通教育センター〉

「連携講座006（早期臨床体験実習）」

実習参加にあたっての注意事項

（１） 関西学院大学の健康診断を受診し感染症などの異常のないこと。（胸部レントゲン検査（結核）を必須とする。）

（２） ４種ワクチン（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）の２回接種歴があることを原則とする。

抗体価検査等結果証明書を提出すること。ただし、４月の時点でワクチン接種実施証明書（医療機関等での証明又は母子手帳（写））等により２回の接種歴を証明できない場合は、実習開始までに接種を終えることは困難なため、抗体価検査を行い、抗体検査結果により必要なワクチン接種を実習までに完了すること。なお、抗体価検査は自費となるため注意すること（金額１万円前後）。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に７月中旬頃教学 Web サービス（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）で連絡をするので注意してください。

「連携講座006（早期臨床体験実習）」「連携講座008（医療入門）」

「連携講座009（東洋医学入門）」「連携講座014（臨床ゲノム医学）」

〈ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）〉

１．平和学特別演習「ヒロシマ」〈春学期集中〉

・宿泊代等の諸費用として18,000円程度（予定）必要です（現地までの交通費、現地での移動費、一部飲食代を除く）。

《開講予定日》

５月22日（土）、７月３日（土）　：事前学修

８月４日（水）～８月８日（日）　：実習

２．ハンズオン・プラクティス

本科目は木曜日（西宮上ケ原・神戸三田）だけでなく、土曜日、日曜日にも開講される回があります。

１クラス〈春学期〉

《開講予定日》

４月８日（木）、４月15日（木）、４月22日（木）、５月22日（土）、６月19日（土）、

７月１日（木）、７月８日（木）、７月15日（木）

２クラス〈秋学期〉

《開講予定日》

９月30日（木）、10月７日（木）、10月14日（木）、11月13日（土）、12月５日（日）、

12月16日（木）、12月23日（木）、１月６日（木）

３．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（篠山・今田コミュニティ・ガバナンス FW）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

４．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（朝来・竹田城下町活性化 PJ）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

５．社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ（大阪・上本町）〈春学期・秋学期〉

学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費等は原則自己負担です。

6．社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW）
・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として50,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
1クラス〈春学期集中〉
《開講予定日》
6月12日(土)、7月3日(土)、8月5日(木)：事前学修
8月8日(日)～8月14日(土)　：実習
2クラス〈秋学期集中〉
《開講予定日》
11月20日(土)、12月11日(土)　：事前学修
2月23日(水・祝)～2月28日(月)：実習

7．社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW）〈秋学期集中〉
・現地での交通費、宿泊代等の諸費用として15,000円程度（予定）必要です。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
《開講予定日》
11月20日(土)、12月11日(土)　：事前学修
2月15日(火)～2月20日(日)　：実習

8．PBL 特別演習002【JETRO×産研連携講座】〈春学期集中〉
《開講予定日》
6月5日(土)　：事前学修
8月23日(月)～8月27日(金)　：集中授業

9．PBL 特別演習007【阪急阪神 HD ㈱と挑む社会課題】〈春学期〉
学期期間中に阪急阪神沿線でフィールドワークを実施予定です。なお、交通費は原則自己負担です。

10．PBL 特別演習008【福島で学ぶ復興と原発問題】〈春学期集中〉
・宿泊代等の諸費用として40,000円程度必要です（補助金申請中のため、25,000円になる可能性有)。現地までの交通費は含まれませんので注意してください。
《開講予定日》
7月9日(金)　：オリエンテーション
8月10日(火)　：事前学修
8月23日(月)～8月28日(土)　：実習

11．PBL 特別演習009【三木市・旧市街地 FW】〈春学期・秋学期〉
学期期間中に数回週末に現地でのフィールドワークを実施予定です。なお、現地への交通費は自己負担です。

12．ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ
夏休みや春休みの約6週間にわたって実施するインターンシッププログラムです。
1クラス〈春学期集中〉
5月15日(土）にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。
2クラス〈秋学期集中〉
10月30日(土）にプロジェクト説明会を実施し、面談を経てインターン先を決定します。なお、インターン期間中の交通費等は原則自己負担となります。

13．ハンズオン・アドバンストⅠ　〈秋学期集中〉
活動に伴う交通費等は原則自己負担となります。

11. 2021年度　免許状取得のための他学部履修について

1　免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要なすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

2　2021年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

（1）　申し込み資格

卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。

（2）　申し込み

日　時：［通年・春学期科目］　3月22日（月）～3月26日（金）の事務室開室時間中
［秋学期科目］　8月27日（金）～9月2日（木）の事務室開室時間中
※1年生については［秋学期科目］からの申し込みとする。

手続き：

手順①　「履修申込書」（Excel ファイル）のダウンロード
教学 Web のお知らせ配信にて、取扱い詳細を事前に通知するので、各自で確認の上、ダウンロードすること。ダウンロード可能日については掲示で通知する。

手順②　「履修申込書」（Excel ファイル）の印刷
ダウンロードした「履修申込書」（Excel ファイル）に、取扱い詳細を参照しながら必要事項を入力し、完成したものを A 4 用紙に印刷すること。
（電子データの提出は不要）

手順③　「履修申込書」の提示（確認）（上記申込期間内）
必要事項を入力し、印刷した「履修申込書」（A 4 用紙）を教職教育研究センター（上ケ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス）に提示し受付印を押印してもらう。

手順④　「履修申込書」の提出（上記申込期間内）
手順③で押印を受けた「履修申込書」（A 4 用紙）を各自の所属学部事務室へ提出する。

※事前に申込が必要な授業科目の履修を申し込む場合は、上記「履修申込書」を提出するだけでは履修できないので、各自で授業を履修するために必要な申込手続きを行うこと。申込制科目名、申込手続き方法、手続き期間等の詳細については、各自で受け入れ学部に確認すること。

（3）　履修許可科目の確認

日　時：［通年・春学期科目］　4月8日（木）
［秋学期科目］　9月21日（火）

場　所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3　「理科」、「数学」、「情報」、「保健体育」、「福祉」（福祉は2018年度以前入学生のみ）の取り扱いについて

（1）　理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。
（2）　理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。
（3）　総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。
（4）　人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。
（5）　人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※　なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・特別支援学校教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

12. 2021年度 「博物館実習」履修について

Ⅰ　先修条件・履修者数制限

1　2021年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。
「博物館概論」２単位、「博物館経営論」２単位、「博物館資料論」２単位、
「博物館教育論」２単位、の計４科目８単位を修得すること。

2　上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。

3　先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が70名を超える場合は、履修者数制限を行う。その方法は以下のとおりとする。

（１）　４年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて３年生から先修科目の成績およびクラス希望を勘案し選考する。

（２）　選考は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

Ⅱ　2021年度「博物館実習」履修希望者の手続き

1　オリエンテーション出席
日　時：４月１日(木)　13：30～14：30
場　所：第４別館　202号教室（上ケ原キャンパス）

2　履修者発表の確認
(オリエンテーション出席者が70名を、上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。)
日　時：４月５日(月)　9：00
場　所：(上ケ原キャンパス)　　教職教育研究センター掲示板
(神戸三田キャンパス)　教職教育研究センター掲示板

(以下は履修が認められた者の手続きである。)

3　実習費納入・履修申し込み
日　時：４月５日(月)～６日(火)
場　所：(上ケ原キャンパス)　　教職教育研究センター
(神戸三田キャンパス)　教職教育研究センター
※提出は上ケ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方　法：実習費金額(8,000円)の申請書を証明書自動発行機(学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパスⅠ・Ⅵ号館、(聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス))で購入し、オリエンテーションの際に配付する実習生カード（要　写真　3.5×4.0 cm）とともに提出すること。

4　許可されたクラスの第１回授業に必ず出席すること。

13. 教職課程における「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する専門的事項（2019年度以降入学生）」、「教科に関する科目（2018年度以前入学生）」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録をすること。

14. 履修の中止について

授業開始後約２ヶ月の時点において、各学部等が定めた科目において、教学 Web サービスから所定の手続きをすることにより履修の中止をすることができる。スケジュールについては、「１．履修登録の方法」を参照。

理工学部提供科目で履修中止ができない科目

実験・実習科目、演習科目および事前申込科目（ただし、一部の演習科目を除く）

履修登録開始前に「履修中止ができない科目」の一覧を教学 Web サービスに掲出するので各自確認すること。

15. 2021年度　全学科目予備登録スケジュール（神戸三田キャンパス）

【春学期】

担当窓口	共通教育センター		スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）	言語教育研究センター	国際教育・協力センター（CIEC）、日本語教育センター		教職教育研究センター
3/22（月）								●免許状取得のための他学部履修申込
3/23（火）			●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込　受付》 対象：教育職員免許状取得のために履修する必要のある３年生以上の未履修者					●免許状取得のための他学部履修申込
3/24（水）			対象科目： 「体育方法学講義Ｃ」 「体育方法学演習Ｃ」のみ ▼Web 受付のみ 3/23(火) 9:00～ 3/24(水)16:50					●免許状取得のための他学部履修申込
3/25（木）								●免許状取得のための他学部履修申込
3/26（金）			《優先申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表					●免許状取得のための他学部履修申込
4/1（木）	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ●AI 活用人材育成科目の全科目 ●「関学」学１ ●人権教育科目004・010・013 ●災害復興学Ａ ●総合コース808 ●連携講座006・008・009・014 ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 センター科目： １～４年生対象 ▼4/1(木)～4/7(水) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼4/20(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ●コンソーシアムひょうご神戸講座 申込受付期間・履修者発表については教学 Web サービスでお知らせします。 ▼教務機構事務部 ●EUIJ プログラム 《申込受付》 ▼4/1(木)～4/15(木) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学Ｗeb サービスでお知らせします。 受付時間（全科目共通） （平日） 9:00～11:30 12:30～16:50	《一般申込　受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目　全科目 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事Ａ ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●キャリアゼミＡ ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベーシックＡ ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ●PBL 特別演習007 【阪急阪神 HD (株)と挑む社会課題】 ●PBL 特別演習009 【三木市・旧市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●Skills-based English ●Special English Seminar ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●基礎フランス語Ⅰ ●フランス語アラカルト（聞く・話す）Ａ ●日本手話初級Ⅰ ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※1　フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特例措置希望者は言語教育研究センター事務室（教務機構事務部、上ケ原キャンパス）にて申込 4/1(木) 9:00～ 4/2(金)16:50	（英語スコアの事前登録が必要な科目） ●総合日本学習科目 ●CCC Introduction to Multicultural Studies ▼Web 受付＆オンラインフォームでの英語スコア提出 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※申し込み最終日までに英語スコア表をオンラインフォームにて提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 （英語スコアの事前登録が不要な科目） ●多文化共修科目 ●English for Cross-Cultural Studies Ａ ●Topics in Canadian Studies Ｃ・Ｄ ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバル社会の課題と持続可能な未来 ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50 ※その他プログラムの申込方法については CIEC ホームページまたは「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語Ａ ●ビジネス日本語Ｂ ●ビジネス日本語Ｃ ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 4/1(木) 9:00～ 4/3(土)16:50	●博物館実習オリエンテーション（３年生以上、西宮上ケ原キャンパス）
4/2（金）								●教育実習２次登録（４年生）
4/3（土）								●教育実習２次登録（４年生）
4/5（月）								《博物館実習履修者発表》 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ●教育実習２次登録（４年生）
4/6（火）								●博物館実習履修申込 ●教育実習２次登録（４年生）
4/7（水）	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表		《一般申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30 《追加申込　履修者発表》 17:00　Web でのみ発表	●３年生対象　教育実習オリエンテーションⅠ ●介護等体験事前指導（３年生以上） ●教職課程・博物館学芸員課程・学校図書館司書教諭課程・国際バカロレア教員養成プログラム等説明会（新入生対象）
4/8（木）								《免許状取得のための他学部履修許可発表》　各学部
随時				●ライフ・キャリアリーダーシップ実習 ●インターンシップ実習 ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●キャリアゼミＢ ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●PBL 特別演習002 【JETRO×産業研究所連携講座】 ●PBL 特別演習008 【福島で学ぶ復興と原発問題】 ・募集要項公開： ４月より随時公開ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：４月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2021年度全学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラム、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web、各科目個別の募集要項等で案内。

【秋学期】

「教学 Web サービス」は、2021年夏に新しいポータルサイトに移行します。
アクセス方法など詳細は、2021年夏までに教学 Web サービス等でお知らせします。

担当窓口	共通教育センター		スポーツ科学・健康科学教育プログラム室	ハンズオン・ラーニングセンター（HoLC）	言語教育研究センター	国際教育・協力センター（CIEC）、日本語教育センター		教職教育研究センター
8/27（金）								●免許状取得のための他学部履修申込
8/30（月）								●免許状取得のための他学部履修申込
8/31（火）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/1（水）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/2（木）								●免許状取得のための他学部履修申込
9/6（月）			●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込　受付》 対象：教育職員免許状取得のために履修する必要のある３年生以上の未履修者 対象科目： 「体育方法学講義Ｃ」 「体育方法学演習Ｃ」のみ ▼Web 受付のみ 9/6(月）9:00～ 9/7(火)16:00					●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 9/6(月）9:00～ 9/7(火)16:00
9/7（火）								●教職実践演習申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで
9/9（木）	●情報科学科目のうち、「文科系学生のための情報技術入門」、「情報技術概論」を除く全科目 ● AI 活用人材育成科目の全科目 ●「関学」学２ ●人権教育科目005・009・017 ●災害復興学Ｂ ●スタディスキルセミナー ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00		《優先申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 《一般申込　受付》 対象者：全学部生 対象科目：スポーツ科学・健康科学科目　全科目 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	●ライフ・キャリア概論 ●ライフデザインと仕事Ａ ●ライフデザインと仕事Ｂ ●ライフ・キャリア入門演習 ●ライフ・キャリア実践演習 ●ライフ・キャリア発展演習 ●ハンズオン・プラクティス ●社会探究入門 ●社会探究リサーチ・ベーシックＢ ●社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ ● PBL 特別演習004 【富士ゼロックス兵庫㈱『志プロジェクト』】 ● PBL 特別演習005 【アントレプレナー養成講座】 ● PBL 特別演習009 【三木市・市街地 FW】 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	●Skills-based English ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級　※1 ●フランス語アラカルト（聞く・話す）Ａ ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※1　フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級の先修条件特例措置希望者は言語教育研究センター事務室（教務機構事務部、上ケ原キャンパス）にて申込 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	(英語スコアの事前登録が必要な科目) ●総合日本学習科目 ●CCC Introduction to Multicultural Studies ●CCC Introduction to International Relations ▼Web 受付&オンラインフォームでの英語スコア提出 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※申し込み最終日までに英語スコア表をオンラインフォームにて提出してください。ただし、すでに CIEC あるいは言語教育研究センターでスコア登録を行っている場合は再度の提出は不要です。 (英語スコアの事前登録が不要な科目) ●多文化共修科目 ●English for Cross-Cultural Studies Ｂ ●Topics in Canadian Studies Ａ・Ｂ ●国際情報分析 ●プロジェクトマネジメントⅠ ●グローバル社会の課題と持続可能な未来 ●グローバルスタディーズ入門 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※その他プログラムの申込方法については CIEC ホームページまたは「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照のこと	●ビジネス日本語Ａ ●ビジネス日本語Ｃ ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00	《教職実践演習履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ●教職実践演習　追加申込 ▼Web 受付のみ 9/9(木)　9:00～ 9/10(金)16:00 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。
9/10（金）								●教職実践演習　追加申込 ▼Web 受付のみ 16:00まで
9/14（火）		●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 センター科目： １～４年生対象 ▼9/14(火)～9/21(火) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 《履修者発表》 センター科目 ▼10/5(火)9:00 教学 Web サービスで発表 ●EUIJ プログラム 《申込受付》 ▼9/15(水)～9/24(金) 教務機構事務部 ※日程が変更になる場合は教学 Web サービスでお知らせします。 受付時間（全科目共通） （平日） 9:00～11:30 12:30～16:50							
9/15（水）	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に発表（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たない科目・クラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30		《一般申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《履修者発表》 9:00　Web でのみ発表 ■追加申込対象科目は、教学 Web サービス「お知らせ」に表示（予定） ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。 《追加申込受付》 ▼Web 受付のみ 9:00～11:30	《追加申込　教職実践演習履修者発表》 9:00　Web でのみ発表
9/16（木）	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表		《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	《追加申込　履修者発表》 9:00　Web でのみ発表	
9/18（土）								●３年生対象 教育実習オリエンテーションⅡ（西宮上ケ原キャンパス） ●介護等体験事前指導（後期・３年生以上、西宮上ケ原キャンパス） ●教職課程・博物館学芸員課程・学校図書館司書教諭課程・国際バカロレア教員養成プログラム等説明会（西宮上ケ原キャンパス）
9/21（火）								《免許状取得のための他学部履修許可発表》　各学部
随時				●インターンシップ実習 ●ハンズオン・インターンシップⅠ・Ⅱ ●ハンズオン・アドバンストⅠ ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（瀬戸内海・豊島環境 FW） ●社会探究実習Ⅰ・Ⅱ（広島・江田島平和 FW） ●キャリアゼミＣ ●霞が関セミナー ・募集要項公開： ９月より随時公開 ハンズオン・ラーニングセンター窓口および教学 Web サービスにて入手可 ・説明会：９月～随時実施 ・申し込み受付：詳細は「2021年度全学科目申込・履修についての諸注意」を参照のこと				

西宮市大学共通単位講座、EUIJ プログラムは、Web での申込はできない。
西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目、オンキャンパス科目は各参加大学で実施される科目をさす。
国連・外交関連プログラム室開講科目の申込スケジュールは教学 Web（※）、各科目個別の募集要項等で案内。（※2021年夏に新しいポータルサイトに移行予定）

Ⅴ　試験と成績の評価

1．試　験

「成績評価・試験規程」および「理工学部内規」をよく確認しておくこと。

・試験は中間試験、定期試験と追試験に分けられる。これら以外にも、授業担当者が随時テストを行ったり、リポートの提出を求めたりする場合がある。
・定期試験は春・秋学期末に一定の時間割により行われる。また、中間試験は、通年開講の科目について春学期末に行われる。
・追試験は、定期試験に際して、（１）二親等以内の親族の死亡、（２）本人の病気、（３）試験当日の事故、（４）学校において予防すべき感染症による登校停止、（５）裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合、（６）公共交通機関の遅延又は運行停止等、（７）学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合、（８）その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの。上記（１）、（４）、（５）、（６）、（７）の場合を除き追試験の評点は20％を減じる。（１）～（６）及び（８）については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、（７）については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。
・全学開講科目の試験に関しては、科目を開講しているセンター等に確認をすること。
・他学部開講の科目を履修したときは、開講学部の試験内規に従って受験することになる。
・講義を実施しているキャンパスと試験を実施するキャンパスが異なる場合があるので、注意すること。
・定期試験は、開始の10分前を目途に注意事項を伝達する。余裕をもって、着席しておくこと。

2．リポート

履修科目の成績評価は試験の他、リポートによる場合もある。したがって、リポートは、試験と同等に重要なものである。作成要領、提出期限等は必ず守ること。

（１）　提出方法
（ア）　担当者に直接提出するもの……担当者の指示に従うこと。
（イ）　事務室に提出するもの……リポート受領証を渡すので、その学期の成績発表が終了するまで保存すること。

（２）　用紙の種類
掲示や講義における授業科目担当者の指示に従うこと。

（３）　綴じ方
表紙を付け指定箇所を綴じる。授業科目名（クラス名がある場合はクラス名を含む）、担当者名、学年、学生番号、氏名を必ず明記すること。

（４）　提出締め切り期限に遅れたリポートは受領しない。各自、余裕をもって提出すること。
担当者から特に指定がない場合、レポートはＡ４サイズの用紙を使用すること。

3．成績評価

1　成績評価は、秀又はＳ（90点以上）・優又はＡ（80点以上）・良又はＢ（70点以上）・可又はＣ（60点以上）、及び、不可又はＦ（60点未満）とし、秀又はＳ・優又はＡ・良又はＢ、及び、可又はＣを合格とする。
2　グレードポイントは、秀又はＳ（90点以上）は４、優又はＡ（80点以上）は３、良又はＢ（70点以上）は２、可又はＣ（60点以上）は１、及び、不可又はＦ（60点未満）は０とする。

4.「剽窃」について

リポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を「剽窃（ひょうせつ）」することは、絶対にしてはならない行為です。

学生として許されるべき行為でないだけでなく、違法行為ともなりえます。剽窃は「不正行為」として当該科目の成績、または特に悪質な場合は全科目の成績が無効となる場合がありますので、リポート等作成および提出の際は十分注意してください。

「剽窃」とはなにか

他の人によって書かれた論文、概念、文章などの著作（特に、他の人によって書かれた著作）の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

文章全体を写すのではなく、表現を変えたりするなどして他人の文章のように書いたとしても「剽窃」とみなされます。

インターネット上のテキストの一部をコピー＆ペーストし、表現を変えるなどして自分の意見のように書くことも「剽窃」とみなされます。

正しい「引用」をしましょう

リポートや論文の作成のために、他人の文章を用いる場合は必ずそれが引用であることを明記しなければなりません。どこまでが「他者が記述した内容」の紹介で、どこからが「自分の考え」かをはっきりさせることが必要です。

故意ではなく、不注意で行った場合も「剽窃」に変わりはありません。
決して「剽窃」をおこなわないように十分に気を付けてください。

Ⅵ　履修登録参考資料

理工学部のカリキュラムは、学科ごとに独自の構成となっており、学科別に特色のある履修体系となっている。学生諸君が自覚と意欲を持って、各学科の卒業生にふさわしい能力を身につけることができるように計画的な履修を進めていくことが大切である。

低学年の間は、専門への基礎固めが中心であるため、時間割の自由度はどうしても少なくなるが、高学年へ進むにつれて多様な学習が可能となっていく。

各自で、教員の研究内容を大学案内などで参照し、自分のやりたい研究テーマを見据えて、計画的な履修を行うこと。

以下の資料は履修計画を立てる上で参考にして欲しい。

【資料１】理工学部学則別表（教育課程表）

理工学部の総合教育科目カリキュラムと各学科カリキュラムを、履修基準年度別、必修科目・選択必修科目・選択科目別に掲載したもの。Ⅱ 授業科目と単位―４．卒業に必要な単位数も合わせて確認すること。

【資料２】卒業可否の確認方法について

卒業可否は学生自身が責任を持って確認する必要があるため、教職員に確認してもらうことはできない。そのため、勘違いや計算ミスがないよう、自身で正確に判断する必要がある。そこで、「２．理工学部学則別表（教育課程表）」を活用した、比較的シンプルな確認方法の例を紹介するので、参考にすること。

〈卒業可否確認方法の例〉

①単位を修得した科目を**見え消し**で消し込んでいく。

②各カテゴリの修得単位数（見え消しとなった単位数）を、「**修得単位数／必要単位数**」という形で表す。

例：10/14、26/20　等

③卒業に必要な単位のルールに基づき確認する。特定のカテゴリの余剰単位を別のカテゴリに充当する場合、その動きを矢印で表す。

数理科学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目					履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	基礎科目	コンピュータ科目	数学コース科目	応用数理コース科目	自由選択科目	
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年	100 キリスト教学Ａ 2 100 キリスト教学Ｂ 2	110 英語リーディングＩＡ 1 110 英語リーディングＩＢ 1 110 英語ライティングＩＡ 1 110 英語ライティングＩＢ 1 110 英語コミュニケーションＩＡ 1 110 英語コミュニケーションＩＢ 1 入門英語ＩＡ（＊1） 1 入門英語ＩＢ（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1	111 数学入門演習 2 111 微分積分Ⅰ 4 111 微分積分Ⅱ 4 111 線形代数Ⅰ 4 111 線形代数Ⅱ 4 111 基礎物理学Ａ 2 111 基礎物理学Ｂ 2	112 コンピュータ演習Ａ 2			126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 海外理工学プログラムＡ 1 126 海外理工学プログラムＢ 2 126 海外理工学プログラムＣ 3 126 国内協定大学科目 1~8	46 春；23 秋；23
2年		210 英語リーディングⅡＡ 1 210 英語リーディングⅡＢ 1 210 英語ライティングⅡＡ 1 210 英語ライティングⅡＢ 1 210 英語コミュニケーションⅡＡ 1 210 英語コミュニケーションⅡＢ 1 入門英語ⅡＡ（＊3） 1 入門英語ⅡＢ（＊4） 1	120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2	211 基礎解析学Ⅰ 4 211 基礎解析学Ⅱ 2 211 関数論入門 2 211 集合と位相 4 211 確率統計入門 2 211 応用数理入門 2 211 代数入門 2 211 幾何入門 2	212 数式処理演習Ⅰ 2 212 数式処理演習Ⅱ 2				46 春；23 秋；23
3年			120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	311 解析学Ⅰ 4 311 解析学Ⅱ 4 311 常微分方程式 2 311 偏微分方程式 2 311 複素解析 2 311 確率統計Ⅰ 2 311 確率統計Ⅱ 2 311 応用数理Ⅰ 2 311 幾何学Ⅰ 4 311 幾何学Ⅱ 4 311 代数学Ⅰ 4 311 代数学Ⅱ 4	312 統計コンピュータ演習 2 312 シミュレーション演習 2			326 科学技術英語Ａ 2 326 科学技術英語Ｂ 2 326 千刈集中英語実習 2	48 春；24 秋；24
4年						413 解析学Ⅲ 2 413 解析学Ⅳ 2 414 幾何学Ⅲ 2 414 幾何学Ⅳ 2 413 代数学Ⅲ 2 414 代数学Ⅳ 2 413 応用数理Ⅱ 2 414 数学特別演習Ⅰ 4 414 数学特別演習Ⅱ 4	413 解析学Ⅲ 2 413 解析学Ⅳ 2 413 応用数理Ⅱ 2 415 応用数理Ⅲ 2 415 確率統計Ⅲ 2 415 確率統計Ⅳ 2 413 代数学Ⅲ 2 415 応用数理特別演習Ⅰ 4 415 応用数理特別演習Ⅱ 4		48 春；24 秋；24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	56	4	14（数学コース）	14（応用数理コース）	22	
				※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、数学コース科目、応用数理コース科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、自由選択科目に算入することができる。					
	32			96					
	128								

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

物理学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目						履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	物理系科目				数学系科目	自由選択科目	
				卒業研究科目	コア科目	実験科目	選択科目			
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2		112 力学Ⅰ 2		114 物理学序論 2 114 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 114 サブゼミ 2 114 宇宙物理学入門 2	115 微積分学Ⅰ 2 115 微積分学Ⅱ 2 115 線形代数学Ⅰ 2 115 線形代数学Ⅱ 2	126 化学概論 2 126 基礎化学C 2 126 生命科学Ⅰ 2 126 生命科学Ⅱ 2 126 生命科学入門実験 2 126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 コンピュータ演習A 2 126 コンピュータアーキテクチャ 2 126 海外理工学プログラムA 1 126 海外理工学プログラムB 2 126 海外理工学プログラムC 3 126 国内協定大学科目 1~8	49 春：25 秋：24
3年 4年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1	120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2		212 力学Ⅱ 2 212 電磁気学Ⅰ 2 212 電磁気学Ⅱ 2 212 量子力学Ⅰ 2	213 基礎物理学実験Ⅰ 2 213 基礎物理学実験Ⅱ 2 101 基礎化学実験Ⅰ 2	214 デモンストレーション物理学Ⅱ 2 214 解析力学 2 214 熱力学 2 214 基礎物理学演習 2	215 物理のための幾何入門 2 215 線形代数学Ⅲ 2 215 関数論入門 2 215 物理と確率 2 215 物理数学Ⅰ 2	226 基礎地学Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅱ 2	49 春：25 秋：24
					312 量子力学Ⅱ 2 312 量子力学Ⅲ 2 312 熱統計力学Ⅰ 2 312 熱統計力学Ⅱ 2	313 物理学実験Ⅰ 3 313 物理学実験Ⅱ 3	314 電気力学 2 314 構造物性学 2 314 固体電子論 2 314 特殊相対論 2 314 連続体力学 2 314 生物物理学 2 314 物理学演習 2 314 物質構造論 2 314 宇宙物理学 2	315 物理数学Ⅱ 2	326 コンピュータ演習B 2 326 数値計算 2 326 科学技術英語A 2 326 科学技術英語B 2 326 千刈集中英語実習 2 326 地学実験A 1	49 春：25 秋：24
				401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8			414 現代統計物理学 2 414 光物性物理学 2 414 高エネルギー物理学 2 414 赤外線天文学 2 414 X線天文学 2 414 電波天文学 2 414 研究学概論 2			49 春：25 秋：24
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4)は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	12	14	8	24	14	24	
					※卒業必要単位数を超えて修得した物理系科目、数学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、自由選択科目に算入することができる。					
	32			96						
	128									

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

先進エネルギーナノ工学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目 必修科目	総合教育科目 自由選択科目	専門教育科目 必修科目	専門教育科目 選択必修科目 基礎科目	実験科目	発展科目	先端科目	境界領域科目	専門教育科目 自由選択科目	履修制限
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年	100 キリスト教学A 2	120 ドイツ語読解Ⅰ 1	101 先進エネルギーナノ工学入門 2	112 線形代数学Ⅰ 2	113 基礎化学実験Ⅰ 2	114 ナノケミストリーⅠ 2		116 基礎化学A 2	127 生命科学入門実験 2	48 春；24 秋；24
	100 キリスト教学B 2	120 ドイツ語読解Ⅱ 1		112 微積分学Ⅰ 2				116 物理学序論 2	127 生命科学Ⅰ 2	
	100 英語リーディングⅠA 1	120 フランス語読解Ⅰ 1		112 力学Ⅰ 2				116 線形代数学Ⅱ 2	127 コンピュータ演習A 2	
	100 英語リーディングⅠB 1	120 フランス語読解Ⅱ 1						116 微積分学Ⅱ 2	127 生命科学Ⅱ 2	
	100 英語ライティングⅠA 1	120 ドイツ語文法Ⅰ 1						116 デモンストレーション物理学Ⅰ 2	127 海外理工学プログラムA 1	
	100 英語ライティングⅠB 1	120 ドイツ語文法Ⅱ 1						116 基礎化学B 2	127 海外理工学プログラムB 2	
2年	100 英語コミュニケーションⅠA 1	120 フランス語文法Ⅰ 1						116 基礎化学C 2	127 海外理工学プログラムC 3	
	100 英語コミュニケーションⅠB 1	120 フランス語文法Ⅱ 1							127 国内協定大学科目 1~8	
3年	200 英語リーディングⅡA 1	120 哲学 2		212 力学Ⅱ 2	213 基礎物理学実験Ⅰ 2	214 ナノケミストリーⅡ 2		216 デモンストレーション物理学Ⅱ 2	227 基礎地学Ⅰ 2	49 春；24 秋；25
	200 英語リーディングⅡB 1	120 論理学 2		212 物理数学Ⅰ 2	213 基礎物理学実験Ⅱ 2	214 エネルギー材料熱力学 2		216 線形代数学Ⅲ 2	227 環境政策論 2	
	200 英語ライティングⅡA 1	120 西洋史 2		212 電磁気学Ⅰ 2		214 エネルギー材料熱力学演習 2			227 基礎地学Ⅱ 2	
	200 英語ライティングⅡB 1	120 心理学 2		212 電磁気学演習Ⅰ 2		214 ナノ物性量子力学Ⅰ 2			227 環境経済学 2	
	200 英語コミュニケーションⅡA 1	120 社会学 2		212 物理数学Ⅱ 2		214 ナノ物性量子力学演習Ⅰ 2				
	200 英語コミュニケーションⅡB 1	120 法学 2		212 電磁気学Ⅱ 2						
		120 日本国憲法 2		212 電磁気学演習Ⅱ 2						
4年		120 経済学 2	301 ものづくり理工学実験Ⅰ 3	312 物理数学Ⅲ 2		314 ナノ物性量子力学Ⅱ 2	315 物質設計ナノ工学 2		327 地学実験A 1	49 春；25 秋；24
		120 自然科学史 2	301 ものづくり理工学実験Ⅱ 3	312 構造物性学 2		314 ナノ物性量子力学演習Ⅱ 2	315 プロセス設計ナノ工学 2		327 科学技術英語A 2	
		120 科学倫理 2		312 固体電子論 2		314 統計熱力学 2	315 エネルギー変換と電気化学 2		327 千刈集中英語実習 2	
		120 環境学 2				314 ナノケミストリーⅢ 2	315 エネルギー電気・電子回路工学 2		327 コンピュータ演習B 2	
		120 サイバー社会入門 2					315 エネルギー半導体工学 2		327 科学技術英語B 2	
		120 芸術と技術 2							327 量子力学Ⅲ 2	
		120 地誌学 2	〈卒業研究科目〉				415 先進エネルギーナノ工学詳論 2			49 春；25 秋；24
			401 外国書講読 2				415 極限環境プロセッシング 2			
			401 輪講 2				415 ナノスケール分析科学 2			
			401 卒業実験及び演習 8							
卒業必要単位数	16	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	20	20	4	14	10	10	18	
				※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、実験科目、発展科目、先端科目、境界領域科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、自由選択科目に算入することができる。						
	32		96							
	128									

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

理工学部　教育課程表（2018年度入学生用）

化学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目					履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	必修科目	選択必修科目			自由選択科目	
					基礎科目	物理分析化学科目	有機無機化学科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA（＊1） 1 入門英語ⅠB（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2	101 基礎化学実験Ⅰ 2 101 基礎化学実験Ⅱ 2	112 基礎化学A 2 112 基礎化学B 2 112 基礎化学C 2 112 基礎物理学A 2 112 基礎物理学B 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 微積分学Ⅱ 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 線形代数学Ⅱ 2 112 コンピュータ演習A 2 112 生命科学Ⅰ 2 112 生命科学Ⅱ 2 112 情報科学概論 2			125 海外理工学プログラムA 1 125 海外理工学プログラムB 2 125 海外理工学プログラムC 3 125 国内協定大学科目 1~8	49 春：25 秋：24
3年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA（＊3） 1 入門英語ⅡB（＊4） 1	120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	201 無機分析化学実験 4	212 基礎物理学C 2 212 基礎物理学D 2 212 線形代数学Ⅲ 2 101 生命科学入門実験 2 212 基礎物理学実験Ⅰ 2	213 分析化学Ⅰ 2 213 物理化学Ⅰ 2 213 物理化学Ⅱ 2 213 物理化学Ⅲ 2	214 無機化学Ⅰ 2 214 無機化学Ⅱ 2 214 有機化学Ⅰ 2 214 有機化学Ⅱ 2 214 有機化学Ⅲ 2	225 基礎地学Ⅰ 2 225 基礎地学Ⅱ 2 225 化学演習Ⅰ 2 225 化学演習Ⅱ 2 225 高分子化学 2	48 春：24 秋：24
4年				301 物理化学実験 4 301 有機化学実験 4	312 化学数学 2	313 分析化学Ⅱ 2 313 物理化学Ⅳ 2 313 物理化学Ⅴ 2 313 物理化学Ⅵ 2	314 無機化学Ⅲ 2 314 無機化学Ⅳ 2 314 有機化学Ⅳ 2 314 有機化学Ⅴ 2 314 有機化学Ⅵ 2 314 有機化学Ⅶ 2	325 化学演習Ⅲ 2 325 化学演習Ⅳ 2 325 量子化学 2 325 地学実験A 1 325 環境分析化学 2 325 科学技術英語A 2 325 科学技術英語B 2 325 千刈集中英語実習 2	48 春：24 秋：24
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8					49 春：25 秋：24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄参入することができる。	28	24	10	14	20	
					※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、物理分析化学科目、有機無機化学科目び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。				
	32			96					
	128								

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

環境・応用化学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目 必修科目		総合教育科目 自由選択科目		専門教育科目 必修科目		専門教育科目 選択必修科目 数学・物理科目		専門教育科目 選択必修科目 地学・生命・情報科目		専門教育科目 選択必修科目 基礎科目		専門教育科目 選択必修科目 発展科目		専門教育科目 自由選択科目		履修制限
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
1年	100 キリスト教学A	2	120 ドイツ語読解Ⅰ	1	101 基礎化学A	2	112 線形代数学Ⅰ	2	113 生命科学Ⅰ	2					126 環境倫理	2	49 春；25 秋；24
	100 キリスト教学B	2	120 ドイツ語読解Ⅱ	1	101 基礎化学B	2	112 線形代数学Ⅱ	2	113 生命科学Ⅱ	2					126 自然環境論	2	
	100 英語リーディングⅠA	1	120 フランス語読解Ⅰ	1	101 基礎化学C	2	112 微積分学Ⅰ	2	113 生命科学入門実験	2					126 海外理工学プログラムA	1	
	100 英語リーディングⅠB	1	120 フランス語読解Ⅱ	1	101 環境化学	2	112 微積分学Ⅱ	2	113 コンピュータ演習A	2					126 海外理工学プログラムB	2	
	100 英語ライティングⅠA	1	120 ドイツ語文法Ⅰ	1	101 基礎化学実験Ⅰ	2	112 基礎物理学A	2							126 海外理工学プログラムC	3	
	100 英語ライティングⅠB	1	120 ドイツ語文法Ⅱ	1	101 基礎化学実験Ⅱ	2	112 基礎物理学B	2							126 国内協定大学科目	1~8	
	100 英語コミュニケーションⅠA	1	120 フランス語文法Ⅰ	1													
	100 英語コミュニケーションⅠB	1	120 フランス語文法Ⅱ	1													
2年	200 英語リーディングⅡA	1	120 哲学	2	201 基礎物理学実験Ⅰ	2	212 線形代数学Ⅲ	2	213 基礎地学Ⅰ	2	214 無機化学	2	215 発展物理化学	2	226 地球環境科学実験	2	48 春；24 秋；24
	200 英語リーディングⅡB	1	120 論理学	2			212 基礎物理学C	2	213 基礎地学Ⅱ	2	214 量子化学	2	215 発展有機化学	2			
	200 英語ライティングⅡA	1	120 西洋史	2			212 基礎物理学D	2			214 化学熱力学	2					
	200 英語ライティングⅡB	1	120 心理学	2							214 有機反応論	2					
	200 英語コミュニケーションⅡA	1	120 社会学	2							214 有機構造論	2					
3年	200 英語コミュニケーションⅡB	1	120 法学	2							214 反応速度論	2					
			120 日本国憲法	2							214 高分子化学	2					
			120 経済学	2							214 地球環境化学	2					
			120 自然科学史	2							214 分析化学	2					
4年			120 科学倫理	2	301 環境・応用化学実験Ⅰ	9							315 錯体化学	2	326 科学技術英語A	2	49 春；25 秋；24
			120 環境学	2	301 環境・応用化学実験Ⅱ	9							315 応用物理化学	2	326 科学技術英語B	2	
			120 サイバー社会入門	2									315 分光学	2	326 千刈集中英語実習	2	
			120 芸術と技術	2									315 合成有機化学	2			
			120 地誌学	2									315 応用有機化学	2			
													315 環境有機材料化学	2			
													315 応用物性化学	2			
													315 応用地球化学	2			
													315 応用量子化学	2			
													315 環境分析化学	2			
													315 地球物質科学	2			
													315 有機工業化学	2			
					〈卒業研究科目〉												49 春；25 秋；24
					401 外国書講読	2											
					401 輪講	2											
					401 卒業実験及び演習	8											
卒業必要単位数	16		16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。		44		10		4		14		16		8		
							※卒業必要単位数を超えて修得した数学・物理科目、地学・生命・情報科目、基礎科目、発展科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。										
	32				96												
	128																

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

生命科学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目						履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	必修科目	選択必修科目				自由選択科目	
					基礎科目	発展科目	先端科目	生命医化学科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA（＊1） 1 入門英語ⅠB（＊2） 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2	101 生命科学Ⅰ 2 101 生命科学Ⅱ 2 101 生命科学入門実験 2 101 生命有機化学 2	112 生命科学倫理 2 112 化学概論 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 基礎物理学A 2 112 基礎物理学B 2 112 基礎化学A 2 112 基礎化学B 2 112 基礎化学C 2 112 基礎化学実験Ⅰ 2 112 コンピュータ演習A 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 プログラミング演習 2 112 サブゼミ 2 112 臨海実験 2				126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 自然環境論 2 126 海外理工学プログラムA 1 126 海外理工学プログラムB 2 126 海外理工学プログラムC 3 126 国内協定大学科目 1~8	49 春；25 秋；24
3年 4年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA（＊3） 1 入門英語ⅡB（＊4） 1	120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	201 細胞・組織学実験 3 201 生命分子・生化学実験 3	212 系統分類学 2	213 生命工学 2 213 生化学 2 213 薬理学 2 213 分子遺伝学 2 213 発生生物学 2 213 生命代謝化学 2 213 微生物学 2 213 組織学 2 213 生物統計学 2 213 細胞学 2 213 生物分析化学 2 213 数理生物学 2 213 データ科学演習 2				226 基礎物理学実験Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅱ 2	48 春；24 秋；24
				301 先端生命科学実験Ⅰ 8 301 先端生命科学実験Ⅱ 8		313 バイオインフォマティクス 2	314 植物分子生物学 2 314 分子細胞生物学 2 314 器官形成学 2 314 植物分子生理学 2 314 遺伝子工学 2 314 生態システム学 2 314 染色体機能学 2 314 化学生態学 2 314 生物工学 2	315 再生医学 2 315 発癌分子機構学 2 315 環境医化学 2 315 免疫学 2 315 脳神経科学 2 315 医学統計学 2 315 エピゲノム医化学 2 315 病態生理学 2	326 地学実験A 1 326 科学技術英語A 2 326 科学技術英語B 2 326 千刈集中英語実習 2	49 春；25 秋；24
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8					426 先進エネルギーナノ工学詳論 2	49 春；25 秋；24
卒業必要単位数	4	12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	42	16	14	8	4	12 ※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命医化学科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。	
	32			96						
	128									

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

生命医化学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目 必修科目	総合教育科目 自由選択科目	専門教育科目 必修科目	専門教育科目 選択必修科目 基礎科目	専門教育科目 選択必修科目 発展科目	専門教育科目 選択必修科目 先端科目	専門教育科目 選択必修科目 生命科学科目	専門教育科目 自由選択科目	履修制限
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2 100 英語リーディングⅠA 1 100 英語リーディングⅠB 1 100 英語ライティングⅠA 1 100 英語ライティングⅠB 1 100 英語コミュニケーションⅠA 1 100 英語コミュニケーションⅠB 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2	101 生命科学Ⅰ 2 101 生命科学Ⅱ 2 101 生命科学入門実験 2 101 生命有機化学 2	112 生命科学倫理 2 112 化学概論 2 112 微積分学Ⅰ 2 112 基礎物理学A 2 112 基礎物理学B 2 112 基礎化学A 2 112 基礎化学B 2 112 基礎化学C 2 112 基礎化学実験Ⅰ 2 112 コンピュータ演習A 2 112 線形代数学Ⅰ 2 112 プログラミング演習 2 112 基礎医化学入門 2				126 情報科学概論 2 126 人間システム工学概論 2 126 臨海実験 2 126 自然環境論 2 126 海外理工学プログラムA 1 126 海外理工学プログラムB 2 126 海外理工学プログラムC 3 126 国内協定大学科目 1~8	49 春；25 秋；24
3年	200 英語リーディングⅡA 1 200 英語リーディングⅡB 1 200 英語ライティングⅡA 1 200 英語ライティングⅡB 1 200 英語コミュニケーションⅡA 1 200 英語コミュニケーションⅡB 1	120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 地誌学 2	201 基礎医化学実験Ⅰ 3 201 基礎医化学実験Ⅱ 3	212 系統分類学 2	213 生命工学 2 213 生化学 2 213 薬理学 2 213 分子遺伝学 2 213 発生生物学 2 213 生命代謝化学 2 213 微生物学 2 213 組織学 2 213 生物統計学 2 213 細胞学 2 213 数理生物学 2 213 データ科学演習 2			226 基礎物理学実験Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅰ 2 226 基礎地学Ⅱ 2	48 春；24 秋；24
4年			301 先端医化学実験Ⅰ 8 301 先端医化学実験Ⅱ 8		313 バイオインフォマティクス 2	314 再生医学 2 314 発癌分子機構学 2 314 環境医化学 2 314 免疫学 2 314 脳神経科学 2 314 医学統計学 2 314 エピゲノム医化学 2 314 病態生理学 2	315 植物分子生物学 2 315 分子細胞生物学 2 315 器官形成学 2 315 植物分子生理学 2 315 遺伝子工学 2 315 生態システム学 2 315 染色体機能学 2	326 地学実験A 1 326 科学技術英語A 2 326 科学技術英語B 2 326 千刈集中英語実習 2	49 春；25 秋；24
			〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習 8					426 先進エネルギーナノ工学詳論 2	49 春；25 秋；24
卒業必要単位数	16	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	42	16	14	8	4	12	
	32		96	※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、発展科目、先端科目、生命科学科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。					
	128								

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

情報科学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目							履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	必修科目	選択必修科目					自由選択科目	
					情報科学実習科目	人間システム工学実習・実験科目	基礎科目	発展科目	人間システム工学系科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2	101 情報科学概論 2 101 キャリアデザイン論 2 101 コンピュータ演習A 2 101 プログラミング実習Ⅰ 2			114 微積分学Ⅰ 2 114 線形代数学Ⅰ 2 114 論理回路 2 114 微積分学Ⅱ 2 114 線形代数学Ⅱ 2 114 離散数理 2 114 コンピュータアーキテクチャ 2	115 基礎物理学A 2 115 基礎物理学B 2	116 人間システム工学概論 2 116 ロボット工学序論 2	127 生命科学Ⅰ 2 127 生命科学Ⅱ 2 127 情報化社会と人間 2 127 メディア社会論 2 127 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 127 海外理工学プログラムA 1 127 海外理工学プログラムB 2 127 海外理工学プログラムC 3 127 国内協定大学科目 1~8	48 春:25 秋:23
2年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1	120 論理学 2 120 西洋史 2 120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2	201 プログラミング実習Ⅱ 2 201 プログラミング実習Ⅲ 2			214 情報科学のための確率・統計 2 214 情報科学のための数学演習 2 214 情報理論 2 214 ネットワーク 2 214 データ構造とアルゴリズム 2 214 データベース 2 214 形式言語とオートマトン 2 214 グラフ・ネットワーク理論 2	215 数理論理学 2 215 ディジタル信号処理 2	216 エルゴノミクスコンピューティング 2 216 制御工学 2 216 メディア信号処理 2 216 メディア・ロボット実験 2 216 デザイン論 2 216 メカトロニクス 2 216 ヒューマンコンピュータインタラクション 2 216 メディア工学基礎 2	227 基礎物理学実験Ⅰ 2 227 デモンストレーション物理学Ⅱ 2	48 春:25 秋:23
3年			120 科学倫理 2 120 環境学 2 120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	301 情報システム領域実習A(＊5) 1 301 ネットワークシステム領域実習A(＊5) 1 301 情報システム領域実習B(＊6) 1 301 ネットワークシステム領域実習B(＊6) 1	312 数理計画法実習 1 312 知識情報処理実習 1 312 情報理論実習 1 312 ディジタル信号処理実習 1 312 数式処理実習 1 312 グラフ・ネットワーク実習 1 312 データ構造とアルゴリズム実習 1 312 コンパイラ実習 1 312 ネットワーク実習 1 312 データマイニング実習 1 312 ネットワークコンピューティング実習 1	313 音声情報処理実習 1 313 音楽情報処理実習 1 313 認知情報処理実験 1 313 ユビキタスコンピューティング実験 1 313 画像情報処理実習 1 313 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 1 313 エルゴノミクスコンピューティング実習 1 313 感性情報処理実習 1 313 コンピュータグラフィックス実習 1 313 CAD/CAM/CAE 実習 1 313 ロボット工学実験 1 313 ヒューマンコンピュータインタラクション実験 1	314 情報処理技術演習 2	315 計算論 2 315 符号理論 2 315 オペレーティングシステム 2 315 コンパイラ 2 315 最適化理論 2 315 知識情報処理 2 315 ディジタル通信 2 315 モデリング物理学 2 315 計算幾何学 2 315 数値計算 2 315 ソフトウェア工学 2 315 データマイニング 2 315 ネットワークコンピューティング 2 315 暗号と情報セキュリティ 2 315 ネットワーク設計論 2	316 音楽情報処理 2 316 音声情報処理 2 316 画像情報処理 2 316 認知情報処理 2 316 感性情報処理 2 316 コンテンツテクノロジー 2 316 コンピュータグラフィックス 2 316 バーチャルリアリティ 2	327 科学技術英語A 2 327 科学技術英語B 2 327 千刈集中英語実習 2 327 確率統計Ⅰ 2 327 アーカイブ・デザイン 2 327 知的財産戦略論 2 327 サイバースペースの法と倫理 2 327 コンピュータ・アート 2	49 春:24 秋:25
4年				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習(情報システムコース)(＊7) 8 401 卒業実験及び演習(ネットワークシステムコース)(＊7) 8							49 春:24 秋:25
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4)は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	26 (＊5)、(＊6)、(＊7)はそれぞれ、いずれか一方を履修すること。	4	2	24	16	8	16	
		32		96	※卒業必要単位数を超えて修得した情報科学実習科目、人間システム工学実習・実験科目、基礎科目、発展科目、人間システム工学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。						
	128										

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

人間システム工学科　教育課程表（2018年度入学生用）

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目							履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	自由選択科目	必修科目	選択必修科目					自由選択科目	
					人間システム工学実習・実験科目	情報科学実習科目	基礎科目	発展科目	情報科学系科目		
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 キリスト教学A 2 100 キリスト教学B 2	110 英語リーディングⅠA 1 110 英語リーディングⅠB 1 110 英語ライティングⅠA 1 110 英語ライティングⅠB 1 110 英語コミュニケーションⅠA 1 110 英語コミュニケーションⅠB 1 入門英語ⅠA(＊1) 1 入門英語ⅠB(＊2) 1	120 ドイツ語読解Ⅰ 1 120 ドイツ語読解Ⅱ 1 120 フランス語読解Ⅰ 1 120 フランス語読解Ⅱ 1 120 ドイツ語文法Ⅰ 1 120 ドイツ語文法Ⅱ 1 120 フランス語文法Ⅰ 1 120 フランス語文法Ⅱ 1 120 哲学 2 120 論理学 2 120 西洋史 2	101 キャリアデザイン論 2 101 コンピュータ演習A 2 101 人間システム工学概論 2 101 人間システム工学のための数学演習Ⅰ 2 101 人間システム工学のための数学演習Ⅱ 2 101 プログラミング実習Ⅰ 2			114 微積分学Ⅰ 2 114 線形代数学Ⅰ 2 114 論理回路 2 114 微積分学Ⅱ 2 114 線形代数学Ⅱ 2 114 離散数理 2 114 コンピュータアーキテクチャ 2 114 ロボット工学序論 2		116 情報科学概論 2	127 基礎物理学A 2 127 基礎物理学B 2 127 生命科学Ⅰ 2 127 生命科学Ⅱ 2 127 情報化社会と人間 2 127 メディア社会論 2 127 デモンストレーション物理学Ⅰ 2 127 海外理工学プログラムA 1 127 海外理工学プログラムB 2 127 海外理工学プログラムC 3 127 国内協定大学科目 1～8	48 春：23 秋：25
3年		210 英語リーディングⅡA 1 210 英語リーディングⅡB 1 210 英語ライティングⅡA 1 210 英語ライティングⅡB 1 210 英語コミュニケーションⅡA 1 210 英語コミュニケーションⅡB 1 入門英語ⅡA(＊3) 1 入門英語ⅡB(＊4) 1	120 心理学 2 120 社会学 2 120 法学 2 120 日本国憲法 2 120 経済学 2 120 自然科学史 2 120 科学倫理 2 120 環境学 2	201 プログラミング実習Ⅱ 2 201 メディア工学基礎 2 201 メディア・ロボット実験 2			214 情報科学のための確率・統計 2 214 エルゴノミクスコンピューティング 2 214 制御工学 2 214 メディア信号処理 2 214 情報理論 2 214 データ構造とアルゴリズム 2 214 ヒューマンコンピュータインタラクション 2 214 プログラミング実習Ⅲ 2	215 メカトロニクス 2 215 デザイン論 2 215 データベース 2 215 ネットワーク 2	216 数理論理学 2 216 ディジタル信号処理 2 216 グラフ・ネットワーク理論 2 216 形式言語とオートマトン 2	227 基礎物理学実験Ⅰ 2 227 デモンストレーション物理学Ⅱ 2	46 春：25 秋：21
4年			120 サイバー社会入門 2 120 芸術と技術 2 120 近代日本とアジア 2 120 地誌学 2	301 映像音響システム領域実習A(＊5) 1 301 サイバーロボティクス領域実習A(＊5) 1 301 映像音響システム領域実習B(＊6) 1 301 サイバーロボティクス領域実習B(＊6) 1	312 音声情報処理実習 1 312 音楽情報処理実習 1 312 認知情報処理実験 1 312 ユビキタスコンピューティング実験 1 312 画像情報処理実習 1 312 デザイン・コンテンツテクノロジー実習 1 312 エルゴノミクスコンピューティング実習 1 312 感性情報処理実習 1 312 コンピュータグラフィックス実習 1 312 CAD/CAM/CAE 実習 1 312 ロボット工学実験 1 312 ヒューマンコンピュータインタラクション実験 1	313 数理計画法実習 1 313 知識情報処理実習 1 313 情報理論実習 1 313 ディジタル信号処理実習 1 313 数式処理実習 1 313 グラフ・ネットワーク実習 1 313 データ構造とアルゴリズム実習 1 313 コンパイラ実習 1 313 ネットワーク実習 1 313 データマイニング実習 1 313 ネットワークコンピューティング実習 1	314 情報処理技術演習 2	315 音楽情報処理 2 315 音声情報処理 2 315 画像情報処理 2 315 認知情報処理 2 315 感性情報処理 2 315 コンテンツテクノロジー 2 315 コンピュータグラフィックス 2 315 バーチャルリアリティ 2	316 計算論 2 316 符号理論 2 316 オペレーティングシステム 2 316 コンパイラ 2 316 最適化理論 2 316 知識情報処理 2 316 ディジタル通信 2 316 モデリング物理学 2 316 計算幾何学 2 316 数値計算 2 316 ソフトウェア工学 2 316 データマイニング 2 316 ネットワークコンピューティング 2 316 暗号と情報セキュリティ 2 316 ネットワーク設計論 2	327 科学技術英語A 2 327 科学技術英語B 2 327 千刈集中英語実習 2 327 確率統計Ⅰ 2 327 アーカイブ・デザイン 2 327 知的財産戦略論 2 327 サイバースペースの法と倫理 2 327 コンピュータ・アート 2	49 春：24 秋：25
				〈卒業研究科目〉 401 外国書講読 2 401 輪講 2 401 卒業実験及び演習（映像音響システムコース）(＊7) 8 401 卒業実験及び演習（サイバーロボティクスコース）(＊7) 8							49 春：24 秋：25
卒業必要単位数	4	12 (＊1)、(＊2)、(＊3)、(＊4) は、全学科目である。それぞれ、2回修得すること。	16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。	32 (＊5)、(＊6)、(＊7) はそれぞれ、いずれか一方を履修すること。	4	2	24	12	8	14	
					※卒業必要単位数を超えて修得した人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目、基礎科目、発展科目、情報科学系科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は自由選択科目に算入することができる。						
	32			96							
	128										

※授業科目名の前に付いている3桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・自由選択の別を、一の位は科目群を意味する。

理工学部　カリキュラム（2018年度入学生用）

卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉

履修基準年度	総合教育科目			専門教育科目					履修制限
	キリスト教科目	英語教育科目	総合選択科目	必修科目	基礎科目	コンピュータ科目	発展科目	専門選択科目	
	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	科目名 単位数	
1年 2年	100 ~~キリスト教学Ａ　2~~ 100 ~~キリスト教学Ｂ　2~~	110 ~~英語リーディングＩＡ　1~~ 110 ~~英語リーディングＩＢ　1~~ 110 ~~英語ライティングＩＡ　1~~ 110 ~~英語ライティングＩＢ　1~~ 110 ~~英語コミュニケーションＩＡ　1~~ 110 ~~英語コミュニケーションＩＢ　1~~ 入門英語ＩＡ（＊1）　1 入門英語ＩＢ（＊2）　1	120 ドイツ語読解Ⅰ　1 120 ドイツ語読解Ⅱ　1 120 フランス語読解Ⅰ　1 120 フランス語読解Ⅱ　1 120 ドイツ語文法Ⅰ　1 120 ドイツ語文法Ⅱ　1 120 フランス語文法Ⅰ　1 120 フランス語文法Ⅱ　1	101 ~~微分積分Ⅰ　4~~ 101 ~~線形代数Ⅰ　4~~	112 ~~微分積分Ⅱ　4~~ 112 ~~線形代数Ⅱ　4~~ 112 ~~数学入門演習　2~~ 112 ~~基礎物理学Ａ　2~~ 112 ~~基礎物理学Ｂ　2~~	113 ~~コンピュータ演習Ａ　2~~		126 ~~情報科学概論　2~~ 126 ~~人間システム工学概論　2~~ 126 海外理工学プログラムＡ　1 126 海外理工学プログラムＢ　2 126 海外理工学プログラムＣ　3 126 理工学特別プログラム001　1 126 理工学特別プログラム002　2 126 理工学特別プログラム004　4	46 春；23 秋；23
3年		210 ~~英語リーディングⅡＡ　1~~ 210 ~~英語リーディングⅡＢ　1~~ 210 ~~英語ライティングⅡＡ　1~~ 210 ~~英語ライティングⅡＢ　1~~ 210 ~~英語コミュニケーションⅡＡ　1~~ 210 ~~英語コミュニケーションⅡＢ　1~~ 入門英語ⅡＡ（＊3）　1 入門英語ⅡＢ（＊4）　1	120 ~~哲学　2~~ 120 論理学　2 120 ~~西洋史　2~~ 120 心理学　2 120 ~~社会学　2~~ 120 法学　2 120 ~~日本国憲法　2~~ 120 経済学　2 120 自然科学史　2 120 科学倫理　2 120 環境学　2 120 サイバー社会入門　2 120 ~~芸術と技術　2~~ 120 近代日本とアジア　2 120 地誌学　2 ~~体育方法学演習Ｃ　2~~ ~~体育方法学講義Ｃ　2~~		212 ~~基礎解析学Ⅰ　4~~ 212 ~~基礎解析学Ⅱ　2~~ 212 ~~関数論入門　2~~ 212 ~~集合と位相　4~~ 212 ~~確率統計入門　2~~ 212 ~~応用数理入門　2~~ 212 ~~代数入門　2~~ 212 ~~幾何入門　2~~	213 ~~数式処理演習Ⅰ　2~~ 213 ~~数式処理演習Ⅱ　2~~			46 春；23 秋；23
4年				312 ~~解析学Ⅰ　4~~ 312 ~~解析学Ⅱ　4~~ 312 常微分方程式　2 312 偏微分方程式　2 312 ~~複素解析　2~~ 312 ~~確率統計Ⅰ　2~~ 312 確率統計Ⅱ　2 312 ~~応用数理Ⅰ　2~~ 312 ~~幾何学Ⅰ　4~~ 312 ~~幾何学Ⅱ　4~~ 312 代数学Ⅰ　4 312 代数学Ⅱ　4	313 統計コンピュータ演習　2 313 ~~シミュレーション演習　2~~		326 ~~科学技術英語Ａ　2~~ 326 ~~科学技術英語Ｂ　2~~ 326 ~~特別英語セミナー　2~~	48 春；24 秋；24
							414 ~~解析学Ⅲ　2~~ 414 ~~解析学Ⅳ　2~~ 414 ~~幾何学Ⅲ　2~~ 414 ~~幾何学Ⅳ　2~~ 414 代数学Ⅲ　2 414 代数学Ⅳ　2 414 応用数理Ⅱ　2 414 ~~応用数理Ⅲ　2~~ 414 確率統計Ⅲ　2 414 確率統計Ⅳ　2 415 ~~数理科学特別演習Ⅰ　4~~ 415 ~~数理科学特別演習Ⅱ　4~~		48 春；24 秋；24
卒業必要単位数	4／4	12／12 （＊1）、（＊2）、（＊3）、（＊4）は、全学科目である。それぞれ、２回修得すること。	~~14~~／16 ※他学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を４単位迄算入することができる。	8／8	~~56~~／48 ※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、発展科目及び理工学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。	~~8~~／4	~~16~~／14	~~10~~／22	
	32			96					
	128								

②単位　16　48　4　②単位　22　④単位　⑥単位

※授業科目名の前に付いている３桁の数字を科目ナンバーといい、科目ナンバーの百の位は履修基準年度を、十の位は必修・選択必修・選択の別を、一の位は科目群を意味する。

【資料２】卒業可否の確認方法について　〈教育課程表を用いた例〉

Ⅶ 付　　録

1．大学院・理工学研究科について

本学大学院理工学研究科には、2021年４月現在、博士課程前期課程（標準修業年限２年）および博士課程後期課程（同３年）に９専攻（数理科学専攻・物理学専攻・先進エネルギーナノ工学専攻・化学専攻・環境・応用化学専攻・生命科学専攻・生命医化学専攻・情報科学専攻・人間システム工学専攻）が設置されている。博士課程前期課程は、専攻分野における研究能力や高度で専門的な職業に就くための能力を養成することを目的としており、博士課程前期課程において、修了者には「修士（理学）」または「修士（工学）」の学位が授与される。また、博士課程後期課程は、自立した研究者を養成することが目的であり、修了者には「博士（理学）」または「博士（工学）」の学位が授与される。

博士課程前期課程の入学試験は、１次入試が８月に行われる（2021年度入試）。また、２次募集として２月にも入試を行っている（この時にあわせて博士課程後期課程の入試も実施する）。さらに、理工学研究科では、優秀な学生が本学大学院（博士課程前期課程）への進学を希望する際、「推薦入試」制度を設けている。これは学部での成績が優秀で、大学院へ進学後も勉学・研究において優秀な成績を修めるであろうと期待される学生を指導教授が推薦し、面接によって合否を判定するという制度である。詳細については、担任教員に確認すること。

科学技術の進歩、専門性の深度化により、企業も研究職としてより高度な専門知識を修得した人材を求める傾向にある。入学後、早い段階から将来計画を立て、大いに勉学に励み、より多くの者が大学院への進学を考えるよう期待している。その際、上記の制度があることを覚えて、大いに活用してもらいたいと願っている。

2．理工学部における一般注意事項

（１）　授業・試験

（ア）授業の時間帯について

授業時間は次の通りである。尚、追試験時間帯は以下と異なるため、注意すること。詳細は、全学部共通―Ⅲ 授業科目の履修にあたって-４．授業時間帯等（１）（ⅱ）を参照。

	通常授業・定期試験・補講時間帯 神戸三田	通常授業・定期試験・補講時間帯 西宮上ケ原・西宮聖和	集中講義時間帯 全て
第１時限	９：００～１０：４０	８：５０～１０：３０	９：００～１０：４０
ﾁｬﾍﾟﾙｱﾜｰ	１０：４０～１１：１０	１０：３０～１１：００	―
第２時限	１１：１０～１２：５０	１１：００～１２：４０	１０：５０～１２：３０
第３時限	１３：３０～１５：１０	１３：２０～１５：００	１３：１０～１４：５０
第４時限	１５：２０～１７：００	１５：１０～１６：５０	１５：００～１６：４０
第５時限	１７：０５～１８：４５	１７：００～１８：４０	１６：５０～１８：３０

（イ）補講について

理工学部では授業回数確保のため、授業期間中の土曜日に補講を行うことがある。補講の実施・取消は教学 Web サービスで連絡するので、よく確認しておくこと。

（ウ）教育研究システム利用 ID・パスワードについて

履修登録、シラバス関連に加え、授業（英語など）に使用する。

（２）　休学

所定の手続きを取り、休学在籍料を納めることで、休学が可能となる。ただし、休学する学期の授業開始後１ヶ月以内に手続きを完了する必要がある。

（３）　自動車による通学について

神戸三田キャンパスに自動車通学を行う場合、学生本人が Web（Microsoft Forms）で申請し、神戸三田キャンパス事務室長の許可を受ける必要がある。自動車通学の「許可証」が交付されるまで、神戸三田キャンパスに自動車通学はできない。詳細は神戸三田キャンパス HP「神戸三田キャンパス通学・交通アクセス→自動車通学について」で確認すること。

また、自動車通学に関してルール違反があった場合、状況を確認したうえで罰則を適用する。

（4） 学生実験用ロッカー

Ⅳ号館・Ⅶ号館には、実験中の手回り品の収納のためのロッカーがある。
学生実験用ロッカーの使用について、以下の通り定める。

1．利用対象者

a）物理学科、先進エネルギーナノ工学科、化学科、環境・応用化学科、生命科学科、生命医化学科の学生

b）その他、副学部長（学生担当）が必要と認める者

※卒業研究配属者および休学者は、原則的にロッカーの利用はできない。

2．ロッカー利用申請

a）学生実験用ロッカー利用申請書を提出して、許可を得た者がロッカーを使用できる。

b）先進エネルギーナノ工学科、化学科、環境・応用化学科、生命科学科、生命医化学科については1年次より、物理学科については2年次より申請可能とする。

c）実験科目を履修していることが分かる履修登録確認表のコピーを添付して、申請する。

d）その他、ロッカーを必要とする者は、学生実験用ロッカー利用申請書を提出の上、判断する。

3．ロッカー利用期間

a）**学期授業開始日より学生実験履修終了の日（最長で卒業研究配属決定日）までとする。**

b）利用期限までに、ロッカーを空にしておくこと。

c）学生実験の受講期間中、原則1年間（4月から翌年3月）とするが、学生実験を継続して履修している場合は、履修期間中は同一ロッカーを継続することとする。

d）その他、副学部長（学生担当）が必要と認めた者は、最大1年の借用期間とする（更新可）。

4．保管してはいけない物

a）貴重品（現金等）

b）可燃性や揮発性の物または危険な薬品等

c）不潔な物、異臭を発する物

d）生き物

5．使用上の注意

a）利用者は、他人にロッカーを転貸（又貸）してはいけない。

b）ロッカーの暗証番号は他人に知られないようにすること。安全管理のため、適宜変更すること。

c）利用者は、ロッカーの利用期限後は、ロッカー内を空にしなければならない。利用期限を過ぎても、ロッカー内に残っている物品については、理工学部にて適宜廃棄等の処分を行う。

d）ロッカーの上および周辺に放置した物品については、理工学部にて適宜廃棄等の処分を行う。

e）利用者は、自己責任を持ってロッカーを常に清潔丁寧に扱うこと。

f）ロッカー周辺でたむろして騒いだり周りに迷惑を掛ける行為をしないこと。

g）適正な使用中において、問題が発生した場合は、直ちにⅥ号館1階事務室に申し出ること。

h）ロッカーに荷物を詰め込みすぎないこと。特にロッカー扉の開閉ノブに荷物が接触しないように注意すること。

i）ロッカーの場所、暗証番号を失念した場合は、Ⅳ号館警備室まで申し出ること。その他の理由で開閉できない場合は、「学生実験用ロッカー開錠依頼書」をⅥ号館1階事務室へ提出のこと。

6．損害賠償

a）利用者が上記使用上の注意を違反した場合は、ロッカーの使用許可を取り消す。

b）ロッカーを破損または汚損した場合は、実費分を弁償することとする。

（5） シャトルバスの利用について

・利用料金　　片道400円（事前に生協でチケットを購入すること）
・運行時刻表　　適宜大学 HP を確認すること

（6） 暴風警報発令時等の下校方法（バス）について

授業・定期試験期間中に、暴風警報発令等があった場合、休講・試験中止の措置をとることがあります。この場合、みなさんが速やかに下校できるよう、状況に応じ、神姫バスやシャトルバスの臨時バスを手配します。必要なバス台数の把握とバス乗り場での混乱を避けるため、以下のとおり対応してください。

●路線別に指定場所に集合してください。直接バス停に行っても乗車できません。
●集合後、バスの到着にあわせて順次、乗車誘導を行います。
●集合場所
・新三田線　　：Ⅵ（6）号館１階 101号教室
・三田線　　：Ⅵ（6）号館２階 201号教室
・三宮線　　：第二厚生棟２階 食堂
・新大阪線　　：第二厚生棟１階 学生ホール
・シャトルバス：アカデミックコモンズ１階 シアター

（7） 新旧授業科目対照表（2019～）

2019年度より、学則改正と理工学部のカリキュラム変更に伴い、順次科目が不開講となる。

そこで、2018年度までの科目については、2019年度以降理工学部開講科目で読み替え、その科目を修得することにより卒業要件に必要な科目を修得したこととする場合がある。

その一覧表をあげておくので、時間割・シラバス等と合わせて各自必ず確認すること。

また、読み替えに指定されている科目は、二重に履修できない。

単位	履修基準年度	旧科目	単位	履修基準年度	2020開講授業科目	2021開講授業科目	2022開講授業科目
4	4	数学特別演習Ⅰ	4	4	数学特別演習Ⅰ	数学特別演習Ⅰ	***数理科学特別演習Ⅰ***
4	4	数学特別演習Ⅱ	4	4	数学特別演習Ⅱ	数学特別演習Ⅱ	***数理科学特別演習Ⅱ***
4	4	応用数理特別演習Ⅰ	4	4	応用数理特別演習Ⅰ	応用数理特別演習Ⅰ	***数理科学特別演習Ⅰ***
4	4	応用数理特別演習Ⅱ	4	4	応用数理特別演習Ⅱ	応用数理特別演習Ⅱ	***数理科学特別演習Ⅱ***
2	2	量子化学　2（環境用）	2	2	***基礎量子化学***	***基礎量子化学***	***基礎量子化学***
2	2	組織学	—	—	廃止	廃止	廃止
2	2	分子細胞生物学	—	—	廃止	廃止	廃止
2	3	発癌分子機構学	2	3	発癌分子機構学	***発がん分子機構学***	***発がん分子機構学***
2	1	ロボット工学序論	2	2	***機械の力学***	***機械の力学***	***機械の力学***
2	2	エルゴノミクスコンピューティング	2	2	***ヒューマンデータ分析***	***ヒューマンデータ分析***	***ヒューマンデータ分析***
2	2	メカトロニクス	2	3	***（不開講）***	***ロボティクス***	***ロボティクス***
2	3	千刈集中英語実習	2	3	千刈集中英語実習	***特別英語セミナー***	***特別英語セミナー***

さらに、2021年度より、学部再編に伴い、授業科目の多くが新旧合併開講を行っていく。時間割等をよく確認し、自身の卒業要件に必要な科目を漏れなく修得していくこと。

Ⅷ　2018年度　理工学部内規

Ⅰ　学則及び内規の適用について

1　学則の適用は、原則として入学年度の学則が適用される。ただし、学則が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

2　内規の適用は、原則として入学年度の内規が適用される。ただし、内規が全学年度に適用される場合はこの限りではない。

3　学則及び内規の変更に伴う移行措置が講じられた場合は別に配布される理工学部『授業科目履修心得』（以下『履修心得』）による。

Ⅱ　授業履修内規

[全学科共通]

1　授業科目の履修について

(1) 履修しようとする授業科目については、すべて所定の期日内に履修届を提出しなければならない。

(2) 履修登録されていない授業科目の単位を修得することはできない。

(3) 履修届の変更は原則として認めない。

(4) 時間割上、同一時間に組まれた２つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) すでに単位を修得した授業科目は原則として再度履修することはできない。

(6) クラス指定のある授業科目は、定められたクラスで履修しなければならない。

(7) 同一学期に複数クラス開講している授業科目について、２つ以上のクラスを原則として同時に履修することはできない。

(8) 授業科目の履修は原則として履修基準年度に従わなければならない。

2　専門教育科目について

(1) 卒業に必要な単位数のうち、専門教育科目の96単位はすべて理工学部開講の専門教育科目で満たさなければならない。

(2) 卒業に必要な単位数を越えて修得した専門教育科目の単位を４単位まで総合教育科目として算入できる。

3　卒業単位に算入されない科目について

(1) 学則第33条第３項に定められた資格取得科目は、卒業に必要な単位には算入できない。ただし、下記の科目は、卒業に必要な総合教育科目の選択科目の単位として算入できる。

教育原論、発達・学習過程論

(2) 下記の科目（資格取得科目）は卒業に必要な単位には算入できない。

博物館教育論	博物館概論
博物館経営論	博物館資料論
生涯学習概論	博物館資料保存論
博物館教育メディア論	博物館展示論
博物館実習	社会教育概論
社会教育計画	社会教育実習
社会教育特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	社会体育
社会教育行政	職業指導
社会教育課題研究	

(3) 学則第24条ライフデザイン科目群のうち、キャリアゼミＡ・Ｂ・Ｃ、霞が関セミナー、海外インターンシップ

4　全学開講・他学部開講科目の履修制限について

全学開講・他学部開講科目のうち下記の科目は履修できない。

数理の科学Ａ・Ｂ	自然現象の科学Ａ・Ｂ
物質の科学Ａ・Ｂ	生命の科学Ａ・Ｂ
コンピュータ基礎	情報技術概論
文科系学生のための情報技術入門	
コンピュータ言語	コンピュータ実践
数理科学の基礎	感性情報

5　英語能力優秀者の特別履修について

下記［資格一覧］にある資格試験のいずれかにおいて一定以上のスコアを修得した英語能力の優秀な者については、語学力を勘案した上で、英語リーディング・ライティング・コミュニケーションⅠＡ/ⅠＢ/ⅡＡ/ⅡＢの中から未修得のものを最大12単位認定する。

なお、この措置を希望する者は指定された期間に所定の手続きを行い履修指導を受ける。

［資格一覧］

試験名	スコア・級
TOEIC	750点
TOEFL ITP	550点
TOEFL iBT	79点
IELTS	5.5点
実用英語技能検定	準１級
TEAP	334点

6　成績優秀者の履修単位数制限緩和について

当該学期の GPA が3.0以上である者に対して、次学期の履修単位数制限を緩和し、４単位増加する。

7　その他履修に関する事項は、『履修心得』による。

[数理科学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第２学年度　46単位以内
（春学期 23単位、秋学期 23単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外の科目は次のとおりとする。

学則第24条　ハンズオン・ラーニングセンターが2019年度以降授業期間外

に開講する集中講義科目
学則第33条第３項の資格取得科目
（ただし、教育原論、発達・学習過程論を除く）
理工学部開講の集中講義科目
（夏期および冬期）

2　先修条件について

(1) 科学技術英語Ａ・Ｂ、千刈集中英語実習を履修するためには、卒業に必要な英語科目12単位を修得していなければならない。

(2) 地学実験Ａを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ、基礎化学実験Ⅰ、生命科学入門実験、基礎地学Ⅰの４科目８単位を修得していなければならない。

(3) ドイツ語文法Ⅱ、ドイツ語読解Ⅱを履修するためには、それぞれドイツ語文法Ⅰ、ドイツ語読解Ⅰを修得していなければならない。

(4) フランス語文法Ⅱ、フランス語読解Ⅱを履修するためには、それぞれフランス語文法Ⅰ、フランス語読解Ⅰを修得していなければならない。

(5) 全学開講　入門英語ⅡＡ、入門英語ⅡＢを履修するためには、それぞれ入門英語ⅠＡ、入門英語ⅠＢを２単位ずつ修得していなければならない。

(6) 数学特別演習Ⅰ・応用数理特別演習Ⅰを履修するためには、基礎科目50単位以上を修得していなければならない。ただし、早期卒業見込者が第３学年において履修する場合は、基礎科目40単位以上を修得していなければならないものとする。

(7) 数学特別演習Ⅱを履修するためには、数学特別演習Ⅰを修得していなければならない。また、応用数理特別演習Ⅱを履修するためには、応用数理特別演習Ⅰを修得していなければならない。

[物理学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 物理学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[先進エネルギーナノ工学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第２学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) ものづくり理工学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎物理学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎化学実験Ⅰのうち２科目以上を修得していなければならない。

(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[化学科]

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 無機分析化学実験、物理化学実験、有機化学実験を履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計６単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[環境・応用化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。
第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目については、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 環境・応用化学実験Ⅰ・Ⅱを履修するためには、基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ、基礎物理学実験Ⅰのうち２科目以上を修得していなければならない。
(3) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計６単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学した者については、教授会において在籍期間を認定する。

[生命科学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端生命科学実験Ⅰを履修するためには、細胞・組織学実験、生命分子・生化学実験のうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端生命科学実験Ⅱを履修するためには、先端生命科学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計６単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会において在籍期間を認定する。

[生命医化学科]
1　単位数制限について
(1) 各学年度において履修できる単位数を、次のとおりとする。
第１学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 24単位、秋学期 24単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 25単位、秋学期 24単位）
(2) 単位数制限の対象外科目は、[数理科学科] １．単位数制限について (2) を参照すること。
2　先修条件について
(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、[数理科学科] の先修条件 (1)～(5) を参照すること。
(2) 先端医化学実験Ⅰを履修するためには、基礎医化学実験Ⅰ・Ⅱのうち１科目以上を修得し、卒業に必要な単位数合計62単位以上を修得していなければならない。
(3) 先端医化学実験Ⅱを履修するためには、先端医化学実験Ⅰを修得していなければならない。
(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と実験科目以外の授業科目合計６単位以内（そのうち英語必修科目４単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては、教授会に

おいて在籍期間を認定する。

［情報科学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第２学年度　48単位以内
（春学期 25単位、秋学期 23単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目を履修するためには、プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａを修得していなければならない。

(3) 情報システム領域実習Ａ・Ｂ及びネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、プログラミング実習Ⅰを含む専門必修科目８単位以上、専門基礎科目20単位以上を修得していなければならない。

(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と情報システム領域実習Ａ・Ｂまたはネットワークシステム領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、情報科学実習科目及び人間システム工学実習・実験科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する。

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

［人間システム工学科］

1　単位数制限について

(1) 各学年度において履修できる単位数は、次のとおりとする。

第１学年度　48単位以内
（春学期 23単位、秋学期 25単位）
第２学年度　46単位以内
（春学期 25単位、秋学期 21単位）
第３学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）
第４学年度　49単位以内
（春学期 24単位、秋学期 25単位）

(2) 単位数制限の対象外科目は、［数理科学科］１．単位数制限について (2) を参照すること。

2　先修条件について

(1) 言語教育科目、地学実験Ａについては、［数理科学科］の先修条件 (1)～(5) を参照すること。

(2) 人間システム工学実習・実験科目、情報科学実習科目については、［情報科学科］２．先修条件 (2) を参照すること。

(3) 映像音響システム領域実習Ａ・Ｂ及びサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂを履修するためには、プログラミング実習Ⅰ及びコンピュータ演習Ａの２科目４単位を含む専門必修科目14単位以上、専門基礎科目20単位以上を修得していなければならない。

(4) 卒業実験及び演習・輪講・外国書講読（卒業研究）を履修するためには、卒業研究の12単位と映像音響システム領域実習Ａ・Ｂまたはサイバーロボティクス領域実習Ａ・Ｂ以外の授業科目合計10単位以内（そのうち英語必修科目４単位、人間システム工学実習・実験科目及び情報科学実習科目の合計２単位以内）を除き、卒業に必要な条件をすべて満たしていなければならない。ただし、休学期間を除いて３年間以上在籍していなければならないものとし、編入学試験を受けて入学したものについては教授会において在籍期間を認定する

3　情報処理技術演習の履修について

(1) 情報処理技術演習は、情報処理推進機構「基本情報技術者試験」または「応用情報技術者試験」に合格した場合、単位を認定することができる。

(2) 対象試験は2009年度以降に実施されたものとする。

(3) この措置を希望する者は、指定された期間に所定の書類を提出すること。

Ⅲ　成績評価・試験内規

1　成績評価は、成績評価・試験規程に基づき、行なう。

2　追試験は次の事由により定期試験が受けられなかった場合に施行される。

(1) 二親等以内の親族の死亡
(2) 本人の病気
(3) 試験当日の事故
(4) 学校において予防すべき感染症による登校停止
(5) 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加又は裁判員・補充裁判員として職務に従事する場合
(6) 公共交通機関の遅延又は運行停止等

(7) 学生連盟加盟団体に所属する学生が、各競技等の国内統括団体主催競技会等に参加資格を有し、春学期・秋学期定期試験期間と競技会等の日程が重複する場合
(8) その他、追試験を受けるに相当する理由と教授会が認めるもの

3　上記 (1)、(4)、(5)、(6)、(7) の場合を除き追試験の評点は20%を減じる。(1)～(6) 及び (8) については、証明書、診断書又はその事由を説明する書面等を提出し、(7) については、事前に学生活動支援機構が定めた手続きを行うこと。

4　代替試験は、自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により定期試験又は追試験を受けられなかった場合に施行される。なお、代替試験の成績は、100%評価とする。ただし、追試験の代替試験の成績は追試験に準ずる。

5　試験において不正行為があった場合には、当該試験期間中の全試験科目を 0 点とする。

6　成績評価に関して疑義がある場合は、成績発表後一定の期間内に所定の手続により、調査を願い出ることができる。

Ⅳ　転科・転専攻内規

転科または転専攻を希望する者があれば選考のうえ転科・転専攻を許可することがある。転科または転専攻を希望する者は、毎年 1 月の指定された期間に所定の書類を学部長に提出する。ただし、各学科の入学年度別学生数が、結果として各学科・専攻の入学定員を越えない範囲とする。

Ⅴ　卒業研究配属内規

1　卒研（卒業研究）は原則として所属学科の研究室で行わなければならない。

2　所属学科でない学科の研究室で卒研を行うには、教授会の承認を受けなければならない。

Ⅵ　その他

1　編入学生等の学則の適用について

(1) 編入学生については、入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

(2) 再入学生については、原則として再入学を許可された学年の学生に適用される学則を適用する。

2　単位認定について

(1) 編入学生が前に在学した学校において修得した単位は、一定の基準によって本学部授業科目の履修により修得したものとして認定される。

(2) (1) 以外のものについては、編入生に準じて単位認定を行なう。

3　聴講生について

(1) 本学部の特定の授業科目について聴講を希望するものがある場合、教授会の議を経て聴講生として許可することができる。

(2) 聴講生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

4　科目等履修生について

(1) 本学部の特定の授業科目を履修し、単位の修得を希望するものがある場合、教授会の議を経て科目等履修生として許可することができる。

(2) 科目等履修生の出願及び選考に関する事項は募集要項に定めるものとする。

5　迷惑行為について

「学外における迷惑駐車・迷惑駐輪を行った学生への指導に関するガイドライン（西宮上ケ原キャンパス、神戸三田キャンパス）」に規定がある場合はそれを優先する。それ以外の場合で、神戸三田キャンパス自動車通学取扱要項を遵守しない場合、近隣住民に迷惑をかける行為を繰り返し行なった場合及び火災や事故につながる迷惑行為を行った場合は、その学期の定期試験の受験資格を停止する。

6　数理科学科早期卒業について

学則第 7 条第 2 項の規程に基づき、理工学部数理科学科における早期卒業に関し必要な事項を定めるものとする。

(1) 対象学生

早期卒業は、本学に 3 年在籍し、卒業の要件として定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。

(2) 早期卒業の申請資格

次の各号に挙げる要件を全て満たした者が早期卒業を希望するとき、指定の期間中に、所定の申請書を提出する。

①第 2 学年終了時に、卒業要件単位を86単位以上修得し、 1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。

②第 2 学年終了時に、基礎科目の単位を36単位修得し、 1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。

③第 2 学年終了時に、コンピュータ科目の単位を 4 単位以上修得し、 1 科目当たりの合格点の平均が85点以上である。

(3) 早期卒業見込者の認定

申請書を提出後、面接において適格の認定を受けた者が早期卒業見込者となる。

(4) 早期卒業見込者の履修特別措置

早期卒業見込者は第 3 学年において、履修基準年度 4 年の配当科目を履修することができる。

(5) 早期卒業の辞退

早期卒業見込者が早期卒業を希望しなくなったとき、指定の辞退届を提出しなければならない。ただし、辞退届の提出期限は第 3 学年秋学期の授業が終了するまでとする。

(6) 卒業要件

早期卒業するためには、次の各号に挙げる要件を全て満たしていなければならない。

①第 3 学年春学期成績発表の時点で、第 3 学年春学期に修得した専門教育科目の 1 科目当たりの平均点が85点以上である。

②第 3 学年春学期成績発表後に面接を受け、引き続き秋学期も早期卒業見込者として適格の

認定を受ける。

(7) 卒業認定

上記の卒業要件を満たしている早期卒業見込者は、教授会の議を経て早期卒業が認められる。

(8) 合格点の平均を算出する際の注意

合格点の平均を算出する際には認定科目および資格取得科目の成績は算入しない。ただし、卒業要件に含むことができる以下の資格取得科目の成績は算入する。

教育原論、発達・学習過程論